



2004-2005年度
国際ロータリー第2510地区

地区大会 記念誌



ホストクラブ

登別ロータリークラブ

コ・ホストクラブ

- 室蘭ロータリークラブ
- 室蘭北ロータリークラブ
- 洞爺湖ロータリークラブ
- 室蘭東ロータリークラブ
- 伊達ロータリークラブ

Contents

第1部

プロローグ

国際ロータリー会長メッセージ (グレン・E・エステス) ……	1
国際ロータリー会長代理ご紹介 (石井 治) ……	2
ガバナー挨拶 (第2510地区ガバナー遠藤秀雄) ……	3
ガバナー・エレクトご紹介 (札幌東RC塚原房樹) ……	4
歓迎の言葉 (登別RC会長中村雅) ……	5
祝 辞 (登別市長上野晃) ……	6
開会の言葉 (大会実行委員長登別RC戸塚守夫) ……	7
地区大会プログラム ……	8~10
記念フォーラムプログラム ……	11
記念講演 (女優松島トモ子氏ご紹介) ……	12



大会一日目の会場
登別グランドホテル

第2部

大会第一日 (10月16日 会長・幹事会)

平成16年10月16日会長・幹事会の記録 ……	13~20
-------------------------	-------

第3部

大会第一日 (10月16日 本会議)

第一日日本大会挨拶の記録 ……	21~22
各委員会報告の記録 ……	23~41
記念フォーラムの記録 ……	42~67
GSE紹介の記録 ……	68~69
大会第一日目閉会の記録 ……	70~72



大会二日目の会場
日本工学院北海道専門学校

第4部

大会第一日 (10月16日 晩餐会)

国際ロータリー会長代理石井ご夫妻歓迎晩餐会の記録 ……	73~78
-----------------------------	-------

第5部

大会第二日 (10月17日 本大会)

大会第二日日本大会開会式他の記録 ……	79~86
国際ロータリー会長代理石井氏の報告の記録 ……	86~91
登別市長上野晃様他の挨拶 ……	91~94
記念講演松島トモ子氏の記念講演の記録 ……	95~104
本大会閉会時における各位挨拶の記録 ……	104~106
懇親会の記録 ……	107~110
本大会終了後のホストクラブ慰労会の記録 ……	110~112

第6部

決議案他各種報告

地区大会決議案 ……	113~115
国際ロータリー現況報告 ……	116~118
地区現況報告 ……	119
各位委員会委員長名及び委員会報告 ……	120~126
物故会員ご尊名 ……	127~128
各種表彰 (受賞者名含む) ……	129~139
ご来賓ご招待者ご芳名 ……	140
第3350地区 (タイ) 派遣GSEチームメンバー ……	141
地区大会特別参加者名簿 ……	142~143
地区資金収支決算書 (2003~2004年度) ……	144~147
地区年次大会収支決算書 (2003~2004年度) ……	148~150
地区大会実行委員会役員 ……	151
編集後記 ……	152



大会二日目の懇親会場
第一滝本館

※第2部~第5部の両サイドに参加クラブと参加登録会員名簿の紹介を、
下段に大会全日程のスナップ写真を掲載しております。
※誤字脱字がございましたらご容赦ください

国際ロータリー会長メッセージ

ROTARY INTERNATIONAL

GLENN E. ESTESS, Sr.
President, 2004-2005



Dear Rotary Friends and Guests attending the District 2510 Conference,

I send my warmest greetings to each and every one of you attending this 2004-2005 District Conference. I wish to express my great appreciation for the dedication and hard work of Governor Dr. Hideo Endo and Masako who, along with the District Conference Committee, have put together a comprehensive program of Rotary information, fun and fellowship. We hope that you will take this opportunity to make new friends, renew friendships with previous acquaintances, and above all broaden your Rotary horizons with an increased understanding of true Rotary service. This is truly a wonderful opportunity to *Celebrate Rotary* together!

As there are over 500 district conferences taking place around the world, you will please understand that it is not possible for Mary and me to visit all of the conferences taking place this year, as much as we would love to. I have, therefore, invited an outstanding Rotarian to represent me at your District Conference. Kindly welcome Osamu Ishii and his spouse, Masako, as our representatives. I know you will enjoy their company and their inspiring messages during the conference.

I have asked Ishii to encourage you to *Celebrate Rotary* in fellowship and service. With the combined strength of our membership, we can do tremendous things help wipe out illiteracy, provide and protect water resources for all, promote health care in our communities and around the world and support the Family or Rotary in 2004-05..

Yours sincerely,

Glenn E. Estess, Sr.

President, Rotary International

第2510地区 地区大会にご出席の 親愛なるロータリアンとご来賓の皆様へ

2004-2005年度地区大会にご出席の一人一人、そして全ての皆様に心からご挨拶申し上げます。

私は地区大会実行委員会の皆様と協力し、ロータリー情報と楽しみと友情に満ちたプログラムを組み立てて下さった遠藤秀雄ガバナー・征子ご夫妻のご献身とご苦勞に対して心より感謝申し上げます。私達は、この機会に皆様が新しい友人を作り、知己との友情を深め、真のロータリー奉仕の精神を高めると共に、皆様のロータリー精神の範囲を一層広げられることを希望しております。この大会は“皆でロータリーを祝おう”というすばらしい機会です。

世界中で500以上開催される地区大会すべてに出席したいのですが、それが不可能であることはご理解いただけるものと思います。そこで私は、代わりに素晴らしいロータリアンに貴地区大会にご出席下さるようお願いしました。石井治・由紀子ご夫妻を私達の代わりに温かく迎えて下さいますようお願い申し上げます。皆様は大会中に石井治ご夫妻のご列席と、示唆に富んだお話をきくと嬉しく思われることでしょう。

私は、石井治代理に友情と奉仕で“ロータリーを祝おう”と皆様に奨励して下さるようお願い致しました。我々会員の強い結びつきで、2004-05年度に非識字者の撲滅、安全な水資源の確保と供給、更に保健管理の促進などに対して、地域社会や世界中で多大な協力をする事、また家族やロータリーを支えることが出来るのです。



奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

国際ロータリー会長代理ご紹介



石井 治

■経歴

生年月日 昭和4年7月22日(1929年)

現住所 埼玉県春日部市大字樋籠586

所属クラブ 春日部ロータリークラブ

■学歴

1952年 慶応義塾大学 工学部卒業

■職歴

1953年 石井酒造合名会社 代表社員

1969年 株式会社 幸松(倉庫業) 取締役社長

1970年 東埼玉物流株式会社 取締役社長

1971年 株式会社 幸松 取締役会長

■団体歴

1968年 春日部青年会議所 理事長

1969年 春日部法人会 副会長

1979年 (社)日本倉庫協会 評議員

1991年 埼玉県倉庫協会 副会長

1996年 春日部商工会議所 常議員

■ロータリー歴

1964年 春日部ロータリークラブ 創立会員

1978年 春日部ロータリークラブ 会長

1990年 R1277地区ガバナー

2000年 ロータリー文庫運営委員会委員長

2003年 米山記念奨学会理事

2004年 規定審議会代表議員(シカゴ)

ロータリー財団・米山奨学会・共にメジャードナー・ロータリー財団特別功労、
グロウデンセンチュリー賞受賞(RI)、4大奉仕部門功労賞(RI)

■賞罰

超我の奉仕賞、藍綬褒章受賞

■趣味

ゴルフ 読書 演劇鑑賞



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

ガバナー挨拶

2004～2005年度
国際ロータリー第2510地区
ガバナー

遠藤 秀雄



ロータリー100周年の記念すべき年に地区大会を開催することにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。地区大会は地区にとって1年を通しての最大のイベントであります。グレン・E・エステス国際ロータリー会長の代理として、石井治様をお迎えし、ご来賓として登別市長上野晃様のご出席を頂き、地区内外からご多用の中大勢のガバナー、令夫人、バスト・ガバナー、令夫人、ガバナー・エレクト、令夫人そして新世代の皆様、更に姉妹地区を予定しております韓国第3700地区都載旭総裁様、令夫人はじめ大勢のメンバーの皆様のご臨席を賜り心から感謝を申し上げます。私は72クラブの公式訪問を終えたばかりであります。各クラブが北海道経済の長びく不況の中で、厳しいクラブ運営を余儀無くされながらも、会員増強と退会防止に努めておられることに敬意を表する次第であります。

今年度、エステスRI会長のテーマは「ロータリーを祝おう」であります。100年間の輝かしい歴史を振り返り、今一度足元を見つめて更なる100年に向けて進んで行こうという趣旨であります。この大会は「奉仕の第二世紀へ」と銘打って開催させて頂くことにしました。

プログラムにはエステス会長の3大目標の1つである、ロータリー財団を取りあげました。ロータリー財団学友会の皆さんによる「私たちの異文化体験と国際親善」の記念フォーラムは、きっと感銘深いものになると思います。そして、記念講演は女優の松島トモ子さんの「多くの人たちこの出会いのなかで」。留学やボランティア活動、更に芸能活動を通して得た貴い示唆に富んだ講演をいただくことになっております。

遠方から参加される皆様のことを考慮し、なるべく簡素化出来るものは簡素化し、その分各クラブや委員会にブースを用意いたしましたので、ご活用をお願いいたします。今大会が中味の濃いそして感動を呼ぶ大会となりますよう、地区会員の皆様の友情とご協力をお願いいたします。今年度も多くの会員に登録いただき有難うございました。また会場が手狭なため3会場となり大変ご不便をおかけすることを深くお詫びいたします。

最後にホストの登別ロータリークラブの皆様、コ・ホストの第9グループ5ロータリークラブの皆様、そしてご協力を頂いた日本工学院専門学校の皆様、登別温泉の皆様にご心から感謝を申し上げます。



奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

ガバナー・エレクトご紹介



札幌東RC

塚原 房樹

■経歴

生年月日・出身地 昭和10（1935）年10月7日・東京
自宅住所 〒064-0953 札幌市中央区宮の森3条13丁目5-23
職業分類 食肉加工
勤務先 (株)ホクビー 顧問
(有)青樹社 代表取締役
学歴 1959年3月 早稲田大学第一法学部卒業

■職歴

1959年4月 (有)青樹社設立 専務取締役
1971年4月 (株)ホクビー設立 代表取締役社長
1985年5月 〃 代表取締役会長
2003年6月 〃 顧問
2003年6月 (有)青樹社 代表取締役

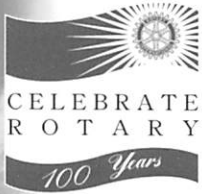
■ロータリー歴・クラブ

1977年1月 札幌東ロータリークラブ入会
1983-84年 同クラブ幹事
1997-98年 同クラブ会長

■ロータリー歴・地区

1988-89年 地区幹事
1990-91年 地区社会奉仕委員長
1992-93年 地区幹事・地区リーダーシップ養成副議長
1996-97年 地区情報委員長・地区史編纂委員長
1998-99年 地区職業奉仕委員長
2000-01年 地区文献資料室室長
2002-03年 地区文献資料室室長・ロータリー100周年記念委員

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者



～2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」～

歓迎の言葉

ホストクラブ
登別ロータリークラブ会長

中 村 雅



オロフレの山々もすっかり紅葉し秋気清爽のこの季節、当登別へようこそお出で下さいました。

ホストクラブ一同、心よりお待ち申し上げておりました。

ホストクラブとして、2004-2005年度国際ロータリー第2510地区大会が開催される運びとなり、記念すべき100周年の栄えある年に、ホストクラブの会長に就任致しました事は、大変光栄と思うと共に責任の重大さを痛感致しております。

又、当クラブ創立以来初めて遠藤秀雄会員が名誉ある第2510地区ガバナーに輩出することとなり、この上ない喜びと感じております。

当クラブは、40名の会員で、室蘭東クラブを親クラブとして活動しており、この大会に向けて、第9グループ室蘭、室蘭東、室蘭北、伊達、洞爺、各クラブにコ・ホストクラブとして全面的なご支援を受け、昨年の千歳大会の成功を参考とし、委員会を立ち上げ、大会委員はもとより、関係者全員が最大のおもてなしをすべく、試行錯誤してまいりました。

当地は日本屈指の有数な温泉観光地で、年間約300万人の観光客が訪れています。11種ある泉質と豊富な湯量で知られているこの源泉は、身体共に滋養され、湯治される方にも人気がございます。

今大会の本会議場として、約1600人の参加ロータリーアンを、一同に擁する日本工学院北海道専門学校は、周囲を高原に囲まれた大パノラマの中にあるキャンパスであり、各種の大会等に利用されております。

なお、本会議場と懇親会場は離れており、温泉地では、駐車場の確保、懇親会場までの交通のご不便などをお掛けすることとなりますが、ロータリーアンの友情に免じ、ご理解ご容赦下さります様、お願い申し上げます。

最後にこの大会が参加皆様のご協力で、実り大きな大会となり、100周年記念に相応しい大会となることを願い、グレンE. エステス S r. R I 会長の『ロータリーを祝おう』を皆様で提唱し祝おうではありませんか。

皆様の益々のご健勝とご活躍を祝念して歓迎の言葉とさせていただきます。



～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

祝 辞

登別市長

上 野 晃



国際ロータリー第2510地区大会が盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

多数のロータリアンをお迎えして、今大会が登別市を会場に開催されますことはこの上ない喜びであり、地元を代表いたしまして心からご歓迎申し上げます。

会員の皆様には、日頃より、奉仕の理念に基づき様々な活動を展開し、広く地域社会の発展に貢献されておりますことに対しまして、深く敬意を表する次第であります。

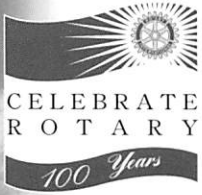
また、今大会のホストクラブであります登別ロータリークラブには、これまで本市の市政各般にわたり大変なご協力を賜り、重ねて感謝申し上げます。

さて、世界中の人々が平和と希望に胸を膨らませて迎えた21世紀は、はや3年半を経過しましたが、ご承知のようにイラクにおけるテロ事件や、つい最近ではロシアの小学校占拠事件など、多くの尊い人命が失われる事件が相次ぎ、混沌とした状況のまま時を刻み続けております。

かかるときこそ文化や民族、宗教の違いを超えて、世界の平和を願い、国境を越えた奉仕を献身的に続けてこられたロータリーの役割が益々重要になっており、今、創立100周年という節目を迎えることは、大変意義深いことでもあります。

今後とも国際ロータリー第2510地区が遠藤ガバナーを中心に結束され、100年の歴史を礎に、当地区の発展のため、更には世界の明るい未来のために貢献されますことを切望してやみません。

最後になりますが、今大会が実り多きものとなりますよう期待申し上げますとともに、関係者の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、お祝いと歓迎の言葉といたします。



～2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」～

開会の言葉

大会実行委員長

戸塚 守 夫



秋も深まり、山も海も澄んだ大気のなか、湯の香ただよう登別に、皆様ようこそおいで下さいました。本日の国際ロータリー第2510地区大会開催にあたり、R I 会長代理第2770地区パストガバナー石井治様御夫妻ならびに登別市長上野晃様をお迎えし、さらに地区内外の多くのパストガバナー、ガバナーの皆様と1600余名のロータリアン、御家族、青少年、財団学友関係各位とここに一堂に会することができましたことは、まことに光栄であり、心から感謝と御礼を申し上げます。

ロータリー 100周年の記念すべき年度の地区大会にあたり、E・エステス・シニアR I会長の提唱する“ロータリーを祝おう”のテーマのもとに、記念フォーラム、記念講演を設定致しました。奉仕の第二世紀に向かって活発な討論と楽しいお話を期待しております。

道内では不況感が引き続き、ロータリーを取り巻く環境も相変わらず厳しいものがある中での大会運営となりました。私どもは地方小都市ではありますが、第9グループの英知を集め、簡素ながら地方色のある楽しいプログラムを目指して準備してまいりました。ただ観光地であるための制約と経験不足での不手際、不行き届きの点が多々あろうかと危惧しております。その節は意のあるところを御賢察の上、ロータリーの友情と寛容の精神でお許し下されば幸いです。

この100周年の節目にロータリーを祝うことのできる幸運をかみしめ、実り多い楽しい大会になりますように祈念して開会の挨拶といたします。



奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

地区大会 プログラム

第1日目 2004年10月16日(土)

●会長・幹事会

祝いの宿 登別グランドホテル 3F グランドホール
司会 地区代表幹事 伊 奈 昭 夫

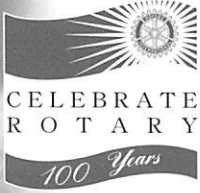
9:30	登録開始				
10:30	点 鐘		ガバナー	遠 藤 秀 雄	
	国家斉唱				
	ロータリーソング「奉仕の理想」		ソングリーダー	木 村 和 夫	
	RI会長代理ご夫妻及びご来賓の紹介		ガバナー	遠 藤 秀 雄	
	開会の挨拶		大会実行委員長	戸 塚 守 夫	
	ガバナー挨拶		ガバナー	遠 藤 秀 雄	
	RI会長代理挨拶		RI会長代理	石 井 治 進	
	大会運営について		大会実行副委員長	堅 田	
11:05	協 議				
	大会決議上程案審議		大会決議委員長	岩 城 秀 晴	
	大会決議案上程承認		ガバナー	遠 藤 秀 雄	
	点 鐘		ガバナー	遠 藤 秀 雄	
11:20	諸事お知らせ		SAA	山 田 新 一	
	終 了				

----- 昼 食 -----

●本会議

第1日目 会場/祝いの宿 登別グランドホテル 3F グランドホール
進行 地区幹事 齋 藤 正 史

11:30	登録開始				
12:30	点 鐘		ガバナー	遠 藤 秀 雄	
	RI会長代理ご夫妻とご来賓の紹介		ガバナー	遠 藤 秀 雄	
	ガバナー挨拶		ガバナー	遠 藤 秀 雄	
	2003-2004年度決算報告		前年度財務委員	井 上 英 幸	
	2003-2004年度決算監査報告		パスト・ガバナー	小 林 博	
12:50	大会運営委員会報告				
	大会登録委員会報告		大会登録委員長	佐 藤 秀 雄	
	大会信任状委員会報告		大会信任状委員長	小 林 博 之	
	大会選挙管理委員会報告		大会選挙管理委員長	遠 藤 正 之	
	大会決議案上程		大会決議委員長	岩 城 秀 晴	
	大会決議案採択		ガバナー	遠 藤 秀 雄	
13:20	各委員会活動報告				
14:30					
14:40	記念フォーラム				
	「私たちの異文化体験と国際親善」				
	基調報告		梶 川 裕 史 (奨学生)		
			高 橋 あゆ美 (奨学生)		



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

パネルディスカッション

コーディネーター 菅原 秀二 (奨学生)
 パネリスト 北川 真理 (GSE)
 紺野 拓美 (GSE)
 福地 信昭 (GSE)
 田邊 元 (奨学生)
 橋口 とも子 (奨学生)
 上田 智恵美 (奨学生)

第3350地区 (タイ) GSEチーム紹介と報告

チームリーダー Mr. Somboom Bunyasiri

総合司会 中島 勉

(財団学友委員会)・小野寺 桂子 (財団学友会)

記念フォーラム閉会の言葉

財団学友委員長 山崎 晴嘉

16:20 講評
 点鐘

ガバナー 遠藤 秀雄

16:25 諸事お知らせ

ガバナー 遠藤 秀雄

16:30 終了

大会SAA 山田 新一

-----移動・休憩-----

●RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

会場/祝いの宿 登別グランドホテル 3F大雪

司会 齋藤 正史

18:00 ウェルカムドリンク

18:05 アトラクション

三味線演奏 白田 路明

18:15 開会の言葉

大会実行委員長 戸塚 守夫

歓迎の挨拶・来賓紹介

ガバナー 遠藤 秀雄

RI会長代理挨拶

RI会長代理 石井 治

来賓ご挨拶

登別市長 上野 晃

乾杯

元RI理事 竹山 涼一

閉会の言葉

大会実行副委員長 堅田 進

19:45 終了

第2日目 2004年10月17日(日)

●本会議 第2日目

会場/日本工学院北海道専門学校

司会 松山 哲男

アシスタント 山本 富美子

8:30 登録開始

8:50 着席

9:00 点鐘

ガバナー 遠藤 秀雄

国家斉唱

ロータリーソング「我等の生業」

開会の言葉

大会実行委員長 戸塚 守夫

物故者追悼

9:15 RI会長代理ご夫妻とご来賓の紹介

ガバナー 遠藤 秀雄

参加者紹介

●地区外参加クラブ

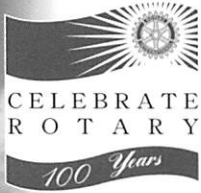


～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

	● 地区内参加クラブ ● 特別参加者				
9:45	歓迎の言葉 ガバナー挨拶と地区現況報告 RI会長メッセージ並びにご挨拶とRI現況報告 祝辞	ホストクラブ 登別RC会長 ガバナー RI会長代理 登別市長	中 村 遠 藤 石 井 上 野	村 雅 秀 雄 井 治 野 晃	
10:40	表彰 ロータリー財団・米山記念奨学会・会員増強クラブ 永年100%出席・ガバナー特別表彰				
10:50	直前ガバナーへ記念品贈呈 2005-2006年度ガバナー・エレクト紹介 2005-2006年度ガバナー・エレクト挨拶 次期地区大会開催地ホストクラブ紹介 次期地区大会開催地ホストクラブ会長挨拶	ガバナー ガバナー ガバナー・エレクト ガバナー 札幌東RC会長	遠 藤 遠 藤 塚 原 遠 藤 小田切	秀 雄 秀 雄 房 樹 秀 雄 房 之	
11:00					-----休憩-----
11:10	記念講演 講師紹介 「多くの人たちとの出会いの中で」 講演謝辞	ガバナー 女優 ガバナー	遠 藤 松 島 遠 藤	秀 雄 トモ子 秀 雄	
12:15	RI会長代理所感 お礼の言葉、ご夫妻へ記念品贈呈 閉会の言葉 点鐘 姉妹地区締結調印式 諸事お知らせ	RI会長代理 ガバナー 大会実行委員会参与 ガバナー 大会SAA	石 井 遠 藤 宮 武 遠 藤 山 田	井 治 秀 雄 忠 史 秀 雄 新 一	
12:30	終了				-----休憩-----

● 記念懇親会

			会場/第一滝本館
		司会	松 山 哲 男
13:00	ウェルカムドリンク		
13:30	開会 開会の言葉 挨拶 挨拶 乾杯 祝宴 祝電披露 ゴルフ成績発表 囲碁成績発表	大会実行委員長 ガバナー 第3700地区総裁 パスト・ガバナー ゴルフ委員長 囲碁委員長 大会実行副委員長 ソングリーダー	戸 塚 守 夫 遠 藤 秀 雄 都 戴 旭 次 大 橋 康 次 皆 川 和 廣 若 木 日 出 男 仲 川 弘 誓 夫 木 村 和 夫
14:50	閉会の言葉 ロータリーソング「手に手つないで」		
15:00	閉会		



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

記念フォーラム

ロータリー100周年の振り返りと今後の奉仕活動の道しるべ

趣旨：本年で100周年を迎えるロータリークラブは、一世紀の永きにわたり奉仕活動を続けてまいりました。

この節目は我々ロータリアンにとって、過去の実績を検証しそれをふまへ奉仕活動のあり方をとらえ今後の道しるべを見出す絶好の機会と考えます。

その中で青少年に対する支援は我々の重要な奉仕活動の1つであり、その重要性は今後も変わることはないと思われます。

そこで今回は、財団学友に焦点をあて、学友の生の声から私たちの活動を検証すると共に今後の課題を見出すことにより、輝かしい奉仕の第二世紀へと出発して参りたいと考えております。

テーマ「私たちの異文化体験と国際親善」

総合司会 中 島 勉 (財団学友委員会・札幌南RC)

小野寺 桂 子 (財団学友会)

ロータリー財団委員長 遠 藤 正 之 (札幌南RC)

◆開会の挨拶

◆基調報告

「メキシコが教えてくれたこと」

梶 川 裕 史

(2000年度国際親善奨学生

メキシコ：札幌東)



紺 野 拓 美

(2004年度GSE

フィリピン：札幌清田)



福 地 信 昭

(2004年度GSE

フィリピン：札幌南)



「オーデル川のほとりで」

高 橋 あゆ美

(2000年度国際親善奨学生

ドイツ：札幌南)



田 邊 元

(1991年度国際親善奨学生

アメリカ：札幌東)



◆パネルディスカッション

「私たちの異文化体験と国際親善」

コーディネーター

財団学友会会長 菅 原 秀 二

(1991年度奨学生

イギリス：札幌真駒内

現在札幌大通公園RC)



橋 口 とも子

(2000年度国際親善奨学生

カナダ：小樽)



パネリスト

北 川 真 理

(2001年度GSE

アメリカ・カナダ：登別)



上 田 智恵美

(2000年度国際親善奨学生

カナダ：札幌はまなす)



◆ [第3350地区(タイ) GSEチーム紹介と報告]
チームリーダー Mr. Somboom Bunyasiri

◆ 閉会の挨拶財団学友委員長 山 崎 晴 嘉



～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

記念講演

多くの人たちとの 出会いのなかで



女優

松島 トモ子

略歴

1945年旧満州（現中国東北部）生まれ
母に抱かれて日本に引き揚げ、3歳からバレエを学びそれがきっかけとなり1950年映画「獅子の罠」でデビュー。
以後「鞍馬天狗」「丹下左膳」などで子役として80本以上の映画に主演。
雑誌「少女」の表紙を10年間一人で務める。日本コロムビアより童謡、ポピュラー等のレコードも出し、歌謡曲の歌手としても活躍。
1964年、ニューヨークのザ・マスターズスクールに留学。その留学日記「ニューヨークひとりぼっち」がベストセラーになる。現在テレビ、舞台、講演などで活躍中。

書籍

「ニューヨークひとりぼっち」／集英社
「ともだちの詩」／ルックス社
「母と娘の旅路」／文藝春秋
「車いすでシャル・ウィ・ダンス」／海竜社
「ホームレスさんこんにちは」／めろくぼる

第2部 大会第一日目 (10月16日 会長・幹事会)

～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

参加クラブ

第1グループ 深川RC



会長 山田 圭二



昭和34年全国で284番目の設立。今年は、会員相互の友情と信頼の醸成、理解を深めるため、囲碁、マージャン、ゴルフだけではなく、いろいろな趣味の会や、その他様々な「課外活動」を通じて、会員自らが「楽しい奉仕」を行えるように、日々の活動を進めている、一歩進んだ、繋がりと連なり(伝統)のあるクラブであります。

登録会員名簿 (23名)

伊藤 崇	大西 祥太	大西 道祥
小田 幸晴	小野 昭郎	北村 幸雄
後藤田隆雄	佐々木弘有	渋谷 賢治
杉村 修	棚橋 直登	津田 恭史
寺内 輝夫	中 公一郎	永井 久之
成田 昭彦	成田 雅敏	松本 佳巳
村中 俊二	山田 圭二	吉澤 義彦
吉本 勲	渡辺 一義	

平成16年10月16日土曜日

会長・幹事会

(会場・登別グランドホテル)

司会(伊奈地区代表幹事)：皆様お早うございます。開会に先立ちまして、ご来場の皆様にお願ひがあります。会場内は禁煙となっております。所定の喫煙所をご利用下さるようお願い申し上げます。又、お手持ちの携帯電話の電源をお切りになるか、あるいはマナーモードに変更頂きます様お願い申し上げます。



皆様、大変お待たせ致しました。只今より会長幹事会を開催致します。私は本日の司会進行をさせて頂きます、地区代表幹事登別ロータリークラブの伊奈と申します。どうぞ宜しくお願い致します。(拍手)

定刻に成りました。国際ロータリー第2510地区遠藤秀雄ガバナー、点鐘をお願い致します。



遠藤秀雄ガバナー：(点鐘) カーン (拍手)

司会(伊奈地区代表幹事)：続きまして、国歌並びにロータリーソング「奉仕の理想」を斉唱致します。皆様ご起立をお願い致します。ソングリーダーは登別ロータリークラブ木村和夫です。ピアノ演奏は財団学友北川真理さんでございませう。

国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

司会(伊奈地区代表幹事)：ここで、遠藤秀雄ガバナーより、RI会長代理ご夫妻、ご来賓、役員の皆様方のご紹介をお願い致します。

遠藤秀雄ガバナー：皆さんお早うございます。今日ご来賓の皆様方のご紹介を申し上げます。

先ず最初にRI会長代理石井治様、令夫人由紀子様でございます。(拍手)

続きまして、パストガバナーの皆様方をご紹介致します。





～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

2500地区清水幸彦様。2500地区道下俊一様。2750地区秋山一様、知子様。

続きまして、地区内の役員をご紹介を申し上げます。パストガバナー大橋光治様。富原薫様、石垣博美様、伊藤長英様、遠藤正之様、それから、今日、エード役をお務め頂いております、岩城秀晴様、節子様でございます。小林博様。佐藤秀雄様。それから、ガバナーエレクトでいらっしゃいます塚原房樹様。私の家内、遠藤征子でございます。大会実行委員長戸塚守夫でございます。それから、ホストクラブ会長、登別ロータリークラブの中村雅でございます。

以上でございます。(拍手)

司会 (伊奈地区代表幹事)：続きまして、開会の言葉を戸塚守夫大会実行委員長より申し上げます。

戸塚守夫大会実行委員長：みなさん、お早うございます。地区大会実行委員長を仰せつかっております、戸塚でございます。今日はR I 地区会長代理石井治様ご夫妻を始め、ご来賓、会員の皆様、湯の香に煙る登別温泉ようこそいらっしゃいました。丁度、紅葉も盛りとなっております。地方の小都市ではございますが、我が第9グループを挙げて、精一杯の準備をさせて頂きました。ロータリー百周年の記念すべき大会でございます。たくさんの報告、協議事項が分刻みに予定されております。どうぞ皆様のご協力を賜りまして、実りのある、楽しい地区大会になりますように祈念いたしまして、開会の挨拶と致します。今日はどうもありがとうございました。(拍手)



司会 (伊奈地区代表幹事)：これより、2004年～2005年度国際ロータリー第2510地区遠藤秀雄ガバナーよりご挨拶を頂きます。

遠藤秀雄ガバナー：ロータリー百周年の記念すべき年に、地区大会を開催するにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。グレン E. エステス、シニア国際ロータリー会長の代

参加クラブ

第1グループ 羽幌RC



会長 松橋 守



1979年5月、留萌クラブをスポンサーに誕生。当地区最北端に位置し、会員数47名のクラブです。25周年を迎え、更なる30年を目指し、会員の和をモットーに地域に密着した奉仕活動を展開しています。

登録会員名簿 (44名)

青木 和彰	有澤 譲	石川 士史
伊原 重孝	大石 洋一	逢坂 健児
小川原幸紀	小原 克美	大橋 鉄夫
加藤 隆一	金浜 豊隆	鎌田 健治
工藤 喜一	工藤 敏郎	斉藤 彰
斉藤 優	榊原 照夫	佐々木 武
笹浪 一夫	佐野 俊一	實籾 吉信
白幡 庄次	高沢 国雄	高場 剛
武田 秀夫	忠津 章	立野 英俊
田原 昇一	地島 耕二	茶谷 恵一
出口 治康	寺本 真仁	成澤 卓爾
芳賀 光雄	林 敏朗	東出 覚
福井 俊一	舟橋 隆宏	堀川理智子
本間 憲一	松橋 守	松本 信裕
山本三次郎	吉田 健司	



参加クラブ

第1グループ 妹背牛RC



会長 長田 宗正



昭和42年1月に深川ロータリークラブをスポンサーに誕生しました。クラブ活動は「クラブ奉仕委員会」「職業奉仕委員会」「社会奉仕委員会」「国際奉仕委員会」「親睦委員会」に全会員が役割分担し努めています。会員は10名と少人数のクラブですが、目標は会員の和と組織の継続に専念しています。

登録会員名簿（9名）

伊藤 馨三	梅澤 見堂	江幡 進
大崎 公介	高橋 隆義	佐藤 義明
長田 宗正	真鍋 剛	渡辺 俊和

理として石井治様をお迎えし、地区内外から、そして姉妹地区提携を予定しております韓国第3700地区の都戴旭（トウチュウスク）総裁様始め、大勢の皆様方、また地区内の会長、幹事の皆様方、大勢のご臨席を賜りまして、今回の記念すべき大会を開催することを、心から感謝を申し上げる次第でございます。

7月7日から始まりました公式訪問も、10月6日で無事に終了することが出来ました。皆様方といろいろ懇談が出来ましたことは、私にとりまして大きな収穫であり、感謝を申し上げます。

今年度、エステスR I会長のテーマは「ロータリーを祝おう」であります。それに因んでこの大会は「奉仕の第2世紀へと」銘打って開催させて頂きました。2005年の2月23日には、各地区やグループで、一斉に記念すべき催しを開催して頂きたいというふうに思っております。また、長年懸案となっておりました、第3700地区との友情関係も、この記念すべき年に、華美に走らず、全て自己負担でおこない、そして地区に経済的な負担を掛けないという条件で相整い、姉妹提携の運びとなりました。皆様方のご理解を頂きたいと思えます。今回遠方から参加される皆様方のことを考慮しまして、なるべく簡素化し、その分、各委員会や各クラブに、展示ブースを用意させて頂きました。ご利用をお願い致します。

本大会が中味の濃い、そして感動を呼ぶ大会になりますように、皆様方の友情とご協力をお願いを申し上げます。最後にホストの登別ロータリークラブの皆さん、コ・ホストの第9グループ、5ロータリークラブの皆さん、そしてご協力を頂きました日本工学院専門学校の皆さん、登別温泉の皆様方に、心から感謝を申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。（拍手）

司会（伊奈地区代表幹事）：それでは、国際ロータリー会長代理石井治様よりご挨拶を頂きます。石井治様、お願い致します。

石井治国際ロータリー会長代理：皆さん、お早うございます。





奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～



この度、エステスRI会長さんから2510地区の地区大会に会長代理として行くように指示されましたので、家内の由紀子とともに、お邪魔いたしております。本当に私達にとりましては、大変名誉なことであり、光栄に存じる次第でございます。

私は1990年～1991年度のガバナーでございます。この地区で言えば白石さん、札幌手稲ロータリークラブから出た方でございます。現在、病気療養中のために退会されているということであり、再会できないで残念に思っております。一日も早く健康を取り戻すようお祈りするわけでございます。この地区大会が、遠藤ガバナーのご指導の元に、また戸塚大会実行委員長始め、地区の役員そして登別ロータリークラブ、コ・ホストの皆様のご支援によりまして、一年で一番素晴らしい時期に、盛大に行われることを、私は嬉しく思っております。実はこの2510地区、私、ロータリー文庫の方で長く役をやっておりましたので、いろいろ調べてみると、本当に歴史と伝統のある地区であると感じております。と言うのは、当地区は1920年、米山梅吉さんと福島喜三次さんが1920年、東京ロータリークラブをつくりまして、東京ロータリークラブによって、大阪、神戸、名古屋、京都に次々とロータリークラブが出来たわけでございますが、札幌ロータリークラブは、日本で8番目のロータリークラブであり、10番目には小樽ロータリークラブが出来ております。そして、函館と室蘭にも出来たんですね。で、お隣の2500地区には、旭川、帯広、釧路、野付牛。私もこの野付牛というのがわからなかったんですが、北見市の前の名前だったんだそうでございますが、この4クラブが出来て、北海道には合計8クラブが出来ておりました。そして、日本の統治下で11クラブ出来ておりました。戦前には37クラブが出来ました。その内の8クラブと言うと、北海道のウエイトは大きかったと思います。北海道のパイオニア精神と言いますか、先人の国際感覚が優れていたというふうに思っております。

皆様、ご承知のとおり戦前のロータリークラブというのは、昭和8年から10年頃になりますと、軍閥の弾圧を受けて、次々に消滅していくわけでございますけれど、戦前のロータリアンというのは、凄い信念を持っておりまして、消滅する

参加クラブ

第1グループ 小平RC



会長 東海林孝一郎



当クラブは、会員14名の小さなロータリークラブであり、先輩ロータリアンの地道な社会貢献の灯を消さない様に「和」を大切にしながら少しでも地域社会に貢献できる様頑張っております。国際ロータリー100周年と併せ当クラブ創立30周年の節目の年度でありますので、「友情と奉仕の精神」を未来に繋ぐ努力をしたいと思っております。

登録会員名簿（7名）

奥泉	吉栄	川森康次郎	東海林孝一郎
空橋	仁	新名 秀雄	森田 修
横浜	磨		



参加クラブ

第1グループ 留萌RC



会長 清水 陸



青い海、夕日に輝く黄金岬“みんなで参加、親睦と奉仕とを”クラブ、テーマとし、ロータリー100周年記念事業委員会を設置とし、7つの愛好会で親睦を深め奉仕活動に努めています。

登録会員名簿 (36名)

阿部	慶一	明澤	正樹	天谷	隆博
遠藤	光一	大嶋	孝広	大沼	哲郎
笠原	正昭	川上	明弘	河部	勲
行徳	幸治	越野	俊興	齋藤	清蔵
坂井	智	佐藤	潔	佐藤	寛明
澤田	茂	清水	陸	鈴木	康伸
春藤	良雄	関野	政人	高田	潔
武井	哲	田中	公一	村馬	健一
中川	勝美	西谷	英樹	二ノ宮	清信
原田	功	平井	誠治	道	重幸
宮川	正己	森	俊二	森	幹雄
山本	譲二	渡邊	裕久	渡部	英次

けれど、名前を変えて例会をやっておりました、例えば岡山は、水曜日に例会をやっていると言うことで、岡山水曜会として、継続していました。ところが、この地区の札幌と小樽と室蘭については、私が会員名簿で知る限りでは、歴代の会長さんが列記されておりますので、それから察すると、綿々と続いていたのかなあと思います。函館のクラブは認証状を再交付してもらったようです。東京ロータリークラブとか大阪は、他の地区と同じように、戦後日本がロータリーに復帰した時に、認証状を再交付して頂いているようです。今年、ロータリー百周年ということで、この地区にとっては、本当の意味で、記念すべき年ではないかと思っております。この役を仰せつかるについて、遠藤ガバナーから、いろいろ資料もいただいて、私なりに検討しましたが、遠藤ガバナーは、二年くらい前からリーダーシッププランを取り入れて、ガバナー補佐とともに、各クラブの地域に密着した活動をされている様子を伺うことが出来て、本当に素晴らしいと思っております。

今までに、2度ばかり東京で遠藤ガバナーとお会いしました。この広大な2510地区を公式訪問したり、或は各種会合に出ながら、その要職をこなすというのは、体力のある人でなければ出来ないと、感じています。今日は時間があると聞いておりますので、いろいろと申し上げたいと思いますが、会長さん、幹事さんが主役でございます。会長さんはクラブの顔でございます。又、幹事さんは、クラブの核でございます。二人ともに手を携えて、そして各クラブが、ガバナーをサポートして頂きたいと思っております。各クラブはR Iに加盟しております。それだけ責任が重いと思っております。現在、ロータリーも魅力を失い、会員の減少が約10年くらい続いております。この地区においても、10年くらい前は4,234名であったかと思いますが、現在、3,200名をちょっと切っている状態で、千名くらいが減少しております。私が所属している埼玉の東南部ですが、R I理事を出しておりますけど、やはりここも千名くらい減少しております。この点についても、いろいろ対策は各地区でやっておりますし、皆さんも努めていると思っております。日本のロータリーもどの辺で踏みとどまるか、今真剣に問われている時期と思われる。





奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

最後に、作家の山本有三先生の詩を申し上げて、終わりにしたいと思います。「たった一度しかない人生を、たった一人しかいない自分を、本当に生き甲斐をもって生きながら、人間として、この世に生まれてきた命を、精一杯往かねばならない。」これを持ちまして、雑駁になりましたが、ご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。(拍手)

司会(伊奈地区代表幹事)：石井治様ありがとうございました。

ここで本大会の運営につきまして、堅田副実行委員長より説明を頂きます。

堅田副実行委員長：お早うございます。2004年～2005年度の本大会の運営につきまして、ご報告申し上げます。この地区は、札幌を中心とした道央圏でございます。この登別の地に1,600人を超える登録を頂きました。これは、本日出席いただいております各会長さん、幹事さんのご努力とご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



本大会は、登別クラブがホストとなり、室蘭、室蘭東、室蘭北、洞爺湖、伊達クラブがコ・ホストとして、第9グループ全員で一致協力してやっております。登別を中心として、手作りの大会をやるということに頑張っておりますが、初めての大会でもあり、いろいろとご迷惑をお掛けしていると思います。ロータリーの友情を持って、ご理解頂ければと思います。

さて、本日の午後より行われる記念フォーラムは、「私達の異文化体験と国際親善」というテーマのもとに、学友の体験報告とともに、財団プログラムの理解と、ロータリアンに対する財団への支援という目的で開催されます。又、明日2日目の記念講演は、ロータリアンである松島トモ子氏をお迎え致します。車イスの方とのダンスの話など、「多くの人たちとの出会いの中で」というタイトルで、ご講演を頂きます。その後、懇親会を登別温泉の第一滝本館で行ないます。登別温泉は道路が非常に狭いため、本会場からの移動はバスのみという形にさせていただきます。駐車場がございません。千数百人のロータリアンの人達の移動でございます。大変だと思いま

参加クラブ

第2グループ 赤平RC



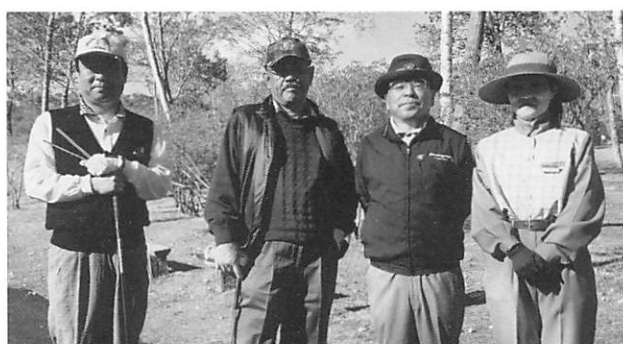
会長 早坂 弘幸



2005年度、創立45周年を迎える赤平ロータリークラブは、会員数34名とコンパクトなクラブではありますが、小回りの利くネットワークを生かしながら地域に密着した活動を目指し活動しています。ロータリーを祝おうのテーマに則り、楽しい例会、会員相互の親睦に力を注ぎつつ、会員増強の芽を育てています。

登録会員名簿 (15名)

伊藤 和敏	岡田 知治	仙田 哲夫
田中 隆志	田中 良一	西沢 良知
早坂 弘幸	早坂 文雄	藤田 安男
藤原 税	布施 洋一	宮川 徹
武藤 哲雄	村田 武	渡部 芳巳



参加クラブ

第2グループ 芦別RC



会長 坪坂 周二



昭和32年12月、当時人口75,000人の芦別市に岩見沢ロータリークラブをスポンサーとして、北海道で18番目に誕生した芦別ロータリークラブは、創立48年目を迎え、平均年齢64才の会員54名が過疎化と不況に耐えロータリーの高き理想を掲げ、地域に根ざした奉仕と友愛の実践を重ねています。

登録会員名簿 (20名)

北	正信	坂田	憲正	櫻井	祝
神野	一民	瀬戸	一郎	高島	英世
竹原	幸盛	田中	一廣	土山	久男
坪坂	周二	根井	弘	古川	敏一
松井	良吉	宗方	裕之	森沢	勲
小畑	陽彦	田中	忠勝	北村	憲男
道島	尚光	渡辺	寿一		

すけれど、各クラブの幹事さんのご協力をお願い致します。本日、第9グループメンバー全員で、万全の体制をとって今大会に臨んでおります。是非、温泉地でございますので、楽しんで頂きたいと思っております。

以上、簡単ではございますけれども、大会の運営についてのご報告とさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。(拍手)

司会(伊奈地区代表幹事)：これより、大会決議事項の協議に入らせて頂きます。

先ず初めに、大会決議案の審議につきまして、岩城秀晴大会決議委員長よりお願い致します。

岩城秀晴大会決議委員長：ご指名頂きました岩城でございます。大会決議上程案でございますが、只今から大会決議案を上程させて頂きたいと存じますので、宜しくご審議のほどをお願い申し上げます。



プログラムの8ページをご覧になって頂きたいと存じます。8ページの決議第1号議案から10ページの決議第14号議案までにつきましては、時間も限られており、これを石井R I会長代理、並びに遠藤ガバナーにお許しを得まして、要点だけご報告し、その後上程させて頂くということで、如何でございますでしょうか？(拍手)

ありがとうございます。それでは、8ページから、その要点を簡単に述べさせていただきます。

(別頁113～115の決議欄参照)

以上でございます。宜しくご審議お願い申し上げます。ご賛同得られましたら拍手を頂戴致します。(拍手)

ありがとうございました。

司会(伊奈地区代表幹事)：岩城委員長ありがとうございます。それでは、遠藤秀雄ガバナー、大会決議案の承認をお願い致します。

遠藤秀雄ガバナー：今、拍手を頂戴致しましたので、それで





奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

宜しいかと思えますけれど、只今岩城秀晴大会決議委員長から決議第1号から第14号まで、ご提案がございました。これにご賛同頂ければ、今一度、大きな拍手をお願い申し上げます。(拍手)

ありがとうございました。

決議案第1号から第14号まで、皆様の大きな拍手をもって上程することが決議されました。ありがとうございます。

司会(伊奈地区代表幹事)：皆様方のご協力によりまして、予定時間となりました。2004年～2005年度国際ロータリー第2510地区会長幹事会を終了させていただきます。

遠藤秀雄ガバナー、点鐘をお願い致します。

遠藤秀雄ガバナー：(点鐘)カーン(拍手)

司会(伊奈地区代表幹事)：SAA委員会の山田新一からお知らせがございます。

山田新一：SAAよりお知らせを致します。皆様、本日は大変ありがとうございました。少々早いのですが、只今から昼食の時間とさせていただきます。昼食会場は同じフロアー、大雪に設営させていただきましたのでお願いを致します。



尚、ご来賓の方につきましては、同じ3階フロアーの寿の間。3700地区の方につきましては、鶴の間。地区役員につきましては、亀の間をご用意しております。

昼食後12時30分より、第1日目の本会議を開催致します。開催場所は、同じこのグランドホールで行ないますので、引き続きご参加をお願い申し上げます。

尚、明日のクラブ表彰式の件でございますけれども、同じクラブで2つ受けるクラブの方はいらっしゃいますか？その方につきましては、順次ご登壇を頂くという形をとっておりますので、お二人の方を、ご用意頂ければ有難いと思っておりますので、ご協力のほどをお願い申し上げます。それでは12時30分からのご参加をお願い申し上げます、SAA委員会からのお知らせを終わります。ありがとうございました。(拍手)

参加クラブ

第2グループ 砂川RC



会長 杉本 勉



「ロータリーを祝おう 友愛と奉仕の心で」杉本会長のスローガンのもと、砂川クラブ会員54名一丸となってクラブの奉仕活動にがんばっています。創始の精神でロータリーの100周年と共に砂川クラブ35周年を共に祝おう。目指せ純増2名、100%例会。

登録会員名簿 (36名)

石家 裕二	伊藤 徳博	内野 司
瓜 俊雄	沖田比呂志	梶尾 幸克
北谷 好文	木村 正勝	小林 公民
近藤 俊継	榊原二三夫	佐藤正一郎
沢田 広志	杉本 勉	高橋 俊美
高橋 秀明	竹田 俊一	武田 昭二
千葉 清	西川 悦郎	畠山 豊
藤田 諄	二橋 邦征	堀江 和美
増井 利雄	松原 重俊	水島 孝嗣
山崎 義彦	山下 眞史	山田 賢治
山田 信一	山本敬一郎	澤田 幸三
吉川 富雄	吉野 繁夫	



第3部 大会第一日目 (10月16日 本会議)

～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

参加クラブ

第2グループ 滝川RC



会長 篠島 弘



今年度会長テーマは「和」。親睦を重点としながらも、若手中心の委員長構成により、前例やロータリーらしさに囚われない興味の持てる例会企画を勧奨し、以て出席率の向上に努めています。女性会員2名を含む111名の会員ですが、出席率の向上と併せ、100名を切る事の無いよう継続的増強が課題です。

登録会員名簿 (40名)

安立 徳章	五十嵐達明	石黒 安雅
泉 敬止	伊藤 和男	上田 秀司
奥野 巧	川口 義弘	神部 絢子
神部 洋史	坂田 秀昭	笹見 孝夫
佐藤 圭二	佐藤 佳朗	篠島 弘
菅原剛太郎	鈴木 忠男	鈴木 英也
相馬 隆男	高木 敏行	武田 晃
竹田 行宏	続木 伸一	戸井 康堯
土井 聰	中垣 陽一	中川 一郎
中島 健	中田 翼	中谷 幸司
成木 治郎	福井 義昭	藤井 照也
柳 清二	山根 英治	山本 毅
山本 勝	吉田 正治	和作 康市
山口 清悦		

平成16年10月16日土曜日

本 会 議

(会場・登別グランドホテル)

司会 (齊藤地区幹事) : 只今より、本会議を開催いたします。本会議第1日目の司会進行を担当致します、私地区幹事、登別ロータリークラブの齊藤です。本会議が無事に終了しますよう、どうぞよろしくお願い致します。(拍手)



それでは、国際ロータリー会長代理のエードを務めて頂きます岩城秀晴バスターガバナーご夫妻の先導により、国際ロータリー会長代理石井治様ご夫妻をステージにお迎えいたします。皆様、ご起立の上、拍手をもってお迎え下さい。(拍手)

点鐘でございます。国際ロータリー第2510地区遠藤秀雄ガバナー、お願い致します。

遠藤秀雄ガバナー : (点鐘) カーン (拍手)

司会 (齊藤地区幹事) : それでは、ここで本大会のために遠路ご臨席を賜りました、国際ロータリー会長代理ご夫妻を始め、ご来賓の皆様及び地区役員の皆様に遠藤ガバナーよりご紹介申し上げます。

遠藤秀雄ガバナー : それでは、大会第一日目、ご来賓のご紹介を申し上げます。(別頁140のご来賓ご招待者ご芳名欄参照)

司会 (齊藤地区幹事) : それでは、続きまして国際ロータリー第2510地区遠藤秀雄ガバナーに、ご挨拶をお願い致します。

遠藤秀雄ガバナー : まず、大勢の皆様方、今大会にお越しを頂きまして誠にありがとうございます。ロータリー百周年の記念すべき年に、地区大会を開催するにあたり、ひと言ご挨拶を申し上げます。

地区大会は、地区にとって一年を通して最大のイベントで





～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

ございます。グレン E. エステス、シニア国際ロータリー会長の代理として石井治様、令夫人の由紀子様をお迎えし、また地区内外から、ご多用にかかわらず、大勢のガバナー、令夫人、パストガバナー、令夫人、ガバナーエレクト、令夫人、そして新世代の皆様方、また更に、姉妹地区を予定しております韓国第3700地区から、都戴旭（トウチュウスク）総裁様始め11名の皆様。地区内の大勢のメンバーの皆様方のご臨席を賜り、心から感謝を申し上げます。私は72クラブの公式訪問を終えたばかりでございますけれども、各クラブが北海道経済の長引く不況の中、厳しいクラブ運営を余儀なくされながらも、社会奉仕や国際奉仕、これらの活動並びに会員増強、退会防止などに努めておられることに、敬意を表するものでございます。今年度、エステス R I 会長のテーマは「ロータリーを祝おう」でございます。百年間の輝かしい歴史を振り返り今一度、足元を見つめて更なる百年に向かって進んでいこうという趣旨でございます。この意義を踏まえて、この大会は奉仕の第2世紀へと銘打って開催させて頂くことにしました。2005年2月23日には、地区内の全クラブ、若しくはグループで一斉に記念になる会合を開催致しましょう。

又、長年懸案となっておりました第3700地区との友情関係も、この節目の年に華美に走らず、全て自己負担という形で、地区の経済的負担にならない条件が整いました。姉妹地区提携を結ぶ運びとなりました。ご理解を頂きたいと存じます。プログラムには、エステス R I 会長の三大目標の一つであります、ロータリー財団を取り上げました。ロータリー財団学友会の皆さんによる記念フォーラム、これはきっと感銘深いものとなるでしょう。そして、明日の記念講演は、女優の松島トモ子さんによる、多彩な活動を通して得た、貴重な詩心に富んだ講演が期待されております。遠方から参加される皆様方に配慮し、なるべく簡素化できるものは簡素化し、大会の運営を円滑にするために、地区委員会や各クラブに、展示ブース会場を用意致しております、ご活用をお願い申し上げます。今大会の中味が濃く、そして感動を呼ぶ大会となりますように、ご出席の皆様方の友情とご協力をお願い申し上げます。又、土地柄、会場が手狭なために三会場となり、大変、ご不便をお掛けすることになりました。深くお詫びを申し上げ

参加クラブ

第3グループ 美唄RC



会長 米森 正夫



昨年創立30周年を迎え、6人のチャーターメンバーと共に伝統と若さの調和の取れた新しいタイプのロータリークラブをめざしています。

登録会員名簿 (16名)

阿部 稔	海老名 元	奥山 裕章
大竹 繁夫	岸山 皓次	北野 保孝
後藤 三雄	中込 茂	坂東 浩
東野 碧	二川 秀樹	宝崎 錠二
毛利 清徳	山本 靖雄	吉村 誠治
米森 正夫		



参加クラブ

第3グループ 江別RC



会長 加藤 正勝



識字率向上のために、ネパール・日本友情学校整備の支援をしています。緑豊かな原始の森のある江別市よりやってきました。

登録会員名簿 (19名)

加藤 正勝	金田 敏雄	郷 和平
佐伯 宮彦	進藤 忠明	津田 政勝
中川 清志	西 照夫	野村 昭松
野村 昌人	林 重樹	林 敏昭
松下 勝芳	松山 敏則	最上 裕之
山田 誠	吉田 欣司	山崎 一夫
野村 厚子		

げます。最後にホストの登別ロータリークラブの皆様。コ・ホストの第9グループの5ロータリークラブの皆様。そしてご協力を頂いた日本工学院専門学校の皆様方。登別温泉地区の皆様方に心から感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。(拍手)

大変失礼を致しました。大事な方を紹介しておりませんでした。ガバナーエレクトの塚原房樹様でございます。ご紹介が漏れて誠に申し訳ございませんでした。

司会(斉藤地区幹事)：ありがとうございます。これより2003年～2004年度地区資金の決算報告を、井上前年度財務員よりお願い致します。

井上前年度財務員：2003年～2004年度地区資金の決算についてご報告致します。皆様、お手許のプログラム80ページから83ページにかけてご覧ください。



最初に一般地区資金について。まず収入の部では当初予算は51,784,000円で3,954,495円の収入増でございました。これは皆様方のご協力により、ガバナー月信の購読料の増加により、前期繰越金が予算より増加したことにより。会員負担から一般地区資金についてみれば、会員数減少にともない、上期、下期共に454,080円予算を下回りました。支出の部では、当初予算37,784,000円に對しまして、実績は36,785,277円で998,723円の支出減でございました。各委員会皆様のご協力に感謝申し上げます。

次に、特別地区資金について、ご報告申し上げます。まず、収入の部につきましては、当初予算31,976,000円であったのに対し、実績は31,994,421円でございました。これは前期からの繰越金が予算より増加したためであり、会員負担によるものは、一般地区資金と同様に会員数の減少によって、上期下期共に366,720円減少し、予算を大幅に下回ってしまいました。支出につきましては、当初予算26,290,000円に對し実績は、26,029,907円にとどまりました。当該年度は、規定審議会が開催されましたので、規定審議会代議員費を支出しております。その結果、地区資金は一般地区資金で18,953,218





～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

円、と特別地区資金で5,964,514円、合計24,917,732円となりましたが、これは既に、本年度地区会計に引き継いでおります。

以上で、2003年～2004年度の地区資金決算に関する報告を終わりますが、当初予算では一般地区資金で14,000,000円。特別地区資金では5,686,000円しか繰越すことが出来ないものと考えておりますが、繰越実績は大幅にこれを上回る事が出来ました。皆様方のご協力にあらためて厚くお礼申し上げます。尚、細部につきましては、84ページに記載されておりますので、ご一読いただければと思います。以上で終わります。ありがとうございました。(拍手)

司会(斉藤地区幹事)：ありがとうございます。続きまして2003～2004年度地区資金監査報告でございます。小林博バストガバナー宜しくお願い致します。

小林博バストガバナー：監査責任者の小林でございます。只今井上前年度財務委員からご報告がございました。また、その詳細はプログラムの84ページに記載されている通りでございます。9月27日に私ども札幌北ロータリークラブの例会の後、札幌センチュリーローヤルホテルにおきまして、提出されました資料を拝見させて頂きました。厳正に見させて頂きました。その結果、適正に使用されているということを認めます。私自身、思い出しますと、こういう監査という仕事は初めてなんですね。私の出来る範囲内で厳しく見させて頂きました。適正であることを認めます。以上でございます。(拍手)



司会(斉藤地区幹事)：ありがとうございました。これより大会運営委員会報告をそれぞれ、お願い致します。

最初に大会登録委員会報告を佐藤秀雄大会登録委員長、お願い致します。

佐藤秀雄大会登録委員長：それでは大会登録委員会からご報告を申し上げます。登録総数は1,644名となりました。内訳を申し上げますと、地区内会



参加クラブ

第3グループ 江別西RC



会長 石黒 良平



健康を維持してロータリーの100年を祝おう。1)健康であること、2)家族が円満であること、3)事業が健全に経営されていること、少なくともこの三つのことがあって始めて社会人としてロータリアンとして人生を楽しむことが出来ると思います。基本的なことですが今年度のクラブのテーマです。

登録会員名簿 (12名)

石黒 良平	上田 芳明	上光 一博
大森 和子	岡村 信明	鳥崎 修
谷江 吉之	土谷 茂樹	服部 渉
増山 柳	松下 文芳	矢澤 睦子





CELEBRATE
ROTARY

100 Years

～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

参加クラブ

第3グループ 岩見沢RC



会長 千田 一彦



あやめとバラの咲き香る岩見沢の地に誕生して50年、6月5日に記念式典を終えました。伝統を重んじつつも新しい息吹きをと心がけています。

登録会員名簿 (29名)

荒木 敏博	大屋 均	菊谷 悟
木元 久嗣	北澤 治雄	倉増 秀昭
小坂 昭男	小林 弘明	齊藤 修
嵯峨 義輝	佐藤 紀征	澤田 慎一
竹内 友康	千田 一彦	中塚 力
仲屋 成裕	早川 卓伸	林 秀徳
武蔵 輝彦	武蔵 信一	山岡 憬
前川 英雄	田苅子敬夫	原 保昌
鎌田 誠	勝井 裕幸	山口 順市
山根 良隆	山本 公彦	

員1,513名。ご家族64名。地区外会員9名。青少年交換留学生及び候補学生合せて10名。インターアクター顧問教師合せて6名。ローターアクター8名。米山奨学生16名。米山学友2名。ロータリー財団奨学生2名。ロータリー財団学友8名。苫小牧北ロータリー地域共同体6名となっております。合計致しまして1,644名でございます。以上、ご報告申し上げます。ありがとうございました。(拍手)

司会 (齊藤地区幹事) : ありがとうございました。続きまして、大会信任委員会報告を小林博大会信任委員長、お願い致します。

小林博大会信任委員長 : それでは、ご報告申し上げます。本大会に、各クラブより選挙人の信任状を提出して頂きました。ありがとうございました。これを、国際ロータリーの細則第15条第5節に基づきまして、信任状を慎重に審査いたしました。その結果、本地区の7月1日現在のクラブ数は、ご承知のとおり72クラブでございまして、会員数は3,136名でございます。従いまして、各クラブより提出されました選挙人の数は131名でございます。これを慎重に審査いたしました結果、全員が適格者であることを確認致しましたので、ご報告させていただきます。ありがとうございました。(拍手)

司会 (齊藤地区幹事) : 次に大会選挙管理委員会報告を遠藤正之大会選挙管理委員長、お願い致します。

遠藤正之大会選挙管理委員長 : 選挙管理委員会からご報告を申し上げます。地区の2005年～2006年度のガバナーエレクトについては、札幌東ロータリークラブの塚原房樹君が決定いたしております。



さて、2006年～2007年度のガバナーノミニニーについては、ガバナー月信、第2号、第3号において、10月3日必着で各地区内、各ロータリークラブに候補推薦を依頼しました結果、期日までに候補者の推薦がございませんでした。今後のご推薦をお願い致します。以上、選挙管理委員会からご報告とさせていただきます。以上でございます。(拍手)





奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

司会 (齊藤地区幹事)：次に大会決議案の上程を、岩城秀晴大会決議委員長よりお願い致します

岩城秀晴大会決議委員長：大会決議案を上程させていただきます。大会決議案については、上程させていただきますけれども、宜しくご審議を賜りたいと思っております。只今、プログラムの8ページに載っているわけですので、皆さん既にお目通しだと思いますけれど、ここで時間の関係上石井R I会長代理、並びに遠藤ガバナーのお許しを得まして、第1号より第14号までの要点のみを申し上げたいと思っております。決議第1号「国際ロータリーのテーマを推進する件」第2号「グレン E. エステス、シニア国際ロータリー会長、並びに石井治国国際ロータリー会長代理ご夫妻に感謝する件」第3号「2007年度規定審議会の地区代表議員候補者について承認を得る件」ですが、先に行われましたガバナー諮問委員会において、伊藤長英バスターガバナーが代議員に、森本バスターガバナーが補欠議員に決定致しております。次に、第4号「ロータリー百周年にあたる2005年2月23日に各ロータリークラブが百周年に因んだ会合を持つ件」第5号「会員増強と退会防止並びにクラブ拡大を推進する件」第6号「地域社会に対する奉仕活動を推進する件」第7号「安全な水を得られない人々を支援協力する件」第8号「2003年から2004年度の地区資金収支報告並びに監査報告を採択する件」第9号「国際ロータリー第2510地区直前ガバナー、佐藤秀雄氏に感謝する件」第10号「ロータリー財団の寄付増進に協力する件」第11号「米山記念奨学会の寄付増進に協力する件」第12号「国際ロータリー2005年国際大会シカゴへの参加を推進する件」第13号「次期地区大会開催に関する件」そして、最後でございますが、第14号「地区大会ホストクラブに感謝する件」以上でございます。宜しくご審議賜りますことをお願い申し上げます。以上でございます。(拍手)

司会(齊藤地区幹事)：岩城委員長、ありがとうございました。それでは、大会決議案の採択を遠藤ガバナーお願い致します。

遠藤ガバナー：只今、岩城秀晴大会決議委員長より決議案第

参加クラブ

第3グループ 岩見沢東RC



会長 渡辺 博人



当クラブは「小粒ながらもピリット辛い」といわれる様会員全員が切磋琢磨し仲良くを目指しています。また少年サッカーの応援、独居老人宅除雪等地域社会への貢献を目指しています。

登録会員名簿 (22名)

荒 洋介	石橋 宣利	勝田 秀樹
金子 賢一	坂口 堅一	関 二三子
滝本 妙子	田口 剛志	竹村 正義
田巻 敏行	津元美智代	長田 正文
南原 幹生	西原 宗幸	林崎 弘吉
平井 勉	細谷 義弘	松重 彰伸
山田 功	渡辺 勝治	渡辺 劭
渡辺 博人		



参加クラブ

第3グループ 栗沢RC



会長 宮森 俊一



緑豊かな田園の街栗沢町で40年の歴史を刻んだ栗沢ロータリークラブです。交通安全啓発キャンペーン等地域社会との連帯を強める運動を展開しながら“踏み出そう新しい一歩を”キャッチフレーズに、街の人々が豊かさを実感出来る田舎の里づくりに少しでも寄与できる道を、採り続けて行きたいと考えています。

登録会員名簿 (10名)

伊藤 アキ	岩田 隆	金山 英昭
川幡 直	小山 利雄	高野 正光
中田 信広	本田 正一	宮森 俊一
吉野 顕隆		

1号から第14号まで、ご提案がございました。これに賛同して頂ければ大きな拍手をお願い致します。 (拍手)

ありがとうございました。決議案第1号から第14号まで、皆さんの大きな拍手を持って決議させて頂きました。ありがとうございました。(拍手)

司会 (齊藤地区幹事) : 遠藤ガバナー、ありがとうございました。それでは、これより各委員会の活動報告に入らせて頂きます。最初にお断りしておきますが、本大会の時間の関係上、大変勝手ではございますが、家庭奉仕、子ども奉仕の各委員会は社会奉仕委員会に一括して報告になります。また、世界社会奉仕の各委員会は国際奉仕委員会、同じく国際親善奨学、財団学友。GSE補助金の各委員会は、ロータリー財団委員会、そしてインターアクト、ローターアクト財団の各委員会は、新世代委員会にてご報告を頂きます。それでは最初に、意義ある業績賞選考委員会の岩城秀晴委員長からお願いを致します。

岩城秀晴委員長 : 意義ある業績賞選考委員会、委員長でございますけれどもお手許のプログラム23ページをお開き頂まして、記載されておりますようにガバナーよりの意向に従いまして適正な選考を行ないたいと考えておりますことをご報告させて頂きます。ありがとうございました。

司会 (齊藤地区幹事) : 岩城委員長、ありがとうございました。つぎに、オンツーシカゴ委員会の小林委員長からお願いを致します。

小林委員長 : 高い席から失礼を致します。皆さんご存知の百周年記念のRIの国際大会がシカゴで行われるわけです。明年2005年の6月18日から22日でございます。折角の機会でございますので、当地区から出来るだけ多数の参加を期待したいと思います。で、この委員会としましては地区として一本だけ行程表を作ってみました。今朝ほど各クラブに一部ずつお渡ししてございます。飛行機のこともございますけれども





奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

一番頭の痛いのは宿舎のことでございます。その他、折角この百周年に因んで会期中に訪ねて見たいというところもお有りかと思しますので、オプションツアーも3つ程、用意してみました。私どもオンツーシカゴ委員会の皆さんとJTBの協力で作った素案がお手許にいらっしゃると思いますし、今日夕方からの展示もさせていただく予定でございます。で、どのような行程で行かれるかは、皆さん方、個人の自由でございます。只地区としての行程表に乗っていただきますと、比較的安く、行けるんじゃないかということでございます。つまり、小人数ではあまりメリットがないというんでしょうか。それで今日お出でのお隣の2500地区の牧野ガバナーにお会いしたらご挨拶しようと思って、まだしておりませんでした。もしお許しをいただけるようであれば、2500と我々2510地区とが一緒になって、北海道として予定されている北海道ナイトだけではなくて、飛行機も宿も出来たら一緒に行動したほうが何かと便利であるし、また、安くつくのではないかとということでございます。尚、大会登録やホテルの予約は申込書を配っておりますし、展示場にもございますが、これを参考にして頂きたいと思えます。ひとつだけご注意は、大会登録はR Iに各個人、あるいは各クラブを通して直接、大会登録はして下さい。書式は日本語でも書かれています。極めて、インターネットその他でも簡単に出来ます。只、飛行機ですとかホテルの予約は、勿論、個人でやって頂いて自由でございますが、金銭的、その他の面を考えてこの地区としてご用意致しました行程表に乗って頂いたほうがよろしい。これは、JTBの方に直接申し込んで頂きたい。で、その他詳細はR Iから出されております申込書に詳しく書かれていますので、そちらをご参考頂ければと思えます。展示場にもこういう地図を貼ってございますので、これを見ると一目瞭然、分かりやすくなっております。出来るだけたくさんの皆様方の参加をご期待申し上げて終わります。以上でございます。

司会（斉藤地区幹事）：つぎに、百周年運営委員会の岩城秀晴委員長、お願い致します。

参加クラブ

第3グループ 栗山RC



会長 太田ヒロ子



私達栗山ロータリークラブは、近隣の子供達の犯罪が日々増加している現状の中、私達が手を貸すことで、防ぐ事が出来ないか、教育委員会等との話し合いの結果、スポーツで、汗を流し、エネルギーを発散する事で、犯罪が減る事を願って、栗山ロータリー旗争奪野球大会を継続事業の1つとして、取り入れ、今年、第5回目を迎えました。

登録会員名簿（15名）

今井 敏明	梅津弥須治	太田ヒロ子
梶澤 忠彦	久住 八郎	小島 茂
小寺 進	佐藤 清夫	塩見 雅英
篠原 武	関 吉一郎	利国奈美子
友成 克司	広岡 秀博	松下 留雄



参加クラブ

第3グループ 当別RC



会長 島 義慈



当クラブは北海道医療大学が当別に移転になったのを機に札幌北クラブがスポンサーとなり発足しました。当別町は岩出山伊達藩により開拓されており、岩出山RCと姉妹クラブとなって交流が続いています。また、当別町がスウェーデンレクサンド市と姉妹都市であることからレクサンドRCとも交流を深めています。

登録会員名簿 (16名)

浅野 政一	大畑 博行	大澤 勉
小山田雄一	河村 佳男	近藤 勝宏
島 義慈	下段 寿之	千川原英二
泉亭 俊徳	高谷 茂	永上 巖
福井 昭和	見上喜久雄	六角 英一
脇島 鈴子		

岩城秀晴委員長：今日は何回も壇上に立たせていただきまして、心から厚く御礼申し上げます。にこにこボックス出さなくてはならないかなというぐらいに考えております。

百周年記念委員会のことですが、今年のテーマは百周年を祝おうという大きなテーマで、会長がテーマを捧げております。それにつきまして百周年を祝うということにつきましては、三年前に私がガバナーを終わりましたら、その後の直前ガバナーであります小林さんから「百周年を祝う記念を、あなたがやってくれないか」と、ご指名を受けまして、調子がいい私でございますので、お祝い事というのは調子が良くないと、百周年祝いたくないナーと、こうやっていますとお祝い事になりませんので、やはり喜ぶことをやろうじゃないのと、そして皆の気持ちを高めていかないとですね、百周年記念委員長としては務まらないわけございまして、まあそんなことで私、2005年に向かってこのように壇上に立たせて頂いて、この百周年の意義ある記念大会に、このように申し上げている次第でございます。皆さんご案内のように百周年、百周年とおっしゃって、私ども、皆さん方にお願ひ申し上げたり、クラブのところでは百周年記念委員会をつくって欲しいということ、会員増強のこと、それから寄付のこと、それからどうやって会おうかということ、それから皆さんとともにシカゴに行こうよということ、先程、小林さんがおっしゃっていましたが、やはりシカゴに行って、そして原点であるロータリーを見てこようじゃないか。そして、百周年を心から祝おうじゃないのという考えで、この三年ぐらいやって来たわけでありまして。皆さん耳にタコがついているかもしれません。RIの計画としては150万の会員増強、それからポリオプラス撲滅ですね、それから奉仕プロジェクト、一人当たり100ドル、百周年記念の国際記念大会に行く、こういうような動作をですね、やるべく図ってきたわけでありまして、この地区としてどんなことを考えているのかということで、百周年記念委員会としましてですね、アクションを起させて頂きました。実は今日ご発表頂きました3700地区との姉妹提携を締結させて頂くようになりました。これも一つの節目でありますし、3700地区とはですね、旧来からの友情と友好を持った地区でございまして、2510地区から桜の木





～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

を持って行って、そして植えたという記録もごさいます。そういう経緯もごさいます心と心の結びつきがこのような手続をされたのではないかな、こういうふうにごさいます。それと同時にですね、2005年5月1日には地区で何かお祝いをしたいなということでごさいます結果ですね、45グループ。45グループでごさいますから、札幌市内のグループでごさいますけれども、キタラでロータリーの賞を作ろう、青少年に向けての記念事業をやろうというようなことで、今45グループの方々が一生懸命お考えになっているようでごさいます。そして実行するようになったということも、今朝ほどお聞き致しました。まあ、そんなことで2つの大きな仕事をですね、百周年記念として推進さして頂いている訳でごさいます。尚、皆さん方にもですね、その他、百周年記念として何かこれをやりたいと、というような事でごさいますたら実行して頂きたい。例えばですね、札幌市内の地区に雪祭りというイベントでごさいます。2月にありますね。その2月に他国から、韓国または中国、フィリピンその他の各国々の方々がお出でになります、そのお出でになった方々の奉仕をする、というのもひとつの記念事業ではないかと思っております。そんなことで、これは実行するかどうか私の方で今現在、模索中でごさいます、そんなことを考えながら百周年を皆でですね、祝いをして頂ければこれに勝るものはないと思っております、ご報告をさして頂きました。ご静聴ありがとうございます。(拍手)

司会 (齊藤地区幹事) : つぎに、補助金勧告委員会の菅原委員長、お願い致します。

菅原委員長 : 補助金勧告委員会の菅原でごさいます。実は昨年度出来たばかりでごさいます、ロータリー財団のプログラム寄付が、適切かつ有効に使われているかということをごさいます。昨年度出来ましてですね、今年度初めて報告書を出そうと思ったんですが、あんまり寄付金が少ないので、話しなくていいと言われましたので、ほっとしておりましたので、良いんだか悪いんだか楽をさして頂いて



参加クラブ

第4グループ 札幌RC



会長 松本 脩三



昭和7年12月に日本で8番目のクラブとして東京ロータリークラブによって創立された。それ以来72年におよぶ歴史と、会員層の厚みが強固な運営基盤を維持している。現会員数は約130名である。その中在籍25年以上50年迄の会員が10名を超える。当クラブがホストとなって、道内主要都市に立ち上げたクラブ数は10におよぶ。

登録会員名簿 (28名)

相茶 俊介	荒 紀男	大野 俊幸
工藤 俊也	久保田俊昭	栗林 昌弘
栗山憲一郎	小山 司	坂本 眞一
櫻井 政経	指川 司	澤 泰宏
須賀 俊博	田島 隆男	滝澤 進
鉄井 勝之	富永 基	富原 薫
富原 睦子	中田 隆博	中山 茂
庭山 早苗	古野 重幸	牧野 哲也
松村 亮一	松本 脩三	山中 善夫
吉田 宏		



参加クラブ

第4グループ 札幌あけぼのRC



会長 久住 博



1991年に札幌手稲クラブをスポンサーとして創立し、13年を経過しました。会員数は最盛期の3分の1に減らしながらも「楽しい例会・楽しく奉仕」の合言葉で1年間全員100%出席を継続し頑張っています。

登録会員名簿 (16名)

秋野 公孝	笠原 嘉郎	木原 達彦
久住 博	小林 和明	鈴木 徹雄
砂原 雅治	染谷 重雄	高坂 輝雄
永田 省三	中野 裕之	西山 秀夫
蓑輪眞智子	安澤 正美	安田 敦司
油木 茂		

おりますが、今年度も最近の経済状況と会員数の減少から補助金が大変厳しい状況になっておりますが、関連委員会のロータリー財団並びに地区の補助金委員会と、各クラブからいろいろとプログラムが提案されておりますが、その提案書を十分検討致しまして完了後はその報告書を閲覧しまして、補助金が有効かつ適切に使用されているかということ、今年度もキチッと監査していきたいと思っておりますので、よろしく願い致します。以上でございます。(拍手)

司会(斉藤地区幹事)：つぎに、拡大委員会の遠藤正之委員長、お願い致します。

遠藤正之委員長：拡大委員会でございますが、結論から申し上げますと今年度の拡大は不発でございました。可能性のある12の地区について拡大委員会でいろんな調査を行ないまして、企画したんでございますけども、やはり現在の経済状態、それから既存のロータリークラブの会員減少からして、やはり拡大は無理と思ひ、今年度は見送ることに致しました。以上、ご報告させていただきます。

司会(斉藤地区幹事)：ありがとうございます。続きまして、会員増強委員会、佐藤秀雄委員長、お願い致します。

佐藤秀雄委員長：お手許の24ページに書いてございますけれども、会員増強委員長の佐藤でございます。2510地区におきましても1996年、97年がピークでございました。4千数百名の会員を要してございました。現在は先程ご報告ございましたように3,167名、千数百名が減っているわけでございます。これを皆さんのお力で何とか増強に転じたいとそういうふうにおもひまして、8月21日に72クラブから会員増強委員長さんが集まりまして、セミナーを開かせて頂きました。RI第1ゾーン会員組織コーディネーターの高橋さんもお見えになりまして、いろいろなアドバイスを受けたわけでありまして、当委員会の構成メンバーは12名のガバナー補佐でありまして、何とかこの百周年に因んで、この辺で会員減少の底上げをしたい、そういうふうにおもっているわけでありまして。高橋さん





奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

のお話によりますと、本州の方はようやく景気が回復されて、少し下げ止まりになってきたと、こういう報告がございましたし、それからR Iの方と致しましては年間8,000人くらいの減少を見ているわけではありますが、その8,000人の中の半分、4,000名が日本のロータリアンが占めてらっしゃるとこういうこともございました。北海道は非常に厳しい経済環境でございますけれども、会員増強委員さんのご努力によって3,300名ぐらいまでは今年度、回復をしたいなと思って、実はそんな希望をもって活動をしている訳でございます。このロータリー百周年に因んで、各クラブ会長、幹事さんのご協力を得て増強に転じて行きたいと、心から願っております。以上、ご報告いたします。ありがとうございました。(拍手)

司会(斉藤地区幹事)：ありがとうございます。次に、職業奉仕委員会、富岡公治委員長、お願い致します。

富岡公治委員長：それでは、職業奉仕委員会の報告をさせていただきます。

1905年2月23日にポール・ハリスが3名の友人と共に、ロータリーを創立されて以来、職業奉仕、職業人の確立という柱の重要性は今も尚、変わらないと思っております。

当職業奉仕委員会は、創立者ポール・ハリス、セルロン、コリンズ等のロータリー理念の創立者達理念を確固として守り抜き、普及宣伝に務めると、特に今月は職業奉仕月間でございますけれども、職業奉仕の理念について、各クラブの皆様にもう一度、思い出して頂くようお願い致す所でございます。職業奉仕の最も有名な標語でございます—He Profits Most Who Serves Bestが、5年前のR I月間において一旦は消滅しその6ヶ月後に復活したことにつきましても、一昨年のR I会長が札幌のパークホテルにおきまして、札幌4クラブの例会において日本からの努力でこれが守り抜かれた事を聞きまして、改めて職業奉仕の理念を守らなければいけないということを強く思いました。ところで、今年度の遠藤ガバナーの各クラブの公式訪問が終わったということで、各クラブにおいても同様のことを遠藤ガバナーはお話なさったと



参加クラブ

第4グループ 札幌はまなすRC



会長 坂田 文正



平成4年の設立以来様々な奉仕活動に取り組む24名の会員。ボランティア、交換留学、国際親善奨学生の選出と国際的な事業に積極的に取り組む。全員がポリオ、年次寄付に取り組む寄付目標も達成。親睦例会も好評、今年は地区委員3名が選出された。ロータリー誕生100年の喜びを共に祝いましょう。

登録会員名簿 (15名)

浅井	言	岩崎	和子	大石	春雄
岡西	功	坂田	文正	坂本	省司
寺本	正司	遠島	芳然	戸部	アナマリア
丹羽	肇	野村	勝隆	玉造	啓子
佐藤	一	松尾	浩之	光川	眞量



参加クラブ

第4グループ 札幌北RC



会長 深浦 信吾



JRタワーの傍にあるセンチュリーロイヤルホテルに例会場を持ち、来年35周年を迎えます。会員数は半減しましたが、ガバナーを3名輩出している力あるクラブです。「和を以って貴しとす」。今年度は内部を充実し魅力ある会への脱皮を図っています。

登録会員名簿 (20名)

池田 輝雄	伊藤知佳子	井上 勝一
大田すみ子	大西 忠男	木村 芳江
小林 孝夫	小林 俊之	小林 博
小林 幸子	佐藤 公	三味 正明
城木浩一	菅原 耕治	高橋 麗秋
竹原 巖	長太 義雄	樋口 正明
深浦 信吾	米山 道男	

思いますけれども、RI前会長やエステス会長も百周年に当たりまして職業奉仕の理念を強調して高く掲げると言っていたわけで、そういうことを強調致しまして、職業奉仕委員会の報告とさせていただきます。ありがとうございました。(拍手)

司会 (齊藤地区幹事) : 次に、社会奉仕委員会、鈴木委員長、お願い致します。

鈴木委員長 : 只今、紹介頂きました社会奉仕委員長の鈴木でございます。地域のニーズに応えた社会奉仕活動というのは最もやりがいのある活動でございます。現在それぞれのクラブがその地域性にあった奉仕活動をされていることに心から敬意を表したいと思います。



地区委員会は、各クラブが効果的な社会奉仕活動に取り組めるように推進していきたいと考えております。その取組みのひとつと致しまして、地区外4ヶ所で、今年は苫小牧、滝川、函館、札幌で4月から8月にかけて、社会奉仕に関する意見交換会を開催いたしました。2つ目は2003、4年度に実施されました地区外クラブの社会奉仕活動の機関本を作成致しました。この冊子は、各クラブがより地域に密着することに役立つものと確信致しております。そして、ロータリー活動においても役立つものと確信致しております。

次に家庭奉仕委員会和田委員長からの報告であります。家庭内の人間関係に関する国際比較調査の結果を見ますと、我が国の家庭環境は極めて深刻な状況にあります。そして我が地区でも例外ではないと考えております。3年目の家庭奉仕委員会としては、各クラブの家庭奉仕をテーマとする単独又は合同での訪問会、懇談会などを通して家庭内暴力や児童虐待、現在における親子夫婦のあり方などに絞った公開シンポジウムを、各クラブで開催して頂きたいと考えております。次に子供奉仕委員会、宮野委員長からの報告をさせていただきます。未来を担う子供達は申すまでもなく、大切な存在であります。子供奉仕委員会はロータリアンに相応しい職業奉仕活動と致しまして、小中学校の授業を見ましよう、小中学生を職場に招いて職業体験して貰いましよう、と会員に呼びかけ





～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

ております。そして現在の委員会はロータリー内での広報と、そして協力して頂ける会員の名簿づくりを致しております。間もなく協力会員名簿が完成致します。この名簿の有効活用を、地域の小学校に働き掛けて頂きたいというふうに思っております。現在35クラブから延べ278人の登録がございます。登録はまだ間に合いますので是非登録をお考え頂きたいと思っております。登録方法などにつきましては、明日、本会議場横で開かれるパネル展での会場で説明致します。これも是非活用頂きたいと思っております。以上で、家庭奉仕委員会、子供奉仕委員会からの報告とさせていただきます。どうもありがとうございました。(拍手)

司会 (齊藤地区幹事) : 次に、国際奉仕委員会、橋本委員長、お願い致します。

橋本委員長 : 国際奉仕委員会は、世界と会員を結ぶ地区の表玄関の役割を果たし、外国との友好親善活動は、相手国やクラブについて綿密な調査、情報収集や確認作業があります。この為、先を見越した長期計画が必要と思われれます。そこで今年度から委員を8名投入して、地区全体を見渡す長期展望の元、外国とクラブを結ぶコーディネーターとしての役割を果たすと思っております。そこで、友情交換委員会を国際奉仕委員会にもってきて、花井委員長をリーダーとして、これまでの実績を生かしながら、この地区に相応しい国際奉仕委員会を準備してきたのであります。特に今回は百周年委員会において、2510地区と韓国の3500地区との間で姉妹提携を明日、調印式が執行される予定でございます。そこで当委員会では、今後の両地区の親善交流が円滑に進展するよう支援態勢を整える次第です。また、台湾の3480地区とのクラブ間の運営交流に関心があると承っておりますので、是非実現していきたいと思っております。次に国際奉仕委員会は世界社会奉仕委員会とロータリーの親睦活動との2つの交流会がありますので、それぞれの委員会が活発に事業を展開して、特にWCSは途上国を対象にした大変複雑な人道支援を行っておりますが、相手国、相手クラブについて事前に十分な情報を集め



参加クラブ

第4グループ 札幌モーニングRC



会長 大熊 慧教



札幌市内唯一、朝に例会を行っており、ラジオ体操から始まります。また、クラブ独自のオリジナルソングを3曲持っております。奉仕活動の「カミネッコン植樹」は今年度も実施予定で3年目になります。同好会は19あり、特にアウトドア・スキー・ゴルフ各同好会は活発な活動をしております。友好クラブは旭川・青森・川口・京都各モーニングロータリークラブと締結をし、定期的に交流をしております。

登録会員名簿 (13名)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 赤裏 茂 | 石田 幹二 | 井野 智 |
| 梅津 征夫 | 大熊 慧教 | 太田 勝久 |
| 加我 稔 | 小松崎文一 | 露木 茂 |
| 平田 博史 | 宮部 光幸 | 篠原 達雄 |
| 吉田 義一 | | |



参加クラブ

第4グループ 札幌西RC



会長 矢橋 温郎



本年44周年を迎えた札幌西RC。会員数ピーク144名、現在70名余に半減するも、過去4人のガバナーを輩出す。日出づる東に非ずと雖も、日没する西には非ず。日はまた昇るの力を秘めて、焦眉の急たる会員増強に総力を結集すると共に、職業、社会、国際及びクラブの四大奉仕の目標たる奉仕の理想に邁進中である。

登録会員名簿 (26名)

東 敏彦	石黒 直文	石丸修太郎
大金 武夫	大越 克巳	濁沼 憲三
川田 弘	北川 誠	北島 清
佐藤 哲哉	佐藤 裕一	高下 泰三
田宮 哲夫	村木 正文	戸部 謙一
中村 真規	橋本 信夫	畑山 博
東原 秀行	前原 絢子	宮越 陽一
宮崎 善昭	武藤 順	村上 登
矢橋 温郎	吉田 延明	

て実施され、また WCSプログラムの実施に当たり莫大なエネルギーと費用が掛かるわけでございます。そこで今年度は、斉藤委員長の音頭で、地区地区だけでなく、会員やご家族にも参加して頂いて人道的支援プログラムを推進していきたいと思っております。来月から書き損じハガキを回収していきますのでよろしくお願い致します。その時期については、改めてご連絡致します。これまでの各クラブから寄せられました事業につきましては、滝川のロータリークラブからタイの親交支援者を、札幌西ロータリークラブからフィリピンのスラム街開発のための献金、それから江別ロータリークラブからはネパールにおいて学校建設を支援し、千歳ロータリークラブと千歳セントラルロータリークラブと一緒にフィリピンのパラオ島に親交支援者を送るという計画がございます。次に親睦活動委員会について、今年度から委員長のリーダーシップのもとで、従来の趣味の会や同好会から脱皮して、国際親善をキーワードとした大きな観点からの親睦活動を予定しております。これらのことから国際ロータリーが外国の情報を集めてそれぞれの会員に届けたり、また各クラブの国際奉仕関連事業に対して支援をする組織として役割を果たす訳でございます。このために出来るだけ早く、インターネットによる各クラブとの報告会のネットワークを行ない、またこの委員会のメンバーは、私を含めて新人ばかりでございますので、これから地区の関連委員会、各クラブの国際奉仕委員会と連帯感を持ち、情報交換を密にした事業展開を考えているところでございます。よろしくお願い致します。(拍手)

司会 (斉藤地区幹事) : 次に、ロータリー財団委員会、遠藤正之委員長、お願い致します。

遠藤正之委員長 : ロータリー財団と申しますと、耳をほじって聞いて頂きたいと思っております。ご存知のとおりロータリー財団には4つの小委員会がございます。今日は時間の関係で、私が総括して発表させて頂きます。百周年を祝うという、いろんな契約がなされておりますが、百周年を成功させ、ロータリーのモチベーションを高めるために、財団プログラム、財団の姿を理解して、皆さんに「エブリロータリアンエブリ





奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

イヤーズ」という格言を耳の中に入れて頂きたいと思ひます。本当にロータリーの百年を祝うためには、全員が一人100ドルの寄付をして頂くこと、これが本当のロータリーを祝うことだろうと思ひます。よろしくお願ひ致します。

ちょっと時間を置きまして、国際親善奨学委員会でございます。5、6年の候補者9人に対しまして、オリエンテーションを行ないました。また、5010地区ロシアからの3ヶ月の文化研修を受け入れております。9月1日から清田クラブと新札幌クラブがスポンサーを致しております。次に、GSE委員会でございます。3350地区、これはタイでございます。私の年度にRI会長代理としていらして頂いたムラセパナムウンの地区でございます。ここから、チームリーダー1人、4人の女性団員が来ております。今大会にも出席致しております。10月31日に帰国する予定でございます。明年は派遣の年でございます、この地区から団員を現在募集中でございますので、どうぞよろしくお願ひ致します。次に財団学友委員会でございます。これは発足して4年目でございます。今回の地区大会のフォーラムの実現がこの財団学友の実を結んだものと思っております。

今回、財団学友総会を開きましてロータリーアン参加型の総会を致したいと思ひます。どうぞ賛助金等のご寄付をお願いしたいと思ひます。次に補助金委員会でございます。これは先程発表がございました管理委員会でガチッと管理されております。地区補助金、個人補助金、またマッチングプランでございます。因に03、04年度のBDFの利用状況についてお知らせ致します。BDFは284,151ドル22セントでございます。その内、教育的分野に196,000ドル、これは11名、3ヶ月×5.6×2.1年×2.2でございます。次に人道的分野、これは地区補助金でございます、37,000ドルございまして、11件に対して支払済でございます。他地区への寄付は24,000ドルでございます。これはロシア5010地区への3ヶ月研修の分でございます。また、国際問題研究のためのロータリーセンター、これは世界平和奨学金でございます。これに、25,000ドルを出しております。残金は2,151ドル22セントでございます。以上ご報告と致します。(拍手)

参加クラブ

第4グループ 札幌西北RC



会長 新谷 喜信



札幌西北RC発足当初よりのテーマである「明るく楽しく出席しやすいクラブ」となるよう心がけ以下の目標を定め一年間活動してまいります。1-親睦を深めましょう。2-退会防止・会員増強につとめましょう。3-ロータリーをよく知り協力しあいましょう。4-ロータリー財団・米山記念奨学会へ協力しましょう。

登録会員名簿 (26名)

秋山 秀雄	穴倉 迪彌	大島 利一
大野 義雄	大橋 陸男	加藤 武久
工藤 康雄	久保 隆	斎藤 博義
嶋 和幸	新谷 喜信	鈴木 伸哉
多米 豊	田中 國光	谷口 二郎
出口 元治	富岡 公治	中嶋 成実
西岡 憲廣	藤居 貢	馬杉 榮一
三上 直彦	森本 正夫	八木 忠雄
山崎 晴嘉	渡邊 葉子	



参加クラブ

第4グループ 札幌手稲RC



会長 岡田幸四郎



80名を越す会員が現在41名。次の点を留意している。①会員増強、特に元会員の方の再入会に力を入れている。(今年になって三人が再入会)②少人数という利点をクラブの活性化、親睦増強に活用する(イ、高い出席率の維持、ロ、少人数でのミーティング)。本年度会長テーマ“ロータリーの原点に還ろう”が合言葉である。

登録会員名簿 (18名)

石田 誠	岡田幸四郎	小山 秀昭
酒井 孝夫	高橋 敏雄	瀧川 哲夫
中川原 憲	中村 和雄	丹羽 祐而
肘井 博行	平田 勝美	福井 敬悟
松下 正雄	松崎 幹	村田 彰夫
山地 庸夫	山谷紀巳夫	山本 雅章

司会 (齊藤地区幹事) : 次に、新世代委員会、細川委員長、お願い致します。

細川委員長 : 新世代委員会の細川でございます。



プログラムの27、28ページをご参照頂きたいと存じます。新世代委員会は、前途洋々たる0歳児から30歳の皆さんに、未来を託すプログラムを担当する委員会でございます。新世代の皆様をロータリーの家族として、理解を求めあうことは人間としても、その倫理の道を極めることにつながると思います。地区の組織の改革を決断をされました小林ガバナー次年度より、インターアクト、ローターアクト、ライラ、そして青少年交換の4つの委員会が、この新世代委員会のグループに組織されました前新世代委員長の奥槻さんは、「実行の難しさを味わった時代だ」と繰り返しておられます。そんなことで、4委員会の活動報告でありますけれども、最初に世界平和を目指すロータリーに尊い学ぶ機会を与えてくれますインターアクト委員会、この委員会は札幌東クラブの堀田昌資委員長が中心になりまして、8月の海外研修で海外韓国、子供の施設になりますが、教正院を訪問されまして、園生との交流、歌の交換、慰問品のプレゼントを致しまして、韓国の歴史、そして遺産を視察をして帰って来ております。同じく8月には2800地区、山形県のインターアクターと札幌市内で交流をしまして、宿泊される登別市で、遠藤ガバナーの激励を頂いております。9月にはライラセミナーに23名のインターアクターと6名の顧問が参加を致しております。次に地域への奉仕、国際、国内交流を通じて青年男女の個々の能力開発に関するローターアクト委員会、この委員会は札幌南クラブの柳孝一委員長が中心になりまして7月末に、清掃作業と親睦を兼ねて岩内町でキャンプを行なっております。岩内ロータリークラブの会長幹事さんより激励を頂いておりますが、9月には留萌ロータリクラブの支援を頂いて地区セミナーを開催しております。同じ9月のライラセミナーでは国際親善奨学生、米山奨学生と共に演習と交流を深めております。次に、独自のプログラムを展開している新世代グループが一堂に会する、青少年指導者養成プログラムを担当するライラ委





奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

員会でありますけれども、これは札幌西クラブの宮崎善昭委員長が中心になりまして、9月の新世代のための月間に合わせてライラセミナーをジュニアクラスとシニアクラスに分けて行なっております。今年のテーマは「人権について考える」ということで、一泊二日で開催を致しておりますが、人権や差別そして虐待について、いろいろな事例や体験を通して自分のこととしても無関心ではいけない、そういうことなど、新世代の貴重な意見が出されて大変、意義のあるプログラムでありました。最後にロータリーの親善使節として派遣、学園を青少年交換プログラムに取り組む青少年交換委員会は、岩内クラブの野澤幸平委員長が中心となりまして、受入、派遣共にオーストラリア4名、アメリカ2名、カナダ1名のお世話をされております。野澤委員長のオリエンテート、さらに歓送迎会、キャンプ、ライラセミナーの参加など日本文化を世界に発信する作業に汗をされております。以上、新世代委員会の現在までの活動報告であります。各委員会ともそれぞれホストクラブ、ホストファミリーにとって、特段のご支援とご協力を頂いておりますことに、この場をお借りして感謝を申し上げまして、今後とも引き続き変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますことを、お願いを申し上げます。新世代委員会からのご報告に代えさせていただきます。ありがとうございました。(拍手)

司会 (齊藤地区幹事) : 次に、米山記念プログラム委員会、竹原巖委員長、お願い致します。

竹原巖委員長 : 米山記念奨学委員会と米山学友委員会の活動についてご報告申し上げます。

米山記念奨学委員会は奨学生と米山奨学会並びにクラブ及びロータリアンとのパイプ役として、米山学友委員会は奨学期間を終えた奨学生OBの学友会をフォローアップし、相互理解を深めるための役割を担っております。本年度、私達の委員会は、具体的な活動と致しまして、7つの項目を掲げています。そのひとつに奨学制度について理解をより深めて頂けるよう、多くのクラブを訪問し卓話を実施することを掲げます。10月は米山月間であ



参加クラブ

第5グループ 札幌東RC



会長 小田切房之



創立46周年を迎えました。昨年度は、会員減少傾向に歯止めをかけ17名の新入会員を得て、7名の純増を果たしました。次年度は、当クラブからガバナーが出ますので、ホームページの開設、総務委員会をつくる、等の土台固めをします。会長方針『うすら、ほんやり』は、ロタキチだけによるロータリーではなく、全員で少しずつの貢献をめざしています。

登録会員名簿 (72名)

青木 功喜	朝倉 正人	朝倉 良子
新井 和廣	荒岡幹史郎	池田 光司
伊藤 公一	岩崎 修一	上田 進
梅沢 英行	大橋 康次	奥茂 信行
小田切房之	笠原 昇一	鍛冶 努
加藤 國彦	加藤 貴雄	河瀬 雅英
川幡 宏一	菊地 章	菊地 弘嗣
木村 輝美	黒澤 昌彦	小林 隆聖
米谷 龍三	齋藤 雅之	酒井 純
笹川 健二	佐々木泰男	佐藤 芳郎
清水 哲	白石 正勝	鈴木 請一
鈴木 俊幸	須田 幸男	瀬尾 昌資
関堂 勝幸	田尾 重良	大 公一郎
平 公夫	高橋 徹	武田 俊男
田中 潤	田中 新一	谷口 博
張 相律	塚原 房樹	塚原 孝子
土倉 裕之	土谷 俊彦	坪井 碩喜
長澤 昇司	名塩良一郎	南原 康二
西村 孝治	西村 恒夫	野村 昭光
橋本 雄司	坂東 宗一	藤井 英勝
星野 恭亮	堀田 昌資	松宮 國彦
本村 孝幸	八木 徹	安田 經
柳澤 宏	矢橋潤一郎	山口 史朗
山中 樹	依田 忠敏	米津 肇

参加クラブ

第5グループ 札幌清田RC



会長 高橋 宣充



創立7周年を迎え、今年度から新しく「ふれあい委員会」を設置しました。施設の子ども達との真のふれあいができる活動を行いたいと思います。また、前年度には環境保全の一環として、120本の植樹を行いました。汗を流し、会員の団結力が一層と強まったように思います。

登録会員名簿 (17名)

江口 洸	遠藤 敏哉	柏倉 慎
小島 健	小仲美智子	作地 弘美
高橋 宣充	玉井 清	中島 永昭
堀 理人	沼館 栞	真鍋 昌市
三澤 龍子	三戸 和昭	村本 忠
桃井 康夫	若林 成治	

り、世話クラブの24クラブは勿論のこと、その他のクラブでも委員長や委員が奨学生に同行致しまして、二十数クラブの卓話を実施させて頂いている。これからまだ未実施のところもありますので、実施しているところが、二十数クラブになっております。

2つ目の活動と致しまして、奨学生に地区行事、クラブ行事並びに地域の行事に積極的に参加をして頂きまして、ロータリーアンや地域の方々と相互理解を深めるためのイベントをすと、掲げました。6月19日に開催されますが、長沼町の国際フェスティバルに奨学生並びに学友が多数参加し、地元の方と交流を深められました。また9月11、12日に開催の地区ライラセミナーにも奨学生が参加致しました。そして、クラブ行事にも積極的に参加して頂きまして、ロータリアンとの絆を深められ、奨学事業の理解促進の一翼を担って頂きました。3つ目の活動として、世話クラブ、カウンセラー指導教官との交流親睦を図り、奨学生が安心して留学生活、研究学問に打ち込める様にサポートするとします。この活動には新規奨学生のオリエンテーションを行い、奨学生のあり方等について説明を致しました。また、本年度地区として初めてのことでございますけれども、カウンセラーの為の研修会を実施致しました。奨学事業の成否はカウンセラー如何に関わっていると言われるほど大切な役割でございますので、体験者のお話を交えまして、2時間にわたる研修会を開催致しましたが、その成果はこれから確実に出てくるものと期待しております。11月7日には奨学生、学友そして家族、また多くのロータリアンに参加頂きまして交流会を開催したいと計画しており、是非大勢の方のご参加をお待ち申し上げます。続きまして学友委員会の活動は、12月に総会並びに交流会、そして6月には登別においてロータリアン、学友並びに家族など、大勢の参加により交流会が開催されました。また、毎年発行しております学友会だよりも、本年度も発行され、明日の本会議の2日目に行われます米山奨学会の展示ブースがございますけれども、そこにも置いてございますので是非、展示ブースにお立ち寄り頂きまして、その学友会だよりもご覧頂きたいと思っております。奨学委員会や学友会のそれらの活動を通じまして、奨学生並びに奨学事業に理解が高ま





～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

り、自ずと寄付増進につながりまして、また国際親善に寄与するものと信じて、これからも活動を活発に続けていきたいと思っております。どうぞ皆様よろしくお願い致します。以上です。(拍手)

司会 (齊藤地区幹事) : 次に、広報委員会、小林俊之委員長、お願い致します。

小林俊之委員長 : 広報委員会は、各クラブでの百周年を記念する活動がどのように行われているか、その取組みを昨日の時点までのアンケート調査を実施致しました。ちょうど半数の36クラブから回答を頂きました。その内容でございますけれども、クラブ単独で活動を開始しているクラブが3、4クラブございます。また、計画が既に出来てこれから実施するクラブが1/3強の13クラブ、まだ検討中あるいはこれから検討するが17クラブ、また今のところ計画がないクラブが10クラブあります。半数のクラブからの回答でございますので72クラブの内の約50クラブぐらいがまだ検討中ということになるかと思えます。2月23日は近くのクラブと合同例会が行われ、第1グループでは、留萌で百周年記念全道大会、また第9グループでは奨学生の作文コンクールを行なうなどグループ単位での計画もいろいろされているようでございます。明日の大会に広報のブースもご高覧頂ければ幸いです。また、良きプロジェクトは広報に知らせて頂くようにと思っております。どうぞよろしくお願い致します。(拍手)



司会 (齊藤地区幹事) : 次に、情報配信委員会、山田信夫委員長、お願い致します。

山田信夫委員長 : 情報の分野に於ましては2004年、議案その後の手続などについて、お知らせをさせて頂きます。個別には地区内から2件、地区外から1件のお問い合わせを頂きまして、回答させて頂きました。その他、ホームページに関連の報告があります。ICインターネットコミュニケーションの分野



参加クラブ

第5グループ 札幌幌南RC



会長 土谷 享



今年、40周年を迎える、我が幌南RCは、会員数73名をもって札幌の南地区で、土谷会長を中心に活動中です。今年はRC100周年を祝い同時に自分のクラブの記念する年でもあり、総員一丸となって、只今燃えております。RACも30周年と、トリプル祝賀会で、会の充実を計って参ります。

登録会員名簿 (27名)

秋庭 富男	有田 均	板橋 俊
内田 豊	海野 英爾	遠藤 正之
遠藤友美恵	加藤 康夫	鎌田 洋
熊谷 泰隆	近藤 浩	酒井 俊樹
佐々木雅之	高島 英寿	土谷 享
戸井 敏夫	砺波 寿	中川 勝之
中島 勉	羽部 大仁	深田 博司
前田 恒雄	森 正志	柳 孝一
山下 信行	山名 善久	和田 壬三



参加クラブ

第5グループ 札幌真駒内RC



会長 藤井 久弥



四季折々の美しい札幌市南区を主地域として、創立以来30年ロータリー活動を行っております。小世帯ながら会員の相互の理解・親睦の密度も高く、家庭的な雰囲気のあるクラブであります。地域に立脚した奉仕活動を宗とし、真駒内公園には20年間にわたり植樹、美観に寄与しております。また財団・米山・姉妹提携等にも意を注いでおります。

登録会員名簿 (20名)

藤井 久弥	浜井 俊弘	稗田 亨
神谷 英光	金坂 和正	川越 仁
黒田 一夫	丸山 淳士	中村 孝一
中山 裕視	小野寺鉄男	斎藤 康嗣
佐々木 敦	佐々木則秋	佐藤 泰彦
高坂 勝義	渡辺 修	山田 一也
吉村 洋吉	浦谷 秀雄	

では、皆様に実施して頂いておりますメールマガジン、これにつきましては、今年度は複数の配信者が配信を可能にするシステムを導入致しました。これによりタイムリーな配信をすることが可能となりました。このプログラムの29ページに配信数が28となっておりますが、正しくは452あります。現在のところ452のアドレスに発信しております、検討を頂いているクラブも沢山ございまして、これらを含めると600以上の受信を頂いていると、言うふうに考えております。現在のところ配信したメールマガジンの号数で言うと、昨日まで40号配信しております。それから、地区のホームページですが、ページの更新の件数が、最新の情報ですと、7回のところが現在12回になっております。これはガバナー月信とかポリオプラスなどのページを共に更新しておりますが、特にポリオプラスのページにつきましては遠藤ガバナーのご指導を頂いて、知っているようで意外と知らない情報ですとか、世界中で本当に今、何をロータリーアンに期待しているのといった、只単に数値目標といった断面ではなくて、何故必要なのかと言う切り口でもって、地区のホームページで紹介をさせて頂いております。明日の会場の展示ブースでも、ホームページをご覧頂けるようにしておりますので、是非この機会に見て頂ければと思います。それから、トピックスなどでは11件が現在のところ12件の更新をしております。これもガバナー公式訪問などに各クラブを回られた時の写真を含めた情報を掲載させて頂いております。地区のホームページカウントは現在のところ2,059となっておりますが、2,787となっております。それからホームページスペースということを地区ではやらせて頂いてございまして、札幌南ロータリークラブさんが、最近このスペースを利用しまして、クラブのホームページを開設されております。ホームページをクラブで立ち上げる際の加工とサーバーのスペースを提供するものであります。地区のホームページから申し込みが可能ですので、今後立ち上げるクラブがありましたら、一度こちらをご覧ください。補足になりますが、地区外でのホームページの開設は現在、24クラブになっております。また、明日の展示ブースでは愛知県で行われる万博の中にロータリー館というものがありまして、こちらを紹介するパンフレットも若干数ですが展示させ





奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

て頂く予定でございます。日本工学院さんからパソコンをお借りしまして、展示ブースでのインターネットを実現しておりますので、操作について、インターネットに関わることでお聞きになりたいことがありましたら、直接聞くのが1番分かりやすいものですから、是非ブースにお立ちより頂いて、コミュニケーションをさせて頂ければと思っております。以上です。(拍手)

司会(斉藤地区幹事)：尚、本日欠席の委員会につきましては、お手許の資料をご参照して頂きまして、報告とさせて頂きませす。以上を持ちまして委員会報告を終了させて頂きませす。

只今を持ちまして総会第一日目の報告の部を終了させて頂きませす。皆様ご協力誠にありがとうございました。

記念フォーラム

テーマ「私たちの異文化体験と国際親善」

総合司会 中島 勉 (財団学友委員会・札幌南RC)
小野寺桂子 (財団学友会)

司会(斉藤地区幹事)：それでは只今より2510地区大会記念フォーラムを開催致します。テーマは「私たちの文化体験と国際親善」、フォーラムの進行は財団学友の皆様をお願い致します。

司会(財団学友委員の中島さん)：皆様、お疲れのところもう少しお時間を頂戴したいと思います。私達、財団学友が手塩にかけて育て上げた学友の皆様が、皆様の前でいろいろな体験を発表してくれます。どうか最後までおつきあいを下さい。私、司会を担当致します財団学友委員の中島です。そして



司会(小野寺桂子さん)：学友の小野寺桂子と申します。よろしくお願ひ致します。(拍手)

開会に先立ちまして、ピアノの演奏を披露して下さったのは2001年度GSE、北川真理さんで



参加クラブ

第5グループ 札幌南RC



会長 須田 義雄



「和やぎの精神」をモットーに、会員が和やかに、親しみをもってロータリー活動に励んでいます。親睦をはかりながら奉仕活動を実践することを心掛けています。

登録会員名簿 (16名)

岩城 秀晴	岩城 節子	金井 重博
金井 英明	菊地 恒	工藤 武久
熊本 努	須田 義雄	田嶋 久嗣
武部 實	トキル・クリステンセン	服部 信吾
小川 裕二	竹山 涼一	平野 秋廣
村山 圭一		



参加クラブ

第5グループ 新札幌RC



会長 有田 京史



当クラブは、今年6月に20周年を迎え、ロータリー100周年という輝かしい年度に新たな第1歩を踏み出しました。今年度は100周年を祝いつつ、当クラブ足固めの年度として柔軟で効率の良い組織・財政・クラブ活動そして留学生支援（米山・国際親善・青少年交換 計5名）を目指してゆきたいと思っております。

登録会員名簿（9名）

有田 京史	石黒 光男	石田 茂夫
井原 敏男	梅田 鉄夫	嘉屋 輝夫
小野 修	瀬川 俊男	望月 好明

す。（拍手）

後ほどパネルディスカッションに登場して頂きます。

司会（財団学友委員の中島さん）：最初に、当地区の地区財団委員長でございます、遠藤正之パストガバナーに、大会の挨拶をお願い致します。

遠藤正之パストガバナー：先程来から何度も演壇に立っております財団委員長の遠藤でございます。

今、司会の方からお話されたように、財団学友委員会が発足して4年目です。地区大会という貴重なときに、このフォーラムを開催させて頂きありがとうございます。このフォーラムの企画は、エステスRI会長の3大目標のひとつである財団の教育プログラムの一環であると思います。元GSE団員、元財団奨学生が選ばれて一定期間海外に派遣されて異文化を学び、国際親睦という大きな役割を果たし、そして国際人として帰国し、それを社会に還元するという、大きな使命を果たしつつあります。これらの学友が与えられた時を如何に過し、どんな体験をし、それらを持ち帰り消化しているか、それを国際人として皆様にお話する機会でございます。このフォーラムを通して、きっと皆様は大きな感動を得ることと思います。また、財団にご理解を頂き、皆さんのモチベーションを高めて頂けると思います。少しでも多くの時間をこのフォーラムに費やすために、私のご挨拶をこれだけとさせて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。（拍手）

司会（財団学友委員の中島さん）：遠藤ガバナーどうもありがとうございました。

それでは早速フォーラムを開始致します。今後の司会、小野寺桂子よりお願い致します。

司会（小野寺桂子さん）：本日のフォーラムは三部構成になっております。

まず基調報告、お二人の方にそれぞれの留学経験をお話して頂きます。その後、パネルディスカッション、そしてタイGSEの紹介となっております。





奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

まず、基調報告ですけれども、梶川裕史さん。2000年度奨学生で1年間メキシコへ行かれております。

お二人目が高橋あゆ美さん。2000年度奨学生文化研修で3ヶ月間ドイツに行かれました。では梶川さんからお願い致します。梶川さんのテーマは「メキシコが教えてくれたこと」です。

梶川さん：皆さん今日は、只今ご紹介にあずかりました梶川裕史です。



本日はこのような盛大な地区大会の中で記念フォーラム、その中で私の報告をさせて頂くということで、本当にこのような貴重な時間のなかで基調報告をさせて頂くということは非常に幸せなことだと思っております。まず私のテーマなんですけれども、メキシコが教えてくれたこと、大層なテーマなんですけれども、メキシコに行って1年間生活することによって私の考え方がかなり変わりました。すごく良い意味で変わったと思っております。メキシコでどのような生活をしておりましたかというのと、とにかく勉強しました。こんな貴重な時間を頂いて、1分1秒たりとも無駄には出来ない、そう言った気持ちで勉強漬けの毎日。勉強以外にすることといえば、勿論食事とか寝ること以外には、ロータリークラブの会合で卓話をさせて頂くとか、そう言ったこと以外は殆ど勉強漬けの毎日でした。先日、その時のノートを見たんですけれども、凄い字の量と、読んだ記録を見つけまして、こんなに勉強したのかと思って自分ながら驚きました。今は殆どそういったことはしてないんですけれども、日々の仕事に追われていることもあり、そういった勉強が出来る時間がなかなかないんですが、その時は本当に勉強させて頂きました。毎日、10時間も勉強していると、何か不思議な感覚に襲われておりました、例えば本を読んですと、その作者が何を考えているか何となく分かるような気がしてきたんですね。例えば歴史小説、司馬遼太郎さんの本をずーっと読んでおりましたら、何となく司馬遼太郎さんが考えていることが分かるような気がしてきました、という、司馬遼太郎さんは歴史小説を研究することによって、その人が何を考えているか分かったんだナー。ですから

参加クラブ

第5グループ 札幌大通公園RC



会長 長谷川美栄子



設立4年目の若いクラブですが、20名前後の会員構成を維持し、会員相互のまとまりは抜群です。又、会員の年齢も比較的若く、平均年齢50才を切っています。3年計画でのポリオ街頭募金活動も2年が経過しましたが、今年のスローガン“楽しくロータリー活動をしよう”の下、新たな奉仕活動を模索中です。

登録会員名簿 (10名)

上田ゆう子	岡 宏幸	小笠原 肇
菅原 秀二	木津 敏彦	田中 利男
鏝原 睦男	新田 直子	長谷川美栄子
増子 岳人		



参加クラブ

第5グループ 札幌セントラルRC



会長 上野 了



札幌セントラルRCは、会員数19名。2年前に発足したばかりの新しいクラブです。石垣博美（いしがき ひろみ）パストガバナーとロータリー歴24年の芹田馨（せりたかおる）前会長を後見役に、上野了（うえの さとる）新会長率いる新米ロータリアンたちが日々奮闘しています。私たちはロータリアンとは何かを学びながら、奉仕の新しいカタチを発信していきたいと考えています。

登録会員名簿（9名）

石垣 博美	上野 了	小坂 彰司
芹田 馨	高田 善宏	高橋 都
羽賀 俊夫	橋本 雅夫	日色 無人

こんな凄い本が書けたんだなあということを、何となく理解したんですね。で、非常に不思議な感覚に襲われたんですけども、それ以外に勉強ばかりしていると、おかしくなってくるんですね。変になってくるんですね。自分がちっぽけな人間だということが分かってくるんですね。本当に勉強しても勉強しても、やらなければならないことが山ほどあって、無限だということに気づきまして、自分はアリのように小さな存在だということに気づいたんです。アリのような存在の自分に一体何が出来るのかといいますと、何も出来ないんですね。何かあったときに「アリっ」と驚くくらいしか出来ないということに気づいたんです。なぜそんなに頑張ったのかといいますと、私は空手をやっております、今はやってないんですけども、頑張るとか、努力するとか、夢とか希望、諦めないこういったことに強く執着しておりました。特に諦めてはいけないという気持ちが強かったんです。そんな中で、私はスペイン語を専攻していたんですけども、最後に修了するときに論文を書くんですね。で、何をテーマにしようかと思ったときに丁度、図書館を見たら日本語の本がありまして、お釈迦様の生涯と言う本があったんです。偶然なんですけども。ふっと手が伸びまして、それを読んでいたんです。そうしましたらその中に、「四諦」という言葉がありまして、4つの諦めと書くんですね。苦集滅増、人生は苦の集まりであり、それを滅することにより、悟ることが出来る。その滅する方法は、日々の生活である。とういうのが苦集滅増という意味なんですけれども、これに非常にショックを受けたわけなんです。諦めてはいけないと信じ込んでいましたから、ふと力を抜いて、諦めてみようかなと思ったときに、何かが変わったんですね。こうしなければならない。ねばならないというふうに、私ずーっと思っていたんですね。ねばならないというのは非常にネバネバしておりまして、これは執着だと。執着を取り除くことにより、何か風に乗ることが出来ることに何となく気づきまして、それはどういうことかという、自分の心をニュートラルにする。例えば、思想として保守的な思想は右翼といいますよね。で革新的なのは左翼、笑われるんですけども、もう一つの派が有ることが分かりました。それは真ん中に、仲良くという思想が有るみたいで





奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

す。この仲良くという思想を思っておりますと、何となく面白い経験が出来るみたいです。私、武道を当時やっております、宮本武蔵という方がいるんですけども、宮本武蔵が修業時代に幾ら立ち向かっても勝てない師匠がいて、稽古の後に「武蔵、今日は小鳥の声が綺麗だったな」といったら、武蔵は全然その小鳥の声が聞こえなかったですが、先生はずーっとその小鳥の声を聞きながら稽古をしていたそうです。武蔵は自然を自分の味方に率いれることが大切なんだと、その時気づいたそうです。現在でいえばイチロー選手がいますけども、イチロー選手は恐らくそういうことは知っていると思います。イチロー選手が試合の後に最初にするのは、クラブを磨くことだそうです。これはものを大切にすること以外に何か気づいたんだなと思います。イチロー選手の使っているバットは久保田五十一さんという方が作っているそうです。五十一と書くんですね。で、イチロー選手がその方と出会ったのは2年目なんですね。ですから五十一というイソイチさんとイチロー選手の51という背番号は、最初から作られたものではなくて、2年目に会ったということは、必然的な出会いだったんだなと思います。イチロー選手が世界記録を作ったときのその後に、スプリンターステイクスとかがあって、5-1だったみたいですね。その1着が何とかライトと言ひ、ライトはイチロー選手の守備位置なんですね。こういったことを気づいている人は、恐らく大金持ちなのではないかと思ひます。そういったことを気づかせて頂いた、メキシコで、それが私にとって最大の財産だと思ひております。

その後、日本に帰ってきました、やはり生活しないといけないわけですから、いくら勉強したといっても、仕事を見つけることにおいて直接的なつながりはないんですね。只、欲がその分なくなったものですから、いろんな意味で物事に感謝して生きていこうと思ひておりました。そういったときに、現在務めております北海道リハビリというところを見学する機会を頂きまして、何故かその時にそこでどうしても働きたいと思ひました。北海道リハビリというのは社会福祉法人で、健全者と障害者が一緒になって働くところです。私が配属されたのはクリーニング部門なんですね。先日、クリーニング

参加クラブ

第6グループ 岩内RC



会長 小川 進



当クラブは地域の中で文化の薫り高い奉仕をモットーに活動してきています。

登録会員名簿 (10名)

梅庭 昭寛	小川 進	勝戸 昭二
斉藤 徹	佐藤 泰視	武井 優
武田 浩史	野澤 幸平	東山 洋徹
本間 裕		



参加クラブ

第6グループ 俱知安RC



会長 尾形 智磨



当クラブは女性会員3名を含む37才から最高齢86才までの幅広い年齢層54名で構成されるクラブで、毎月の最終例会を夜間ビール例会として、会員相互の親睦を計りながら和気あいあいの中で活動しています。また本年は創立40周年を迎える年度であり、会員一同協力して記念式典祝賀会を実施成功させたいと考えております。

登録会員名簿 (14名)

朝倉 直治	青山由美子	尾形 磨
小野塚清一	岡本 晃治	斎藤 知之
柴田 洋一	鈴木 保昭	関 幸吉
高橋 秀樹	滝口 直久	名畑 秀樹
西勝 照平	宗像 直孝	

部門の試験が有りまして、クリーニング師の試験に去年合格したんですけれども、その時に分かったんですね。何故私がここで働く仕事を選択したのかと、それは洗濯業界で働きたかったからなんです。そういう感想を得たんです。そしたら乾燥機があったんです。本当に笑ってしまうんですけれども、何かつながりがこの自然の中にあると思います。洗剤というのは、界面活性剤というので汚れを落とすんです。水と油に両方に溶けるんですね。その界面活性剤は仲良くという発想がなければ汚れは落とさないんです。ですから、メキシコで私が気づいた仲良く、そして今の仕事で界面活性剤、こういったことにすごくつながっていると思います。このような貴重な経験をさせて頂きまして、基調報告させて頂けることは本当に幸せであります。このロータリークラブにどれだけ恩返しできるかは分からないんですけれども、とにかく今出来ることを真剣に考えて感謝して、日々過ぎていきたいと思っています。本当にこのような貴重な体験、留学をさせて頂きまして、ロータリークラブすべての皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。(拍手)

司会 (小野寺桂子さん) : どうもありがとうございました。

つづきまして高橋あゆ美さんに報告をお願い致します。高橋さんのテーマは「オーデル川のほとりで」です。よろしく御願い致します。

高橋あゆ美さん : 皆さん今日は、2000年から2001年度の財団奨学生で3ヶ月文化研修でドイツに派遣させて頂きました、高橋あゆ美と申します。

では、これから報告を始めさせて頂きたいと思っています。どうぞよろしく御願い致します。それでは早速ですが自己紹介兼ねまして、私のいたドイツのフランクフルトという町を紹介したいと思います。国際空港のあるフランクフルトは、旧西ドイツの有名な都市ですが、ドイツにはもう一つフランクフルトという町があります。ベルリンから東へ列車に乗ること約一時間、ドイツとポーランドの国境にその町はあります。人口は約7万人ほどです。派遣させて頂いた当時、大学4年生だった私は、第2外国語として3





奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

年間ドイツ語を勉強していましたが、殆ど会話をする事が出来ませんでした。ご存知の方も多いと存じますが、この財団奨学生のプログラムの良いところのひとつは、文化研修の場合、ホームステイ先を用意して貰えることです。私のホストファミリーは息子さんが独立して、空いた部屋を提供してくれた夫婦とネコ2匹の家庭でした。実は私は、それまで海外旅行さえしたことがなかったのですが、初めての海外で旅行ではなく、留学をすることになったのです。そのような期待と不安の入り混じった出発でしたが、本日はプログラムを終えて、感じたことを三点皆様方にご報告させて頂きたいと思います。今日はその時の写真を幾つかもって参りました。

1点目です、歴史は教科書の中で学ぶだけではないということをお伝えしたいと思います。こちらの写真をご覧ください。これは壁に銃弾で穴が空いた建物です。初めて散歩に連れていってもらったときにこの建物を見つけました。今は誰も住んでいないようですが、この銃弾の後は第二次世界大戦のものだそうです。日常の中でこのような戦争の後を見ることが出来ることに、はっと驚かされました。そして東西冷戦の象徴ともいわれておりますベルリンの壁に纏るお話も聞く事が出来ました。実際に私のホストファミリーの親戚には冷戦時代に東ドイツから西ドイツに渡った人もいて、壁が崩壊した日に皆でベルリンまで行って抱き合って再会を喜んだそうです。西ドイツへ行ったと連絡を受けた当時は、もう一生会うことは出来ないだろうと悲しんだそうですが、このような形で再会を果たしたのです。それまではベルリンの壁崩壊や東西ドイツというのはニュースのひとつとだけ思っていたんですけども、すごく身近に現実的に感じるようになりました。2つ目は国境は地図上だけの線であって、実際に見ることはないということです。つぎにこちらの写真をご覧ください。これは空港のある西側のフランクフルトの正式名称はフランクフルトアメイン、メイン川のほとりのフランクフルトというのに対して、私のいった東のフランクフルトの正式名称はフランクフルトアンデアオーダー、オーデル川のほとりのフランクフルトという名前がついていることから明らかなように、オーデル川の写真です。第二次大戦中この川がドイツとポーランドの国境と定められました。私の住んでいた家

参加クラブ

第6グループ 小樽RC



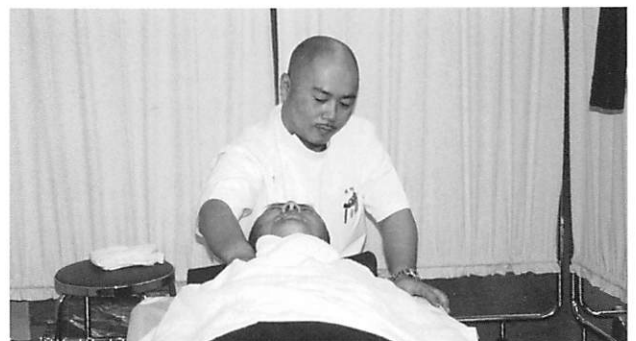
会長 熊澤 隆樹

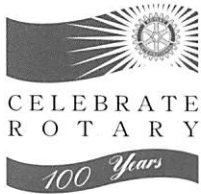


当クラブは、昭和8年に札幌RCをスポンサーとして道内2番目、全国10番目に誕生した歴史の古いクラブです。昨年70周年を閲し、歴史と伝統を再確認しました。現在会員数77名と減少しているが、過去に5クラブの結成のお手伝いをし、4人のガバナーを輩出した。

登録会員名簿 (25名)

足立 竹秀	阿部 光男	飴谷 佳一
遠藤友紀雄	小野 晃裕	金久保兵士郎
河辺 由清	熊澤 隆樹	菰田 尚正
西條 文雪	坂田 道昭	佐藤 修
佐藤 勝次	柴田 徳彦	杉江俊太郎
田中 良和	中野 豊	能島 正朋
秦 健一郎	花田 政幸	廣川 建哉
松倉 弘	三山 雄弘	山田 敏
吉村 克之		





CELEBRATE
ROTARY

100 Years

～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

参加クラブ

第6グループ 小樽南RC



会長 成瀬 桜男



歴史と観光、古さと新しさが交差する街、小樽。当クラブは昭和35年2月の創立で、今年45周年を迎えます。創立以来44年間続いている小樽市内高校優秀卒業生の表彰や、未来を担う子供たちのために一昨年からは始まった「ブックスタート」運動など、地域に密着した奉仕活動を積極的に行っています。

登録会員名簿 (18名)

東 慶広	阿部 誠	荒内 豊
岡崎 芳明	小笠原俊介	加藤 正幸
紺谷 茂夫	斎田 義孝	斎藤 仁
佐藤 甚兵衛	清水 人司	中嶋 宏
成瀬 桜男	新倉 吉晴	廣瀬 保男
堀内 晴人	見延庄三郎	村田 達哉

から10分程歩くとこの橋に辿り着きます。これは先程の川に掛かっている橋ですが、この小さな建物がこの橋の両側にありまして、パスポートをここで見せることになっておりました。週末には此の様に並んで少し待たされる事もありますが、15分ほどでそこはポーランドです。話す言葉も違えば、通貨も違いますし、物価も違います。週末混んでいるというのは物価の安いポーランドに出かけるからなんです。こちらはポーランド側から見たフランクフルトの写真です。これはドイツに戻る車が橋の上で渋滞している写真です。先程パスポートを見せることになっていると申しましたが、皆様もうお気づきでしょうか？今年5月のEU拡大によってポーランドも新たに加入致しました。ということは今はパスポートを見せる必要すらなくなったということです。私は札幌で生まれ育ちましたから、北海道の隣の県である青森県にいったのは中学の修学旅行のたった一度です。ところがここでは10分で隣の県ではなく隣の国へ行けるということは本当に驚きでもあり、発見でもありました。最後に3つ目になりますが、おいしい食べ物は世界を結ぶ、好奇心は心を結ぶということです。滞在中に何度か日本食を作りました。小さい町ですから食材を手に入れるのは難しいのですが、フィッシュパーティーを数回とお好み焼きやチャーハンなども作りました。やはりお寿司が一番の人气で、苦戦しながらも海苔を巻く彼女達がすごく楽しんでくれたことが嬉しかったです。また、お腹一杯になった後は漢字の当て字で名前を作ってあげたり、日本のイメージや日本の企業の話などいろいろな話をしました。大学には各国からの大学生が集まっておりましたからとても国際色が豊かで、イタリア、スペインなどのヨーロッパの国は勿論のこと、ブラジルやタイ、イスラエルなど様々でした。この写真に写っているのもイスラエルとスペインとドイツの学生です。そんな留学生をサポートしているグループが大学にありまして、週末の小旅行など月に1回程企画してくれました。これはポーランドのクラクフという町に行った時のエピソードをご紹介しますと思います。夕食に入った食堂でいくら待っても食事が出て来なかったのですが、勿論、皆怒ることもなく何かしながら待とうよというお話になりました。その場にあった紙ナプキンで誰か折り紙を教えて欲し





奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

いと頼まれました。私は鶴の折り方を教えたのですが、皆が鶴を折り終わっても食事はまだ一向に出てこず、ドンドン紙ナプキンが少なくなっていました。そして完成したのがニンジンとヨットです。私は何も言わなかったのですが、彼らは自分たちで考えて作ってくれました。さんざん待った末に、その時食を食ったか何も憶えていないのですが、食事前に随分待ったことと皆で楽しい一時を過ごしたことは心に残っております。以上の報告からもお分かりのように、滞在期間中様々なサポートを受けることが出来、殆ど不安なく過ごせたことに今でも本当に感謝しています。先程紹介しました小旅行の際には、アウシュビッツの施設を見学する機会がありました。此の様な施設を見学できただけでなくドイツ人を含む各国からの留学生と感想や意見を言い合うことができたのはとても貴重な体験だと思います。現地のホストのロータリークラブでも、私の親知らずが痛んだときに相談をしたら、良心的な歯医者さんを紹介して下さいたり、本当にお世話になりっぱなしでしたので、今度は自分が誰かに親切にしてあげる番だと心に誓って帰国しました。そんなわけですから、最後に帰国後の報告をさせて頂きたいと思います。帰国後すぐに大学を卒業して就職したのですが、配属先が石川県になり、初めて札幌を離れることになりました。やっと新生活になれてきたころ、私を温かく迎えてくれたのが、国際ロータリーでいいますと、2610地区の小松ローターアクトクラブでした。見覚えのあるR、ロータリーのマークと18歳から30歳までの活動する男女募集という案内を見て話を聞きに行ったのがきっかけでローターアクトクラブに入会することになり、色々な活動を始めました。奉仕活動を通じて、自分の力を誰かに貸すのではなく、結局は何かを学んだり、発見することが多かったように思います。昨年札幌に戻ってくる時も、空港までメンバー皆が見送りに来てくれて、本当に素晴らしい仲間に出会うことが出来ました。札幌に戻ってからは財団奨学生だった頃のホストクラブであります、札幌幌南ロータリークラブが推奨している札幌幌南ローターアクトクラブにまた入会致しました。別れがあれば出会いがあると良く言いますが、この2510地区でもローターアクトの活動を通じて、今までの経験を生かしながらより多くのことを学び、

参加クラブ

第6グループ 小樽銭函RC



会長 江刺家俊輔



小樽銭函RCは、来年9月に創立30周年を迎えます。過去数年間、会員数20名の時が続きましたが、前期3名、今期2名の新会員を迎え、現在25名の会員です。当クラブでは、夫人を大切に年末家族会、週末の夫人同伴一泊旅行を行い、ご夫人達に喜ばれています。ご夫人達の協力を得ながら、奉仕活動に励んでいます。

登録会員名簿 (13名)

阿部 益一	安齊 博	石岡 信之
上村百合子	江刺家俊輔	片見 怜子
桜庭 義春	千葉 悦子	長尾 繁範
藤川 正二	藤田 政昭	藤中 博文
三浦 二郎		



参加クラブ

第6グループ 蘭越RC



会長 金子 一憲



会員数が14名と少ないクラブですが、会員同士仲良く力を合わせて奉仕活動を行なっています。今年は1人でも多く入会してもらおう事を目標に頑張りたいと思っています。今日は町長選挙の投票日でもあり出席会員が少なく申し訳ありません。

登録会員名簿 (5名)

金子 一憲 小向 広通 佐藤 義久
志比川 武 白石 勇

また個性豊かな仲間に出会えることを楽しみにしております。以上で報告を終わらせて頂きたいと思えます。貴重なお時間どうもありがとうございました。(拍手)

司会 (小野寺桂子さん) : どうもありがとうございました。

3ヶ月間の充実した様子が伝わって来たかと思えます。それでは準備が出来たようですので、ここからはフォーラムのテーマ「私たちの文化体験と国際親善」というテーマにもとづきまして、パネルディスカッションの形式で進めて参ります。コーディネーターは学友会会長菅原秀二さんです。ここからは中島さんの司会をお願い致します。

司会 (学友会会長菅原秀二さん) : 皆さん今日は、パネルディ



スカッションという形式で話を進めたいと思えます。私は学友会会長をやっております菅原と申します。学友会と申しますのは、ロータリー財団で奨学生、GSEのOB会だと思って頂ければと思います。それで、私自身、奨学生として91年、92年の1年間ですけれどもイギリスの方で勉強させて頂きました。で、その後帰ってきて、ご縁があって大通公園ロータリークラブの会員とさせて頂いたという経緯でございます。今奨学生の二人の話もございましたけれども、実は奨学金の内容はいろいろな種類が沢山ありまして、大きく分けると国際親善奨学生というグループがあり、これにも2年間行く奨学生、1年間行く奨学生、文化研修といわれる6ヶ月、3ヶ月のタイプがあります。それからもう一つはGSEといわれる、グループスタディイクスチェンジといわれるものですが、何人かのグループで1ヶ月くらい他の国に行って交流をするというものです。最初の基調学区では国際親善奨学生のお二方に話を頂いたわけですが、梶川さんがメキシコ、高橋さんがドイツということで、中南米とヨーロッパの方の話を中心にして頂きました。それで今回のパネルディスカッションは、アメリカ、カナダ、アジア方面、フィリピンの人達が中心となって話をさせて頂きます。そういうことである程度はカバーできると思えますので、その点をいろいろ比較して頂ければと思います。それでは、パネラーのご紹介から





奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

させていただきます。自己紹介をして頂きますけれども、先ず奨学生の方からお願い致します。

田邊さん：私は1991年度札幌東ロータリークラブの国際親善奨学生として、アメリカのカリフォルニア州のフレズノという町にありますカリフォルニア州立大学フレズノ校の大学院の修士課程、その中でも言語学を学ぶために行って参りました田邊元と申します。



よろしくお願い致します。

橋口さん：私は国際親善の6ヶ月文化研修でカナダのオタワ州に行参りました。小樽ロータリークラブの橋口と申します。よろしく御願ひ致します。



上田さん：私は2年目の財団奨学生として札幌はまなすロータリークラブよりカナダのロンドン市で6ヶ月間、文化研修をさせて頂きました上田智恵美と申します。よろしくお願い致します。

北川さん：先程、拙い演奏をさせて頂きました北川真理と申します。よろしくお願い致します。私は2001年度登別ロータリークラブのGSEメンバーとして5050地区である、アメリカ、カナダの6つのロータリークラブを訪問して参りました。現在私は室蘭市、札幌市で高校、専門学校、音楽学校等でピアノを教え、また、クラシックからソナタまで演奏活動をしているものです。今日は頑張ってしゃべりたいと思います。よろしくお願い致します。



福地さん：私は2003年、4年のGSEメンバーとして福地信昭と申します。どうぞよろしくお願い致します。

紺野さん：同じく紺野拓美と申します。よろしくお願い致します。

参加クラブ

第6グループ 余市RC



会長 目黒 幸隆



創立以来44年、会員43名内女性会員4名と共に明るく楽しいクラブ作りを目指し、未来を担う青少年の育成プログラムに力を入れ、奉仕活動に邁進しております。

登録会員名簿 (12名)

荒木麻美子	嘉屋 達雄	高橋 哲雄
谷川 淑郎	中井 克雄	林 正秀
彫谷 吉英	本多 宏行	目黒 幸隆
森 義彦	山田 昭恵	吉原 伸



参加クラブ

第7グループ 千歳RC



会長 服部 隆志



千歳市は北海道空の表玄関。人口9万人の中堅都市。昭和24年支笏湖が国立公園に指定され、今では観光都市として栄えております。春は新緑にはじまり、秋は紅葉で彩る原始林、市内から25kmと至便の距離にあり、ご家族お友達でお楽しみ下さい。クラブは「地域社会との共生」を唱えて活動しております。

登録会員名簿 (41名)

曙 恒平	浅沼 廣幸	沼山佐太郎
五十嵐桂一	伊藤 舜一	今村 静男
岩佐 俊幸	岩崎 暉久	大西 信也
大村 孝男	加藤 武仁	上井 昭一
川下京三郎	川端 清	木村 照男
酒井 宏	佐々木 昭	佐々木金治郎
佐藤 秀雄	佐藤 宏子	菅原 文雄
高慶 繁博	高田 昭治	武石 忠俊
玉山 敬吏	丹治 秀一	長澤 邦雄
中村 堅次	中山 和朗	服部 隆志
羽山 昇蔵	日向 祥一	平間 和弘
福田 武男	藤本 敏廣	村上 倫行
村田 研一	村松 克重	本宮 輝久
山田三重子	山本 克郎	

司会 (学友会会長菅原秀二さん) : それでは、今日のメインのテーマであります。「私たちの異文化体験と国際親善」というタイトルで話をさせていただきます。まず、最初に国際親善奨学生ということなので、ご自分にとって特徴的な体験、国際交流とそういったことをされてきたものと思います。その点についてお話を伺えたらと思います。まず、田邊さんからお願い致します。

田邊さん : 私にとってのアメリカでの留学生活は、アメリカの真ん中からのスタートだったんですけれども、フレズノという町は農業を中心とした田舎町でございまして、云ってみれば保守的な町だったんですね。ということで、日本人に対する根強い偏見というものがあったということが一点と、当時私が留学しておりました91年から93年にかけては、日本ではバブル経済の最盛期は過ぎておりましたけれども、まだその最中にありまして、日本企業が挙ってアメリカの不動産を買い漁っているとき、あるいは日本車がドンドン輸入されておりまして、方やアメリカでは、深刻な失業に悩んでおりまして、そして街角で日本車を燃やしたりとかという運動が労働者の間で起こっていた、そういう時期であったということと、それから奇しくも真珠湾攻撃が行われて、丁度50周年を迎える時期に、私がアメリカにいましたら反日感情も高まっていた、そういう時期でもありました。アメリカ人の反日感情を強く感じました。それからもう1点は、アメリカという国は、アジアからの留学生が非常に多いですけれども、フレズノという町も、アジアからの留学生が多く、特に韓国、中国やそれから台湾からの留学生が多かったのですけれども、その留学生達というのは、親やそのお爺さんお祖母さん達の世代が悲しい体験を持っているということもありまして、アジアからの留学生は日本人に対しては非常にネガティブな、否定的なイメージをもっておりました。予め留学する前に予想しえたことではあったと思うんですけれども、留学の準備に追われまして、そういうことが待ち受けていることを予期せずに行ってしまいまして、そういった否定的な歓迎を受けたことは私にとってショックでありましたし、動揺も致しました。しかし、私にとって幸運だったのは、私も含めて全員





本日の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

が学生だったということで、学生というのは社会から、自由な立場にありますから、自分たちの自由な体験を私達に打ち開けてくれたというか、素直に言ってきてくれたということですね。それから、私は寮に住んでおりましたので、話す場所もありましたし、それから話す時間も沢山あったんですね、それから時には、夜中に朝まで、寮に住んでいる学生達と一緒に議論を交わした事もありましたけれども、そう言った点では非常に良かったと思いますけれど、最初は私も英語が余りしゃべれなかったものですから、非常にもどかしいことも有りましたけれども、やはりそれはお互いに人間同士ですから、最初は否定的な感情を持っていた現地のアメリカ人、アジアからの留学生も少しずつ心を開いていってくれてですね、私も彼らに対して、彼らのお父さんやお祖母さんの世代に対して、日本人が犯してきた過ちといえますか、そういったことに対して素直に考えるといえますか、私なりの歴史観も芽生えてきたといえますか、学べましたし、最終的には私は2年間アメリカにいたんですが、その頃には、そのアメリカ人も自分の実家に招待してくれたり、あるいは台湾や韓国の友達も、特に台湾の友達は再び交流が有りまして実家にも遊びに行ったんですが、そういう意味では私という1日本人を通じて、彼らの日本人に対する負のイメージですけれども、それが少しでもプラスのイメージに変わったのではないかなと、思っております。私1人の力というのは本当に僅かなのですけれども、私のようにロータリークラブからの奨学金を経て、奨学生として世界の国々へ行って、そして日本に対して悪い感情を持っているそういう人達を、我々奨学生の一人一人が少しずつ努力していけば、国際親善につながるのではないかと強く感じました。こういった貴重な体験をさせて頂きましたロータリークラブの皆様には感謝申し上げます。以上です。(拍手)

司会 (学友会会長菅原秀二さん) : ありがとうございます。田邊さんは大学院1年の課程ということで、1年間ロータリーで行った後ですね、さらに1年間アメリカに残られたとそういう体験をお持ちです。

それでちょっと、カテゴリーは違いますけれども同じ国際

参加クラブ

第7グループ 千歳セントラルRC



会長 汲田 信夫



私達のクラブは設立し14年、来年度は15年を迎えることになります。一時期会員55名体制でした。現在は30名。そこで今年最大の目標は15名の会員増に取り組み、会員一同全力投球で頑張っています。「ロータリー100周年を祝おう」は、地区・市民に千歳セントラルロータリークラブをアピールする所存です。

登録会員名簿 (12名)

井上 英幸	汲田 信夫	坂井 治
佐々木俊英	白木 松敏	須藤 丈
多賀 勲	竹原 孝	長手 英記
西野 文雄	松坂 敏之	深見 浩



参加クラブ

第7グループ 恵庭RC



会長 三浦 孝治



秀峰恵庭岳を望み、清流漁川の流れる、緑・水・花・文化の街恵庭に、奉仕の理想に燃えた仲間が集い、地域の発展向上に努めると共に、将来を担う青少年健全育成等の社会奉仕、奨学生の受入派遣等国際奉仕活動に積極的に取り組んでおります。ロータリー100年記念の年に、クラブ創立35周年を迎えて、ロータリーを祝います。

登録会員名簿 (29名)

会津 宣則	伊藤 進	岩下 則雄
大川 健一	日下 健三	久野 等
斉藤 茂生	柴田 弘道	清水 明
新川 進	鈴木伊佐男	高岩 擴
高木 薫	館内 辰男	田中 利則
田中 幸正	堤 由延	中川 富雄
中里 邦治	雛田谷武志	藤井 哲夫
細川 茂	松尾 道義	三浦 孝治
水野 凡	村上 淳	村本 満男
山沢 興治	山田 邦昭	

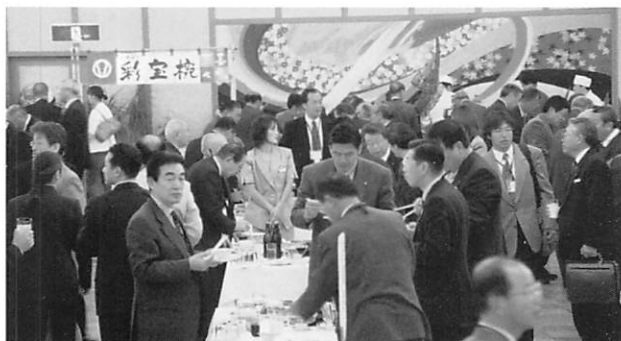
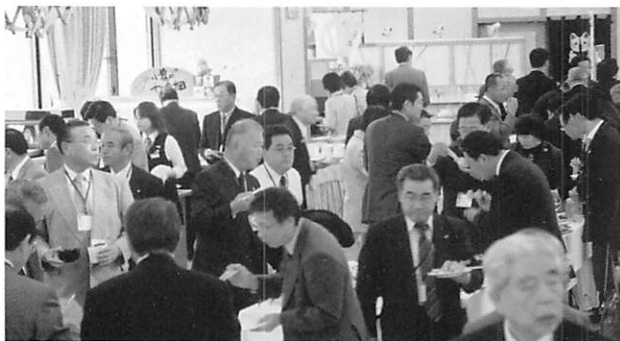
親善奨学生の中で、文化研修というカテゴリーがあります。同じ2002年ですけれども、お2人カナダに行かれておりますが一緒の時期ではなくて時期がずれて、最初の6ヶ月が橋口さんでありまして、その後の6ヶ月が上田さんになります。じゃあ、橋口さんお願い致します。

橋口さん：私はカナダの首都でありますオタワ市のオタワロータリークラブにいて参りました。

文化研修でしたので、お世話になりますオタワ大学の付属の語学学校に6ヶ月間学ばさせていただきました。文化体験と国際親善ということですが語学学校にカナダ人がいるのではなくて、アジア各地から英語を学びに来ている学生が沢山いました。そういう学生達と交流していく中で、文化の体験をさせて頂いたと感じています。特徴的だったのは、田邊さんの場合と少し違って来ていて、アジアの人たちは沢山の反日感情を持っていると思って参加したんですけれども、実は、日本の事を良く知っていて、特にアニメですとか、TV番組、または文字の事をとても良く知っていて、あの方はこうだとか、こうだったんだろうという質問を投げ掛けてきました。そういう中でアジアの中の日本というものがとても良く見えました。それが私にとっての貴重な体験であったと思います。

司会 (学友会会長菅原秀二さん)：ありがとうございました。続いて上田さんお願い致します。

上田さん：私は、橋口さんと同じ年の財団奨学生ではありますが、橋口さんの出発の時期が8月で私が5月ということで、橋口さんが戻られてから私が出発という形になりました。出発までに、橋口さんから色々な体験談を聞かせて頂き、準備万端して行つたつもりだったんですけれども、色々な失敗談もありますし、さらには沢山の体験をすることが出来ました。私はカナダのロンドン市というトロントから南へ列車で2時間ほどの距離にあります、カナダでは10番目の都市に留学することができました。ここで、最初の2ヶ月間、USL語学学校に通い、そのあと4ヶ月間ゼネラルアースファイエンスというコースをカナダ人の学生と一緒に受講することが出来





奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

ました。ここではやはり、ESLの時とは違ってカナダ人の交流を通して生きた英語に触れることが出来たという実感が持てました。

また、私の留学先のホストクラブのロンドンウエストロータリークラブでは様々な活動を活発に行なっておりました。コーディネーターの方とも家族ぐるみのおつきあいをさせて頂いたということもありまして、週一回の例会を始め、色々な活動に参加することが出来たんですけども、その中で一番印象に残っているのはFTBオークションというものだったのです。ロンドンウエストロータリークラブが主催してテレビを通して、オークションしているということなのですが、その収益金をお金が足りなくて困っている施設に寄付するというもので、そこで私は電話受けをしてお手伝いをさせて頂き、そのテレビの中でも、今日は日本から奨学生が手伝ってくれていますということで紹介して頂くことが出来ました。また、ロンドンウエストの他の地区でもスピーチをさせて頂く機会に恵まれまして、北海道や札幌市の事を紹介することが出来ました。貴重な体験をさせて頂き感謝しております。以上です。

司会 (学友会会長菅原秀二さん) : ありがとうございます。同じ語学研修でもちょっと上田さんと橋口さんでは違うような所があったと思います。それでは、カテゴリーが変わりますが奨学生とは別にですねDSEのグループで行かれた方が三人いらっしゃいます。先ず最初は北川さんに伺いますが、アメリカ、カナダを広く回ってきたということなのでその点に関しましてお話をお願い致します。

北川さん : アメリカ、ワシントン州、カナダのコロンビア州の方に行って参りました。具体的に申しますと、シアトルから北上して、カナダに行き、アメリカは4つのロータリークラブ、そしてカナダは2つのロータリークラブを、平均3日間から4日間で、ホストを替えクラブを替えて、かなりハードなスケジュールで行って参りました。その前に振返らなきゃいけないのは、何故私がこのGSEに応募したかという所から始めたいのですが、私は大学を卒業してすぐに千葉県

参加クラブ

第7グループ 北広島RC



会長 齋藤 洌



北広島RCは人口6万人で札幌のベッタタウンでもあり、ゴルフ銀座といわれるほどゴルフ場の多い緑豊かな市で活動しています。当クラブは少数ながら交換留学生、少年野球、少年剣道、レクの森の桜のメンテナンス等にも活動を広げ、地域住民とのふれ合いを大切にしながら地域社会に貢献しています。

登録会員名簿 (18名)

大滝 和子	大谷 恵一	大谷 博章
加々見盛幸	加藤 寛治	菊池 重敏
齋藤 洌	鈴木 政夫	瀬川 五水
竹内 實	野村 直弘	馬場 信吾
樋口 理	福永 好宣	真木 孝男
松本 明美	宮崎 真	宮崎 雅好



参加クラブ
第7グループ 長沼RC



会長 池内 昌之



楽しい例会を目指して13年目に入りました。会員数18名ですが大阪世界大会には10名で参加致しました。今年も長沼国際交流フェスティバルで会いましょう。

登録会員名簿 (13名)

青木 雄一	天野 敦子	池内 昌之
清水 彰	清水 慧子	高木 繁秀
田嶋 俊美	辻野つね子	花輪 博一
古川 大之	政角 勝雄	三輪 崇穂
望月 良典		

の方の私立高校で音楽を教えてまして、今でいう「燃え尽き症候群」ではないですけども、体を壊してそして、北海道に帰って参りました。帰ってきて1年過ぎるかなと云うころ、私自身もこれまでクラシックしか勉強したことがなくて、ある意味、音楽的に世間知らずだったあのころがありまして、もう一度自分の音楽人生を見つめ直す時だったんじゃないかなと、今振り返ればそう思うんですね。その時に、道新でGSE募集という広告を見まして、「よっしゃ、これはラッキー」と思いまして、すぐに応募して、難しい試験になんとか頑張っ受からせて頂き、そして1年後に行かせて頂きました。そして、研修の目的というのは、今言ったように、出来れば海外の家庭、学校、社会での音楽の位置づけ、それから、音楽の在り方などを実際に見たり聞いたりしたかったし、自分のピアノでどれだけ国際交流が出来るのかなと、音楽は言葉を超えてどれくらい交流できるものなのかなということを実際体験してみたかった、という二点で行って参りました。話すことは沢山あるんですけども、実際に研修内容というのは、自分が想像していたよりも遥に盛りだくさんの内容でして、それは日本のロータリークラブの皆さんのご支援とそれから、アメリカ、カナダでのロータリークラブ、ロータリアンの皆様が私の我儘なリクエストにホントに200パーセント応えて下さった形で研修を終えました。具体的に言いますと学校教育は小学校から大学、音楽学校まで授業を見学させて頂きましたし、また音楽でもって、生徒と交流をやらせて頂きました。それから家庭ですけども、ホストを中心にプロのテナー歌手とソプラノ歌手のお二人がいて、ミュージカルに何本も出られている方だったんですけども、地下に大きなホールがございまして、そこに親しき友人を呼んでミニライブをやらしてもらったり、それからもう一つは、アメリカのマウントバードという所に自分の大学の後輩がたまたま、結婚して住んでいたんですね。で、どういうふう知りあったかという、自分のホストの紹介でした。ハンドベルのトレーナーだったんですね。で、彼の家にはスタンレーというピアノの名器といわれるグランドピアノが2台あって、私の後輩は余り裕福ではなくて、ホストの家にピアノを練習しに来ていました。そこに私がいたもんで、吃驚、





～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

まさに驚きの出会いでした。その彼女のお陰で現地の音楽活動とか音楽文化を知ることが出来ましたし、それからまた、彼女の恩師であるアメリカにあるジュリアーノ学院という最高峰の大学を出られたピアノの先生にレッスンして頂く事が出来ましたし、研修とそれ以外のことでたくさんの応援を受けることが出来ました。また、カナダの方では一変しまして、吃驚したのが日本の音楽教育が根差していてスズキメソッドという言葉はどこかで聞いたことがある方がいらっしゃると思います。1946年に鈴木新一氏というバイオリン奏者であり、才能は生まれたときではなく後で開花するという事を、カナダの音楽学校は伝えていて、小さい子が熱心にバイオリンを弾いておりました、音楽のときはメモを一生懸命取り、スパルタ教育でありまして、かえって私の方が質問を受けることが多くてという、2つの国々でそれぞれの音楽の在り方とかそういうものを見て帰ってくる事が出来ました。長くてすみません。

司会（学友会会長菅原秀二さん）：ありがとうございました。GSEはかなり集中的にいろいろ回りますのでかなり忙しい事だと思えますけれども、続いて、帰ってきたばかりですけれども、フィリピンからこの前帰国報告会をされましたフィリピンチームの方から御報告をいただきます。

福地さん：私達は、今年の2月25日から3月29日までのおよそ1ヶ月余りGSEプログラム参加のためにフィリピンへ行ってきました。そのご報告をさせて頂きたいと思えます。メンバーは札幌西ロータリークラブでロータリアンとして長年活動されてましてフィリピン共和国の札幌在住のメールメイトをされております、食品ソムリアとして、メンバーは札幌北ロータリークラブ推薦で看護師の小島委員、札幌西ロータリークラブ推薦で北海道新聞社勤務の佐久間さん、札幌清田ロータリークラブ推薦で理容師の紺野拓美、札幌南ロータリークラブ推薦で北海道赤十字血液センター勤務の福地信昭の計5名で行って参りました。まず、GSEはなんだろうということなんです、グループスタディクスチェンジというプログラムなんですけれども、このプログラムと言いま

参加クラブ

第7グループ 由仁RC



会長 吉田 弘幸



日本一のハーブガーデンがある街由仁クラブです。会員数15名と少数ながら地域奉仕活動をはじめ、青少年交換事業と頑張っております。

登録会員名簿（9名）

市川由紀男	川合 俊雄	河端 利男
後藤 篤人	庄司 弘	竹田 光雄
蜂谷 光雄	本間 好道	吉田 弘幸



参加クラブ

第8グループ えりもRC



会長 新松 隆



設立：S47年9月8日 認証：S47年10月7日
 区域：幌泉郡えりも町 スポンサークラブ：様似RC
 例会日：毎週木曜日12時15分～1時15分
 例会場：日高信金えりも支店
 社会奉仕活動として、春・秋の2回町内の街路・公園等の清掃を実施している。
 参加者は総勢約160名。小学生、主婦、各種団体等で、「クリーン作戦」と呼んでいる。

登録会員名簿 (10名)

荒木 義廣	岩本 溥叙	坂田 達
新松 隆	菅沼 敏昭	築紫富美雄
西川 一郎	西川 一雄	山内 重保
山科 幸一		

すのは他の違うクラブと提携をしまして、その地域の若手の職業人を集めまして、海外に派遣しそこでメンバーはホームステイをしながら、歴史、文化施設、及び自分の地区に還元するシステムをとりながら交流をして、知識を深め、国際交流体験をします。そして、それぞれが自分の職業に戻ったときにその経験を生かすことによって地域の発展に貢献できるであろうというのがねらいです。

私達はフィリピン共和国に行ってきたんですが、人口はおよそ7,650万人、大小合せて7千の島々で構成されております。面積は日本のおよそ8割程度の大きさであります。首都は、マニラというところで13の市と町の集合体になっております。私達の行って参りましたのは、メトロマニラの南半分をカバーしている3830地区に行って参りました。

現地の多くの人々にとって言語となっておりますタガログ語はもちろん、英語は第2公用語となっております学校に行っていた人であれば、英語は普通に話すことが出来ます。

ここからが、私達が現地で視察してきたことなのですが、現地のロータリークラブを含む複数の財団で出資して運営されている児童厚生施設、ここでは経済的な理由により、親から虐待された子供達がここで集団生活をしながら教育を受けやがては社会的な自立を促すというふうになっております。これは、この施設に入る前の子供達いわゆる「ストリートチルドレン」といわれている子供達の写真です。で、下側の武器のような写真なんですけれども、子供達がここにはいる前に護身用としてもちながら日々盗みなどを繰り返して生きているという現状がありました。そういった子供達を救うという意味でもこのような施設の果たす役割というのは大きいわけですが、まだまだフィリピン全土でこのような施設が足りないといった状況で、運が良ければこのような施設に保護されて生活できるといった感じです。これは、マニラ内の少しローカルな地図なんですけど、こういったところで生活費を賄わなければならないし、衛生環境も良くないものですからどうしても水の問題が発生してしまいます。そこで、ロータリークラブとミネラルウォーターの会社が共同で出資をしてこのようなタンクをつくりました。そして、住民達は生活水として購入し、その売上を企業及びロータリークラブに返却





奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

しているという一種の融資制度の中で活動をし、このようにフィリピンのロータリークラブには恵まれない子供達とか地域全体の継続と浄化目的は不可能とされています。報告させて頂きました。

紺野さん：病院施設も幾つか見学させて頂くことが出来ました。フィリピンでは経済的な貧富の差が激しい為、中間層はなく富裕層と貧民層に別れているといいますが、現在も同じように思います。ここは政府で運営している病院で、マニラ市内にあります。先進国に較べ予算が無いため設備が整わず、このように病院に入り切らない患者さんがいました。私達が見学したときは、破傷風で入院したんですが、満足な治療が受けられないために、危篤状態になるという痛ましい現実がありました。フィリピンでは公的な医療保険制度が無いために、このような国ではよくあることなのでしょう。治療費は自己負担で、薬についても、この薬が必要だから薬局に行って買ってきて下さいというのが一般的だと云うことです。薬を自分で買うことが出来なければ治療を受けることが出来ないそうです。このほかに、私立病院もあるのですが、日本と変わらない豪華な設備のある私立病院もあります。そこは富裕層の方が行くそうです。こちらの写真は職業研修の写真です。私達は各々の職業に関連する施設も訪問しました。この写真は佐久間さんが新聞社に勤務する傍ら、マニラの新聞社であるデイリーインクワイヤー社に訪問したときに、翌日の新聞に掲載された記念すべきものです。その他、赤十字に行きました。

左上の方なのですけれども、さっきうちの佐久間が新聞社に行ったときに翌日の全国紙の新聞に掲載されているという写真です。右側が私が行ったフィリピンの血液センターです。週1回ぐらいこういった施設に行き、フィリピンの現状を理解する機会となりました。

こういったプログラムが終了後に、夕食を兼ねた、現地のロータリークラブの例会にゲストとして参加をさせて頂きました。このように例会はホテルなどの会場で行なっていることが多かったです。ここで私たちは自己紹介をしたり、パワーポイントを使い今のように、北海道の紹介をしたり、歌

参加クラブ

第8グループ 三石RC



会長 齊藤 順関



だしのよく出るミツイシコンブと女性だけで編成された、よさこいソーラン「三石なるこ会」で知られるようになった三石町の「三石RC」です。会員17人のミニクラブですが、創立44年目で地域の中で地道に実績を重ねてきております。2005年R I 100年と町村合併による「ひだか市」の誕生等と共に、更なる発展と充実を目指しております。

登録会員名簿（7名）

石垣 文雄	榎本 恵子	川端 武男
小島 安彦	齊藤 順関	出口 弘史
山田 信行		



参加クラブ

第8グループ 様似RC



会長 橋坂 兼雄



様似ロータリークラブは、本年度で創立36周年を迎えました。女性2名を含めて、19名の小規模クラブですが奉仕の2世紀に向かって新たな挑戦に取り組む所存でございます。本年は“地球環境を考えよう”をテーマにチェルノブイリ原発を取り上げた「アレクセイと泉」を11月上映予定です。

登録会員名簿（8名）

加藤 鉄二	郷司 公雄	田中 正之
中村 茂	橋坂 兼雄	久野 俊昭
南 末美	山本 康仁	

を歌ったり、バナー交換をして参りました。

こちらはフィリピンの歴史的建造物です、こういったものも紹介して頂きました。

これはメンバーの訪問先の御家族の写真ですが、GSEとは5週間の研修期間でひとり4家族から5家族のお宅にステイしておりました。非常に短い期間で慌ただしく過していたのですが、ご家族との交流もあり有意義な時間を過ごすことが出来ました。

以上が私達の報告ですが、今回の研修で感じたことを言いますと、どうしても感じてしまうのが歴然とした貧富の差です。一方には高級住宅街、しかしここではバラック小屋の様な民家が並んでいます。そこに住む人たちの所得は1万円から2万円ということ。しかしこの人たちはまだ良いほうで、道端に座り込んでいる人たちもいます。今後の医療援助や経済援助がまだまだ必要だと思います。今回こういう機会を与えて下さったGSE委員会の皆様や2510地区のロータリアンの皆様、フィリピンの3310地区の皆様に対して感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

司会（学友会会長菅原秀二さん）：以上、フィリピンの発表でしたけれども、やはり欧米諸国とは違ったこともいろいろあったというふうに聞いております。実は学友会には他にもですねアフリカのセネガルに行った方ですとか、あるいは西アジアの方のイラン、トルコに行った方とかですね、かなりいろんな方がいらっしゃるんですけども、今日は都合がつかずに、アフリカの方は割愛させて頂きました。基本的にロータリークラブ同士の交歓なものですから、どうしても、クラブの多いアメリカ、ヨーロッパの方に行くことが多くなると、そういう形になっていると思います。それで、GSEの発表にもありましたように、基本的にホストロータリークラブというのが各奨学生につきまして、その現地のクラブの方がいろいろとお世話してくれる。そういう形になっているわけですね。そういう意味では、普通の留学とは違ったですね、まさにロータリーの奨学生でなければ味わえないような奨学生生活を送ることが出来るわけですね。その点に關しまして、最初のほう少し言い足りなかったと思いますので、上





奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

田さんあるいは橋口さんあたりその辺ちょっと補足して頂ければと思いますけども。

橋口さん：私は、語学研修というか文化研修でしたので、学校が決めたホームステイ先に始めは、ホームステイをしました。ですから、ロータリアンのお宅ではなくて、一般の家庭に宿泊して、面倒を見て頂きました。結果あの、一部のホストファミリーというのは職業的に行なっているところが多く、収入を得るために学生を受け入れている家庭も多くて、始めに私がお世話になったお宅は余り環境が良くなかったのが、オタワロータリーに在籍しておりますロータリアンの方が私を受け入れてくれました。それで、こちらのご家庭は奥様が、オタワロータリーでご主人がオタワサークルという所に所属しておりまして、お二人ともロータリアンでした。それで、私はこちらのお宅に住まわせて頂いて、残りの4ヶ月間を過ごすことになりました。ロータリークラブとの交流としては、丁度クリスマス時期でしたので、オタワにはロータリーホールというのがあります。そちらは障害を持っている子供達がショートステイをする施設です。ここのクリスマスパーティーに招待されまして、そちらで折り紙を折ったり、日本の遊びをしたりして子供達と交流をしてきました。あとはロータリークラブの例会の方に出席させて頂きまして、私は小樽ロータリークラブに所属してたんですが、北海道ですとか小樽の紹介をしてきました。本来であればオタワロータリークラブだけに行って活動するんですが、ご主人の方のクリスマスパーティーにも出席して、北海道などの紹介などをしてきました。私にとって留学というのはとても夢だったので、ロータリークラブという大きな組織がなければこのようなすごく貴重な体験をすることが出来なかったと思います。皆様方のご支援のお陰と感謝しております。ありがとうございます。

上田さん：私は先程の中でも、ロータリークラブとの交流をお話させて頂いたんですが、その他にもコーディネーターの方に特別お願い致しまして、現在私は札幌市で中学校の教員をやっているんですけども、是非カナダの学校というもの

参加クラブ

第8グループ 静内RC



会長 中山弘三郎



創立は昭和46年、2名の名誉会員を含めて、7月末の会員数は71名。友情を大切にして、その絆で「楽しい例会、楽しい奉仕」に努め、インターアクトクラブの支援や青少年のサッカー大会、バレーボール大会を主催するなど、新世代活動に特に力を注いでいます。

登録会員名簿 (30名)

會澤	實	嵐	忠一	石垣	勝英
市毛	満	梅庭	泰弘	岡本	豊
奥田	隆二	蚊野	好美	上居	久美
河田	勝男	小坂	政成	近藤	忠義
佐藤	隆司	澁井	郁夫	杉田	政則
高田	達	富岡	豊	土井昭五郎	
長浜	和也	中山弘三郎		平野井	繁
福嶋	尚人	不動	信之	細川	好弘
増本	裕治	松本	道明	見上	条松
宮内	正寿	四ツ屋義一		渡部	正夫



参加クラブ

第8グループ 浦河RC



会長 砂原 肇



浦河町の人口は約1万8千人で丘と海のまきばと称し、漁業と軽種馬生産の盛んな町であります。特にサラブレッドの生産は全国に冠たるものがあり、気候、風土にも恵まれて近郊に密集する牧場の風景は皆様の旅情を十分満喫出来ます。今年度の当クラブの活動は親睦と会員相互の友情を深め楽しいクラブの活性化を図り思いやりの心を大切にします。

登録会員名簿 (32名)

秋山 靖典	阿部 敏彦	伊藤 正明
井上 理人	井村 勝昭	浦川 聡
大谷 律子	大針 道生	大山 勝美
奥田 宗夫	小野 達彦	小林 忠雄
斉藤 英	酒井 乾	佐藤 尚志
砂原 肇	蘇田 又栄	園 修
高杉 保廣	武田 豊	種本 尚志
富田 輝次	中島 渡	古田 圓祥
星 巖	福士 幹紀	前田 絃陽
増澤 均	三枝 實	三好 吉男
森 和雄	吉川 滋政	

を見てみたいと申し出たところ、近くの小学校、または幼稚園に視察に行くことが出来まして、なかなか個人ではそのような所に行くことが出来ないと思いますので、そういった意味でも大変、お世話になることが出来ました。また、ホームステイ先に同じ年の台湾人の女の子と同居していたんですが、その子がたまたまロータリークラブからの財団奨学生で、3ヶ月であったんですが同じ文化研修ということで来ていたということで、同じ年で、同じような立場で在籍していたということで大親友になりまして、ロータリークラブというところは本当に世界各地で色々な活動をしているんだということを実感しました。以上です。

司会(学友会会長菅原秀二さん)：あとは何方か付け加えることはありませんでしょうか？

それでは、今はメインのお話だったんですが、本来であれば会場からご質問等をお受けしてそれに対してお答えする形をとりたんですけども、会場がかなり広いせいもありますし、時間の問題もありますので、代わりにですね。こちらの方々同士でご質問とか付け加えることを話して頂きたいと思います。お互いにカテゴリーも違いますし、同じ奨学生でも違いますので、それぞれ自分とは違った交流をしているものですから、その点も含めまして、お互いに質問がある方、ご自由に発言して頂きたいと思います。

福地さん：私の行った国の地区大会はダンスがあったり、ミュージカルがあったりと非常に華やかな雰囲気がありますが、6ヶ月研修に奨学生として行かれた方で、地区大会に参加された方は地区大会と現地とに違いはかなりあったのでしょうか？

上田さん：私の方から答えさせて頂きたいと思います。地区大会に合せて留学したような形で、初日に地区大会が行われて参加させて頂きました。たまたまその年は、私の留学先のロンドン市で地区大会が行われるということでしたので、参加させて頂いたのですが、前日の夜11時に着いて、朝の9時から地区大会に参加ということで非常にハードなスケジュール





～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

ルだったんですけども、気持ちの整理もつかないまま、取り敢えず持参した着物に着替えて、言葉には頼ることが出来ないと思っていたので、着物に着替えて参加してみました。カナダに着いたというだけで気持ちが盛り上がり地区大会に参加しまして、地区大会にはロータリーの青と黄色でいろいろな装飾がされていて、いろいろな人が来たという印象が強いのですが着物を着ていたお陰ですね。私が何もしゃべらなくても相手の方から話し掛けてくれて、その中でいろいろとお話することが出来て、初日ながらもカナダに溶け込めたかなという印象は持っております。以上です。

司会(学友会会長菅原秀二さん)：他にございますか？ はいどうぞ。

橋口さん：私は文化研修なのですけれども、語学学校や大学などに通っておりまして、研修期間はとても自由に行動が出来ました。学校に行ってもその後、映画を見に行ったりとか、ショッピングも出来たのですけれども、私達とはタイプが違うGSEの皆さんはどのような生活、活動をされていたのでしょうか？

福地さん：私の方から答えさせて頂きたいと思います。GSEといえますのは奨学生の方、文化研修の方とは違まして、留学する形ではないものですから、北川さんもおっしゃってましたけれども、一日中ロータリークラブの方がついて下さりまして、現地のロータリークラブの活動ですとか施設とかを見学したりして、社会見学をして、その後ロータリーの例会に参加して、言わば休みの無い形で活動していくというようなことで、結構ハードな体力勝負といえますかそういった側面が大きな違いかなと思います。

司会(学友会会長菅原秀二さん)：あとありますか？ 上田さん、どうぞ。

上田さん：田邊さんに質問なんですけど、私達、文化研修6ヶ月という短い間でもかなり自分の中では苦労したなと思って

参加クラブ

第9グループ 伊達RC



会長 菅 俊治



『北の湘南』伊達とも呼ばれるほど、気候風土も良く住みやすいまちです。1959年に創立45年を迎えました。親睦ゴルフ又甲子園野球大会にも数多く出場した野球同好会などを通じて会員相互の融和があるクラブです。

登録会員名簿 (58名)

浅水 勝男	安宅 修治	大光 巖
福井 研吉	平口 泰敏	平田 正信
石田 敏之	伊藤 一法	伊藤 金蔵
岩倉 浩	岩本 英龍	金本 栄一
堅田 進	加藤 嗣郎	川岸 洋一
河原 文博	川南 忠三	菊谷 達夫
木村 定吉	木村 豪	小松 幸雄
工藤 賢一	雲津 忠宣	国本亮太郎
栗原 弘治	栗本 茂生	黒野又四郎
楠本 誠治	守谷 保夫	武者 賢一
長野 雄二	中井 英光	中嶋 康
新井田 孝	西川 正	小笠原栄一
荻野 秀二	奥村 孝善	小野寺隆之
大坂 清勝	太田 和實	楽木 恭一
栗橋 義徳	佐久間重行	笹木 学
須藤 芳巳	菅 俊治	鈴木 啓一
唯木 久弥	高野 一雄	時田 稔
辻木 勝夫	辻田 郁哉	渡部 良一
山崎 満晴	大坪 鐵雄	江戸 市郎
和歌 宏悦		



参加クラブ

第9グループ 室蘭RC



会長 進藤 勝哉



当クラブは1936（昭和11）年創立され、間もなく「古希」を迎えます。現会員数53人。今期は進藤勝哉会長が掲げる「元気なまちづくりのために、一歩踏み出そう」のスローガンの下、①会員による小・中学校への出前授業②RI100周年記念事業・作文コンクール（市内3RC合同）開催など、次世代を元気づける事業を推進中。

登録会員名簿（54名）

飯尾 哲也	板倉 慶則	岩田 弘志
内山 博	近江 毅	岡田 定晴
小幡 康宏	金本 三郎	鴨井 清成
鴨井 清貴	鴨井 清一	川村 敏昭
菊入 剛	菊地 千之	木山 奉正
国田 雅弘	栗林 徳光	小菅 章光
今野 乃光	斉藤 修弥	佐藤 寿夫
佐藤 知雄	澤田 豊	東海林 黎吉
白川 皓一	進藤 勝哉	進藤 茂子
新保 紘	鈴木 孝	関村 和義
田頭 博昭	多田 昌央	多田 和央
田所 邦夫	谷田 康則	内藤 孝幸
中田 敏行	中村 嘉孝	西村 昭男
濱中 實	平野 和典	藤川 康司
富士 和成	堀江 忠義	前田 迪夫
丸山 芳男	三国 雅捷	宮田 徹治郎
村井 敦司	矢島 泰司	山崎 明彦
吉澤 政彦	横井 則夫	細川 聡子

いるんですけども、田邊さんは大学に通っていたということでその点で何か苦勞した点などありましたらお聞きしたいんですけども。

田邊さん：そうですね、アメリカの大学はですね、とにかく日本の場合ですと大学は入るまで大変で、入ってからは割りとノラリクラリしていても卒業できたんですけども、アメリカの大学は入るのは簡単ですが、私は大学院の修士課程にいたんですけども、授業についていくのが非常に大変でした。例えば授業の宿題の量が半端ではなく、2日後の授業に英文の本、大体100ページくらいのリーディング、読みの宿題が出たりとかですね、4ヶ月で単元が終わるんですけどもその間に、3回ターンペーパーといまして、レポートを出さなければいけなくて、さらには中間試験がありまして、とにかく先程、文化研修の方が語学学校終わった後に映画を見に行ったりとかという話をされてましたけども、平日はそんなことは許されなくて、ひどいときは朝の8時くらいからレポートを書いてそのまま授業に行ったりとか、勿論最初のうちには言葉の壁がありまして、授業について行くのも大変だということもあるんですけども、英語で文を書いたりすることは、全然慣れていなかったものですから、当然現地の学生と較べても比べようが無いほどの時間が掛かったこともあったんですけども、私の人生の中でものすごく勉強した2年間だったんですけども、それでも本当に充実した時だったなあとと思います。また機会があれば是非いきたいと思っているので、自分でこんなに勉強好きだったかなと思うくらい、それくらい貴重な体験でした。

司会(学友会会長菅原秀二さん)：いまの話は、大学の教員をやっている私としましては頭の痛いところなんですけれども。彼に留学先の話をして頂きましたけれども、日本に帰って参りましてその留学の成果で改めて感じたことを話して頂きたいと思います。その際に、向こうの現地の方達との交流、あるいはホストクラブの方達との交流、あるいは帰ってきたときのスポンサークラブとの交流とかを含めてお願い致します。田邊さんからお願い致します。





奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

田邊さん：私のひとつの留学目的というのは高校の教員を目指しておりました、それで英語の教員になりたいと思っておりました、そのためには言葉もしっかり学んでおくべきだと思ひまして、それで留学したんです。戻ってきましたから、いま現在は北星学園の中高で英語の教員をしています。勿論留学しなくても、教員にはなれたんですけども、やはり留学をしたお陰で、英語の能力は格段に伸びたと思いますが、アメリカの文化のみならず色々なアジアの文化に触れまして、それを実生活の中で体得できたということは、単に言葉を教えるということは言葉だけでなく、文化もついてくることですから、その貴重な体験をさせて頂いたなと思っております。皆様の奨学金によって、私の人生は大きく変わりましたし本当に生徒達と日々楽しく暮らしております。ありがとうございます。

橋口さん：私の目的はメンタルヘルスについて色々なショップを見てきたいという希望がありました。語学が達者ではないので、なかなか深いところまでは入って行くことが出来ませんでした。ところがロータリー活動を通じて支援活動について強く感じました。この体験をぜひ生かしたいと思い今は市民運動をしています。また大きな大会で発表する機会があったりとても貴重な体験をすることが出来ました。また是非参加したいと思ひます。

上田さん：私は先程も申し上げた通り札幌市で中学校の教員をやっているんですが、行ってきてから少しは自分の英語力に自信が持てたかと思ひます。また札幌市の手稲区の中学校で、手稲ロータリークラブ主宰の、中学生夢会議に入れて頂いたりとか、スポンサークラブにも大変良くして頂いて、学友会の全国大会で大阪にも出席することになり、ロータリークラブには帰国後も大変お世話になりました。帰国後も体験してきたことを少しでも生かせればと思っております。どうもありがとうございました。

北川さん：帰国後ですけれども、勿論あちらではお世話になりました。ホストとの連絡網による交流もございましたし報告

参加クラブ

第9グループ 室蘭東RC



会長 芝垣 美男



なにより親睦を第一とするのが当クラブです。今年度は、毎月一度、親睦委員会が例会を担当します。「あれこれ何でも相談会」は、メイン事業のひとつ。親睦の和はここでも発揮されます。たくさんの市民が訪れ、様々な悩み事に、各会員の持つ職業知識を提供します。今年度の活動は、とにかく「100」にこだわってみました。

登録会員名簿 (54名)

天谷 富雄	天谷 喜代	荒井 孝亘
荒井カヨ子	有賀 和雄	飯淵 義久
石田 実	石田 敏子	一戸 豊信
上田 康郎	大谷 博美	小野瀬宏勝
金澤 孝祐	金澤 智光	金澤 静枝
神島 茂夫	川角 晃	北村 則男
黒田 敏充	黒田 秀雄	黒田 満穂
児玉 直彦	小林 進	小林 麻理
佐々木勝男	佐々木健治	佐々木由美子
佐々木 勉	芝垣 美男	芝垣 晶子
下国 精一	鈴木 久雄	鈴木 典子
富田 孝夫	高島 宏	奈良 泰哉
橋本 昭道	坂東 晃	前田 康博
松田 幹人	松永 英樹	村木 一夫
村木紀枝子	桃野 正	森川 亮
森田 邦義	矢萩富士雄	遊佐 潤
吉田 順治	寄木 清二	若松 竹治
若林 隆樹	渡 一広	眞柄 優子



参加クラブ

第9グループ 室蘭北RC



会長 川本 康裕



今年度は当クラブのテーマを『みんなで楽しいロータリーを』を合言葉に活動していきたいと思います。RCが誕生して1世紀を迎える今年度を、単に祝うだけでなく22世紀へ向けての新たなスタートと認識し、知恵を出し創造しそして行動する1年にします。『みんなで楽しいロータリーを』創りあげようではありませんか！

登録会員名簿 (38名)

阿部 貫次	岩本 信平	内池 真人
及川 力	加藤 栄吉	神島 章
川田 寿之	川本 康裕	工藤 克彦
久保 隆司	熊谷 弘夫	斎藤 崇
斎藤 泰成	斎藤 義寛	笹谷 豊明
島津 行高	澤山 豊	下地 晋
菅原 悦子	曾田 光彦	高橋 保史
高橋 基夫	附田 博	徳永 賢二
中田 孔幸	西尾 静枝	野村 滋
日笠 正順	廣瀬 禎	松島 茂
松田 博文	三浦 義隆	三村 博通
村井 玄乙	森田 教義	由川 一
矢澤 光男	渡辺香奈子	

会も出来ましたし、また室蘭東クラブの記念式典も出させて頂いて、演奏することも出来ました。帰ってきてからはいろんなお話があり、三愛病院の院長先生からは病院でコンサートをというお話を頂いたり、また、仕事が順調に伸びまして、今までは自宅で教えるのが精一杯だったのが、いまでは3つの学校で教えつつ、演奏会も出ています。そういった意味でGSEで学んだことを下の子達に教えることが出来るという、毎年4月になればこの話をして宣伝もしております。それからですね、私がさっき弾いたピアノなのですが、アメリカに行くと、私のクラシックだけの視野が随分と広がって、この三年間でですね、ついこの間もHBCの宣伝だったんですけどもゴスペルコンサートがありまして、それにも出させて頂きまして、本当に自分の活動が広がりました、皆様方に感謝しつつこれからも、演奏または教育で皆様に還元できたらと思います。本当にありがとうございました。

福地さん：私ども、GSEメンバーとしましては、帰国後も滞在しましたホストファミリーの方と連絡を取りましたし、報告会もさせて頂きました。私個人としましては赤十字センターでの仕事に生かして活動しております。

紺野さん：私は札幌の美容室で仕事をしておりますが、その中でもGSEのホームステイをしたときの度胸を生かしまして、いらした外国人の方にも積極的に話せるようになりました。あと毎年、チャリティーを開催しているんですが、そちらの方の経験にも生かすことが出来ました。貴重な経験をさせて頂きまして誠にありがとうございました。

司会 (学友会会長菅原秀二さん)：以上でパネルディスカッションを終わらせて頂きたいと思います。留学の成果というのは確実に上がっておりまして、その成果を次の世代に伝えるべく、我々が微力ですけども力を尽くせば幸いだと感じております。このような貴重な経験をさせて頂いたロータリアンの皆様には感謝の気持ちを表したいと思います。どう





奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

もありがとうございました。

司会 (小野寺桂子さん) : ありがとうございました。もう一度パネリスト6人の皆様方に拍手をお願い致します。それぞれの留学体験をお話するには1時間では時間が足りなかったかと思いますが次のプログラムに移らせていただきます。

司会(財団学友委員中島さん) : 現在タイから2510地区に参っております、チームリーダーはソンブンマイヤシリさんで彼に壇の上に上がって頂いて皆さんを紹介して頂くことになり、どうぞタイチームの方、壇上にお上がり下さい。チームメンバーはプログラムに書いてございますので、ご覧下さい。リーダーはソンブンマイヤシリさんです。

ソンブン マイヤシリさん : GSEチームを代表してご挨拶申し上げます。本日この栄えある地区大会に参加できて大変光栄に存じます。最初に先ず遠藤秀雄ガバナーにご挨拶申し上げます。非常に夜遅く千歳に着いたんですけども、遠藤ガバナーを始めたくさんの皆さんにお出迎えを頂き感謝します。そして、千歳に到着後、札幌のロイトンホテルで歓迎会をしたんですけども、それにもたくさんの役員の方がご出席下さりまして、温かく歓迎してくれたことに対して感謝申し上げます。

それでは私ども4人のチームメンバーをご紹介申し上げます。最初にノンクラン ワンガーさんを紹介致します。彼女は大学の先生をしております。

次に、ドクター パルチャット ノワラットさんで大学の麻酔学の先生をしております。

三番目に彼女は聖路加大学で心理学の講師をしております。

最後にフェルアット ナビチャさんを紹介致します。高校で日本語の教師をしております。タイのGSEチームを代表してタイのロータリーをご紹介申し上げます。既にプログラムは始まりまして最初に倶知安ロータリークラブでお世話になり、さらに上磯のロータリークラブで1週間お世話になりました。この機会にお世話になりました倶知安のロータリー



参加クラブ

第9グループ 登別RC



会長 中村 雅



第2510地区、会員の皆様、当登別の地までおいいただきありがとうございます。当クラブは、本年一年間を微力ながら遠藤ガバナーと共に当地区に貢献すべく日々奮闘しているところです。何分にも小クラブゆえ力足らずの部分が大会を含め多々あるかと思いますが、心を込めてこの一年間を活動してまいりたいと思います。

登録会員名簿 (72名)

有坂 了堅	石井 憲一	石山 春男
石山 ヒデ	伊奈 昭夫	伊奈 和子
上田 博子	上田 俊朗	遠藤 秀雄
遠藤 征子	奥山 博之	奥山 一恵
木村 和夫	木村美代子	草塩 幸子
工藤 勝雄	小西 勝美	斎藤 正史
斎藤 康子	鈴木 実	角 哲雄
角 喜久恵	高岸 満則	高岸 恭子
高橋 恒夫	高橋 史枝	千葉 泰二
千葉みどり	寺島紀子夫	寺島智恵子
時田 捷司	時田 節子	戸塚 守夫
戸塚 武子	仲川 弘誓	仲川 徳子
中村 栄治	中村美知子	中村 雅
中村 禮子	土生 裕司	土生 幸子
早川 邦雄	早川 秀子	松山 哲男
松山美樹子	宮武 忠史	宮武 令
皆川 和廣	皆川伊都子	村上 忠雄
村上 澄子	最上谷文昭	最上谷留美
森川 英雄	森川佳子子	山口 登
山口 徳子	山瀬 隆幸	山瀬 光枝
山田 新一	山田 美枝	山口 賢治
山口富智子	吉野 洋一	吉野寿美子
若木日出男	若木 美代	和田 浩一
和田智津子	和田正二郎	増田チエ子

参加クラブ

第9グループ 洞爺湖RC



会長 三浦 昭三



当クラブは現在10名の会員であり2000年3月の有珠山噴火災害後5年目に入り、企業等の縮小、人口の減少なども大変であり、当クラブにしても、観光客誘致活動にも積極的に努力しております。会員もこれ以上減少にならない様に、今年度の目標にただ一点「会員増強」に努力して参りたいと存じております。

登録会員名簿（7名）

阿野 康春	阿部 信昭	川南 明則
菅原 敏則	前谷 休市	三浦 昭三
吉田 聡		

クラブの会長様、並びに上磯ロータリークラブの会長様に感謝申し上げます。特に上磯では大変お世話になりました。4人のメンバーとも独身ですのでいろいろお世話になりました。我が家に帰ったような懐かしい思いがしました。4人とも独身ですので結婚したら上磯にハネムーンに帰ってきたいと思えます。これから地区大会が終わりますと留萌クラブに1週間、そして最後に札幌の幌南クラブで1週間お世話になります。よろしくお願い致します。4人ともお医者さんとか学校の先生なので、是非、公共機関などを留萌と札幌で学びたいと思えますので、よろしくお願い致します。このGSEプログラムを通じて2国との交流をさらに深めていきたいと思えます。次にタイのロータリーのプレゼンテーションをパワーポイントを使って説明いたします。

司会(財団学友委員の中島さん)：チームリーダーはソンブンマイヤシリさんに拍手をお願い致します。

どうもありがとうございます。当初はタイの民族文化についてもご披露する予定もあったんですが、ちょっと手違いがございまして、それはナシになりました。

これで私どもの用意しましたプログラムは一応終了いたします。尚このプログラムの最後に学友委員会の山崎委員長から閉会の挨拶を致します。

山崎委員長：閉会に当りまして一言、ご挨拶致したいと思えます。私は今ご紹介に預かりました、第三学友委員会の委員長をしております、山崎でございます。皆様にはお疲れのところを本当に、このフォーラムにお付き合い頂き、温かいご支援、拍手を頂き、心から感謝申し上げます。記念フォーラムの計画立案に当りましては、遠藤ガバナーの熱意あるご指導を頂きました。実施計画の具体的な準備とマネジメントは地区大会実行委員会、地区幹事、GSE委員会の温かいご支援、ご協力頂きましたが、この大会の開催の功労者は第3学友委員会の役員を始めとする学友会メンバーの皆様方です。本日のフォーラムへの情熱とロータリアンへの感謝の気持ちを結集した第三学友の皆さんは私達、ロータリアンに対して感謝の





～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

念を抱き何か役に立つことがあれば、いつでもご協力を惜しまない姿勢を保ち続けております。各クラブから情報にお応え致しましてロータリー財団月間における学友策はそのひとつとして評価できます。当地区の財団学友会も発足してから4年を迎えておりますが、財団学友会名簿の改定、活動状況の掲載化、今お手許にお配りしたニューズペーパーの編集印刷、それから学友とのコミュニケーションの策を目的としたメーリングリストの整備など忙しい仕事の合間を縫いながら、活発に活動しております。この活動には何と言っても経費が必要です。財団学友の会則にもありますように、各クラブが賛助会員として協力することになっておりますが、学友委員会のPR不足で皆さんに十分、浸透してないことが心苦しく残念に思います。各クラブにおきましては、会員の減少、それから財政難の中、厳しい台所事情は十分察しますが、これからもこのような学友の活動をしていくには、尚一層のご支援とご援助をお願い申し上げます。最後になりましたが、今日のフォーラムに最後に花を添えてくださいました、タイのGSEの地区の皆さんに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。これを持ちまして閉会のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。(拍手)

司会 (財団学友委員の中島さん) : 山崎委員長、ありがとうございました。

これで、記念フォーラムのプログラム全て終了致しました。本当に御協力ありがとうございました。(拍手)

司会 (斉藤地区幹事) : 地区財団学友会の会員の皆様、そして地区委員会の役員の皆様、本当にありがとうございました。皆様今一度、大きな拍手をお願い致します。それではここで大会議第一日目の終了に当りまして、コメントを頂きたいと思えます。遠藤ガバナーよろしくお願い致します。

遠藤ガバナー : 長らく皆さん方、一日お座り頂きまして大変お疲れさまでございました。これで大会第一日目のプログラムは全て終了ということでございます。今日午前中、会長幹事会がございました。また、お昼からは大会第1日目の報告、

参加クラブ

第10グループ 函館RC



会長 渡邊 兼一



函館RCは昭和9年に日本国内15番目、道内3番目のロータリークラブとして創立し今年70周年を迎えました。少し変わった事業では函館山の鳥の為の「バード・サンクチュアリー事業」絶滅寸前の「エゾヒキガエルの種族保護活動」そして昭和39年より続けている函館の学生を対象にした「函館クラブ奨学金制度」等特色ある継続活動も行っています。

登録会員名簿 (32名)

石田 勉	石田まり子	石塚 龍弥
小原 幸男	亀井 敏清	木村 弘志
工藤 敏夫	国立 金助	国立 優子
黒崎 敏雄	久保内康之	久保内幸子
小林 敏夫	今 初弘	今 幸子
坂本 修康	柴田 繁男	菅原 進
菅原 直子	鷲見 好春	竹田 公一
竹田 文子	富田 恒一	中村 壮一
中山 浩一	南部 聖一	南部 雪枝
松村 敏昭	室田 浩三	森川 順治
渡邊 兼一	渡邊 規子	



参加クラブ

第10グループ 函館亀田RC



会長 木下 裕



当クラブは駐車場の広さから函館地域で最もメーキャップのしやすい例会場として親しまれております。ここ数年は小学生を対象としたサッカー大会を開催し地域青少年の育成に一役買っております。琴亀社中(琴の演奏グループ)を30周年記念時に結成し家族会での演奏の外老人ホーム等での演奏活動をして喜ばれております。

登録会員名簿 (11名)

遠藤美根雄	木下 裕	黒川 則男
坂本 幸夫	玉井 清治	出戸 秀光
豊田 千春	堀 好夫	松田 武
山口 勝彦	渡辺 清志	

それから決議案の採択を頂きまして、ありがとうございます。また、各委員会活動が現在、順調に進んでいるというご報告を頂きまして、また、只今は財団学友の皆さん方から非常に希望に満ちたお話を伺いました。ガバナーが各クラブを歩きまして、財団に寄付をしてくれというふうに願いますと、余り寄付が集まらないという傾向がございました。逆に、こういった我々が現実に寄付をしている財団というものが、どんな活動をしているのか、これをやはり見て頂きますと皆様方の心にグンと来るものがあるだろうと、いうふうに思っております。山崎委員長がおっしゃいましたように、これからもこういった若い人たちを育てる。そして、我々の次のロータリーの世代に引き継いでいくという使命が私達にはあるんだろうと、いうふうに思っております。ご協力のほどをよろしくお願いを申し上げたいと思います。また、このあとRI会長代理の石井治様を囲みまして、記念晩餐会がございまして、これもひとつ楽しく、ご歓迎頂ければと思いますし、また、明日は半日ではございまして盛りだくさんなプログラムがございまして、また、合間を縫いまして展示ブースが用意されておりますので、そちらもご覧を頂いて、我々の各クラブが、あるいは地区の各委員会がどんなことをやっているのか実際に見て頂いて、共有した目的、そして共有した成果というものを味わって頂ければ大変有難いことだと思っております。本日、1日間のご協力を感謝申し上げて、私のご挨拶と致したいと思っております。ありがとうございました。(拍手)

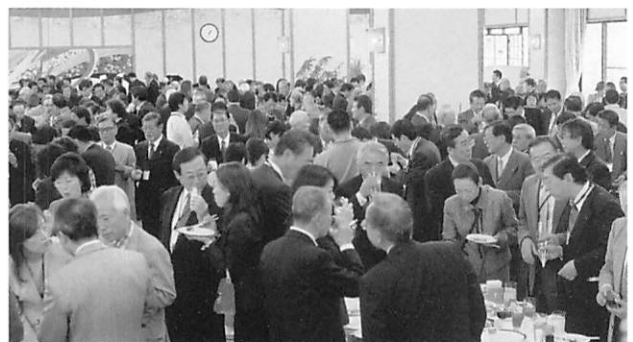
司会(斉藤地区幹事)：以上を持ちまして、地区大会本会議第1日目の部を終了させて頂きます。

遠藤秀雄ガバナー点鐘をお願い致します。

遠藤ガバナー：(点鐘)カーン(拍手)

司会(斉藤地区幹事)：それでは山田新一大会SAAよりお知らせがございまして。

山田新一大会SAA：皆様、長時間にわたりご参加ありがとうございます。3点についてご案内させて頂きます。一つ目





～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

はこれからの予定でございますけれども、石井治R I 会長代理ご夫妻の記念晩餐会にご出席の皆様、午後6時より同じフロアの大雪で開催致しますのでよろしくお願い致します。二つ目は宿泊についてであります。本日、当ホテルにお泊まりの方は、お部屋の準備が既に整っております。1階エレベーター向かいの掲示板よりご自分の部屋のカードをお取り下さいまして、お時間まで、お部屋でおくつろぎ下さい。鍵は既に部屋の中に置いてございます。お泊まりにならない方は、当会場向かいの鶴の間と亀の間を控室とさせて頂いております。源泉100パーセントの当館、大浴場にはタオル等が既に用意されておりますので、ごゆっくりとご入浴下さい。さて最後のご案内ですけれども、明日のご案内をさせて頂きます。明日は会場を日本工学院登別ホールに移して、9時より点鐘させて頂きます。明日の本大会の会場についてご案内させて頂きます。本日、自家用車でこの会場にお越しを下さいました皆様方は、そのまま日本工学院まで車をお持ち頂きたいと思っております。その他の交通機関でお越し下さいました皆様方には、明朝8時に、当ホテルよりシャトルバスが日本工学院の方へ出ますので、それにお乗り下さい。明日の大会が終了後、懇談会は再度、登別温泉の方に戻って来ます。第一滝本館で開催をすることになります。その際の交通機関は、全ての方がシャトルバスにお乗り下さい。あと、クラブ専用のバスでお越しの方はそのバスにお乗り下さい。そして、第一滝本の方にお越し頂きたいと思っております。温泉には十分な駐車場がありませんので、自家用車は日本工学院の本会場の駐車場にそのまま置いて頂きたいというふうに思っております。懇親会が終わり次第、シャトルバスで日本工学院の駐車場へまたご案内を致します。そこで車をお渡し致しますので、お願いを致します。今申し上げました移動の手段の詳細につきましては実行委員会のメンバーか各クラブの幹事さんにご報告申し上げますので、詳しくお聞き下さい。尚、この会場が終わり次第、ガバナー補佐の方は事務連絡がございますので、このままお待ち頂きたいと思っております。それではお知らせとお願いを致しました。以上でございます。今日は本当にご苦労様でした。感謝申し上げます。(拍手)

参加クラブ

第10グループ 森RC



会長 野田 剛



秀峰駒ヶ岳・染井吉野の桜咲く公園とクリーンな地熱エネルギーのまち森町

登録会員名簿 (12名)

伊藤	進	石山	嘉治	梅本	勲
金丸	勝善	木村	章	近藤	宣明
嶋崎	武	田村	貞雄	長瀬	賢好
野田	剛	三浦	祐伸	吉田	好



第4部 大会第一日目 (10月16日 晩餐会)

～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

参加クラブ

第10グループ 七飯RC



会長 柴田 晴史



当クラブの創立は1970年4月で、今年で35周年になり、創立以来クラブは夜間例会を行なっています。例会後、数人で飲み屋へ立寄り酒を飲みながらロータリーの事を話しあいとても良いと思っている。又、当クラブ主催で10、11グループ合同観月会を9月の十五夜に近い例会日に行っている。60～70人位集り、例会中に各クラブ会長様より一言ご挨拶をいただいております、19年目になります。

登録会員名簿 (9名)

伊藤 一彦	大竹幸次郎	加藤 直樹
佐々木 弘	柴田 晴史	菅原 昭
原子 秀康	美村 文雄	山内 一男

平成16年10月16日土曜日

晩餐会

(会場・・・登別グランドホテル)

司会 (齊藤正史)：皆様大変お待たせ致しました。

戸塚守夫大会実行委員長よろしくお願ひ致します。(拍手)

戸塚守夫大会実行委員長：皆様こんばんは、北海道式では「お晩です」。今日は朝から会長幹事会、引き続きましてフォーラムにご参加頂き、長時間に渡り本当にお疲れさまでございました。心から感謝申し上げます。本日はR I会長代理石井治様ご夫妻に遠方よりお越し頂き感謝申し上げます。

当市を上げてご歓迎申し上げたいと思います。本日はその他、登別市長上野晃様、たくさんのご来賓にご臨席頂いております。また、韓国の3700地区、タイの3360地区の方にも列席して頂いております。ご歓談の場となれば幸いと存じます。今日は普段の緊張を解いてのんびりとお楽しみ頂ければ、幸いです。そして明日からのプログラムの糧となるようによろしくお願ひ致します。今日は本当にありがとうございました。(拍手)

司会 (齊藤正史)：それではここで、遠藤秀雄ガバナーよりご来賓の紹介をお願い致します。

遠藤秀雄ガバナー：今日は会長幹事会、それから大会第一日目の全ての行事が終わりまして楽しい会に移らせて頂きますけれどもロータリーは勉強とそれからいわゆる奉仕と親睦が2本の大きな柱であります。親睦の部でひとつ和やかにお願いをしたいと思います。今日はグレン E. エステス、シニアR I会長の代理と致しまして埼玉から石井治様をお迎えを致しました。心から歓迎を申し上げます。丁度今、登別は本来でございますと紅葉の一番良い時期でございますけれども猛暑が北海道にも参りましたし、また台風18号の影響でちょっと木々がまだ紅葉を迎えておりませんことを、季節に変わりますとお詫び致します。しかし、湯の里、登別温泉でございます。どうか、ゆっくり召し上がって頂いてその後湯





奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

に浸かってロータリーを語り合って頂きたいと思います。

司会(斉藤正史)：ここで国際ロータリー会長代理石井治様よりご挨拶を頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

石井治国際ロータリー会長代理：皆さん今晚は、私は埼玉東南部の2770地区、春日部ロータリークラブから来た石井でございます。家内の由紀子を連れて参りました。先ず職業分類を言いますと私の生家は天保年間から造酒屋をやっております、戦後お酒のない時代は飛ぶように売っていたんですが40年ごろから酒屋の将来に不安を持ちました。青年会議所やロータリーを創りましてその時いろいろと友達と出会いまして、場所が良いところだったので倉庫業、物流を業に転換して参りました。この度この2510地区に指名されたとき2度指名があったのですが、いろいろの事情によりパスしたもので、今回はそれも登別ということでお風呂にも入れるし、何回も学生時代から訪れて良いことも有ったものですから、ご指名を受けたときは8月の中頃に高校野球が真っ最中でしたので、たまたま駒大付属高校の躍進ぶりを見ておりました。どうせ行くなら北海道に行きたいと思っておりました。残された人生を刷新できるのではないかと、内心喜んでおりました。この白樺の純麗な時期に、北海道の高校が津軽海峡を越えて優勝旗を持ち帰るとは誰も、予想だにできなかったと思います。私は決勝戦、四国の済美高校との13対10の試合を見ておまして、本当にこれは鍛え上げられた素晴らしい打撃の高校であると本当に思いました。有名校を次々に破って、後で皆さんお分かりになったと思うんですが、たまたま皆、道産子であったと聞いたんですね。普通は今日もガバナー来ているんですけど青森の山田だとか東北高校、私立高校で大阪だとか京都だとかそういうのをいれて何とかしているんですね。そういう意味で駒大の内容を見ると素晴らしかった。丁度こちらに着いたときに案内するガイドさんが、私も実はですね深紅の旗を見たくて、2日間公開したそうで、それを見て感激しましたと言っていました、北海道の活性化をしてくれるのではないかと私も思っております。今日は地元の市長さんもお越しになっています。私も、挨拶を

参加クラブ

第10グループ 長万部RC



会長 高森 治光



わが町は、昭和40年人口15,349人をピークに減少し半数以下。会員も3分の1の13名です。少子高齢化に対応し、少年組織への助成と高齢者温泉入浴サービスへの送迎奉仕等を実施。

登録会員名簿（6名）

高森 治光 井上 正範 赤塚 繁夫
片山 幸夫 角 健 大友 伸之



参加クラブ
第11グループ 江差RC



会長 深見 秀治



江差町をはじめその近隣町は、江戸時代から明治に掛けて日本海を帆走した北前船の交易によって開けた地域です。今、江差RCは、創立42年の歩みの上に立って、地域の長く重い歴史文化遺産に関連させることと時代変革に対応する社会奉仕事業にと、小さなRCから会員の心を一にして発信しようと語っている今日です。

登録会員名簿（7名）

隅田 秀男	田畑 裕士	日沼 一声
深見 秀治	棚田 清	松原 富郎
横内 隆文		

させて頂きました。現在5期目と聞いて、長いのではないかと云ったら、まだまだやり残していることがあると言っておりました。又、今日は、私が所属している地区の埼玉近郊の神奈川から、陽気なガバナーが2人出席しております。その内の1人は地区大会が終わって、のんびりし過ぎているように見えます。あ～あそう、松宮さんどうもおめでとうございます。その他にも、青海のガバナーだとか、韓国の3700地区の方など、大勢お越し頂きましてありがとうございます。内外ともにパストガバナー、ロータリーに関係のある方々だとか、今日は会長晩餐会ということですから、今までの生涯で有難いことはない和家人共々感激しています。私の一生の思い出の晩になるかと思えます。それから、私事で申し訳ないのですが、ガバナーの同期会があり、東京から、秋山夫妻、立って下さいよ。会長代理を数回経験している方でございまして、私が何か有ったときはピンチヒッターで出るようになっていたんで、それで応援して下さいました。それから関口さん、先程ご紹介が有りましたが、立って下さい。今日は私をガバナーに指名したときの恩返しで来て頂いているのではないかと云っております。埼玉県の代表で栗田さんがいるので安心して頂きます。それから坊さんがいるんですが、ロータリー文庫の方で長くおつきあいをされていて、来なけりゃ良いなあと思ったんですが、まあ明日の挨拶はどうなるかと思うんですが。本当に400年も続いている山の中の住職で、私もいつも尊敬しているんですが、ひとつお手柔らかにお願いしたいんですが、そういう意味において今晚は和やかに、ロータリーというのは地区の一番イベントでございますので、友好、親睦を深めて今晚はよろしくお願ひしたいと思います。以上、駄洒落も含めましてありがとうございました。（拍手）

司会(齊藤正史)：遠藤秀雄ガバナーよりご来賓の紹介をお願い致します。

遠藤秀雄ガバナー：またまた登場を致しました。一番大事なお来賓のお名前を忘れておりました。本日、登別市長、上野晃でございます。（拍手）

私もいろいろ質問を致しまして申し訳ございません。





奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

司会 (齊藤正史)：それではここで、ご来賓の登別市長、上野見様よりご挨拶をお願い致します。

登別市長上野晃：ご紹介頂きました地元登別市長の上野でございます。北海道はこの辺たぬきよりはキツネの方が多くて、古キツネの方でございます。今日はこんな素晴らしい晩餐会にお招き頂きまして誠にありがとうございます。またこの度は国際ロータリー会長代位の石井様ご夫妻を始め、多くの来賓の皆様、そして各地から多くのロータリアンの皆様にお出でを頂きまして、当登別市で素晴らしい大会が開催されましたこと本当に光栄に存じますし、遥々お出でくださいました皆様を心からご歓迎を申し上げます。そして皆様にはそれぞれのお仕事の分野で活躍されながら、日頃はロータリー精神に基づいて地域の発展のために、あるいはまた福祉向上のために大変なご尽力をされておられますことに、心から敬意を表する次第でございます。さて、もう登別の紹介はお聞きになっていることと思えますけれども、私も観光協会の取組をさせて頂いておりますので、若干PRさせて頂きませんが、登別は人口わずか55,000人足らずの小さな町でございますけれども、温泉としては古くから脚光を浴びておりますし、日量1万トンの湯量があり種類が11種類と日本に出ている全部の種類が集まっていると聞いております。そしてこの会場のグランドホテルさん、明日の会場になります第一滝本館、その他に15のホテル旅館が運営をしております。本当の温泉を皆様に提供しております。また温泉情緒も他はドンドン様変わりしておりますが、ここはまだそういったものがまだ残っております。そして先程も有りましたようにきっと何か良いこともあると思いますので、お楽しみ頂ければと思います、そして明日の大会が素晴らしい大会となりますことを心からご祈念申し上げます。石井会長代理さんを始め皆様のご健勝、各地のロータリーの益々のご発展を心からご祈念申し上げます。歓迎のご挨拶とさせて頂きます。皆様、ようこそお出でくださいました。(拍手)

司会 (齊藤正史)：ありがとうございました。

参加クラブ

第11グループ 函館五稜郭RC



会長 光銭 裕二



当クラブは今年35周年を迎えました。地域奉仕と青少年育成を重点に、史跡五稜郭を舞台に繰り上げられる函館野外劇や五稜郭祭りへの参加支援、市内小学校の学校花壇整備への援助、インターアクトクラブの支援等、地域に密着した活動を展開しております。また、クラブ奨学金を設置し、将来の国際交流の柱となる地元への留学生を物心両面から支援、バランスの取れた四大奉仕を実践しています。

登録会員名簿 (22名)

青田 基	朝倉 純一	阿彦 治
伊藤 隆義	小田桐恭一	柏木 秀之
金道 雅樹	上出 眞也	光銭 裕二
酒井 正人	上加 淳悦	菅谷 剛
田嶋 英人	坪内 繁	中川 正光
中澤 誠一	中原 哲信	能戸 彰
牧野 康宏	松本 明	村田 信吾
輪嶋 隆		



参加クラブ

第11グループ 函館東RC



会長 鍋谷 操子



わがクラブは'07年、創立50周年を迎えます。'90～'91年度に4名の女性が入会して以来女性会員の多いクラブとして関心を集め、10・11グループで初の女性会長が誕生しました。本年度は鍋谷操子会長のテーマ「広げよう奉仕の心」更に4つの会長方針のもと、心をひとつにして奉仕活動を進めてまいります。

登録会員名簿 (23名)

安保裕一郎	池垣 清信	今井 義憲
五十嵐 稔	小野 孝良	門脇 雅夫
黒島 一生	小安土達郎	小泉護太郎
小林 眞樹	坂下 賢二	佐藤 健治
佐藤 美子	時田 茂	戸嶋 浩
鍋谷 操子	林 完治	福嶋 貢
古田 清一	松井 久男	宮崎徳三郎
横岡 孝一	吉川 達也	

それではここで、乾杯のご挨拶を富原薫パストガバナーにお願いしたいと思います。

富原薫パストガバナー：ご紹介頂きました富原でございます。

突然の指名を受けました乾杯要員でございまして、何の用意もございません。先程来、石井RI会長代理さんのお話を伺っておりまして、一番感激喜んでおられるのは、遠藤ガバナーではないかと思えます。此の様な極めてジョークたっぷりなお話、そして市長さんのお話等々ありました後での乾杯でなかなかやりにくうございしますが、何れに致しましても此の様な盛大な歓迎会がもたれるということにつきましては本当に嬉しく思いますし、心からお慶び申し上げたいと思えます。それではご起立を願います。RI会長代理ご夫妻並びに遠路遙々韓国からお出でになられました皆さん方の健康、そして明日は記念すべき友好親睦の調印が行われるというふう聞いております。これから益々親交を深める中で皆さんの健康、そしてそれが日本とそして北海道、この親交が益々深まってロータリーがより一層、国際的にもそしてお互い一人一人の友情の密度が濃くなっていくことを心から祈念致しますとともにロータリーの将来の一層の発展を祈念致しまして杯を高らかに上げたいと思えます。乾杯 (拍手)

(懇親会)

司会(斉藤正史)：時間というものは無情なものでこのような和気あいあいというような歓迎会、やはりお開きになる時間となりました。今日の料理如何でしたでしょうか？ (拍手) それでは閉会の言葉を、堅田大会副実行委員長よりお願い致します。

堅田大会副実行委員長：登別クラブにはこの当グランドホテルの社長さんが会員としております、このような素晴らしい料理を提供して頂きました。私は伊達クラブなものですから、当クラブとはちょっと違うんですけども、やはりまあ、良いお料理でしたなというふう感じて、今日食べさせて頂きま





奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

した。本当にありがとうございました。今日これからまだまだ時間はあります。秋の夜長、これから温泉の時間となります。どうぞ是非お楽しみを頂きたいと思ひます。じゃあ、明日また、大会でお会いしたいと思ひます。ありがとうございました。

司会 (齊藤正史) : 予定でございますから、実はここで終わるところでございますけれど、先程からロータリーソングを歌わないで終わるのは何事だということで、この場所で手を手をつないで、皆さんで歌いたたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

参加クラブ

第11グループ 函館北RC



会長 南木 哲雄



昨年度、クラブ創立40周年を終え会員一同停滞ムードに成りがちな気運のあるところ、今年度は若年会員の発案でクラブの更なる発展と会員拡大を目指して、地域発展委員会を設立しました。活動目標はクラブ独自の企画でガーデニングとイルミネーションコンテストを開催いたします。この企画が地域とRCの良好な係わりと成ります。

登録会員名簿 (16名)

大谷 賀津雄	小笠原 孝	北村 祐治
斎藤 紀一	佐々木 公和	柴崎 晃
新 博夫	高坂 智	中野 亮
増田 定雄	増山 正	松見 修二
南木 哲雄	森 秀樹	藪下 義晴
渡部 二康		



第5部 大会第二日目 (10月17日 本大会)

～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

参加クラブ

第11グループ 上磯RC



会長 木下 康昭



創立8年目の若いクラブです。毎年地域の学生と一緒にいる薬物乱用防止運動や青少年交換留学事業などに力を入れています。

登録会員名簿 (8名)

大場 公孝	小椋 利勝	木下 康昭
光銭 健三	堺 正英	中村 高彦
張江 征司	宮澤 生雄	

平成16年10月17日 日曜日

大会

(会場・・日本工学院北海道専門学校体育館)

司会 (山本文子)：ご来場の皆様お早うございます。本日は国際ロータリー第2510地区地区大会にご来場頂きまして誠にありがとうございます。



ご来場の皆様へお願い申し上げます。お手持ちの携帯電話等は電源をお切り頂くか、マナーモードにして頂けますようお願い申し上げます。

間も無く開演いたします。ロビーまたは展示ブースにおいでの方はどうぞお席にお着き頂きますようお願い申し上げます。

ご来場の皆様へ再度、お願い申し上げます。本日受賞される方は受賞席がこちらの方でございますのでそちらの方へ着席して下さいますようお願い申し上げます。

ご来場の皆様へご案内申し上げます。表彰を受けられる方はステージ向かって左手側、前の方にお席を用意しておりますので、そちらの方へ着席下さいますようお願い致します。

表彰席の方にはクラブ紹介が終わってからも結構でございますのでクラブ紹介が終わりましたら、表彰席の方へとご移動下さいませ。

間も無く開会でございます。

司会 (松山哲男)：皆様大変長らくお待せいたしました。



只今より国際ロータリー第2510地区地区大会本会議を開催致します。

私、司会進行を務めさせて頂きます登別ロータリークラブ会員、松山哲男でございます。よろしくお願い致します。(拍手)

司会 (山本文子)：アシスタントの財団学友、山本文子と申します。いたらぬ点が多々あるかとは思いますが、この大会が無事終了致しますよう、どうぞよろしくお願い致します。

(拍手)





～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

司会(松山哲男)：それでは、国際ロータリー会長代理とエード役を努めて頂きます岩城秀晴ガバナーご夫妻の先導により国際ロータリー会長代理、石井治様ご夫妻をステージにお迎えしたいと思います。皆様ご起立の上、拍手をもってお迎え下さい。(拍手)

司会(山本文子)：それではどうぞご着席くださいませ。

司会(松山哲男)：それでは定刻となりましたので点鐘を行います。

国際ロータリー第2510地区遠藤秀雄ガバナーよろしくお願ひ致します。

遠藤秀雄ガバナー：(点鐘)カーン(拍手)

司会(山本文子)：ありがとうございました。

司会(松山哲男)：続きまして国家斉唱並びにロータリーソング「我らのなりわい」を斉唱お願ひ致します。皆様、ご起立をお願ひ致します。

司会(山本文子)：ソングリーダーは登別ロータリークラブ木村和夫ソングリーダーです。

それではよろしくお願ひ致します。

国家斉唱

ロータリーソング(我らのなりわい)

(拍手)

司会(山本文子)：木村和夫ソングリーダー、ありがとうございました。

どうぞ皆様、ご着席ください。

司会(松山哲男)：続きまして開会の言葉を戸塚守夫大会実行委員長より申し上げます。(拍手)

参加クラブ

第11グループ 松前RC



会長 長岡 武久

我がクラブは、先人から受け継がれた遺産「八重桜の里」を衰退させることなく、次の世代に引き継ぐ役割を果たすため、桜の苗木育成・町民を対象とした接木技術の講習・桜の天狗巣病駆除等地域に根ざした奉仕活動を続けている。

登録会員名簿(1名)

長岡 武久



参加クラブ

第12グループ 白老RC



会長 門別 紀一



1979年6月17日、登別RCを親クラブとして会員30名で設立し、本年度26年を迎えます。1983年には仙台西RCと姉妹クラブを締結し、昨年は締結20周年を記念し、緑りの地白老仙台藩元陣屋跡に、アカマツを友好の証しとして記念植樹しました。今年度もロータリー100周年を祝い記念植樹を実施します。

登録会員名簿 (29名)

赤松 成彰	秋元 則夫	石田 信雄
大道 實	我喜屋 優	笠井 博輝
加藤 信雄	河合 浩司	川上 一
川田 憲秀	毛笠 勇夫	坂田 孝次
杉村 孝	煤孫 正美	鈴木 琢磨
仙田 公昭	田辺 真樹	谷島 純平
手塚 貴志	戸田実津男	中山 育子
服巻 滋之	平間 但	藤岡 和男
藤田 英雄	堀田 仁史	門別 紀一
山手 康	和歌 宏侑	

戸塚守夫大会実行委員長：皆さまお早うございます。秋も深まり何かとお忙しい中を多数の皆様のご出席を頂きありがとうございます。本日はRI会長代理、石井治様ご夫妻をはじめ登別市長上野晃様、そして地区内外のガバナー、パストガバナー、また韓国から第3700地区の皆様、タイの3350地区のGSEメンバー、そして多数のお客様をお迎えしております。厚く御礼申し上げます。地方の小都市での開催となりましたが、第9グループの各クラブの総力を上げて手作りの準備を致しました。山の中の一軒家のような場所でございますが当日本工学院のハイテク技術を何とかこの中に取込もうということで大変ご協力を頂いております。ロータリー百年のこの地区大会で我々はテーマである奉仕の第二世紀への第一歩を踏み出します。昨日に引き続き実りのある楽しい会合となりますように期待致しまして開会の挨拶といたします。本日はどうもありがとうございました。(拍手)

司会 (山本文子)：ありがとうございました。

司会(松山哲男)：続きまして物故会員に対しまして黙祷を捧げたいと思います。

前年度の地区大会以降32名の会員の方々がご逝去されました。黙祷に先立ちまして、慎んでお名前とお写真をご紹介申し上げます、生前を忍びたいと存じます。

挿入歌 Amazing Grace 他

司会 (松山哲男)：皆様、ご起立をお願い致します。

心からご冥福をお祈り申し上げ、只今より黙祷を捧げます。

黙祷

黙祷終わります。ありがとうございました。

司会 (山本文子)：それでは、ご着席下さいませ。

司会(松山哲男)：それではここで本大会のために遠路ご臨席を賜りました、国際ロータリー会長代理ご夫妻を始め、ご来賓並びに市役員の皆様方を、遠藤ガバナーよりご紹介申し上げ





～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

げます。

それでは、よろしくお願い致します。

司会 (山本文子)：皆様には大変ご迷惑をおかけ致しました。機械の故障の様でございます。

遠藤秀雄ガバナー：お早うございます。今日も元気で参りましょう。それではご来賓の皆様方のご紹介を申し上げます。RI 会長代理石井治様、石井由紀子様でございます。(拍手)
会長代理のエード役をお務めいただきます岩城秀晴様、節子様でございます。(拍手)

それでは本日お忙しい中をご来賓としてご出席頂きました登別市長上野晃様でございます。(拍手)一言、お断りを申し上げますけど、私は韓国の言葉が非常に不如意でございまして、発音が非常に不確かなものですから、大変、失礼かとは存じますけれど、あとでまとめてご紹介をさせて頂くことをお許し頂きたいと思ひます。

(別頁140のご来賓ご招待者ご芳名欄参照)

以上でございます。

司会 (山本文子)：ありがとうございます。

司会(松山哲男)：続きまして地区外参加クラブのご紹介を伊奈昭男代表幹事をお願い致します。

恐れ入りますがクラブ名をお呼び致しますので、その場においてご起立の上、宜しくお願い致します。

(伊奈昭男代表幹事)：地区外の参加ロータリークラブをご紹介申し上げます。

国際ロータリー第2610地区石川県加賀ロータリークラブ7名の皆さんです。

国際ロータリー第2780地区神奈川県茅ヶ崎湘南ロータリークラブ2名の皆さんです。

司会(松山哲男)：続きまして地区内参加クラブのご紹介で

参加クラブ

第12グループ 苫小牧RC



会長 板谷 剛



昭和32年創立。地区大会を二度主管し2つの新クラブをスポンサー。神奈川県相模原ロータリークラブと姉妹クラブを結び交流は34年になる。この46年間高校生に毎月奨学金を贈呈し、毎年の植樹は43年間継続している。

登録会員名簿 (40名)

青山 一夫	阿部 喜朗	板谷 剛
市町 峰行	大森 政代	尾野 信夫
小保方伸一	梶川 昇	梶谷 梅宏
蚊野 悠三	狩野 耕	君嶋 基弘
今野 陽三	榊原 明彦	佐藤 俊生
高橋 雅博	田中 正臣	圓谷 敏彦
照井 孝二	得能 隆	西川 辰美
西田 啓一	原間井 昇	藤澤 正昭
藤瀬 幸保	町田 正年	松崎 純男
宮田 昭一	村上 満男	山崎 伸一
山口 昭悦	山本 正幸	横田 稔
吉鶴 松生	大下 勲	今 善幸
高杉 俊彦	橋本 洋一	山本 淑裕
渡辺 健治		



参加クラブ

第12グループ 苫小牧東RC



会長 佐藤 正孝



苫小牧東RCは平成12年より子供達と環境について事業を推進してきました。新世代活動として新中学生より環境標語を募集して結果苫小牧環境衛生部に取りあげられゴミ回収車に標語がのり中学生の副読本「ゴミとリサイクル」にも「中学生の提言」として活用されております。今年度も更に活動を拡げていくつもりです。

登録会員名簿 (23名)

青木 孝吉	浅川 一臣	浅川 ムツ
蝦名 久志	小笠原正男	小幡 直樹
川村 義昭	木村 修	古宇田 渉
兎玉 和雄	斉藤 英明	桜岡 義久
佐藤 正	佐藤 正孝	三小田吉邦
菅野 嘉一	関 千代子	高井 昌機
中野 孝一	綱木 保利	松下 昌平
松原 實	水元 修治	

ございます。

地域グループごとにガバナー補佐の皆様を順次ご紹介致します。お名前を呼ばれましたらご登壇の上、クラブをご紹介願います。

(別頁13～84の参加クラブ紹介欄参照)

司会 (松山哲男) : 続きまして本日出席されております、特別参加者の皆さまを上田博子地区監事よりご紹介申し上げます。

司会 (山本文子) : 恐れ入りますがグループ単位でご紹介致しますので、お名前をお呼び致しましたら、グループごとに、ご起立をお願い致します。

上田博子地区監事 : 本日の特別参加者をご紹介させていただきます。第3350地区タイからいらしゃいましたGSEチームのメンバーでございます皆様、お立ち下さい。次にローターアクトクラブの皆様、どうぞお立ち下さい。インターアクトクラブの皆様、お立ち下さい。交換留学生の皆様どうぞ、米山奨学生の皆様どうぞ、米山学友の皆様です。ロータリー会館奨学生の皆様、お立ち下さい。ロータリー会館学友の皆様どうぞ、ロータリー地域社会共同体の皆様どうぞ、以上でございます。ありがとうございました。

司会 (山本文子) : ありがとうございます。

ここでお願いを申し上げます。本日、表彰を受けられる方は、丁度ステージに立って左側の表彰者席こちらの方でございます。こちらの方へご移動をお願い致します。

司会 (松山哲男) : 続きまして、歓迎の言葉をホストクラブ登別ロータリークラブ会長中村雅より申し上げます。(拍手)

登別ロータリークラブ会長中村雅 : 国際ロータリー第2510地区、2004年2005年度の地区大会が開催されるに当たり、ホスト





～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～



クラブを代表し、歓迎のご挨拶を申し上げます。皆様ようこそ、お出で頂きました。心よりお待ち申し上げておりました。本日はお忙しい節、また遠方よりR I 会長代理、第2770地区、石井パストガバナーご夫妻をお迎えし、地域内外の多数のロータリーアンとご家族、ロータリー関係の皆様、また、韓国より第3700地区ロータリーアンの皆様が、姉妹地区調印の為、ご参加を頂き盛大に地区大会を開催できますことは、ホストクラブを代表して誠に光栄とともに喜びと、心より感謝申し上げます。登別クラブは1969年、産声を上げ、本年で35年になり、初めての遠藤ガバナーを輩出、さらに地区大会の開催地に決定となったとき感激とともに如何に大会を成功裏にすべきかと暗中模索の中、昨年秋より実行委員会を立ち上げ、当クラブはもとより、室蘭3クラブ、伊達クラブ、洞爺クラブとの全面的なご支援のもと、試行錯誤しつつあらゆる知恵を出し合い、本日を迎えることが出来ました。本年度はロータリー創立百周年を迎えR I 会長はロータリーを祝おうと宣言されております。各クラブにおいてもさまざまな事業を展開されていることとご推察申し上げます。本日の大会は、それに相応しい大会にすべく、会員一丸となって準備を進めて参りました。しかし、何かと不行き届きの点が多々あるかと思いますが、皆様の暖かいご理解とご容赦を賜りますよう、お願い申し上げます。本大会を契機に皆様との友愛をさらに深め、意義ある大会となりますことを宿願致しますと共に、皆様のご健勝とご活躍を宿念致しまして歓迎の挨拶と致します。ありがとうございます。

司会 (山本文子)：ありがとうございます。

司会 (松山哲男)：ここで、遠藤ガバナーよりご挨拶並びに地区の現況報告を申し上げます。

遠藤ガバナー：本大会は11日の囲碁大会、それから15日のゴルフ大会、こういった行事で幕を開けました。そして昨日から、R I 会長代理と致しまして石井治様、由紀子様をお迎えして、会長幹事会それから大会、本会議の第1日目を開催致

参加クラブ

第12グループ 苫小牧北RC



会長 高橋 寛

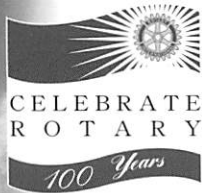


1970年苫小牧RCをスポンサーに設立、35年目を迎える。1995年RCC「苫小牧家庭生活カウンセリング協会」を提唱、10年目を迎える。近年はアイススレッジホッケーチーム「北海道ベアーズ」の支援を始めている。また、米山奨学生を受入れている。友好クラブに、石巻RC(宮城)、タラデルRC(NZ)。

登録会員名簿 (31名)

藤田 信一	山崎 正寿	伊藤 竹雄
鈴木 隆	石田 貢	丸屋 憲一
伊藤 長英	伊藤 祐紀子	広島 薫
矢部 繁	中山 佳孝	菊地 芳彦
高木 一男	小野 多七	田中 稔
山本 雅昭	櫻井 謙二	佐々木 幹雄
高橋 寛	高橋 康則	谷岡 裕司
岡田 秀樹	佐藤 司	山田 信夫
山崎 昭三	阿部 寛	伊部 廣明
藤澤 澄江	沼田 雅夫	山本 秀子
池田 好文		





～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

しました。大会決議案をご承認頂きました。また、各地区の委員会からご報告を頂きまして、地区は現在円滑に活動しているということをご理解を頂きました。また、昨日はフォーラム、これは財団を取り上げさせて頂きました。財団各位の皆様から基調講演、それからパネルディスカッションがございました。現在、私共が支援をしている教育的プログラム、非常に有効に活用されているということ、そしてそれが次のロータリーの世代に受け継がれていくということを私達は身をもって体験を致した所でございます。また、昨日、石井治様、由紀子様ご夫妻を囲む歓迎晩餐会が開かれました。湯の町登別での大変和やかな夕べであったというふうに考えております。そして本日、大会第2日目を迎えました。色々これからご報告等がございますし、また、記念講演も用意されております。地区にとりまして地区大会は1年を通して最大のイベントでございます。先程申し上げましたようにグレン E. エステス・シニア国際ロータリーの会長代理として石井治様、由紀子様をお迎え致しまして開催できることを大変光栄に存する所でございます。また、本日は、お忙しい中をご来賓として、登別市長の上野晃様にもご出席を頂きまして本当にありがとうございます。また、地区内外からご多用の中を大勢のガバナーご夫妻、パストガバナーご夫妻、ガバナーエレクトご夫妻そして新世代の皆様方、また財団学友、米山学友の皆様方、タイの3350地区のGSEリーダーのソンブン様始め4名のメンバーの皆様方、本当にようこそお越し頂きました。また、さらに姉妹地区を予定しております韓国第3700地区から都戴旭総裁様を始めとする11名の皆様方をお迎えをしております。ありがとうございます。そしてまた、地区内の大勢のロータリア

ンの皆様のご出席を頂きました。本当に心から感謝を申し上げる次第でございます。私は7月7日から始まりまして10月6日で72クラブの公式訪問を終えたばかりでございます。各クラブが北海道経済の長引く不況の中で厳しいクラブ運営を余儀なくされているにもかかわらず、社会奉仕、国際奉仕活動のみならず、会員増強や退会防止に務められていることに敬意を表するものでございます。今年度、エステスRI会長のテーマはロータリーを祝おうであります。百年間の輝かしい歴史を振り返り、今一度、足元を見つめ直し、そして更なる百年に向かって進んで行こうという趣旨でございます。その意義をふまえて今大会は奉仕の第二世紀へと銘打って開催をさせて頂くことに致しました。2005年の2月の23日は地区内全クラブ、もしくはグループで一斉に記念になる会合を開いて頂きたいということをご願致しております。また長年懸案になっておりました第3700地区との友情関係も、この節目の年に華美に走らず、すべて自己負担でというかたちで地区に経済的な負担にならないという条件が整いまして姉妹地区提携の運びとなりました。ご理解を頂きたいと思っております。今回のプログラムは、昨日はエステスRI会長の三大目標の一つであるロータリー財団を取り上げさせて頂きましたけれども、皆様方には感銘深いフォーラムであったというふうに理解を致しております。また本日は記念講演としましては、女優の松島トモ子さんによる多彩な活動を通して得た貴重な馳驟に富んだ講演が期待されているところでございます。遠方から参加される皆様方に配慮致しまして、なるべく簡素化を図って大会の運営を円滑にするように、地区委員会や各クラブには展示ブース会場を用意致してございます。皆様方是非ご覧を頂き、ご活用を頂





～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

きたいと思います。今大会が中味の濃い、そして感動を呼ぶ大会となりますように、ご出席の皆様方の友情とご協力をお願いを申し上げます。土地柄、会場が手狭なために3会場になりました。大変、ご不便をお掛けすることを深くお詫びを申し上げます。最後にホストの登別ロータリークラブの皆様方、コ・ホストの第9グループの5ロータリアンの皆様方、そしてご協力を頂いた日本工学院専門学校の皆様方、そして登別温泉地区の皆様方に心から感謝を申し上げます。そして地区の現況でございます。現在、2510地区はクラブ総数が72クラブでございます。そして期首の会員総数が3,136名でございます。今日お見えのインターアクトクラブは10クラブでございます。会員が193名、ローターアクトクラブは12クラブでございます。会員数が98名でございます。青少年交換留学生、受け入れ8名、派遣8名ということになっております。国際親善奨学生の皆様方は、受け入れが2名、派遣が11名ということになっております。米山記念奨学生は、継続が3名、新規が18名、クラブ奨学生が3名の計24名になってございます。先程ご紹介致しました、研究グループ交換、現在、第3350地区から5名の皆様方がお見えでございます。財団の年次寄附目標額、これが31万3,184ドルでございます。この目標額に達成して頂きたいというふうを考えています。ポールハリスフェローは累計で3,615名、ベネファクターが累計で164名ということになってございます。皆様方に義援金を要請致しておりました新潟福井災害義援金はお蔭様を持ちまして199万2,792円、ご寄付を頂きました。これは新潟、福井、両県のロータリークラブに半分づつ差し上げるということになってございます。これからも皆さん方の各クラブのご活躍、ご活動を期待致しまして現

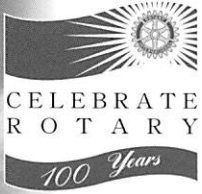
況報告を終わらせて頂きます。ありがとうございました。(拍手)

司会 (山本文子) : ありがとうございます。

司会 (松山哲男) : 続きまして、石井治国際ロータリー会長代理より国際ロータリー会長のメッセージ、並びにご挨拶と国際ロータリーの現況につきましてご報告を頂きたいと思いますが、石井国際ロータリー会長代理のプロフィールを遠藤ガバナーよりご紹介を致します。よろしくお願い致します。

遠藤ガバナー : ご紹介を申し上げます。石井治様のプロフィールは2ページに載っております。ちょっと暗くて見えないかと思っておりますけれども、1929年7月22日のお生まれでございます。月日だけを見ますと、私と2日しか違わないということになります。所属クラブは春日部ロータリークラブでございます。ロータリー歴だけをご紹介をさせていただきます。1964年春日部ロータリークラブのチャーターメンバーでいらっしゃいます。1990年、R I 277地区のガバナーをお務めでございます。2000年ロータリー運行運営委員会委員長、2003年には米山記念奨学会の理事をお務めでございますし、2004年、規定審議会代表議員でいらっしゃいます。大変、ロータリーに貢献をしていらっしゃいまして、ロータリー財団、米山奨学会共にメジャー部門、そしてロータリー財団特別功労、ゴールデンセンチュリー賞等を受賞しておられますし、四大奉仕部門功労賞を受賞しておられます。また、藍綬褒章も受賞していらっしゃいますけれども、一番大事なことは超我の奉仕賞をお受になっていらっしゃるということでございます。私も、超我の奉仕賞というのを手続要覧で





～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

ちょっと調べましたところが、R Iの目標の推進に際立った努力をした人を表彰するものであり、ロータリアンに対するロータリーの与える最高の榮譽である、と記載されている大変な賞を受賞されていらっしゃるということは、非常にロータリー活動にご熱心であるし、また活発な活動をなさった方でございます。こういう方をお迎えするというは大変我々にとってありがたいことだというふう存じます。また、ご趣味がですね、ゴルフと演劇鑑賞ということになっております。実は演劇鑑賞は奥様の由紀子様の方が大先輩でいらっしやいまして歌舞伎の大ファンであるというお話を伺っておりますし、またどういわけですか埼玉にお住まいになって居られますのに、トラキチでございまして阪神タイガースの大ファンであるというふう伺っております。こういった夫婦円満もロータリーにとって大変必要な活動の源になるのではないかとこのように思います。それでは、石井治さんのご紹介を終わらせて頂きます。ありがとうございます。(拍手)

司会(山本文子)：それでは、国際ロータリー会長代理石井治様宜しくお願い致します。

石井治国際ロータリー会長代理：只今、遠藤ガバナーから、何と言いますか、紅顔の至りで紹介頂きまして困っているわけなんです、本当にありがとうございます。2770地区のバスターガバナーの石井でございます。昨日に引き続きましてグレン E. エステス・R I会長と奥様のメリー夫人の代理と致しまして、家内の由紀子と共にこの2510地区の大会に参列させて頂いております。昨日申し上げましたが、この地区はですね、歴史と伝統のある地区でございまして、素晴らしい活動をして

おります。ロータリー100年の節目の時、遠藤ガバナーのリーダーシップのもとに素晴らしい活動が展開されておりますが、これも歴代のガバナー始め、地区のリーダーそれから会員の皆様のご協力があればこそと思っております。心からR I会長代理に成り代わりまして、感謝と敬意を表します。さて、R I会長につきまして若干、ご紹介申し上げますが、1913年創立のバーミンガムロータリークラブの会員でございます。このクラブはメンバーが550人おります。そして、今回の会長は3人目です。最初はフランク・ステイン氏で、1951～1952年度の会長でございました。第2番目の方はロイ・シックマンという方で、1972～1973年度の会長です。何故、此の様な多くの会長が選出されたかということにつきましてお聞きしますと、「米国南部の精神は社会に還元するという事です」と現会長は言い切っております。そして私達は社会に還元し、次の世代に対して責任を果たすべきと常に考えておられますということです。さて、このロータリー百年の本年度をリードするにあたりまして、ロータリーを祝おうというテーマのもとにエステス会長は、強調すべき4つの奉仕分野につきまして述べられておりますが、それはロータリーの家族、保健問題、識字率の向上、そして水管理の4部門でございます。最初に4部門について簡単にご説明しますと、ロータリー家族は2003～4年のジョナサンB. マジリア前会長のテーマが「手を貸そう」を引き継ぎまして、エステスR I会長は2004～5年ともロータリー家族を強調することに決めました。ロータリー家族の試みは退会防止のために重要な役割を果たし、また、斬新で充実した奉仕プロジェクトを促進致します。私達の配偶者や子供達、親戚をもロータリーのプロジェクトに組み込むことによって、





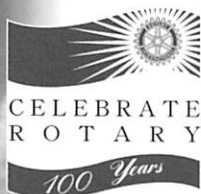
奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

ロータリーは会員にとって人生を豊かにし、また満足のゆくものとなります。私達はロータリー財団、学生、GSEのメンバー、それからローターアクト、インターアクターのそれぞれのメンバーも忘れることは致しません。それから次に保健問題について述べますと、ロータリーはポリオのない世界という目標を掲げまして、1985年から撲滅運動が取込まれたわけでございます。開始して、2003年には125カ国から7カ国まで95パーセントも減少しております。2005年には百周年の三大目標として撲滅宣言をする予定でございます。他の二つの目標というのは、会員増強と財団でございます。識字率の向上について申し上げますと、国連の統計によりますと全ての発展途上国で成人の識字率の平均は75パーセントを下回っております。私達に想像の出来ない数字でございます。これは、15歳以上の大人の4分の1にあたります。その4分の3はアジアの人でございます。また識字者の3分の2は女性でございます。すなわち有意義な仕事に就くことが出来ません。それでロータリーはもう既に、識字率について色々なことで取り組んでおります。次は、水管理について申し上げますと、発展途上国の殆どのところは安全な水は貴重品です、国連の発表では約10億人を超える人たちが安全な水に恵まれていないのです。毎日、6千人以上の方が汚染された水が原因のため病気で命を落しております。ロータリアンの協力によりまして改良したいと思っております。続いて、今、ロータリーで一番問題になっております魅力について、私は今日の地区大会で取り上げてみたいと思っております。ロータリーの魅力がなくなった原因は何か。それはロータリアンがロータリーの基本的なルールを守らなくなったからだと思います。このことについ

て1959～60年度のR I会長ハロルド・トーマス氏は「ロータリーモザイク」という本を書いております。様々な人間が、それぞれの思想で互いに謙虚に学び取ろうとする。まさに緑、青、黄色、赤のモザイク模様のことです。そういうことを万感の思いを込めて付けた名前が「ロータリーモザイク」であります。その本の最後の章に、今日我々ロータリアンが憂慮していることがあると、一つは会員制度に於ける職業分類の原則、もう一つは例会の規則的出席であると言い切っておるわけでございます。ロータリー指導者の私はこの本は必読書と思ひまして、先程ご紹介がありましたがロータリー文庫の役員をしておる時、皆さんと語りまして、6千部複製版を販売したわけでございますが、1年で完売してしまいました。ついでロータリーの魅力を復活させる為には、ということを考えている人があると思ひます。ロータリーのロータリーたる所以は、職業奉仕であります。私達が20年前には、職業奉仕というのはロータリーの看板であると教えられました。今の時代ほどロータリーの職業奉仕を必要としている時代はないと思ひます。今こそ、ロータリーは職業倫理を掲げて社会に範をする行動を示すときではないでしょうか。ポール・ハリスは「社会に役立つ人間になるには色々な方法があるが、最も身近で効果的な方法は、間違いなく自分の職にある」と説いております。職業奉仕とは、会員ひとりひとりが自分の錬成の場であるロータリーにあると説いております。エステスR I会長も職業奉仕を通して、新しい世紀を祝おうと今呼びかけているわけでございます。そして、元R I会長レイモンド・ヘブンス氏は、「真の奉仕とは地上に平和を、人々に慈しみを」について、自己責任を意味する言葉でございますが、こういうメッ

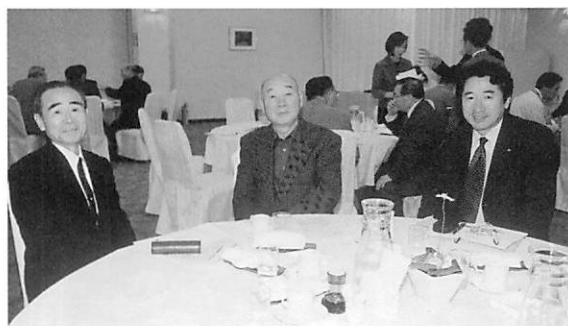




～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

セージを送り続けております。私達は今一度、自らの職業を通じて社会に奉仕、自己改善、職業道徳の高揚を図ることで、各地にロータリーをもう一度生き返らせて行かねばならないと思っております。それでは会員は如何に行動するべきか、百周年の意義ある年に次なる未来に向けて、「入りて学び、出でて奉仕せよ」の標語を実践して下さい。そしてロータリーは変えてはならないものがありますが、親睦と奉仕は時代に合せてクラブによって決められるものです。今の若い人達に魅力を与えて入会をお勧めして頂きたいと思っております。それではR I会長の代理として一番大事な現況報告に移らせて頂きます。百周年を祝うグレン E. エステス・シニアR I会長はロータリーの初期の指導者達に敬意を払うべく、創始者の詩を主催することに決めました。ポール・ハリスとシルベスター・シーリングの敬意を払うために、米国イリノイ州、クレスウッドにおいて、それから2番目には、ガスターパーロアとロバート・スチュワードに敬意を払うべくイリノイ州カーンビルにおいて、そして3番目にはハイラム・ショウレーに敬意を払うべくメイン州のリトルフィールドズにおいて行うことを決定しております。それから、R Iの理事の数ですが現在、17名の方がおります。米国から2名、日本からは本年は、田中作次氏を含め私の地区から二人出ております。そして、英国、フランス、カナダ、オランダ、インド、フィリピン、ブラジル、コロンビア、スウェーデンから各1人出、その他、副会長に米国のジョン・フィヤーム氏、それから財務委員長にはイタリアのデビット・ギモーガン氏で、これで合計17名、これに会長と副会長が加わりまして19名で理事会が構成されております。事務総長は米国のウイズイン・フッタ氏でございます。

それでは会員数について申し上げます。2004年6月末、一番新しい情報によりますと、全世界のロータリアンの総数は1,211,723人、クラブ数は31,603、地区の数は529、加盟国は166ヶ国でございます。前年に比べまして、クラブ数は42増加し、会員数は15,822名減少しております。次に、2004年8月末を見ますと、女性会員の数は全世界で146,527名でございます。何と12.1パーセントが女性会員でございます。女性のクラブ会長は今年度、4,247人、11.6パーセント、女性ガバナーが48人いらっしゃいます。我が国を考えてみますと、2004年6月末現在でクラブの数は2,328、会員数は103,325人でございます。2003年6月末に比べまして、クラブ数は4クラブ増えておりますが、何と会員数は3,285名減少しております。いろいろとその他、統計的な数字を頂いておるんですが、これは省略致しまして、主だった点を申し上げますと96年に皆さん参加されました大阪国際大会について述べますと、26年ぶりに日本で開催されまして、世界から新記録になりました45,500人を上回る参加者を得て盛大にかつ大成功に行われました。国際大会委員長近藤委員長を始め関係者に心より感謝申し上げる次第でございます。2005年には米国のシカゴ、2006年にはスウェーデンのマルモとデンマークのコペンハーゲンで、初の2国共同開催になります。2010年まで決まっておりますがそれは省略致します。それからR Iの財政状況でございますが、2004年6月末現在で昨年度のR Iの財政状況は収入が8,010万ドル、支出は7,230万ドルでございます。収入は大阪の国際大会が記録的な成功を収めまして、昨年比べまして16パーセント、1,010万ドル多く、支出が、予算より3パーセント、230万ドル少ない結果になっております。それから、日韓、今日



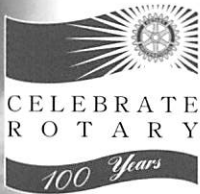


～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

は締結しておりますので触れてみますと、2003年9月25、26日、千葉のベイホテル東急で7回目の日韓親善会議が開催されまして、前回の会議から9年間の空白があったのですが、1,200名に及ぶ両国の会員が集まりまして意義有る会議が行われたわけでございます。言わば、マジリアベ会長のロータリーの家族、東南アジアにおいて初めて実現した会議となりまして、お互いに過去を厳しく見つめるという意見もありましたが、韓国における方も、現実の日本の暖かい公正な現状を指摘しまして、将来に向かって新たな強調をお互いに、意見を出し合ったところでございます。本当に今日はそのことが当地区でも実現致しまして、これから運動を展開して頂きたいと思っております。先程、紹介の中で規定審議会に、2770地区を代表して出席したわけでございますが、当地区から石垣パストガバナーもお出になって、本当にいろいろと石垣先生は、英語にも堪能でございまして、当地区から3つの提案がされておりましたので、ご協力願ったわけでございます。本当に、高い席から御礼するわけでございますが、3つのうち2つが通ったようでございます。そういうことで、その中から幾つか申し上げたいなと思う点がございまして、6月の去る13日から18日の間、シカゴ、マリオットホールに於て開催されまして、先程申し上げた166ヶ国から代表議員が925名いるわけでございますが、5名欠席されておまして、525人が出席しまして、立法案と制定案、合計520案件を審議したわけでございます。でも、審議する前に50件が没になりまして、476件でございました。採択されたのが、制定案が50件、それと否決になったのが160件、取り下げが162件、その他が54件となっております。皆さんご存知と思いますが制定案というのは定款とか細則を直して、

これは大事なことでございますので、幾つか申し上げますと、1番目に人頭分担金が3年間で1年ずつ4ドル上がりまして、12ドル増加されます。2番目には、昨年この大会でも論議が出たようでございますが、R I会長及び会長エレクトに対する謝意の表明の情報を削除致しまして、事務総長を報酬を受ける唯一の役員とするということが今回ハッキリと決まりました。それから、一定の条件の元にクラグの学区制を認めるということでございます。これは、当地から出してありますが、幾つかのクラブと共同提案になりまして、やはりウチの地区は84のクラブが出来ておりますのでそれを憂慮して、その時のガバナーが提案したわけでございます。今までは消滅する以外なかったんですけど、これからは合併という市町村なども多く行われていますが、そういう点で考え直した提案でございまして、それから4番目とすると地区協議会を撤収した会長エレクトという方は、資格をはく奪するというところでございましてよろしくお願い致します。それから次に問題かと思えますが10名以下のクラブでは、5名であろうが、6名であろうが10名分の人頭分担金を払わないといけませんよということが提案されて決定しておりますのでよろしく申し上げます。次に決議議案について何点か申し上げますと、R Iの今我々が行っている第二標語の性別限定用語を削除するという、毎年いろいろと理事会でも問題になりますが、He Profits Mostという、このHeが性別用語だという形で、ヨーロッパの方が多いのですが、これを始めoneにするといろいろと私も青年会議所時代勉強したのですが、ロバート議事法でやるものですから、これで30分くらい時間が掛かりまして最終的には、theyという言葉で決まりました。それから、これは日本から提





～2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」～

案されて田中毅という方がいて、この方がおかしいと思い、翌日、アメリカの古い独立宣言した文書を見ると、そういうのはいろいろと残っているのだからと反対意見を述べたのですが、たまたま私達の次の次のダクタマー R I 会長、元会長 R I 会長さんも出席しております、この方が、アジアの人達は儒教の精神で考えているのであれば、使っても良いのではというサポートをしてくれまして、これが通ったわけでございますので、どのように、決議案というのは理事会で提案されたものをこれからまた今年度の理事が検討するのでどうなるかわかりませんが、そういうことでございます。先程、申し上げました職業倫理の規範の高揚を促すことを提案されております。それから、2004年にゾーンの再編成をするよう要望されております。というのは、今、日本では4つのゾーンが有りますが、一つのゾーンは3万5千人で区切られておりますので、先程申し上げました通り10万3千人、10万切るようになってくると日本は3つのゾーンになる様な気が致します。それから次に、高い所得の有る国は低所得の候補者に国際親善奨学金を寄付するよという様な、発展途上国のいろんな新人が大勢いらしゃいますのでそういう要望が出ております。今までもそういうふうには譲ってはいらるんですが、そういうことでございます。それからもう一つ申し上げますと、この地区大会が、会長代理が出席するかどうかということが討議されました、これはですね、その地区の要望があれば R I は斡旋するけど、その場合は地区によって決めていいんですよという提案でございますが、先程も申し上げました通り R I は理事達がこの問題については、やはり地区大会というのは、どうしても必要だと思えば、今まで通りになるかも知れませんが、R I

も財政が逼迫しておりますので、こういう点も考えているのではないかと考えております。時間も丁度30分間与えられたので、30分何とか頑張ろうと思ひまして、くどくどと申し上げましたが、今日の会議が実りの有る大会になりますようご祈念申し上げ、会長代理の挨拶とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。(拍手)

司会(山本文子)：ありがとうございました。会場の皆様もう一度たくさんの拍手をお願い致します。

司会(松山哲男)：それでは、ここでご来賓の皆様を代表致しまして、登別市長上野晃様よりご挨拶をお願い致します。

登別市長上野晃様：地元、登別の市長でございます。本日は国際ロータリー会長代理の石井様ご夫妻を始め、このように多くのロータリアンと関係者の皆さんをお迎えして、国際ロータリー第2510地区の大会が当市で此の様に盛大に開催されますことは誠に喜びに堪えない所でございます。沸き出るお湯の香りと共に、心から皆様を歓迎申し上げます。また、昨夜は歓迎晩餐会にお招き頂きまして、ロータリーの仲間の素晴らしさに感動を致しました。皆様におかれましては日頃それぞれの分野で重要な立場から、それぞれのお仕事に専念されておられるかたわら、ロータリーの精神に基づいて奉仕と友愛の実践活動を通してそれぞれの地域社会に貢献され、確固たる基盤を築いておられますことに対し心から敬意を表し、お慶びを申し上げます。さて、世界中の人々が大きな希望を抱いて迎えた21世紀でございます。もう間もなく4年を過ぎようとしておりますが、ご案内





奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

のように世界の各地では未だに紛争やあるいは凶悪なテロ事件が絶えないこと、そして大勢の人命が失われておりますことは誠に残念なことでございます。当登別市は小さいながらも世界平和都市宣言を行い、そしてまた国際観光レクリエーション都市を標榜いたしまして地域の草の根の交流を通じ、世界の人々との融和を図ろう、平和に貢献しようとするように努力をしておりますけれども、今伺いました120万を超える会員を抱える、そして世界の平和を願い国境を越えた奉仕を献身的に続けておられますロータリーに寄せられる期待がますます大きくなっております。創立100周年という節目を迎え、更なる飛躍を誓うことは大変意義深いこととそのように存じます。本日、各界から参加されておられます皆様にはこの大会を通じて、ロータリアンの友愛と奉仕の信条に基づく誓いを全世界に向けて強くアピールされ、明るい未来をつくるために更なるご貢献をされますよう心からお願いを申し上げます。終わりになりますが、本日のこの大会が盛況の上に成功を収められますとともにご参会の皆様のご健勝と、国際ロータリーの益々のご発展を心からご祈念申し上げまして歓迎とお祝いのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。(拍手)

司会(山本文子)：上野市長ありがとうございました。尚、上野市長はご公務のためこの場にて退席されます。(拍手)

市長本当にありがとうございました。

司会(松山哲男)：続きまして表彰式を行います。遠藤ガバナー、中央演台前にお進み下さい。

最初にロータリー財団優秀クラブの表彰で

す。クラブ名をお呼びいたしますので順次ご登壇下さり、遠藤ガバナーより表彰状をお受け取り下さい。

(別頁129～139各種表彰欄参照)

司会(松山哲男)：それでは2005年～2006年度のガバナーエレクトをご紹介をさせていただきます。

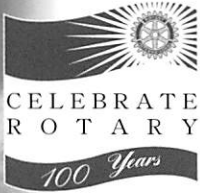
遠藤ガバナーよろしくお願い致します。

遠藤ガバナー：ガバナーエレクトのご紹介をさせていただきます。4ページに出ております、札幌東ロータリークラブ、塚原房樹様でございます。1935年のお生まれでございます。ロータリー歴を申し上げますと1977年の1月に札幌東ロータリークラブにお入りでございます。それから、1997～98年にクラブ会長をお務めでございます。ロータリー歴として地区に大変、ご貢献を頂いております。1990～91年には社会奉仕委員長、92～93年は地区リーダーシッププラン、リーダーシップ養成副議長、96～97年には地区情報委員長、地区の地区史編集委員長をなさっておりますし、98～99年には職業奉仕委員長、2000～2001年には地区の文献資料室長、2002～2003年にはロータリー百周年記念委員、こういった非常に長い地区の活動をなさっておりますし当然のことながら、マルチプルポールハリスフェロー、ベネファクター、米山功労者でもいらっしゃる、大変、ガバナーに相応しい方であるということでご紹介をさせていただきます。ありがとうございます。(拍手)

司会(山本文子)：ありがとうございました。

司会(松山哲男)：ここで、2005年～2006年度、





～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

ガバナーエレクト、塚原房樹様よりご挨拶を頂きたいと思ひます。塚原ガバナーエレクトよりよろしくお願い致します。

塚原ガバナーエレクト：只今、ご紹介を頂きましたガバナーエレクトの塚原でございます。

来年の7月1日より当地区のガバナーとして皆様に奉仕をすることになりました。

歴代のガバナーの皆様は大変ベテランであるのに比べまして、私はロータリー歴も浅く、ガバナーの務めを全うできるかどうか、深い危惧を覚えている所でございます。しかし、お引き受けした以上は遠藤ガバナーそしてファストガバナーの皆さんのご指導を得ましてその責任を果たしていきたいと思ひます。ガバナーの役目は言わば国際ロータリー本部と各ロータリークラブとの間を結ぶパイプの役目であろうかと思ひております。そのパイプはR I 本部の意志をクラブにお伝えし、それとともに各クラブの実情をR I 本部にお伝えする、そういう任務であろうかと思ひます。従いまして、積極的なクラブの皆様のご協力が無ければガバナーの役目は果たし得ないのであります。どうか、次年度ガバナー就任の際には皆様方のご理解とご同情そしてご協力を頂きまして、私の至らない点を補って頂くよう特にお願ひを申し上げます。ガバナーエレクトのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。(拍手)



司会(山本文子)：塚原様ありがとうございました。

司会(松山哲男)：つぎに次期地区大会開催地ホストクラブのご紹介を致します。遠藤ガバナーよりよろしくお願い致します。

遠藤ガバナー：只今、塚原房樹ガバナーエレクトから力強いお話がございました。地区全体でご支援をし、そして、ロータリーの発展に皆様方のご協力を私からも願ひを申し上げます。そして、次期のホストクラブは札幌東ロータリークラブでございます。よろしく願ひを致します。(拍手)

司会(山本文子)：ありがとうございました。

司会(松山哲男)：ここで次期ホストクラブ会長、札幌東ロータリークラブ、小田切房之さんよりご挨拶を頂きたいと思ひます。

札幌東ロータリークラブ 小田切房之様：次年度、塚原ガバナーエレクトのもと地区大会を開催をさせていただきます札幌東ロータリークラブ会長の小田切でございます。3年ぶりの札幌での地区大会になりますが、地区内、3,136名の会員の方々を始め、ご家族、地区外のロータリアンの皆様に些かなりともご満足頂けますよう、この後、実行委員会を組織致しまして128名、メンバー総力を上げましてプログラムの作成に力を注いで参りたいと思っております。予定日程と致しまして明年10月14日から16日までの3日間、主会場を札幌コンベンションセンター、懇親会を札幌ロイヤルホテル、そしてゴルフ大会を札幌ゴルフクラブ、輪厚コースを計画致しております。ご案内の通りカレンダーイヤーであります明年12月まで100年を祝おうという記念すべき節目の年でもあります。本年同様、こぞって登録、ご参加下さいまして共に高らかな乾杯をしたいものと願っております。最後になりましたが、本大会も遠藤ガバナーのもと素晴らしい大会でございました。内容はもとより天候にも恵まれて綺麗に彩られた紅葉が真っ盛り、温泉で身も心も癒すことができました。関係されました皆様に心より感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございます。明年10月15日を中心と致しました地区大会をよろしく願ひを申し上げます。措辞でありますがお挨拶といたします。ありがとうございました。(拍手)

司会(山本文子)：ありがとうございました。

司会(松山哲男)：この後、記念講演となります。皆様方のご協力でシナリオ通りの11時から休憩になっております。10分間の休憩でございます11時10分より記念講演を開始させていただきますので、お時間までに席にお戻り下さいませよう願ひ致します。



奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

司会(山本文子)：ここでご連絡を申し上げます。

先程、表彰を受けられた方で額を入れられる箱が必要な方は正面の受付で箱をお渡し致しますので、正面の受付の方へお願い致します。

万一、表彰状に手違いがあった場合も正面の受付の方でお受けさせていただきますので、どうぞもう一度、ご自分のお名前の方を確認して頂きたいと思っております。

お客様へご連絡を申し上げます。前の方にお席が空いておりますので前列の3列を残して頂きましたら、どうぞ前の方へお詰め下さい。

間も無く記念講演の方を始めさせていただきます。

司会(松山哲男)：只今より記念講演を始めさせていただきます。

遠藤ガバナーのエスコートで講師が入られロータリアンでもあります松島トモ子さんをお迎え致します。拍手をもってお迎え下さい。松島さん、どうぞ。(拍手)

それでは、遠藤ガバナーから松島さんのプロフィールをご紹介します。

遠藤ガバナー：本日のメインイベントでございます記念講演で、予てより計画を致しておりました。

松島トモ子さんに来て頂けると内諾を頂きまして本当に安堵致しておりました。プロフィールを申し上げます。第二次世界大戦で旧満州から引揚げられていらっしゃいました。そして、3歳の時からバレエを習われたそうでございます。そのご縁で映画、子役として80本以上ご出演になっておられますし、また昔、「少女」という雑誌がございましてその表紙を10年間、お一人で務められたというエピソードもございます。そして、童謡あるいはポピュラー、そういった歌手として大活躍をしておられますし、また1964年にはニューヨークにご留学にもなっておられます。そのご縁でまた、文筆活動もなさっていらっしゃいまして、何冊も、たとえば「ニューヨークひとりぼっち」とか「ともだちの詩」とか数々のご本を出版されておられます。また、大変、国外活動も活発でございまして、何度か危な

い目にも遭っていらっしゃるというふうな、武勇伝で良いんでしょうか、をお持ちでございます。現在は、2750地区、恵比寿ロータリーの会員でいらっしゃいまして、私ども同じロータリアンでございます。先日の国際大会でボランティアとして旗を持ったり、それから車イスを押したり、そういった活動もなさっておられまして、大変ロータリアンとしても細やかな活動をなさっておられます。今日は多くの人達との出合の中で、ゆっくり拝聴したいと思っております。それでは、松島トモ子さんよろしくお願い致します。(拍手)



記念講演

講師 女優 松島トモ子氏

演題 「多くの人たちとの出会いのなかで」

松島トモ子様：遠藤ガバナー、本当にお心のこもった私の紹介をして下さいましてありがとうございます。皆様、こんにちは（拍手）松島トモ子でございます。



今日は2510地区の地区大会という本当に栄えある日に私がお話しをさせて頂けるなんて、本当に光栄なことだと思っております。それからまた私は今ご紹介頂きましたように、東京の恵比寿ロータリークラブの一員でございます。

恵比寿ロータリークラブは来年10周年を迎えますが、今100名程の会員でございます。女性が50名の男性が50名という華やかな会でございます。此処に参りますと男の方が多いのでちょっと吃驚してしまいます。そして私は来年10周年の時の微力ながら会長をさせていただきます。今日は皆様のお仲間ということでよろしくお願い致します。

あの、私はいろいろTVにも出ておりますけれども、「あの人は今」という特別テレビ番組に出ております。これはどういうのかと申しますと、かつて非常に人気があったけど今ちょっと見えなくなったという方がいらしゃいますね。そういう方を世界中探し回って、出会うという番組なんです。例えば私の友達でいうと相良直美さんとか、ちあきなおみさんとか、今ちょっと見ないなという方いらしゃいますね、ああいう方を探すんですね。で、私が最初にその番組に出して頂いた時には、あの「あの人は今」なんですけれどもちょっと違ったんですね。あの人は今じゃなくて「私を噛んだあのライオンは」になりまして、お客様、お笑いになりますけれども、面白くも何ともないんです。私からしてみれば、あと1ミリ場所が違っていたら、全身麻痺になっていたかあるいは死んじゃったかというような大変ひどいケガでございましたから、面白いかそういう訳ではないんですけれども、私も好奇心が大勢なものでございますから、あの事故があってから18年も経ったんですね。だから、あ、私を噛んだライオンは今どうしているのかなと、

ちょっと興味を持って、で、私は18年ぶりに行ってみました。アフリカのケニア。ケニアは東アフリカでございますけれども、そのケニアのナイロビという所から1時間半、セスナ機に乗りましてコロというキャンプに行きました、で、18年前にはそこにジョージ・アダムスンという人がいたんですけども、今はもう何にもなくなってしまっているんですね。そこで、こうずーっと、ライオンが出てくるのを待っておりました。でも、そんなにしょっちゅう、しょっちゅうライオンが出てくるわけございませんので、あー良かったな、安心だなーと思って、私は1日待って、2日待って、3日待って、全然ライオンが出てこないんです。で、私もシメシメと思っておりますけれども、そこまで行くのにもものすごいお金が掛かっているんですね。だからテレビ局の方は何とか、松島トモ子とライオンとの2ショットが撮りたいって張り切っているわけ。でも出てこない。で、もう明日帰るっていう前の晩になりました。そしたらもう皆さん慌て出しましてね。で、レインジャーを7人集めまして、そういう危険な場所には、一人に一人ずつレインジャーが付くんですね。7名集めました。で、日本のディレクターが真ん中で訓示してるんですね。「明日、君たちがライオンを見つけることが出来たら、誘き寄せることが出来たら、ボーナス出す」、余計なこと言うなーと思ってましたら、「2千円出す」、2千円なんて安いとお思いでしょ、ところがあちらのお金に直すと、2万円くらいの価値になる、で危機に窮して、こりゃたいしたもんだって皆張り切っちゃたんですね。で、どうするのかなって思って見ておりましたら、明日食べるというヤギがその辺、歩いております。そしたらそのヤギを捕まえてきてまして、ビッビッとお腹を裂きまして、で、こう内蔵を取り出しましてね、その匂いで誘き寄せようというわけですね。その内蔵を出して、私のテントの横にぶら下げる。私はそれ危険だから止めて下さいって申しましたら、レインジャーの人が、あ、大丈夫、大丈夫、ライオンは内蔵の臭いが好きだから、先ず最初にこっちから食べると、その次にあなただから大丈夫と、ちっとも大丈夫じゃない。だから、もうずーっと向こうにやって下さいって言ったら、しぶしぶレインジャーの人が内蔵

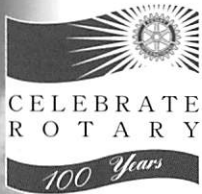


～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～



の出たヤギを向こうにぶら下げましたけども、でもライオンにしてみれば、向こうだろうがこっちだろうが、そう大した差は無いわけですね。だから、私はもうホントにもう怖いなーっと思いつつながら、寝袋だったんですけども、寝袋にこう入って寝ました。そしたら、夜中になると何かガサゴソ、ガサゴソ、と音がするんですね。あー、ライオンが近寄ってきたのかしらと、怖くて寝られたもんじゃない。その内に「ウオーウオー」と咆哮が聞こえてくるんですね。ワアー、ライオンが近寄ってきたーなんて思いました。ガサゴソ、ガサゴソっていう音、それから「ウオーウオー」という咆哮、これでまあ眠れなかったんですけども、朝4時半、寝袋から私はガサゴソ、出て参りました。そしたら、何と、その「ウオーウオー」というのはライオンの咆哮じゃなかった。何だと思ひになりますか？ディレクターの人のイビキだったんです。ディレクターの人も怖いもんですから、こうウイスキーをあおって寝ちゃったっていうんですが、ねー、そんな時にウイスキーなんか飲まないで頂いたほうが良いと思うんですけど。それでまあ、私達は、車に乗りまして、ライオンが行きそうな場所に走りまして。そしたらもう10分走ったか走らないときに、もうライオンが出ておりました。この辺に居ります。そして、2～3分、こう顔を見合わせたんですね。私を噛んだライオンかどうか、あんたどうして分かるのと、お思いなさるでしょうけれども、私を噛んだライオンというのはメスです。これもメスなんですね。で、「ボルディ」って名前があります。で、眉間に月の輪みたいなマークがあるんですね。で、私、じーっと見て「ボルディ、ボルディ」って名前を呼びました。それで、じーっと見ると、なんかこう月の輪の様な輪っかがあるんです

ね。で、こう見ておりました。で、2～3分間、お見合いをしておりましたらそのライオンがスーッと消えていきました。だからまあ18年も経っちゃったから、あれが私を噛んだライオンだかどうか分からないんですけども、テレビで見ますとダダーなんて音が入って「松島トモ子を噛んだライオンを発見」なんて大きなタイトルが出ておりました。まあそのぐらいの嘘はね、ちょっと勘弁して頂くと致しまして、まあそれが18年前、で、今日は折角、皆様がいらしているんで、どうして私がライオンに噛まれたのかというところ、ちょろっと短くお話してみたいと思うんですが、皆様の頭の中を18年前に戻して頂きまして私は、ケニアのナイロビというところからセスナ機に乗って、コロというキャンプに行きました。18年前です。そこには、ジョージ・アダムスンという人がいました。この人は「野生のエルザ」、皆様方、ご存知でいらっしゃると思いますけれども、あの映画とかそれから本なんかでベストセラーになりましたけれども、「野生のエルザ」の主人公のジョージ・アダムスンが81歳で元気で生きてらしたんですね。そして、野生のライオン達と暮らしてたら、私達はそこへ、テレビのカメラと共にインタビューに訪れたんです。そして、セスナ機でフラリと降り立ちましたら、ジョージ・アダムスンがもうそこに、目の前に立ってらして、「トモ子、ライオンを見に行こう。」と声を掛けてくれて、まあ、あんなに人間が嫌いっていつてらしたジョージ・アダムスン自ら、トモ子って名前も憶えてくださって、で、呼びかけて下さって、まあ嬉しい。お爺さんの気が変わらないうちにとお思いまして、私は彼の運転するランドローバーに乗りまして、子ライオンというか、ライオン達を見に出かけました。で、第1ポイントには、ライオンはおりませんでした。第2ポイントに行きました。そして、クラクションを鳴らしたら、遙か彼方からライオンがワーっと、私達の車目がけて近づいてきたんですね。大きなライオン達が7頭いました。そしたら、ジョージが「トモ子、君は着いて第1日目に、ライオンを見られて本当に幸せな娘だね」って、言うんですね。だから、私も「幸せだ、幸せだ」言いながら、あのジョージ・アダムスンの後ろについておりました。そしたら、ジョー



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

ジがラクダのこんなぶつ切りがあるんですけども、肉の塊をその大きな目の前のライオン、1頭1頭に「ハイ、コレクタ。ハイ、ボルディ」、このボルディというのが私を噛むやつです、



がその時は知りませんですからね、本当に一人ひとり頭をなげんばかりにして、ライオンにエサをやって、私は目の前で見るライオンというのは巨大だなーと思いながら見ておりました。で、ライオンは、本当にその肉の塊をパワーと、前脚ではたき落とすようにして肉にムシャブリついているんです。すごい迫力なんです。で、まあ、全部、肉をやり終えて、そしてそのライオン達はお腹がいっぱいになってサバンナで眠りだすんですね。ころころ、まあネコ科ですからお腹をだして寝そべったり、丸くなって眠ったり、それはそれはかわいらしい格好をして眠っておりました。そしたら、ジョージ・アダムスが「トモ子、トモ子、今何時」と聞くんですね。で、私、時計を見て、「えー、7時10分過ぎだ」と言ったんですよ。で、7時10分過ぎってのは、もちろん夜ですね。ライオンてのはネコ科ですから、夕方に行動する。7時10分過ぎだ、って言いましたら、そしたらジョージがランドローバーに乗りまして、私から目を離すかたちになったんですね。で、「第2ポイントでライオン7頭発見オーバー」なんて言って、私は、ジョージ・アダムスやランドローバーから一步こう出ておりましたんで、そこによっかかりながら、目の前に、小さな子ライオンがいたんですね。で、その子ライオンをしゃがんで見てました。そしたらなんと後ろの方で、ガサゴソって音がするんで、何かなって、こう後ろを見たら丁度、台のあたりにライオンがこっち見て立っていたんですね。わたしは、後ろにライオンがいるって思いました。そしたらそのライオンが私の方にとっ

とっと近かよってきたんですね。で、私はそれを見ながら、ちっとも怖くなかったんですね。「あらー、ライオンていうのはネコ科だからやっぱり内股で近よってくるわ」って、一生懸命見ていたんです。そしたらそのライオンがとっとと歩いてきたなと思ったら、ダダダと走って来て、私の目の前に大きくこんなダイオーて、匂いがかげくらい大きな顔になっちゃったんですね。わあ、大変って思ったら私の体はピューッと空を飛びまして、頭にもものすごい痛みを感じて、失神してしまいました。それから、私は何が何だか分からなかったんですが、あとでスタッフの人に聞きますと、私はライオンに10メートルくらい引きずられていたんですって。それで、引きずられて、ライオンがこう7頭いる真ん中でひっくり返ってたんですって。で、ライオンもこう私のことを戯れてみたいなんですね。これはなんかまずそうだけど、痩せてるけど、食べてもいいのかしらってじゃれてみたい。向こうは戯れていたつもりですけれども、なんてったてライオンですから、私はもうぼろぼろになってしまったわけですね。ズタボロの昆布みたいになっちゃったんですよ。そしたら「早く」てスタッフの人が怒鳴ってくれたんですけども、なんとって相手81歳の、お元気なんですけども耳が遠かったんでね、なかなか聞こえなくて、やっと聞こえて、で、飛んできてくれて、私を群れの中から抱え上げ、「ああー、トモ子から目を離すんじゃないかった、トモ子から目を離すんじゃないかった」て叫んだその声で、私はフッと目を覚ましたんです。そして頭から温かいものがバアーって流れてくるんで、何だろうなって触ってみたら、それは血だったんですね。大変だということで、また、ランドローバーに乗りまして、一時間半、テントまで帰るんです。テントまで帰ったって、そんな辺鄙な場所ですから、お医者さんもないし、それから病院も無いし何にもない。もう、ウンウン唸りながら、一晩待っていたんですね。で、太陽とともに、フライングドクター、セスナ機にドクターが乗っててくれるんですけども、それが来てくれまして、私の傷を見て、応急処置をしてくれるのかなと思ったら、ちょっと大変な傷だからということで、そのまんまフライングドクターのセスナ機に乗せられて、



奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

着いた第1日目だったんですけども、私はナイロビ、都会の方に戻されて、ナイロビホスピタルという病院に入院しました。そしたら、ムカビ先生という人が、私の頭はパッキリ割れていたんですけども、傷を見て、6時間以上たった猛獣の傷は縫わない、オープンにしておく。何故ですかって聞いたら、その猛獣というか、ライオンというのは、野生の動物を生で食べるだから、歯が汚い、もし縫っちゃうとあとで化膿するかもしれないから、縫わないでオープンにしておく。分かります？ 何故か、分かったような分からないようなことを言われて、まあ、とにかく頭の傷はオープンにされたまま、そして背中は何十箇所もスクラッチがあって、で、足がパッキリ割れてたんですけども、そこはバチバチとホッチキスで留められて、頭は開いたまんまということで、10日入院しなさいと言われてたんですけども、私は3日で抜け出しましてジョージ・アダムスのテントに戻りました。まあ、こう言うのと、どうしてそんなにテントに戻ったの、私だったら日本に帰えちゃうのに、っておっしゃると思うんですけども、私はついた第1日目に、ライオンにやられたわけですね。そこに行くまで遠いですね、23時間も飛行機かかりますし、それに黄熱病だとか、マラリアだとかコレラだとか破傷風だとかいっぱい薬を飲んだり、打ったりしてやっとの思いで、ここにたどり着いたのに、着いた第1日目に日本に帰ったら、私、只ライオンに噛まれに行っただけになってしまう。これでは何のために行っただけかわからないので、また、ジョージ・アダムスのテントで一生懸命、仕事をする事になりました。でも、次にヒョウの部が有ると分かっていたら日本に帰ったんですが、ヒョウがいるなんて私は知らなかったから、そこでまあ、仕事を

続けていて、まあ、1週間経ったか経たない頃、トニーという人がいるんですね。このトニーってというのは、ジョージ・アダムスの後継者みたいな人なんですが、この人が毎晩のように、自分のテントに、「夕飯に来てくれ、夕飯に来てくれ」って、頼みに来るんですね。あんまり頼みに来るから、じゃちょっと行くか、と8名のスタッフと夕飯を食べに行きました。で、長期滞在用のテントってというのは、みんな4m50の、フェンスがぐるりと囲んでいるんですね。だから、丁度、その動物園の逆っていうんでしょうか。檻の中に私達が住んで、で猛獣達が、ああいうライオンやなんか自由の外を歩き回る。4m50のフェンスがテント覆っているというジョージ・アダムスのテントがあり、それからまたかなり離れたところに、私達テレビ局のテントが有る。そして今お話をした、ジョージ・アダムスの後継者のトニーという人のテントがあり、みんなその4m50のフェンスでこう、柵があるって言うか、覆われてるんですね。で、そういうところに8名のスタッフと共に、夜ご飯を食べに行きました。で、ちょっとゴモゴモ食べてたんですね。そして、トニーが、「トモ子、良いものを見せてあげるから、ちょっと出ておいで」って言ったんです。外っていったって、勿論フェンスに覆われている庭ですからね。で、真っ暗なんですよ、電気なんかないから。ランプで食事をしてるんですけども、で、トニーが懐中電灯を持って出たんですね、庭の方に。そしたら私の目の前に、ちいちゃなライオンが包まって寝ているんですね。もう、柴犬ぐらいの大きさで、まあ、かわいらしいと思って、その懐中電灯の輪の中にいるちいちゃなライオンを見てますね。そしてまた、食堂に戻って、ご飯を食べている。私がノックすると、トニーが、「トモ子、良いものを見せてあげるから、ちょっと出ておいで」あらー、今度はどんなかわいいものを見せてくれるのかしらと思って、トニーの後ろについて、その懐中電灯の輪を見ながら歩いていく。そしたら、もう、私の足元にヒョウが蹲ってる。そしたら、そのヒョウと目と目が合ったんですね。で、お互いでっかい目だなーって思ったかどうかは分かりませんが、目が合っちゃった。そしたらそのヒョウの瞳孔がキーンとしばらく、危な





～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

いと思って、パッと私が逃げたんですけれども、もう間に合わなくて、ヒョウがガーッと私の首に齧り付いてきて、で、私の右の耳で「ガリガリ」て、骨が砕ける音がした。で、このガリガリって骨が砕ける音がしたときに、私は死んだって思いました。死ななかつたんですけどもね。で、そのスタッフの人達、8人もいたその男達は一体どうしてたんだという、まっ、ご飯を食べていて、そしたらトモ子が一瞬見えなくなったって、つぎにトモ子が現われたときには、トモ子がヒョウを背負ってたって言うんですね。私、ヒョウなんか背負っていない。だけど、ヒョウは私の首に齧り付いたまんま、私をぶら下げて、トントントンって歩いてきた。そして、スタッフの人達は、最初そのヒョウを見たときに何のことやら事態が飲み込めなかった様です。「あっ、大変だー」と思って、そしてダーッと走り寄って、ディレクターの人は私を抱いて、ヒョウの頭をたたく。トニーもその、何とか口をこじ開けようとして、ヒョウの口を開ける。それからカメラマンの人がお尻を殴る。三人がかりでやるんですけども、絶対ヒョウが私を離さないんだそうです。けども、最後にカメラマンの人がゲタを脱いで、ヒョウのお尻をたたいたんで、バーンとヒョウが私を離れたんですけど、もう、私の首の骨は折れてグジャグジャになっていました。私は、この頸椎っていうのは7つあるわけですけど、その4番目の頸椎がガブリと齧り取られて無いんですね、で、3番と5番とでなんとか頑張っているわけなんですけれども、私の首の骨は折れてしましまして、グラグラになってしまいました。それから、まあ、生きて日本に帰るまでの艱難辛苦の物語があるわけなんですけれども、それをお話していると、今日、全部その話になっちゃうんで、やめますけれど、でも、この話の最後なんですけれども、私の首の骨が折れたということで、ナイロビから帰ってですけども、日本の病院に入院致しました。そして、数ヶ月入院をしていて、やっと車イスに乗れるようになった頃、お医者さんが、「ちょっと松島さん来なさいよ」ということで、会議室にきました。そしたら、私のレントゲンとかMRI、CTの写真がバーンと、首の写真が並んでたんです。そしたら、お医者さんが、「あっ、松

島さん、あなた左の骨が折れてる、折れてる、とおっしゃってますけれども左じゃないですよ」っていうんですよ。だから、「いえいえ私は左の骨が折れているってナイロビで言われましたから、左を庇って、左にギプスして帰ってきましたから、左です。」って言ったら、お医者さんが「いえ右です」、「左です」、「右です」って言い合いがあったんですけども、結局日本人のお医者さんが当たっていました。ナイロビのお医者さんは私のレントゲンの写真を裏返しに、何てことをするんだろという感じでございます。で、これで私が、何故ライオンズクラブに入らなかったのか、お分かり頂けるのではないかと思いますけれども、で、私は、いろいろとさっき、遠藤ガバ



ナーもおっしゃってくださいましたけれども、国際大会の時に車イスを押していたっていうふうにおっしゃってくださいましたけれども、私は今、車イスダンスっていうのに夢中になっております。ていうのは、これも出会いの一つなんですけれども1998年に長澤俊一という人からお手紙をもらいました。「私は障がい者だけど、98年の車イスダンス世界選手権に是非出場したい。トモ子さん、僕のダンスのパートナーになって下さい。」て、言われました。私は、車イスっていうのはどういうものなのか、車イスダンスっていうのはどういうものかというのはい向に分かりませんでしたけど、その、長澤俊一さんからのお申し出があったので、私はやってみようと思って、始めました。ところが、車イスダンスっていうのは本当に大変でした。で、皆様方は車イスダンスっていうのはもしかしたらご存知かも知れないけれども、障がい者の人がまず、こちらに座ります。そして、健常者の私、スタンディングパートナーが前に立って、そしてこの車イスを自由にこう動かすんですけど



本日の第2世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

も、その長澤俊一という障がい者の人は、その時に体重が67キロありました。で、車イスの目方というんでしょうか、ウエイトが大体10キロぐらいありますから、大雑把に言うと、80キロの体重が。そして、私が前に立ってそれを操るわけなんですけれども、私は40キロ、半分です。その私が、その俊ちゃんの車イスを動かすというのは大変なことなんです。で、長澤俊一君というのは、元、若いときに暴走族だったんですね。で、桜田門の所、警視庁のところをオートバイで走ってた。パーッと走ってて前の車に突っ込んだんだそうです。そしたら、ポーンと、自分の身体がトンボのように空を飛ぶのがわかった。そして、背中を叩きつけられて胸から下が完全に麻痺してしまっただけです。手は動くんですけども、胸から下、下半身も全然駄目なんです。その人が車イスに乗ってるわけ。その人をとにかく、ダンスですから踊らなきゃならないんですね。で、今日皆様いらしてる方の中には社交ダンスをおやりでいらっしゃる方もあると思うんですけども、世界選手権というのは、ルンバとかサンバとかチャチャとかパソドブレ、ジャイブ、それからワルツ、タンゴ、フォックストロットって10種目踊らなきゃ駄目、だけでも車イスを押そうが、引こうが、動かないんですね。で、もう車イスをぐりぐり、もう引きずったり、まるで何だか砂袋を引きずってるっていうんでしょうか。私は踊りたい、踊りたいって思っても、車イスがビクとも動かない。なんていうんでしょうか。引越しの手伝いに行っただけでいうんでしょうか。佐川急便に就職したんじゃないかっていうぐらいに、とにかくこの車イスを操ることは大変なんです。とくに、ワルツとかタンゴというのは、その障がい者の方の手をこちらに持って組んでしまう、こんなか

たちになってしまうので、かれらの手が車輪から外れて私の方に委ねられるわけですから、全く自由が利かなくて、本当に車イスが動きませんでした。で、私は踊りたい、踊りたいって思うのに踊れない。そして、障がい者の人って言うのは、只、何だかボーッと車イスに座って楽している、汗かいて走り回っているのは私だけって、なんかそんな感じになってしましまして、思わず私「俊ちゃん、あなた本当は立てるんでしょ。立ってよ」なんて言ってしまいました。で、私、言っちゃってから、「あーしまった。これで、もう俊ちゃんと私とのコンビは駄目だなー」って覚悟しました。そしたら、俊ちゃんがニヤッと笑って、「トモ子さん、バレました。ぼくは夜中の2時を過ぎると、立って歩くんですよ」って言うてくれました。まあ、その、俊ちゃんのユーモアに助けられて、それからっていうものは、何か車イスが私のスカートみたいに、自由に動いてくれるようになりました。で、当日、幕張メッセであったんですけども、あの一、四十何名いましたかしら、46組でした。車イスがおりました。46組も車イスってことは、スタンディングパートナーがおりますから、倍の人数ですね。そして、1次予選、2次予選、3次予選、それから決勝、準決勝、決勝とドンドンこう上がっていくわけです。で、最初の予選のときにはみんな一緒に踊るわけですね。で、まあ、踊ったんですけども、何とか私は予選だけはクリアして第2次予選に行きたいと思いました。ていうのは、俊ちゃんの踊ってらっしゃる姿を俊ちゃんのお母様に何とかお見せしたいって思ってたんですね。お母様は俊ちゃんの踊る姿をみたことがないから、だけど、そんなたくさんの中で踊ってたんだしたら、その、見えないでしょ。だから、1次で踊って2次まで行って2回踊ったら、何とかお母様にお見せ出来ると思いましたから、2次までよって思いましたら、1次予選通過して2次予選までいったんですね。で、やれやれこれで私の責任も果たしたわって思いました。そしたら、もうトントントンとわりと進んでしまいました。そしたら、準決勝、決勝と最後までいっちゃったんですね。で、最初は46組いたのがドンドン居なくなっちゃって、決勝の時には6組なんです。たったの6組で踊る。あ、これなら大丈夫



だって、まあ一生懸命踊りました。そして、踊り終わって、表彰式があるわけですよね。もうそれまでもうほんとに疲れて、私は楽屋で倒れておりました。表彰が始まりました。さて、皆様、私は何位になったとお思いです



か。何と私は優勝したんです。(拍手)ありがとうございます。それでもうほんとに嬉しくなると涙がポロポロ出てきてしまいました。でも、それは嬉しくて泣いたっていうよりは、なんていうんですか、こんな車イスダンスはイヤだ、くたびれた、腰は痛い、足は痛い、背中が痛い、もうこんなことは二度と再びイヤだ、なんて思って、こう涙がワーと出たんですけれども。まあ、表彰がありました。そして、一月经って、俊ちゃんに会いました。で、パーティがあつたんですね。優勝のね。俊ちゃんに「どう、お母様元気にしてらっしゃる」って私聞いたのね。そしたら、俊ちゃんが「もう母は、嬉しくて嬉しくて宙に舞い上がって、まだ降りてきません。僕は五体満足に母に産んでもらったのに、身体の80パーセントも駄目にして、親不孝ばかりしてました。だけど、こないだ、踊る姿を母に見せることが出来て生まれて初めて親孝行できました。トモ子さん、本当にありがとう。」って頭下げてくれました。そしたらもう、私嬉しくなっちゃってね、もう二度と再びヤダーッていったのに、「俊ちゃん、パラリンピックまで頑張ろう」って言ってしまいました。私は1998年からまだ今年もやっております6年間続いております。でもこのボランティアは、何とかまだまだ続けていきたいと思っております。11月の20日、21日には、国立代々木体育館で、世界選手権がございます。私はまた、選手として出場したいと張り切っております。で、今日はいろんな私のお話をさせて頂いているんですけれども、ここで、私の父と母

のことをお話したいと思います。

私の父と母は、日本で結婚を致しました。それから、満州の奉天に渡りました。父は現地召集され配転後、捕虜としてシベリアに連れていかれました。父が召集されたとき私は母のお腹の中におりました。新婚10ヶ月目のことでした。B29の飛び交う中、私は満鉄の病院で生まれました。昭和20年7月10日、アー、いくつだわって計算しないように。奉天の奉と書いて奉子、これが本名です。ソ連軍が参戦してきて母達は命からがら避難所に逃げました。何十人の女性達の一つ所に押し込められて、間仕切りもない、皆、何て言うんでしょうか、こう、包みのような、風呂敷包みの様なものを置いて土囊の様に間仕切りをしてその中で隠れていました。窓ガラスには全部紙を貼りました。日本人の女性が隠れているということが分ったら、ロシア兵に襲われる、私は生まれてから10ヶ月、全く日の当たらない赤ん坊でした。真っ暗な部屋の中、よくこんなところに人間が住めたっていうようなひどい状態でした。そして、そこは、北奉天駅のすぐ傍でした。ポウって汽笛が鳴ると、カッカカッと靴音がして帰還兵が一人、また一人、帰ってらっしゃいました。ポウって汽笛が鳴ると、カッカカッと靴音がする。みんな今度こそ、今度こそ帰っていらっしゃる。祈るような思いで待ちました。カッカカッと靴音がして汽笛は何度も鳴ったけど、私の父は帰ってきませんでした。10ヶ月も経つと、引揚げが始まりました。そしたら、中国の人達はみんな日本人の子どもを売ってくれ、売ってくれと札束をこんなに持って買いに来たそうです。日本人の子どもは頭が良いから、売ってくれと。あの一私ね、生まれたときとってもかわいい赤ん坊だったそうです。本人が言うんだから、間違いはない。私は一番売れゆきが良かった。王さんという八百屋さんが、こんな札束をもってね、「このお嬢さん、ここ置いときな。かわいがって育ててやるから。そんな子日本に連れて帰ろうとしたって途中で死んじゃうんだから、奥さんここ置いていきなさいよ」って、最後の最後まで追っかけてきたそうです。で、家の母ね、今、元気なんですけれども、中国残留孤児の方々のテレビを見るとね、今でもこう言うんですよ。「あの時、売って来りゃ良かった

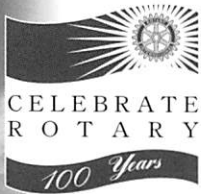


た」、まあ、母は私を連れて帰ってくれたんですけども。その無蓋貨車に乗るんですね。無蓋貨車っていうのは石炭とかじゃがいもとかそういうのをワッと入れちゃう列車なんですけども、そういうところに人間が押し込められて、そして葫蘆島に逃げる。ところが途中で強奪に遭ったり、それから使役をさせられたり。普段だったら1日で着くところを1週間、まあそこは本当に母達は大変だったようです。でも、乞食のようになって、ポロポロになって着きました。そしてそこには引揚船が待っておりました。あっこれで生きて日本に帰れる、母達は引揚船を見たとき、本当に嬉しかったそうです。そして、その引揚船に乗りました。ところが案の定、生まれたばかりの子供達は、次々に死んでいきました。嗜眠性脳膜炎という病気が流行って、眠りながら死んでいく。お母さんは、死んだ子どもを海に葬る。でも、どうしても葬れないで抱きしめて離さないお母さんもいる。だけど、その赤ちゃんを奪い取るようにして海に葬る。それは、まるで地獄のような光景だったようです。母は私を最初、オンブして引揚げてくださいました。オンブして引揚げたら、いつ死んでるか分からないというので、お腹のところに、こう巨大なポケットを作りましてね、そこにポンと私を入れて引揚げてきます。これだと顔が見えるんでいつ死んでるか分かる。キレイなものも知らない、おいしいものも知らない、只生まれて死んでいく我が子のために母はその時出来る精一杯のことをしてくれました。美しい声で子守歌を歌ってくれました。精一杯の笑顔を私にくれました。母の精一杯の笑顔、美しい声の子守歌、憶えているわけではないんですけれども、何かあったときその母が私の支えになってくれております。私達は、やっと日本にたどり着きました。そして、父の帰ってくるのを待って、待って、待ちました。母はその時、23歳でした。昭和24年のことでした。父の戦友が訪ねていらっしゃいました。この方は、こうおっしゃいました、「あなたのお父さんを埋めてきました」私の父は私が生まれるとたった三ヶ月でシベリアの地で亡くなっていました。母が声を上げて泣くのを私は生まれて初めて聞きました。母が声を上げて泣いたのは、それが最初にして、最後のことで

した。おじさんは「トモ子ちゃんが大きくなったら見せて下さいね」そう言って1枚の絵図を下さいました。南側の斜面、柏の木が生茂り、コスモスが咲いているフヨドルカの丘、ここがあなたのお父さんの眠っているところ。母と私に残された唯一の手がかりでした。何とか父の眠って居るところに行きたい、そう思いましたが、何故かそこは禁じられた場所で、どうしても行くことが出来ませんでした。平成2年のことでした。突然、ペレストロイカのお陰か、ゴルバチョフ元大統領のお陰か、父の眠っているところに行けることになりました。新潟まで新幹線に乗りました。それから、アエロフロート機に乗ってハバロフスク、目の前にはアムール川とウスリー川が合流して、私の立ってるのはシベリア、遙か彼方には中国が見える、そういう地点にやっと、母と二人、辿り着くことが出来ました。それから、シベリア鉄道に乗って南へ南へ走りました。真夜中、目的地に着きました。第1日目、父親捜しの旅が始まりました。アンナおばさん、アナスタシアおばさん、たくさんのおばさん達が証言に来てくれました。あそこにも土饅頭があるよ、あそこも、それもそうだよ、みんな日本兵の土饅頭でした。その土饅頭の中に一体、何人の日本兵が眠ってらっしゃるのか。母は一つひとつ手を合わせていました。アンナおばさんのご主人も戦争でなくなりました。それから、お



ばさんはトラックの運転手をしながら、三人の子供達を立派に育て上げました。「もうねえ、私は働いて働いて忙しくてね。主人がどこで死んだのか、そんなこと考えている余裕もなかったよ」って、おばさんは言いました。同じ境遇のおばさんなのに、父の眠っているところを探して欲しい、何て私は甘えていることをおばさんに言ってるのかな。申し訳な



~2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」~

くて、母も私も本当に胸がつぶれる様な思いをしました。でも、おばさんはもう兎に角、一生懸命、私達親子のために昔の昔の記憶をたどって一生懸命探して下さるんですね。だけど、いろんなおばさん達が来る、みんな69歳、70を越えたお年の方だけど、みんな、おばさんばかりなんですね。どうして、おばさんばかりなのか。どうして、おじさん達は私達に証言をくれないのかって聞いたら、おばさんが、「この村の男は皆死んだ。戦争で死んじゃった。この村に残っているのは女だけだ」って言われました。戦争はいけない、二度と繰り返してはいけない、そう言います。でも今まで一日だって、戦争が無かった日はあったでしょうか？ 国は違う、宗教も違う、何もかも違う、でも残された女の悲劇って世界中どこでも同じだと思いました。私達は眠りについて、明日にでも父の眠っているところが探せる、そう思いました。2日目、出発の準備を整えているとそこへロシアの人が飛び込んできて、「立ち入り禁止令が出た。今いる場所を一步も動いてはいけない」って言われました。何故、どうして。何故駄目なのって聞いても、とにかく駄目、駄目って一点張りで何も説明はしてくれません。私達はモスクワに許可をとってあるから、どうぞモスクワに聞いて下さいって言っても、私のいる場所とモスクワは同じ国なのに7時間の時差がある、だめだめだめ。私達は宿舎で待っていました。でも、一步も動けない。もしかしたらあの目の前にある丘が父の眠っているところかもしれない。私は走ってでもいいから行きたいって思いました。で、私、走って行きたいけど、走って行ったらどうなるのって聞いたら、全員が逮捕されるって言うんです。で、私は待ちました。で、母の部屋に行くと母は、「トモ子ちゃん、お父様の眠っている近くまで来られたから、もう満足よ。どうぞ、皆様にご迷惑をかけないように」でも、私は母を何とか父の傍まで連れて行きたいと思いました。母は45年間、この日を待っていた。このチャンスを逃したらもう二度と母を連れていかれない。1日待って、2日待って、3日待って、4日待って、5日。とうとう帰国する日が来てしまいました。私達が荷物をまとめていると、そこへ突然ロシアの人が来て、「3時間の許可を上げる。好きなところに

行ってよい」たったの3時間、でも私は母の手を引いて目の前の丘に駆け上がりました。そして、素手で土を掘って掘って、掘りました。何か父がここに眠っているという証拠が欲しいと思って掘りました。でも、45年間も経って何も触るはずはありません。母は静かに土の塊を撫でていました。「トモ子ちゃん、此処でいい。此処にしましょ。」母が納得したならそれでいい。私は日本から持ってきた卒塔婆を立てました。そして、バラの花をおいて、色とりどりのカーネーションを置いて、80本の真っ赤なロウソクを立てました。この南側の斜面で80名の日本兵が、父と一緒に眠ってらっしゃると聞いたから。私の前から、一瞬姿を消した母が次に現われたときには、黒い喪服姿でした。ドレスの下は喪服だったんだ。母の精一杯のおしゃれ、どんなに、この日を待っていたことだろうと思いました。私の手作りのお墓の前に額づいて、母は長い長い間、おしゃべりをしていました。何を話しているのかな。この日が来るのを45年間待っていました。そう言っているんでしょうか。母の姿は絵のように美しくございました。3時間の許可なんてとっくのとうに過ぎているのに、ロシアの人達は皆気がつかない振りをして、後ろを向いてくれました。ありがとうございます。声を出してお礼を言うことは出来なかったけど、私は心からお礼を言いました。父の最後の日誌も読みました。私の名前、母の名前、それだけがビッシリ書いてありました。「トモ子、トモ子、トモ子」その字ももうかすれて読めなくなっていました。どんなに生きて日本に帰りたかったか。南側の斜面、柏の木が生茂り、コスモスが咲いているフヨドルカの丘、おじさんが書いて下さった絵とピタリと同じところでした。「お父様…」私は父といっばいおしゃべりをしたかったけど、頭の中に何も浮かんできませんでした。「お父様、あなたはまだ私の歌を聴いたことがありますね。お父さま、私の歌を聴いてください。」

(情感を込めて歌う)

果てしない草原に 御者一人
倒れて死ぬ故郷は 遠すぎて 死は近く
力尽きぬ
我が馬よ聞いてくれ お前だけが 最後の友



～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

(朗読)

「この指輪、この思い、我が妻に、我が妻に届けて欲しい」

(情感込めて歌う)

わが妻よ悲しむな この荒野に
吾は眠るいざさらば 我が馬よ
ふるさとの父よ母よ ふるさとの父よ母よ

(歌終了)

(拍手)



帰りの列車の中で、私は母に聞きました「ねえ、ママどうして再婚しなかったの、私のため？」母はこう言いました。「お父様が出征なさるとき、こうおっしゃったの。絶対に生きて帰ってくる、生きて帰ってくるから待っていてくれ。そうおっしゃった。たった一つの約束ですもの、守ってあげなければ。だって私はお父様に何にもしてあげられなかった。」なんだ、私の為じゃなかった。45年経って、初めて私はそのことを知りました。負け戦と分かって出かけていく父が、何で母に待っていると言ったか。母のその約束を何で、愚直にも守り通したのか。でも、私は今思います。あんな素敵なおの言葉の言葉を聞いた母は幸せだったんじゃないか。そう思います。

今日は貴重な時間を頂いて、私の話をさせて頂いたことをとても嬉しく思っています。まだまだ時間が足りないように私は思いますが、私のことをもう少し知りたいと思ってくださる方は、私少し、私一生懸命書いた本を持ってきました。「ホームレスさんこんにちわ」という本なんですけれども、もしよかったら、読んでいただきたいと思っています。また、登別のロータリークラブにお預けしておりますので、よろしかったら、読んでみて頂きたいと思っています。今日は貴重なお時間を頂いてロータリアンの皆様の前で、ロータリアンである私がお話をさせて頂いたこと、大変光栄だと

思っています。東京に帰って、仲間のロータリアンに今日皆様方の素晴らしい会があったことを皆に話したいと思っています。今日は本当にありがとうございました。(拍手)

司会(山本文子)：ここで、登別ロータリークラブ会員 草塩幸子より、花束を贈呈させて頂きたいと思っています。(拍手)

そして、遠藤ガバナーより謝辞がございます。お願い致します。

遠藤ガバナー：松島さん、今日は本当に私共に貴重なお話を聞かせて頂いてありがとうございました。やっと、ライオンズクラブにお入りにならない理由も分かりました。それから、後半は、本当に苦境の中でしかも親子の強い絆、そして親子の深い愛情、こういうものが今だんだん失われていく日本にとって、警告を鳴らして頂いたというふうに私は拝聴致しました。これから益々活躍頂いて、そしてまた私共に貴重なお話を賜りますようお願いを申し上げます、甚だ簡単ではございますけれども、謝辞とさせて頂きます。ありがとうございました。(拍手)

司会(山本文子)：皆様、どうぞたくさんのお拍手をお願い致します。

松島トモ子さん、ご自身からご紹介がございましたがサイン入りの書籍でございます。正面ロビーで販売致しておりますので、是非お買い求め頂きたいと思っています。

ここで少々お時間を頂きたいと思っています。

司会(松山哲男)：ここで、国際ロータリー会長代理石井様ご夫妻に記念品、及び花束を贈呈させて頂きます。どうぞ登壇下さい。

それでは、遠藤ガバナーご夫妻よろしくお願ひ致します。

司会(山本文子)：どうもありがとうございました。どうぞ、お席の方へお戻り下さいませ。

司会(松山哲男)：それでは、国際ロータリー会長代理石井治様に本大会を省みてご講評をお願いしたいと思います。

石井会長代理まだ出番がございますので一つよろしくお願ひしたいと思います。



～2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」～

奥様もどうぞご登壇下さい。

それでは、あらためてご紹介をさせていただきますが、これより国際ロータリー会長代理石井治様に本大会を省みましてご講評をお願いしたいと思います。

石井会長代理、よろしくお願い致します。

石井会長代理：本地区大会、2日目もいよいよフィナーレを迎える時刻となりました。まず、所感を述べる前に、皆様に厚く御礼を申し上げたいと思います。北海道に到着以来、私ども夫婦に対しまして遠藤ガバナー夫妻並びに大勢の皆様的心からなるご厚情を頂きました。本当に感謝申し上げます。また、エード役を買って頂きました岩城秀晴パストガバナーご夫妻には、細かいご配慮、特に御礼を申し上げる次第でございます。その上、ガバナーから只今、記念品を頂戴しましたことは私達感動致しております。ありがとうございます。観光都市登別という、札幌以外での地区大会であり、会場が分かれておりました大変だなーと思われました。私も経験があります。皆様一人ひとりがですね、一生懸命に知恵を出し合い、また汗を流しての地区大会を、この地で開催できたことを嬉しく思っています。戸塚守夫地区大会実行委員長を始め、登別会員の皆さんが素晴らしい大会運営をして頂いたことに対して、嬉しく思っています。ロータリーの百周年に当たりまして、財団プログラムの記念フォーラムは、ロータリーの国際性を、良く理解できるプログラムでありました。それからまた、只今の松島トモ子さんの恵比寿ロータリー会員の記念講演につきましては、人生の体験から出た素晴らしいお話でした。私はこの感動のあった地区大会をグレン E. エステス R I 会長へ漏らさず報告する中にですね、エクセレントの文字を付け足すことを確約して終わりにしたいと思います。どうも、本当に皆さんありがとうございます。(拍手)

司会 (山本文子)：ありがとうございます。

司会(松山哲男)：それでは、ここで遠藤ガバナーよりお礼の言葉を申し上げます。

遠藤ガバナー：R I 会長代理、石井治様、由

紀子様には大変遠いところをお越しを頂きました。昨日、本日、ロータリーの基本であります職業倫理の必要性、さらに今国際社会がどんな動きをしているか、ロータリーがどんなことに注目をしているか、規定審議会のご説明の中から皆様方に伺い知れたことだろうというふうに思っております。そういった細かいご配慮を賜りまして、この地区大会が成功裏に終わることが出来たことを心から感謝を申し上げそして、御礼を申し上げたいと思います。石井治様ご夫妻には本当にありがとうございました。(拍手)

司会 (山本文子)：ありがとうございました。

司会(松山哲男)：閉会の言葉を宮武忠史大会参与より申し上げます。

宮武忠史大会参与：いよいよ、フィナーレを



迎えるときがやって参りました。国際ロータリー会長代理の石井治さん、本当に、昨日今日と我々にいろんなことを教えて頂きました。今回の大会に際しましては、各地区のガバナーの皆さん、パストガバナーの皆さん、大勢参加をされて花を添えてくれましたこと、心より厚く御礼を、申し仕上げる次第でございます。また、3700地区の韓国の皆さん。いよいよこの地区、第2510地区との間にですね、掛け橋のために今日はお参加を頂いております。今後、さらに交流が発展することを念じて止まない次第でございます。10月11日、囲碁大会そして15日には記念交流のゴルフ大会を開催させて頂きました。2510地区、72のロータリークラブの会員がより一層の交流を、友好と友情を暖めて頂いた次第でございます。これも偏に皆さん方のご協力の賜物と心より感謝を申し上げて、閉会の言葉と致します。本日はどうもありがとうございました。

司会 (山本文子)：ありがとうございます。

司会 (松山哲男)：これより点鐘を行います。遠藤ガバナーよろしくお願い致します。

遠藤秀雄ガバナー：(点鐘) カーン (拍手)



～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

司会(山本文子)：ありがとうございます。
石井様ご夫妻はどうぞ、ご降壇下さい。
(拍手)
どうもありがとうございました。

司会(松山哲男)：拙い司会進行のもと、長時間に渡りまして、皆様のご協力を頂き本会議が滞りなく終了しました。ご協力を頂き誠にありがとうございます。(拍手)

引き続きまして、国際ロータリー第2510地区と国際ロータリー第3700地区との姉妹地区締結書交換式を行わせて頂きます。

司会(山本文子)：お隣の国、韓国からお見えになりました国際ロータリー第3700地区の皆様でございます。どうぞ、大きな拍手でお迎え下さい。(拍手)

司会(松山哲男)：国際ロータリー第2510地区、遠藤秀雄ガバナー、国際ロータリー第3700地区、都戴旭総裁との姉妹地区締結書交換を行ないました。よろしくお願い致します。(拍手)
ありがとうございました。

それでは、国際ロータリー第3700地区、総裁都戴旭様からご挨拶を頂きたいと存じます。(拍手)

総裁都戴旭様：カムサムニダ

3700地区を代表致しまして申し上げます。2510地区とは20年余りの付き合いをさせて頂いておりますが、ロータリー百周年の年を迎え、姉妹地区締結が出来たことを大変嬉しく思っております。先ほどから皆様お気付きの事と思いますが、姉妹として韓国と日本の国旗がつながっているように、共に手を繋いで国際ロータリーの発展へ寄与できることを心から願っております。ありがとうございました。
(拍手)



司会(山本文子)：それでは、ここで遠藤ガバナー夫人より、金玲希(トウチェンク)夫人へ花束を贈呈させていただきます。(拍手)
ありがとうございました。

司会(松山哲男)：以上を持ちまして、国際ロータリー第2510地区と国際ロータリー第

3700地区との姉妹地区締結書交換式を終わらせて頂きます。ありがとうございました。(拍手)

司会(松山哲男)：それでは、諸事のお知らせを大会SAAの山田新一より、ご案内申し上げます。

大会SAAの山田新一：皆様、大変長い間お疲れさまでございました。引き続き懇親会に移らせて頂きます。

すでに、ご案内の通り、懇親会場は温泉の第一滝本で1時30分より開催を致します。駐車場会場は既に満杯になっております。駐車スペースがございません。そこで、お願いがございますが、自家用車で会場へお越しの方は、会場前よりシャトルバスをご利用下さい。自家用車のご利用はご遠慮頂きたいと思っております。クラブ専用のバスをご用意しているクラブは、そのバスにお乗り下さい。ご来賓の方は、ご来賓のバスをご用意しておりますので、そのバスにお乗り下さい。懇親会が終了後は、早い時間に第一滝本館にシャトルバスを待機しておりますので自家用車でこの会場にお越しの方はそのバスにお乗り頂いて、本会場の駐車場までお送りを致します。そこで、ご自分の車をお受け取り下さい。それでは、1時30分より第一滝本で大会大懇親会を開きます。そちらの方へご移動願います。ありがとうございました。(拍手)

(会場を日本工学院北海道専門学校体育館より登別温泉の第一滝本館へ移動)



～2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」～

平成16年10月17日 日曜日

懇親会
(会場・・・第一滝本館)

司会(山本文子)：この会場手狭に感じられる皆様、お客様いらっしゃいましたら、どうぞご自由に第2会場の方へとお移り下さい。間も無く懇親会の方を始めさせていただきます。

司会(松山哲男)：地区大会も最後のプログラムとなりました。長時間大変ご苦勞様でございました。

これより、記念懇親会を開催致します。開会の言葉を戸塚守夫大会実行委員長より申し上げます。

戸塚守夫大会実行委員長：皆様、地区大会の2日間、非常にお疲れさまでした。ありがとうございました。

今回の大会の際しまして、最大の味方はこの天候だったと思っております。素晴らしい北海道の秋を体験して頂けたと思っておりますが、登別にはこういう天気は滅多に無いのでございます。本当に皆様方のご精進の賜物だと思っております。この会場は温泉地でございますので、温泉地ならではのこの地区の色々な食材を、ここの第一滝本の調理の方で腕を振るってご用意させていただきました。どうぞ、お時間の許す限りゆっくりとご歓談、ご賞味くだされば幸いです。本日は本当にありがとうございました。(拍手)

司会(山本文子)：つづきまして、遠藤秀雄ガバナーよりご挨拶申し上げます。

遠藤秀雄ガバナー：皆さん、2日間大変お疲れさまでございました。

私もやっと大役を終えることが出来まして、大変ほっとしておるところでございます。

昨日も申し上げましたように、ロータリーは奉仕と親睦が柱でございます。奉仕の部分は終わりました。これからは、親睦の基本で盛り上げて頂きたいと思っております。そして、また来年地区大会で皆様方とお目に掛かることを心から祈念を致しまして、甚だ簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。どうも、ありがとうございました。(拍手)

司会(松山哲男)：本会議場で行われました国際ロータリー第2510地区と、国際ロータリー第3700地区との姉妹地区締結交換式が行われたことでございますけれども、ここで、国際ロータリー第3700地区、総裁都戴旭様からご挨拶を頂きたいと存じます。

第3700地区総裁都戴旭様：本日、ロータリー百周年の年を迎え、国際ロータリー石井R I会長代理、国際ロータリーの第2510地区の地区大会にお招き頂いたことを3700地区を代表致しまして、心から御礼申し上げます。2510地区とは20年余りの付き合いをさせて頂いておりますが、両地区の念願が叶い姉妹地区の締結が出来たことを大変嬉しく思っております。遠藤秀雄ガバナー始め、ホストクラブの登別ロータリークラブ、それからロータリアンの皆様ありがとうございました。2510地区の地区大会に出席できたことを光栄に思っております。この場をお借りしてこの20年間近い友情を築いていらした、山口晴雄札幌西クラブ会長と3700地区のPastorガバナーに感謝の言葉を差し上げます。最後になりますが、2510地区と3700地区との友情が末長く続くことを望みつつ、2510地区の更なる発展をお祈り致します。どうもありがとうございました。(拍手)

司会(山本文子)：どうもありがとうございました。

司会(松山哲男)：続きまして、乾杯のご発声をPastorガバナー大橋浩司様、よろしくお願い致します。

Pastorガバナー大橋浩司様：Pastorガバナーの大橋でございます。

ご指名でございますので乾杯の音頭をとらせて頂きます。

あまり気の利いたことは申せませんが、実はこの会場のある第一滝本館の温泉を開設致したのは安政4年、今から150年前に滝本金蔵でございます。そういう歴史ある会場で出来ましたことは何よりであり、この大会に続きましてまた来年は札幌で開かれるわけですがこの大会を含めて皆様方のご健康を祈念致しまして、乾杯の音頭をとらせて頂きます。



奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

す。

乾杯（拍手）

司会(山本文子)：大橋様ありがとうございますました。

そして、この大会にたくさんの祝電が届いております。ここで、ご芳名のみご紹介させていただきます。

ロータリー米山記念奨学会理事長 島津久厚様

ロータリー友の会委員長様

国際ロータリー第2500地区、第2530地区、第2540地区、第2550地区、第2570地区、第2580地区、第2600地区、第2610地区、第2620地区、第2630地区、第2640地区、第2650地区、第2660地区、第2680地区、第2700地区、第2720地区、第2730地区、第2750地区、第2770地区、第2790地区、それぞれのガバナーから温かい祝電を頂きました。どうもありがとうございました。

この後はどうぞごゆっくりご歓談下さいませ。

(囲碁大会成績発表)

若木囲碁大会委員長：優勝者の喜びの声をこれから皆さんに、お披露目したいと思います。

B級の石田敏之様、伊達クラブでございます。どうぞ。



石田敏之様：先日、囲碁大会が行われまして私、伊達ロータリークラブに所属しておりますけれども、伊達ロータリークラブが初めて参加致したわけでございますけれども、運良く優勝することが出来ました。このように立派な遠藤ガバナーからのですね、盾を頂くことが出来まして本当に良かったなというふうに思っております。まあ、あの決勝はですね、3連勝して決勝に臨んだわけでございますけれども、決勝は同じ伊達ロータリークラブの佐藤先生ということで、伊達ロータリークラブの優勝、準優勝というふうになってます。私が本当に勝てたのは指運が良かったからだと思っております。ここで伊達についてピーアールをさせて頂きたいと思っております。伊



達市はですね、囲碁が盛んなところでございます。まして日本棋院の囲碁クラブと、それから関西棋院の囲碁クラブ、両方ございまして、ほとんど毎週とっていいほど大会が開かれております。本日、茅ヶ崎湘南クラブも見えておりますけれども、茅ヶ崎とはですねまた、提携をしております、北の湘南とも呼ばれておまして、冬は暖かく、夏は涼しい、それと春と秋が長い非常に温暖なところでございます。洞爺湖ですとか有珠山とか観光地も控えておりますし、近くには温泉もですね、たくさんございます。

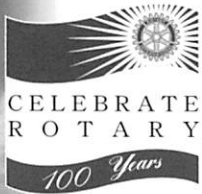
伊達ロータリークラブの会長以下、小野寺副会長、小松幹事、会員増強に取り組んでおりますけれども、これからの人生をエンジョイしたいという方は、是非、伊達に引越して頂きまして、伊達ロータリークラブに入ってもらえればということをご提案したいと思っております。まあ、ちょっと横道にそれてしまいましたけれども、来年はですね、Aクラスに入りまして何としても1勝したいなというふうを考えております。本日はどうもありがとうございました。

若木囲碁大会委員長：あらためて、拍手下さい。

長々と優勝を語り、伊達の宣伝に入ってしまったけれども、本人の職業は電気屋でございます。続きまして、A級の発表にまいります。優勝者、戸井様。札幌幌南クラブでございます。

戸井様：札幌幌南クラブの戸井と申します。今回は私どものクラブの40周年記念の囲碁大会も一緒にやらさせて頂いたということで、クラブでも大変、今回、力が入った次第でございます。幸運にも私、優勝することができました。決勝で当たった準優勝の前田さんという方は、私いつも西でやって分が悪く、押されまくってたんですけれども、最後に先程の石田さんの話じゃないですけど、指運が良くて逆転させて頂いたと、まあ、今回参加人数が三十数名と少なかったんですけれども、来年は東クラブさんの主催でまた行われますので是非たくさんご参加を頂きたいと思っております。このような大変さ喜びやかな席





～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

ですね、この表彰の場を設けて頂いたこと
に対して、大変感謝申し上げます。ありが
うございました。

若木 冨碁大会委員長：以上を持ちまして、栄
えある表彰式を終らせて頂きます。

北海道の冨碁のレベル、2510の冨碁のレベ
ルはかなり高いわけでございます。

ここで、冨碁大会の大御所がございませ
う。ここで一言、伊藤長英様どうぞ。この方は全
国の冨碁大会の親分でございます。

伊藤長英様：私は全国の冨碁大会の理事を
やっております。理事といたしまして、参加
することに意義を感じております。健康のた
めには冨碁、頭の体操は冨碁ということで
やっていきたいと思っております。どうぞよろしく
お願い致します。

若木 冨碁大会委員長：以上を持ちまして、冨
碁の部を終らせていただきます。

ありがとうございました。

司会(松山哲男)：冨碁部門の優勝者おめで
とうございます。

続きまして15日に行われました、ゴルフ大
会の発表に移らせて頂きます。委員長から発
表させていただきます。よろしくお願い致します。

高岸委員：委員であります高岸と申します。
よろしくお願い致します。



10月15日、今日と同じような晴
天の日、登別カントリークラブに
おいて、80名の参加を頂きまして
開催されましたことをここでご報
告申し上げます。その結果の成績を発表させ
て頂きます。

(別項成績表欄参照)

深見様：皆様、私がゴルフの上手な、全然た
いしたことの無いスコアですけど、千歳セントラルロータリーク
ラブの今年度、幹事の深見でござ
います。大会運営委員に携わって
おります。来年は札幌東ロータ
リークラブホストのもと、札幌ゴルフクラブ、
輪厚コースで記念ゴルフ大会があると聞いて



おります。来年は、ディフェンディングチャ
ンピオンとして、皆様の挑戦を受けたいと
思っております。多くの方にご参加頂いてゴ
ルフをしたいと思っております。本当に今日はあり
がとうございました。以上でございます。

高岸委員：御三方、ありがとうございました。
続きまして80名の参加者の名簿をガバナーに
見せまして、ガバナー賞を設定したというこ
とで僕の方からお話しましたところ、誰がい
いかという人選に入りまして、ガバナーの方
から推薦を頂いた方をご紹介申し上げます。

当年77歳、本日のスコアはグロスで121
でしたが、まだ、77歳で現役のゴルファーで
ございます。その方にガバナー賞という賞を
授与させて頂きましたので、ここでガバナー
賞であります。室蘭北ロータリークラブです。
村井さんどうぞ。それでは、ひと言お願い致
します。

村井様：村井でございます。驚天
動地と申しますか、こんなジジに、
私が素晴らしいものであると表彰
してくれるとは、如何なる所存か
と魂消しております。ガバナー賞を



頂いて、本当に感謝感激の極みであります
が、その中味は如何にも高そうなクリスタルの置
物でありました。そこで、待ちかまえていた、
にこにこボックスに思わず奮発してしまった
のであります。私が金曜日にゴルフに出ると
いうことは内緒でありまして、私はまだ勤め
人でありまして、このロータリーの会議があ
るからどうしても行かなきゃいかんというこ
で、そういうことで参ったのであります。これ
が当地の新聞沙汰になりまして、たちまち
ゴルフを楽しんでいたということがバレてし
まいまして、大変具合が悪かったんですが、
翌日、職場の皆から「おめでとう、おめでと
う」といわれまして、あー良かったと思っ
たわけであります。私の寿命もあと幾許か。
この思い出をお墓の中に持って行きます。あ
りがとうございました。(拍手)

高岸委員：素晴らしいお話ありがとうございました。
これで、成績発表を終わります。

先程、深見さんも言ったとおり、札幌東ク
ラブの主催により、札幌ゴルフコース、輪厚



奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

コースで大会が行われると聞いておりますので、是非とも深見さんを負かしたい方は、たくさんのお席をお願いしまして、挨拶とさせて頂きます。どうもありがとうございました。

(その後、和気藹々とした時間を過ごし、懇親会を無事終了)

平成16年10月17日 日曜日
慰 労 会
(会場・第一滝本館)

仲川大会副実行委員長：どうしてもお礼を言わせて頂きたいと思います。皆様、本当にお疲れさまでした。どうもありがとうございました。お蔭様で全ての日程、今や終わらんとしております。今年の実行委員長の仕事もこれが最後の仕事だなあと感じております。ありがとうございました。今回は、皆様のご精進のお陰で天気も良かったし、本当にスムーズに行きまして、皆様のお話を聞くと大変、お褒めの言葉をかけて頂けます。どうもありがとうございました。会長代理の石井様のお話に、今回の大会は、エクセレントだということでございますので、もうこれ以上のランクがないみたいで、本当にありがとうございました。これもグループの皆様の大変なご支援の賜物ということでお礼申し上げます。これからは、内輪の会でございますので、どうぞごゆっくり、お時間の許すかぎり、お話、反省も含めてお話、あるいはもう私は早く酒飲みテーなと思っておりますけど、そういうことでどうぞごゆっくりおくつろぎ頂いて、折角の天気でございますが、急がして頂きたいと思っております。本当に、ありがとうございました。(拍手)

仲川大会副実行委員長：それでは、乾杯なんですけど、今回、会場の部分を担当して頂きましたのは伊達さんに担当して頂きました。昨日、堅田副実行委員長と設営の話をしたしたら、「伊達が揃うまでは動くなお前ら」という形で、実際、動かなかったんです。伊達さんが来たら、すごい動きなんですね。伊達の結束力は何なんだろうこれ。堅田先生のキツさ

なのか怖さなのか、よく分かりませんがその結束力には、本当昨日今日と頭が上がらない思いで、ホントに私助けられました。という意味合いもこの1年間副実行委員長として伊達から毎回来て頂きました。堅田先生に乾杯のご発声をして頂きたいと思っておりますので、いきなりで申し訳ございませんが、よろしくお願い致します。

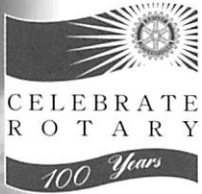
堅田大会副実行委員長：ありがとうございます。ホントにこんなに使って頂きましてありがとうございます。

もうちょっと手抜きでやろうと思ったら、これからこれからということで、いろいろとさせて頂きました。本当にありがとうございます。もう、登別には来ないと思っております。まあ、私の兄貴も30年おりましたので、30年その恩返しもありまして、一生懸命やらせて頂きました。ありがとうございました。

音高らかに乾杯(拍手)

仲川大会副実行委員長：それでは、今回の地区大会は9グループ整列のおかげでなんとかここまで漕着けるかということで、東クラブ、室蘭クラブ、北クラブ、本当にお世話になりました。ここで伊達クラブと室蘭クラブの会長さんはいらっしゃらないんですが、東クラブと北クラブの会長さんが、北クラブの会長さんだいたい酔っぱらっているような感じもしますが、めずらしく、東クラブの会長まだ酔っておりません。東クラブの会長に、後にしますか？ 酔っぱらっている北クラブの会長に先にご挨拶して頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。

川本室蘭北ロータリークラブ会長：今日は皆様、本当にご苦勞様でございました。終わりよければ全て良しということで、本当に登別9グループの会員の皆さんの努力の結果だと思っております。あまり長くしゃべると、次の会長さんに、睨まれるので、簡単には致しますけど、北は北なりに、それなりに一生懸命、駐車場で頑張って頂きましたので、本当にありがとうございました。で、高岸さんにはゴルフで一緒にいろいろとコースレイアウトを教えて頂きまして、最初、ハンディ7が凄いなーと思ったんですけども、途中で携



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

帯が鳴りまして、いろいろと気を使われたとか。最後は48くらいでちょっと辻褃をあわせて頂いたということで、いろいろとゴルフから始まって今日、直会まで皆さん本当にご苦労様でございました。どうもありがとうございます。(拍手)

仲川大会副実行委員長：北クラブさんにはホント、一番嫌な仕事ですよ。この年齢になって交通係という一番嫌な仕事を積極的に引き受けてくれて本当に申し訳ないと思って、ありがたいと思っております。

続いて、芝垣会長が何をしゃべってやろうかなと一生懸命考えております。皆様をやわらかくして頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。

芝垣室蘭東ロータリークラブ会長：

大変長らくお待たせを致しました。直会の余興の部に入らせて頂きます。まずもって本大会が無事、事故もなく、一つ二つの間違いはございましたけれども無事、事故もなく素晴らしく成功裏に終わったことをまず拍手致しましょう。ありがとうございました。

何と言っても72、2,500名いる中で大変失礼ですけども、40名そこそこの当ロータリークラブ、登別ロータリークラブが40名そこそこの人数でこれほどの大会を無事終えたことにまずもって再度拍手をお願い致します。(拍手)

何と言っても、2510地区の中で、札幌あるいは函館、時には小樽、苫小牧という大都市がこの地区大会を主幹する中で、登別クラブが本当に、そこにお見えの若き奥様たちのご助力で無事成功したことを再度お礼申し上げます。ロータリーこれまでの歴史は何と言っても奥様の歴史でございます。それぞれのご夫婦には、それぞれの事情がございますけれども、それを乗り越え今日を迎えたのでございます。あらためて今日お越しの、今日限りの奥様方に拍手をお願い致します。(拍手)

心からお慶びを申し上げます。

正直なところ、昨日のRI会長代理の晩餐会の登別グランドホテル、そして今日の午後からの記念懇親会の当第一滝本、私もロータリーに入って数十年、様々な地区大会に出ま

したけれども、昨晚と今日の午後のこの2つのホテルの懇親会の料理は過去最高でございました。まずもって拍手して下さい。この直会は最低だと思いますけど、それは致し方ございません。余った料理を食べるのが直会の鉄則でございます。本当に昨日のグランドホテルの木村社長様、木村社長様、お見えでございますか？ そうでしょう、昨日、あれだけの懇親会の料理が出たら木村様も昨日限りの社長でもいいかも知れません。本当に木村さん、社運を賭けての夕べの晩餐会、それから当第一滝本の料理も本当に素晴らしかったと思います。私ども東ロータリークラブ、何人かおりますけれども、これだけ腹いっぱい食べた懇親会に出たことないと、9グループの中で一番賤しいクラブが、当東ロータリークラブでございます。あらためて拍手をお願い致します。登別ロータリークラブの9グループのこの団結の力がこの素晴らしい地区大会を成功裏に終わらせました。何と言っても9グループのこの室蘭、伊達、登別近郊のクラブの中の事務局員も日夜、化粧もしないで頑張りました。事務局員に大きな拍手をお願い申し上げます。起立の上、皆様の拍手を受けて下さい。東クラブ、それから室蘭クラブ、北クラブの精鋭でございます。それから最後に申し遅れましたが、何と言いましても向こうに座っている登別クラブの奥様方でございます。起立の上、皆様の拍手をお願い致します。登別クラブ、立てることないって？ 一生に一回のことだから。皆様方の目の黒いうち、この9グループで再び地区大会を主幹することはあり得ないって。私ども生きている間に、そういう意味では本当に記念すべき、一生に一度の地区大会を見事9グループ全体の力で成功致しました。今後とも9グループ、団結で頑張りましょう。ありがとうございました。

仲川大会副実行委員長：料理は、向こうの方に用意してあります。たぶん皆様は懇親会は食べてないはずですから、手伝いが忙しくて、どうぞご自由に食べて下さい。で、その前に、今回の陰の功労者が一人おります。この数ヶ月間、酒も飲まずに、殆ど会社の仕事もやらずに今日のために費やした人が、やっと今一杯のビールを飲みました。皆様の前にもう1





回ひと言、疲れたと言うのか、良かったと言うのか分かりませんが、そこら辺ひと言しゃべらせたいと思いますのでよろしくお願い致します。登別ロータリークラブの実行委員会の幹事をして頂いた、和田君です。

和田大会実行委員会幹事：皆さん、大変お疲れさまでした。本当にあの、皆さんのお陰で無事終了することが出来ました。まあ、本来であれば皆さんのお力を発揮すれば素晴らしい運営が出来たと思いますけれども、何せ若造なモンですから、上手くコーディネート出来なくて、大変申し訳ないなあと考えております。今年の今頃からやっておりましたけれども、私みたいなものが、皆さんに本当に差し出がましいことを言ったり、また非礼なことを書いたり、申し上げたのではないかというふうに思いますけれども、終わったということでご容赦願えればというふうに思います。ありがとうございました。



ガバナー公式訪問の時に、登別クラブのチャーターメンバーの石山さんから、こんな苦勞は買ってもこんな体験は中々出来るものではない、経験しようと思っても出来ないんだ、ということで、本当に苦勞は買ってでもしろということで励まされました。ホント、自分にとっても、今までの中でも、人生の中で彩りを添えてくれたステージだったと感じております。只もう二度とはやりたくないというのが、金をもらってももうできないな、というのが本音でございますけど、こんなことを思いながら、ホントに良い一時を過ごさせて頂きました。また、これからもいろいろご指導頂きたいと思っております。ありがとうございました。

仲川大会副実行委員長：それでは、皆様、年齢も高いですから体に良くありません。明日からの仕事に応えます。

後ろに、いっぱい料理がありますので、是非、もうコンパニオンは20年前のコンパニオンがいっぱいいますけど、出来れば皆様の手で取って頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。ガバナー補佐には鯛を食べさせて頂こうと思っておりますから、先に食べさせろということで、鈴木ガバナー補佐、本当にお世

話になって、ヒヤヒヤしてたと思いますけども、ひと言お願いしたいと思っております。

鈴木ガバナー補佐：反省会場に、反省しにやってきました。大変なミスを出かしてしましまして申し訳ございませんでした。昨日から伏線があります。昨日の補佐と幹事との打合せの時に、各クラブ紹介を、



極力簡潔にするということで、だいぶ揉めました。簡単なことなんですけれども、なかなか補佐の間で意見が一致しなくて、幹事さんから説明を聞いて、それでもなおダメで、別室にいったりハーサルまでやりました。それでもなお、たったあれだけクラブを紹介するのにいろんな意見があつて、まとまりがつかせませんでした。その間、私もメモを作りまして持っていました。そのメモが仇をなしてしまいました。そのメモが読めなかったんです。そして隣の補佐に、「あれ、お前同じことを何回も言ったよ」って、本当に大変、ミスをおかけしましたことを深くお詫びしたいと思います。どうも・・・。

完結



第6部 決議案他各種報告

～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

2004-2005年度 国際ロータリー第2510地区 地区大会 決議案

●決議第1号

『国際ロータリーのテーマを推進する件』

グレン E. エステス・シニア国際ロータリー会長は本年度のテーマとして「ロータリーを祝おう」を示されました。

我々第2510地区ロータリアンは、このテーマを良く理解し積極的に推進して、ロータリーの奉仕活動に最大限の努力を傾けることを決議致します。

●決議第2号

『グレン E. エステス・シニア国際ロータリー会長並びに石井 治国際ロータリー会長代理ご夫妻に感謝する件』

2004-2005年度国際ロータリー第2510地区地区大会を登別市で開催するに当たり、グレン E. エステス・シニア国際ロータリー会長は会長代理として石井 治国際ロータリー第2770地区パスト・ガバナーを派遣されました。同氏は令夫人と共に本大会にご臨席下さり、エステス国際ロータリー会長のメッセージを伝えられ、さらに国際ロータリーの現状についてのご講演と共に格調高い所感を表明され、大会参加者に多大の感銘を与えられて本大会を成功へと導かれました。本大会はエステス国際ロータリー会長に心からの謝意を表すると共に、石井治国際ロータリー会長代理ご夫妻に記念品を贈り、感謝と敬意を表することを決議致します。

●決議第3号

『2007年規定審議会の地区代表議員候補者について承認を得る件』

2007年規定審議会の当地区代表議員及び補欠議員候補者各1名を承認することを決議致します。

●決議第4号

『ロータリー100周年に当たる2005年2月23日に、各ロータリークラブが100周年にちなんだ会合を持つ件』

2005年2月23日、最初のロータリー例会が1905年2月23日にもたれてから丁度100周年になります。この幸運なめぐり合わせを感じ、各クラブ又は各グループがその記念例会等を開催し、足跡を残すことを決議致します。



～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

●決議第5号

『会員増強と退会防止及びクラブ拡大を推進する件』

当地区のロータリアンは、グレン E. エステス・シニア国際ロータリー会長が本年度の最優先事項として掲げられた会員増強と退会防止及びクラブ拡大を一層推進することを決議致します。

●決議第6号

『地域社会に対する奉仕活動を推進する件』

当地区のロータリアンは、グレン E. エステス・シニア国際ロータリー会長が強調事項として、地域社会への奉仕を掲げられたので、より積極的に遂行することを決議致します。

●決議第7号

『安全な水を得られない人々を支援協力する件』

グレン E. エステス・シニア国際ロータリー会長は「安全な水を得られない人々が10億人います。この事実がもたらす残酷な結果の一つは、汚染された飲料水と衛生設備のために毎日6,000人の子供たちが死亡しているということです」と訴えています。安全な水を得られない人々を積極的に支援協力することを決議致します。

●決議第8号

『2003－2004年度の地区資金収支報告並びに監査報告を採択する件』

2003－2004年度の地区資金収支報告並びに監査報告は別紙の通りであります。本大会は国際ロータリー細則第15条第6節第4項の規定に則り、これらの報告を正式に採択することを決議致します。

●決議第9号

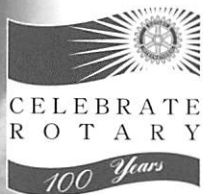
『国際ロータリー第2510地区直前ガバナー佐藤秀雄氏に感謝する件』

2003－2004年度地区ガバナー佐藤秀雄氏は、ジョナサン B. マジアベ直前国際ロータリー会長のテーマ「手を貸そう」を地区内ロータリアンに理解し実践するよう務められ、ご在任中は当地区ロータリアンのリーダーとしてその卓越した手腕とロータリーに対する情熱を持って激務を見事に果たされました。よって本大会は同氏の功績をたたえ、深甚なる謝意を表することを決議致します。

●決議第10号

『ロータリー財団の寄付増進に協力する件』

ロータリー財団はロータリー活動の大きな柱の一つであります。当地区全てのロータリアンは国際理解、友好、親善、人道的援助の願いを込めて、ロータリー財団への寄付増進に協力することを決議致します。



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

●決議第11号

『米山記念奨学会の寄付増進に協力する件』

米山記念奨学会は日本のロータリー活動の大きな柱の一つであります。当地区全てのロータリアンは国際理解、友好、親善の願いを込めて、米山記念奨学会への寄付増進に協力することを決議致します。

●決議第12号

『国際ロータリー2005年国際大会(シカゴ)への参加を推進する件』

2005年6月19日から22日にアメリカ・シカゴにおいて開催される第96回国際大会に当地区会員並びにご家族の積極的な参加を推進されることを決議致します。

●決議第13号

『次期地区大会開催に関する件』

2005-2006年度国際ロータリー第2510地区地区大会は札幌東ロータリークラブをホストクラブとして2005年10月15日と16日に札幌市で開催することを決議致します。

●決議第14号

『地区大会ホストクラブに感謝する件』

2004-2005年度国際ロータリー第2510地区地区大会が登別市の祝いの宿登別グランドホテル、日本工学院北海道専門学校、第一滝本館において開催され、多くの成果を収めつつあることは、登別ロータリークラブ並びに第9グループ内ロータリークラブの周到なる準備と会員、ご家族のご協力の賜物であります。よって本大会はここに深甚なる謝意を表することを決議致します。

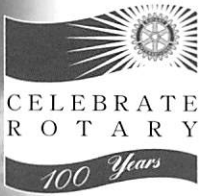


～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

国際ロータリー現況報告

RI会長代理 石井 治

• 2003-04年度予算	1億9,690万ドル
国際ロータリーとロータリー財団の支出予算の合計	
● 国際ロータリーの部 (1905年創立)	
• 2003-04年度予算	7,460万ドル
国際ロータリーの支出予算の78%は、年会費および雑誌購読料で賄われています。	
• 会員	
ロータリアン数 (2002年6月30日現在)	1,243,431
ロータリー・クラブ数	31,256
ロータリー地区数 (2002年6月30日現在)	530
国数	165
地理的地域数	40
• ロータリーにおける女性会員	
女性ロータリアン数 (推定)	137,804
女性クラブ会長数	21,554
• インターアクト・クラブ (創設1962年)	
会員数 (推定)	199,939
クラブ数	8,693
国および地理的地域の数	111
• ローターアクト・クラブ (創設1968年)	
会員数 (推定)	169,671
クラブ数	7,377
国および地理的地域の数	154
• ロータリー地域社会共同隊 (創設1986年)	
共同隊数	4,769
国および地理的地域の数	69
• ロータリー青少年交換 (創設1929年)	
年間青少年参加者数 (推定)	7,000
1998-2003年度に関与した国・地域の合計数	85
● ロータリー財団 (1917年創立)	
• 2003-04年度予算	1億2,230万ドル
プログラム補助金と実施のための支出総額	1億170万ドル
・奨学金および大学教員のための補助金	2,100万ドル
・ポリオ・プラス	3,180万ドル
・同額補助金およびヘルピング・グラント	2,380万ドル
・3-H補助金および計画準備助成金	0.0万ドル



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

・研究グループ交換	330万ドル
・その他のプログラム	820万ドル
・プログラムの実施	1,360万ドル
資金開発（撲滅キャンペーンの90万ドルを含む）	1,410万ドル
一般管理費	650万ドル
• 1947年度プログラムの支出総額	13億8,200万ドル (2002-3年度は、9,410万ドル)
• 2002-03年度予算	
• ロータリアンその他からの寄付	1億1,260万ドル
・年次プログラム基金への寄付	7,050万ドル
・恒久基金への寄付	1,210万ドル
・ポリオ・プラス基金への寄付	3,000万ドル
• ポール・ハリス・フェロー（2003年6月現在）	858,382名
ポール・ハリス・フェローの創設は、1957年です。年次寄付の70%はポール・ハリス・フェローの認証から得られています。	
• ロータリー財団ベネファクター	
ベネファクターの総数	60,590名
• ロータリー財団プログラム	
• 奨学金プログラム（創設1947年）	
1947年以来授与された奨学金口数	(約)36,000口
奨学生の派遣国数	70カ国
奨学生の受入国数	70カ国
2002-2003年度に承認された奨学金口数	868口
1947-2003年度の総費用	4億2,900万ドル
支給総額	1,680万ドル
• 研究グループ交換（創設1965年）	
2002-03年度に派遣されたチーム数	397チーム
参加者数	1,588名
承認された額	270万ドル
2002-03年度の参加チーム総数	10,600チーム
関与国数	100カ国以上
2002-03年度に支給された額	8,200万ドル
参加者数	46,000名以上
• 保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)プログラム（創設1978年）	
2002-03年度に承認された件数	2件
承認された	587,000ドル
1978年から2002-03年度までのプロジェクト総数	276件
プロジェクト国数	74カ国
2002-03年度に承認された額	7,400万ドル



～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

- 国際人道的プロジェクトのためのマッチング・グラント（創設1964年）
 - 2002-03年度に承認された件数 1,873件
 - プロジェクト国数 115カ国
 - 承認された額 1,730万ドル
 - 2002-03年度に世界166のプロジェクト国において費用1億8,200万ドルを超えて授与された補助金口数 18,000件以上
- ロータリー・ボランティア補助金（創設1979年）
 - 2002-03年度の50プロジェクト国における補助金口数 354口
 - 承認された額 120万ドル
- ポリオ・プラス（創設1985年）
 - 2001年は483発生例（1988年の350,000件から減少）
 - 6月3日現在までに5億1,000万ドルを充当
 - 世界の209カ国、地域および区域が、ポリオから開放されました。
 - 2002-03年度の授与額 米貨3,690万ドル
 - ポリオ撲滅募金キャンペーンの結果（現金、DDF、公約目標額及び政府組合せ資金を含む） 1億1,150万ドル

PR18-JA (12/02) (月次データは米ドルを基に算出されています)



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

地区現況報告

当地区は下記事業を行っていることを報告致します。

クラブ総数	72クラブ		
期首会員総数	3,136名		
インターアクトクラブ数	10クラブ		
	会員数 193名	(8/21現在)	
ローターアクトクラブ数	12クラブ		
	会員数 98名	(8/28現在)	
青少年交換留学生	受入 8名		
	派遣 8名		
国際親善奨学生	受入 2名		
	派遣 11名		
米山記念奨学生	継続 3名		
	新規 18名		
	クラブ奨学生 3名		計 24名
研究グループ交換			
派遣先 第3350地区 (タイ)			
財団年次寄付目標額	313,184ドル		
ポール・ハリス・フェロー	3,615名	(累計)	
ベネファクター	164名	(累計)	

ロータリー 100周年記念祝賀活動について

2005年2月23日(水)に、地区内ロータリークラブ、若しくは、グループにて一斉に記念例会を開催する。

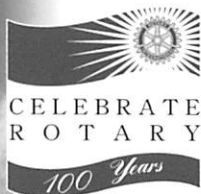


～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

各委員会活動報告

- 意義ある業績賞選考委員会 委員長 岩 城 秀 晴 (札幌南 P G)
- オン・ツー・シカゴ委員会 委員長 小 林 博 (札幌北 P G)
- 100周年記念委員会 委員長 岩 城 秀 晴 (札幌南 P G)
- 補助金監督委員会 委員長 菅 原 耕 治 (札幌 北)
- 文献資料室委員会 委員長 板 橋 俊 (札幌 幌南)
- 拡大委員会 委員長 遠 藤 正 之 (札幌幌南 P G)
- 会員増強委員会 委員長 佐 藤 秀 雄 (千 歳 P G)
- クラブ奉仕委員会 委員長 羽 部 大 仁 (札幌 幌南)
- 職業奉仕委員会 委員長 富 岡 公 治 (札幌 西北)
- 社会奉仕委員会 委員長 対 木 正 文 (札幌 西)
- 家庭奉仕委員会 委員長 和 田 壬 三 (札幌 幌南)
- 子ども奉仕委員会 委員長 米 山 道 男 (札幌 北)
- 国際奉仕委員会 委員長 橋 本 信 夫 (札幌 西)
- 世界社会奉仕委員会 委員長 斎 藤 修 弥 (室 蘭)
- 親睦活動委員会 委員長 雲 津 忠 宣 (伊 達)
- ロータリー財団委員会 委員長 遠 藤 正 之 (札幌幌南 P G)
- 国際親善奨学金委員会 委員長 瀧 川 哲 夫 (札幌 手稲)
- G S E 委員会 委員長 山 名 善 久 (札幌 幌南)
- 財団学友委員会 委員長 山 崎 晴 嘉 (札幌 西北)
- 補助金委員会 委員長 伏 木 忠 了 (札幌 西)
- 新世代委員会 委員長 細 川 好 弘 (静 内)
- インターアクト委員会 委員長 堀 田 昌 資 (札幌 東)
- ローターアクト委員会 委員長 柳 孝 一 (札幌 幌南)
- 青少年交換委員会 委員長 野 澤 幸 平 (岩 内)
- ライラ委員会 委員長 宮 崎 善 昭 (札幌 西)
- 米山記念奨学委員会 委員長 竹 原 巖 (札幌 北)
- 米山学友委員会 委員長 見 延 庄三郎 (小 樽 南)
- 広報委員会 委員長 小 林 俊 之 (札幌 北)
- 情報・I C 委員会 委員長 山 田 信 夫 (苫 小 牧 北)
- ロータリーの友委員会 委員長 木 下 博 (室 蘭)

○印 発表者



～2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」～

委員会活動の内容

意義ある業績賞選考委員会

当委員会としては、ガバナーよりの意向に対して、適正に選考を実行して行きたいと考えております。

オン・ツー・シカゴ委員会

ロータリーの100周年を記念した国際大会は2005年6月18日(土)から6月22日(水)までの5日間、米国イリノイ州シカゴ市で開催される。以下の点をご留意いただきたい。

- ①年内の登録完了は登録料の特典割引あり。
- ②地区会員数の2%以上の登録は一定の払戻し特典あり。
- ③航空機・宿泊の予約は地区としてまとめて行った方が何かと好都合。詳細は展示ブースを。
- ④地区としてのグループ参加予定者(ロータリアン・家族)名は各クラブで取りまとめのうえ11月30日(厳守)までに当委員会に連絡をお願いします。早期締切りは宿泊ホテルの優先予約のためです。

オン・ツー・シカゴ委員会

(TEL:011-222-1506 FAX:011-222-1526)

E-mail:scs-hk@phoenix-c.or.jp)

100周年記念委員会

活動方針としては、国際ロータリーの事業を推進し、当地区の計画も地区の方針とともに100周年を祝うことに実施したい。

1. RIの計画
 - (1) 会員の増強
 - (2) ポリオ撲滅運動の展開
 - (3) 地域社会での奉仕
 - (4) 会員一人当たり米貨100ドルの財団への寄付
 - (5) 100周年記念国際大会への参加
2. 地区内の計画
 - (1) 17年2月23日のロータリー創立記念日としてのクラブ例会の開催
 - (2) 地域社会に奉仕活動と広報活動
 - (3) 他国地区との姉妹締結の実施
 - (4) 当地区内のロータリー文庫の資料整備

以上であります。この中に、2.(2)の地域社会に対する奉仕活動として、17年2月初旬に実施さ

れる「札幌雪祭」の際に、ロータリーのコーナーを設置して、国内外から参集する一般の方及びロータリアンに対しての案内奉仕を実施したいと考えております。その実行に当たっては、会員及び交換学生と米山奨学生等の方々によって参集された方々に、ロータリーとして、観光奉仕又は社会奉仕を交じえた奉仕を実施したいものと考えております。また、17年5、6月頃に、青少年に向けての情操奉仕も実施したいと考えております。

どうかこの一年、100周年を心からのお祝いを希望致します。

補助金監督委員会

前年度の継続事業及び、今年度の新規申込みプログラム(2件)の審査会に出席。今後も、関連委員会(ロータリー財団・地区補助金委員会)と提出された審査書類に基づき、検討を重ね、プログラム完了後は、使用状況の確認を行い補助金が有効かつ適切に利用されているかの監査を行います。

文献資料室委員会

7月、9月と2回の委員会を開催し、活発な討議を行ないました。

当委員会は、文献資料の整理・保管・収集・貸し出しが主たる任務です。現在の情報化時代では、資料が絶えず増加してきておりますが、これらの情報を何とか各クラブ・会員の皆様に、速やかに利用していただくべく、努力したいと考えております。

時勢でビジュアルのもの、ビデオ等をクラブ例会・フォーラム等に活用していただくように、新しいものを揃えつつありますので、是非ご活用のご程をお願い致します。

拡大委員会

100周年を祝う年にと新クラブの発足、地区の拡大を模索し、諸条件に叶う地区を1～2候補にあげ、調査してみたが、現在の社会情勢、又各クラブで会員の減少に悩んでいる時に、今年の新クラブの設立は少々難があると思っている。今後は拡大委員は勿論あらゆるルートを通してその可能



～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

性を拡げて行きたい方針である。

会員増強委員会

平成16年8月21日(土)12時から16時30分まで北海道医師会館に於地区会員増強研修セミナーを開催した。出席者は、R I 会員組織コーディネーターの高橋文夫氏(98-99年度のP G、山形R C)、遠藤秀雄ガバナー、伊藤長英地区研修リーダー、地区増強委員の各ガバナー補佐、各クラブから会員増強委員長が参加し総勢80名のセミナーとなった。

高橋コーディネーターからは、世界的にも会員が減少傾向にある。昨年度R I の退会者約8千人であり、その内実に4千人が日本のロータリアンで占められていると報告された。日本では女性会員が増えているが、もっと女性会員を増やす努力をすべきだ。何故なら女性会員は入会したら余程でない限り退会しないからと強調された。

9月13日(月)札幌北R Cで会員増強について卓話を実施した。クラブ会員全員の熱意で会員増強に努めましょうと激励した。

クラブ奉仕委員会報告

昨年から新しい試みとして地区のホームページにクラブ奉仕部門を立ち上げ、「楽しい例会の紹介」と「会員増強の実例」を写真やグラフを使って各クラブのクラブ奉仕への手掛かりになればと考えています。その後2004～05年遠藤ガバナー年度に更新をして、新しいクラブ奉仕の実例をご紹介したいと思っています。是非ご覧戴きまして参考にして戴きましたら幸甚に存じます。尚クラブでこれは楽しいプログラムでした。或いはユニークな例会等ご紹介して戴ければ地区クラブ奉仕委員会まで御寄せ下さい。取材に参上致します。

職業奉仕委員会活動報告

1. 活動方針

ロータリー創立者ポールハリス以来、シェルドン、ハーバードテラーコリンズ等のロータリー理念指導者の考えを確固として守り抜き現代にマッチしたロータリー職業奉仕理念の普及及び実践活動を地区職業奉仕委員会として実施する。

2. 活動計画

(1) 地区内容クラブのロータリー職業奉仕委員会活動の協力後援活動を実施する。

(2) ロータリーにおける職業奉仕 (Vocational Service)

ロータリーにおける職業奉仕とは、ロータリアン以外の人たちに“ロータリーの心”を分かちことであると言われていいます。

つまり自らの職業を通じて地域社会の人々や世界の人々との間に善意と友情溢れた関係を創ろうと言うのがロータリーの職業奉仕と解釈されています。

次にロータリーは実践運動であると言われていいます。ロータリーの哲学は単に主観的なものであってはならず、それを客観的な行動に移さなければならぬと提唱されています。

3年前から、地区職業奉仕委員会の活動として取り組んでいる専門職種を有するロータリアンを講師とする「ロータリー市民講座」を今年度11月開催する事となっております。

(3) 今年度の遠藤秀雄ガバナーは各クラブ公式訪問スピーチにおいて、本年度のアナハイムのガバナー研修においてラタクルR I 元会長とグレン・E・エステス現R I 会長がロータリー創立100周年の今年こそロータリー創立の原点に立ち返り、職業奉仕の理念をロータリーの根幹として高く掲げなければならないと強調している旨語られました。

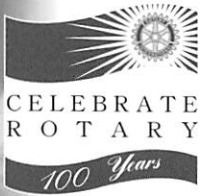
第2510地区の当地区においても各クラブの会員数減少が重大問題となっておりますが、職業奉仕の理念を高く掲げることによってロータリーの活動を広く宣伝したいと考えます。

社会奉仕委員会

地域のニーズに答えた社会奉仕活動は、ロータリークラブが実施できる最もやりがいのある活動の一つです。地区委員会は各クラブが職業の専門知識や熱意をもって効果的な社会奉仕活動に取り組めるよう努力します。

1) 地区内4ヶ所(苫小牧、滝川、函館、札幌)で7月から8月にかけて、社会奉仕に関する意見交換会を開催しました。

2) 2003-2004年度に実施された地区内クラブの「社会奉仕活動一覧表」を作成しました。この冊子は各クラブがより地域に密着したプロジェクトを選択する上で役立つと共に、ロータリー活動の一部を広く社会に知ってもらう一助となり、会員増強にも役立ちます。



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

- 3) 小委員会の家庭奉仕、子ども奉仕委員会の設立主旨と活動をクラブに理解していただくよう努めます。

家庭奉仕委員会

今なぜ家庭奉仕が必要なのか。家庭内の人間関係に関する国際比較調査の結果を見ても、不登校生徒数や引きこもりの大人の数、離婚率などの統計を見てもわが国の家庭環境は、極めて深刻な状況です。我が地区でも例外ではありません。

三年目の本年度は、各クラブに対し、家庭奉仕をテーマとする単独又は合同で、討論会、懇談会、家庭との集会あるいは、家庭内暴力や、児童虐待、現代における親子夫婦のあり方などテーマを絞って、公開シンポジウムを開いて頂くなどの積極的な活動を促したい。

子ども奉仕委員会

未来を担う子ども達は大切な存在です。本委員会は、ロータリアンに相応しい職業奉仕活動として、「小中学校で授業をしましょう」「小中学生を職場に招いて職業体験をしてもらいましょう」と、会員に呼びかけています。

現在は、この運動のロータリー内での広報と協力会員の名簿作りをしています。すべての会員の皆さん、進んで名簿に登録しましょう。また、近々名簿ができた暁には、その有効活用を地元の小中学校に働きかけましょう。

国際奉仕委員会

1. 長期展望のもとに委員会活動の見直しと新企画の創出を図る。
2. 国際関連情報を広く収集し、PR活動を強化しながら各クラブの国際奉仕活動（世界社会奉仕、国際友情交換、国際親睦など）を支援する。
3. 当地区とRI3700地区（韓国）の姉妹提携ならびにアジア諸国（フィリピンや台湾など）とのクラブ間交流を推進する。

世界社会奉仕委員会

1. 具体的事業計画

現在既に2つのRCからアジア地域に向け、中古救急車寄贈、住宅寄贈の計画が寄せられているので、鋭意調整中です。その他のクラブも積極的

なご検討をお願いします。

2. 書き損じハガキ、未使用テレホンカード回収事業

アジアにおける恵まれない子供たちへの教育支援や、きれいな水の提供を目的に、書き損じハガキ、未使用テレホンカード回収事業を行いますので、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

親睦活動委員会

2年前に職業奉仕プログラムから国際奉仕プログラムに変更された「ロータリー親睦活動」は委員会が提唱する有意義なレクリエーション活動に、共に関心を持つロータリアン、又は同一の事業、専門職務又は職業分野のロータリアンは「国際奉仕」と「親睦活動」を増進するために多くの親睦活動に参加するように推奨されてます。

既に2510北海道西地区では「歴史と伝統の会」、「囲碁同好会」、「ゴルフ同好会」、「アマチュア無線」が活発な活動を繰り広げております。

地区委員会としては、この様な既存の親睦活動を支援するとともに、新しい親睦活動の検討と、RIへの正式な手続きのお手伝いを致します。

ロータリー財団委員会

地区ガバナーは、地区内のロータリアンに対して財団プログラムと募金に参加するように奨励しますが、それを援助するのが地区ロータリー財団委員会(DRFC)の目的です。財団委員会はロータリー財団とロータリアンの連絡役を努めるものです。当地区には、国際親善奨学金、財団学友、GSE、補助金の各小委員会があり、各報告されると思います。

財団委員会は去る7月24日に第1回の委員会が行われ、各小委員会の本年度の方針打合せを行い、ロータリー100年を祝うべく、そして成功するような計画がなされました。それは、先ず、財団プログラム、募金の意味を全員の皆様に理解して頂きたい。それがロータリーの発展につながるのです。

“Every Return Every Years100\$”

国際親善奨学金委員会

これまでの活動

1. 2005-06年度奨学生候補者(9人)へのオリエ



奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

- ンテーション
2. 候補者の英文申請書作成補助・ロータリー財団への送付
 3. 5010地区（ロシア地域）からの3カ月文化研修生の受け入れ（9月1日来札。スポンサークラブは札幌清田RCと新札幌RC）
- 今後の活動予定
1. 奨学生の正式決定（1月頃）と並行しての追加オリエンテーション
 2. 壮行会（6月頃）
 3. 06-07年度奨学生候補者選考（6月頃）

GSE委員会

今年度地区GSE委員会は、タイの3350地区とGSEプログラムを実施しており、チームメンバー（リーダー1名とメンバー4名）5名が10月4日から当地区を訪れています。今地区大会にも参加しておりますので、親睦を深めていただきたいと思ひます。メンバーは10月31日に帰国の予定です。また、次年度3350地区への当地区からGSEチームを派遣します。派遣するメンバーを只今募集中です。多くのクラブから候補者推薦をお願いします。

財団学友委員会

- 1) 地区大会「学友会フォーラム」に関し、テーマ及び役割分担の打ち合わせを学友会役員と行う。
- 2) 地区大会に「ニューズレター」発行、配布の支援。
- 3) 財団学友会総会を地区大会時に開催し、ロータリアンの参加により学友会を深く理解してもらい、賛助金等の助けを受け地区に密着した活動をして行く支援を行う。
- 4) 帰国学友報告会の開催財団奨学生、GSE団員の感想と今後の活動をロータリアンに報告する機会を計画。

補助金委員会

補助金制度については、各クラブにおいても、既にご承知のことと思ひます。財団の人的補助金は、3つに分かれております。

1. 地区補助金：地域社会に恩恵を与え、経済的に恵まれない人々の生活を向上させるために地区財団活動資金（DDF）を地区の裁量で使え

る。尚、補助金の審査基準も有り、地域社会への貢献を考慮することが大切です。

2. 個人的補助金：海外での援助事業をするための、調査費などの旅費の補助です。最長60日期間で、4カ月以上前に申込みが必要となります。
3. マッチング・グラント（同額補助金）：海外で人道的プロジェクトを実施するために、プロジェクト実施国と支援国の2つのロータリークラブ又は、2つの地区が協力して行うプロジェクトに提供されます。

* 不明な点は、地区補助金委員会にお問合せ下さい。

新世代委員会

第2510地区の新世代奉仕活動は歴代ガバナーのご指導のもとで幅広い活動の実績が記されておりますが、前途洋々たる0才から30才代の新世代に未来を託すプログラムは人としてもその倫理の道を極める事にもなります。

国際ロータリー本年度のテーマは、100年を見つめ直して未来に輝く「ロータリーを祝おう」であります。2510地区として取組んで来ましたが、新世代活動の着実な歴史を確認しながら、ロータリーの過去・現在・未来を称える新世代奉仕活動が実施されております。

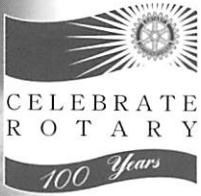
※韓国木浦市「共生園」施設訪問、2800地区インターアクター等、国際交流、国内交流、ライラセミナー研修に取り組む……インターアクト委員会（14才-18才）

※キャンプ（岩内町）で親睦と清掃作業。留萌RCの支援による地区セミナー、ライラセミナー研修に取り組む……ローターアクト委員会（18才-30才）

※受入・派遣共に米国2名、カナダ1名、フィンランド1名、オーストラリア4名、短期3名、秋・冬期キャンプ等親善使節に汗する……青少年交換委員会

※「人権について考える」をテーマにライラセミナー（シニアクラス・ジュニアクラス）青少年指導者育成プログラムに取組む……ライラ委員会

ロータリー家族である新世代が世界に通用する指導力を培う機会に恵まれますよう、新世代関連委員会の情報発信に地区内72クラブのご協力をお



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

願いたします。

インターアクト委員会

地区主導の主な活動報告を申し上げます。

8/2～6、韓国・木浦市『共生園』への訪問交流とソウル市内で文化・歴史資料館を見学する。国際理解と親善推進の奉仕プロジェクトに9校17名、引率教師9名、ロータリアン2名参加。

8/17、R12800地区（山形県）藤川パストガバナー（団長）、池田新世代委員長、佐藤インターアクト委員長、7校14名、引率教師7名が地区外研修にて来道。北海高校（交流会場）のインターアクトクラブ（25名）が中心となって（札幌龍谷学園2名参加）準備・運営。情報交換と友情を深め合う素晴らしい機会であった。

翌8/18、遠藤ガバナー、伊奈代表幹事、上田幹事が登別グランドホテル（宿泊先）を訪ね、歓迎の挨拶をされる。

8/21、第1回地区委員会開催（ホテルライフォート札幌、参加者・上田地区幹事、宮崎ライラ委員長、仲谷委員（岩見沢）、松見委員（函館北）顧問教師5名）

※経過報告・本年度活動計画、ライラセミナーについて

ローターアクト委員会

新年度が3ヶ月経過し、地区行事としては、岩内RACホストで地区キャンプ、留萌RACのホストで地区セミナーを郷土の歴史を訪ねるプログラムとチャリティーパークゴルフで親睦を深めました。今後11月北海道交流会（北見市）、12月地区協議会（函館市）5月地区大会（千歳市）海外研修（未定）と地区レベルの行事が目白押しです。各ロータークラブは月2回の例会、理事会等行い、奉仕活動にも積極的に参加しています。

青少年交換委員会

①長期受入及び派遣学生はそれぞれ8名、短期交換は3名程度を予定しております。

②第2740地区（九州佐賀、長崎）との受入学生交換事業の実施。

本年、12月8日(木)～12日(日)留学生10名、RC関係者3名受入予定

③ホストファミリー&ホストRC支援プログラム

実施

留学生をホストされていないRCに週末、夏&冬休みに短期間留学生のホストファミリーを引き受けて頂く支援プログラム。

④申請書の簡略化（申請書は邦文、英文の選考試験前に同時提出）等事務局作業の効率化。

ライラ委員会

ライラセミナーは、9月の新世代月間に9/11～12シニア・クラス参加者54名、9/18～19ジュニア・クラス参加者76名で開催されました。

今年度のテーマは「人権について考える」というもので、少し難しい面もありましたが、人権の思想の発生から今日、日本で起きている様々な人権問題について、基調講演を聴いた後に、参加者が意見の交換を行いました。国家権力に対する個人の人権擁護から個人対個人の人権擁護まで、幅広く且つ奥深く考えていかなければならないことを、参加新世代、ロータリアンともに再認識する良い機会となりました。

米山記念奨学委員会

ロータリー米山記念奨学会は、日本で学ぶ留学生に奨学金を支給し生活と勉学を支援するとともに、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めることを目的としております。米山奨学事業は日本ロータリーの独自の奉仕活動として定着している感じがしますが、近年の会員減と厳しい経済環境により寄付金の減少傾向に歯止めがかからず、1999年からは特別積立金を取り崩して奨学金・事業費の不足分に充当しております。会員各位の更なるご理解をお願いします。

米山学友委員会

米山学友と地元ロータリアンとの“好意と友情”大きく実のる：米山学友会は、奨学期間を終了した学友と現役奨学生がロータリーとの交流を深めながら一層国際交流と親善を図ることを目的として活動していますが、今年は内容がとても充実してきました。其の典型例は6月に登別グランドホテルで開催された米山学友家族懇親会で、陳学友会会長のご指導のもと2人の学友が中心となり、親身な地元ロータリアンがこれを全面的に支援し、



奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

我々学友委員会はほんの少しバックアップしただけで参加した55名全員が心を通わせ感動を共にした素晴らしい会となりました。

これぞ“米山学友会活動の理想像”と本当に喜びと感謝に耐えません。

広報委員会

ロータリー創立100周年が7月1日に幕を開け、地区に於いては2月23日に全クラブ同時例会を決定しました。ガバナー補佐を中心としたグループ毎の計画を練っているところもあるようです。又クラブ単位で地域に根ざした記念奉仕プロジェクト、記念行事を計画されているところも多いと思います。現在計画中、或いは進行中のプロジェクトの内容をお知らせ下さい。地区大会当日の広報のブースでの相談も歓迎します。出来る限り地域の報道機関に取り上げて頂き、会員増強につながるよう広報としても努力したいと思っています。

情報・IC委員会

1. 情報

2004年規定審議会の議案、決議報告書などの情報と、手続きを通知した。

2. IC

(1) メールマガジン

複数の担当者が配信を可能にするシステムを導入し、タイムリーな配信を可能とした。配信数は28。

(2) ホームページ

ページの更新7回、トピックスの掲載11回、参照カウントは2059。

※以上2004. 9. 15現在

(3) ホームページスペース利用のページ開設支援。(札幌南RC)

ロータリーの友委員会

1) 地区大会プログラム掲載用地区委員会活動計画報告および発表について

1. プログラム掲載用の原稿

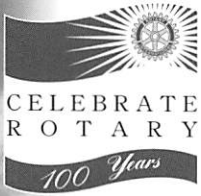
○友誌の購読数と会員数との整合性を定期的に図る。

○各クラブの雑誌委員会からロータリーの友委員会への名称の変更を調べる。

○公式雑誌である「ロータリーの友」に対す

る様々な意見、苦言、要望などをまとめてロータリーの友事務所に提出し、雑誌編集に反映させる。また投稿を薦める。

- 「ロータリーの友」11月号に掲載予定の「わがまち、わが地区」の原稿、「国際観光リクリエーション都市—登別」を脱稿しました。



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

物故会員ご尊名



芦萌RC (第1グループ)
三 國 要
平成15年9月30日ご逝去・享年74歳



札幌西RC (第4グループ)
渡 辺 寿 明
平成16年7月2日ご逝去・享年69歳



芦別RC (第2グループ)
山 下 登
平成15年8月21日ご逝去・享年68歳



札幌幌南RC (第5グループ)
神 代 利 臣
平成15年8月29日ご逝去・享年68歳



滝川RC (第2グループ)
坪 谷 六 郎
平成16年5月30日ご逝去・享年84歳



札幌南RC (第5グループ)
藤 林 稔 充
平成16年2月10日ご逝去・享年75歳



札幌RC (第4グループ)
相 沢 幹
平成15年10月31日ご逝去・享年79歳



札幌東RC (第5グループ)
横 山 安 行
平成16年2月22日ご逝去・享年69歳



札幌あけぼのRC (第4グループ)
買 手 哲 美
平成15年11月4日ご逝去・享年74歳



札幌東RC (第5グループ)
野 澤 悌 三
平成16年3月19日ご逝去・享年82歳



札幌西RC (第4グループ)
河 邨 文 一 郎
平成16年3月30日ご逝去・享年87歳



札幌南RC (第5グループ)
西 尾 長 光
平成16年3月24日ご逝去・享年76歳



札幌モーニングRC (第4グループ)
関 口 清
平成16年4月9日ご逝去・享年63歳



小樽南RC (第6グループ)
駒 木 喬
平成15年11月11日ご逝去・享年84歳



札幌はまなすRC (第4グループ)
高 井 悌 吉
平成16年5月16日ご逝去・享年74歳



小樽RC (第6グループ)
角 江 哲 雄
平成15年11月18日ご逝去・享年79歳



～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～



小樽RC (第6グループ)
伊藤 紘一
平成16年3月19日ご逝去・享年63歳



室蘭RC (第9グループ)
増田 裕司
平成15年11月14日ご逝去・享年54歳



小樽RC (第6グループ)
本田 壮稜
平成16年6月22日ご逝去・享年64歳



七飯RC (第10グループ)
西谷 雅行
平成15年9月7日ご逝去・享年76歳



小樽南RC (第6グループ)
猪股 昌介
平成16年6月25日ご逝去・享年79歳



七飯RC (第10グループ)
吉田 日出勝
平成15年10月27日ご逝去・享年64歳



小樽南RC (第6グループ)
荒井 善憲
平成16年7月18日ご逝去・享年57歳



森RC (第10グループ)
柳田 晃
平成16年3月19日ご逝去・享年73歳



浦河RC (第8グループ)
奥田 惣兵衛
平成15年8月9日ご逝去・享年86歳



函館北RC (第11グループ)
藤谷 武一
平成16年1月3日ご逝去・享年68歳



浦河RC (第8グループ)
三上 政義
平成16年7月3日ご逝去・享年82歳



函館五稜郭RC (第11グループ)
国兼 信一
平成16年3月20日ご逝去・享年82歳



室蘭RC (第9グループ)
出羽 征司
平成15年10月2日ご逝去・享年65歳



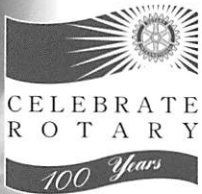
苫小牧RC (第12グループ)
國本 時夫
平成15年10月19日ご逝去・享年81歳



室蘭東RC (第9グループ)
岡田 健一
平成15年10月25日ご逝去・享年61歳



苫小牧RC (第12グループ)
松崎 徳一
平成16年5月9日ご逝去・享年63歳



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

表彰

ロータリー財団表彰 (2003-2004年度)

・財団一人あたり寄付優秀クラブ

- 第1位 千歳RC \$197.50
- 第2位 長沼RC \$176.47
- 第3位 函館RC \$165.72

・財団寄付優秀クラブ

- 第1位 札幌東RC \$16,833.71
- 第2位 函館RC \$16,738.00
- 第3位 千歳RC \$14,220.00

・メジャードナー表彰

- 青木 功喜 (札幌東RC)
- 遠藤 正之 (札幌南RC)
- 小笠原 孝 (函館北RC)
- 佐藤 秀雄 (千歳RC)
- 西川 昇 (岩見沢RC)

(財)ロータリー米山記念奨学会表彰 (2003-2004年度)

・達成クラブ表彰

- 札幌南RC (4千万円達成)
- 札幌西RC (3千万円達成)

・クラブ創立記念特別寄付表彰

- 札幌真駒内RC (65万円)
- 新札幌RC (20万円)

会員増強優秀賞 (2003-2004年度)

- ・第1位 北広島RC 126%
- ・第2位 長沼RC 111%
- ・第3位 札幌RC 109%

R | 会員増強・退会防止賞

- ・札幌RC (最多新入会員入会達成)
- ・北広島RC (最高成長率達成)
- ・松前RC (最高退会防止率達成)



～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

ガバナー特別表彰

クラブ表彰

札幌東RC：

会員増強に対し様々な取り組みを実践し、多くの会員を得たことによる地区発展への貢献に対して。

札幌清田RC：

札幌市清田地区緑化推進のための「清田つどい公園」への120本余りの植樹・寄贈活動に対して。

浦河RC：

乗馬体験リハビリを行っている福祉活動ボランティア団体「クローバ」へ競走馬1頭を寄贈支援に対して。

函館RC：

ロータリー創立99周年を記念した国際理解推進のための活動（日本の伝統芸能「鳴物」の口演を招いた例会開催）に対して。

函館五稜郭RC：

10年にわたる市民創作「函館野外劇」への積極的な社会奉仕活動に対して。

函館東RC：

「家庭で眠っているピアノを贈る事業」に取り組み、地域と密着した思いやりある社会奉仕活動に対して。

函館北RC：

インドネシア・ジョグジャカルタ・タマンサリRCと連携して行った、情報ネットワークを利用した「図書館整備事業」への支援に対して。

苫小牧東RC：

環境問題への取り組みの一環として行った、053（ゼロゴミ）コンサートによる地域への啓蒙活動に対して。

江別RC：

国際奉仕活動の一環として行った、「ネパール・日本友情学校」校舎建設事業への多大な支援活動に対して。

洞爺湖RC：

社会奉仕の一環として行われている花和小学校学校農園事業等20年の支援に対して

個人表彰

札幌北RC：大田すみ子会員

世界社会奉仕活動の一環として行った、スリランカ・コロンボRCへの内視鏡寄贈活動における多大な貢献に対して。

札幌北RC：竹原 巖会員

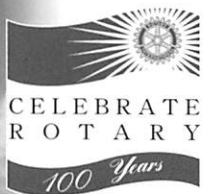
世界社会奉仕活動の一環として行った、スリランカ・コロンボRCへの内視鏡寄贈活動における多大な貢献に対して。

余市RC：谷川 淑郎会員 他有志一同 殿

米山学友朴貞子さんへ3年半にわたる私的支援の継続による、米山記念奨学事業の目的である国際親善と交流への多大な貢献に対して。

室蘭東RC：松田 幹人会員

米山記念奨学生をはじめとする留学生との思いやりのある交流から、留学生への理解者と支援者の開拓をする等、国際奉仕活動への尽力に対して。



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

表彰者名簿 (敬称略)

ロータリー財団関係

〈マルチプル・ポール・ハリス・フェロー〉

クラブ名	氏名	クラブ名	氏名
深川	大西道祥(2)	札幌北	岩崎輝明(1)
	杉村修(4)	札幌西	伏木忠了(2)
羽幌	福井俊一(1)	札幌西北	山藤雅弘(1)
留萌	川合正修(1)		馬杉榮一(1)
	澤田茂(4)	札幌手稲	石田誠(3)
	澤井定七(1)		平田勝美(1)
	渡部英次(4)		針谷龍宣(5)
芦別	坂田憲正(1)	札幌東	青木功喜
	土山久男(1)		坂東宗一(3)
砂川	沖田比呂志(1)		武田俊男(1)
滝川	篠島弘(2)		小野道男(2)
	向井辰巳(1)		川原宏一郎(3)
	林博幸(1)		小田切房之(1)
	吉田正治(1)		松宮國彦(1)
江別	吉田欣司(1)		大場二郎(2)
	我孫子建雄(1)		村山富夫(2)
	山崎一夫(2)		朝倉正人(1)
	加藤正勝(2)		笠原昇一(1)
岩見沢	西川昇		南部春生(2)
	山岡憬(1)	札幌幌南	遠藤正之
	日沼俊栄(1)		北山誠(1)
	鎌田誠(1)		中島勉(2)
当別	内海英得(1)	札幌真駒内	神谷英光(2)
	千葉一男(1)		中山裕視(2)
	竹田和雄(1)	札幌南	斎藤元護(2)
	神田光男(1)		師尾純一(1)
	辻野修(1)	新札幌	原口伸一(1)
	武田昭龍(1)		清水昭子(3)
	安藤正(1)	倶知安	富樫美津雄(1)
	米口稔(1)	小樽	伊藤保彦(1)
札幌北	大西忠男(1)		高田義人(2)



奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

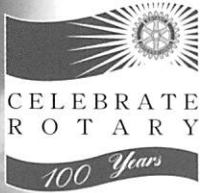
クラブ名	氏名
千歳	佐藤 秀雄
恵庭	会津 宣則 (1) <small>大口寄付者</small>
	堤 由延 (2)
長沼	清水 慧子 (3)
浦河	大山 勝美 (1)
室蘭北	斎藤 義寛 (2)
室蘭東	鈴木 久雄 (1)
函館	国立 金助 (3)
	中村 壮一 (1)
	石田 勉 (1)
函館亀田	鹿野 文男 (1)

クラブ名	氏名
函館五稜郭	光 銭 裕二 (4)
函館東	吉村 昭二 (1)
	池垣 清信 (7)
	大桃 泰行 (1)
	宮崎 裕之 (1)
	菅原 憲夫 (3)
函館北	小笠原 孝 <small>大口寄付者</small>
白老	川田 憲秀 (1)
苫小牧東	木村 修 (1)
苫小牧北	伊藤 長英 (8)
	田中 稔 (1)

〈ポール・ハリス・フェロー〉

クラブ名	氏名
深川	宮岸 徹二
羽幌	伊原 重孝
	逢坂 健児
留萌	山本 譲二
滝川	鈴木 英也
美唄	高橋 誠
江別	藤原 敏雄
	奥野 一嘉
	野村 昌人
	山本 幸子
	女屋 龍紘
	平賀 俊尚
江別西	増山 柳志
岩見沢	関野 孝一
	佐川 修一
	倉増 昭一
岩見沢東	関 二三子
	津元 美智代
	滝本 妙子
	長田 正文
栗山	利国 奈美子

クラブ名	氏名
札幌幌	柿本 純
	勝木 紀昭
	加藤 欽也
	庭山 早苗
	内山 洋一
札幌あけぼの	染谷 重雄
札幌北	熊谷 満之
	小林 俊勝
	井上 一登
札幌西	村上 慶子
	伏木 陽一
	宮越 真治
札幌西北	小川 成実
	中嶋 慎市
札幌清田	柏倉 昌雄
	真鍋 恒孝
札幌幌南	前田 雄一
	黒柳 孝一
札幌南	武田 利兵衛
	片山 英男



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

クラブ名	氏名
札幌セントラル	上野 了
新札幌	佐野 文男
岩内	佐藤 泰視
倶知安	富樫 ゆきゑ
小樽	伊藤 紘一
	赤尾 正彦
小樽南	大黒屋 宏章
	竹田 榮治
	小林 英夫
千歳	佐々木 昭
	村上 倫行
長沼	久保 敏雄
由仁	川合 俊雄
静内	水野 忠志
	山口 俊秀
浦河	高杉 保廣
室蘭東	鈴木 久雄

クラブ名	氏名
室蘭東	有賀 和雄
	佐々木 健治
	森田 邦義
函館	麦倉 信
函館亀田	玉井 清治
森	長瀬 賢
七飯	山内 一男
函館五稜郭	石田 宏二
函館北	今井 定一
上磯	木下 康昭
白老	石田 信雄
	笠井 博輝
苫小牧東	高井 昌機
	佐藤 正孝
	田仲 正勉

〈ベネファクター〉

クラブ名	氏名
函館北	小笠原 孝

クラブ名	氏名
------	----

米山記念奨学会表彰

〈米山功労者〉

クラブ名	氏名
深川	大西 祥太 (1)
	大西 道祥 (5)
	小野 昭郎 (2)
	佐々木 実 (1)
	杉村 修 (4)
	寺岡 義人 (1)
	永井 久之 (3)
	村中 俊二 (2)
羽幌	實藤 吉信 (2)
留萌	川上 明弘 (1)

クラブ名	氏名
留萌	田中 公一 (7)
	渡部 英次 (4)
芦別	土山 久男 (3)
砂川	竹田 俊一 (1)
	武田 昭二 (2)
	山田 信一 (1)
滝川	菅原 剛太郎 (7)
	中島 健 (4)
	中垣 陽一 (7)
	林 博幸 (6)

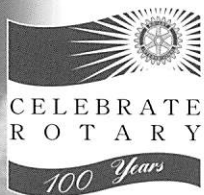


奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

クラブ名	氏名		
滝川美唄	吉田正治	(10)	
	海老名元	(1)	
	東野碧	(1)	
	池田康治	(1)	
	円子保	(2)	
	大竹繁夫	(2)	
	高田義則	(1)	
	吉田欣司	(1)	
	石黒良平	(1)	
	服部渉	(1)	
江別西	青木司	(3)	
	加地浩	(1)	
	北澤治雄	(1)	
	倉増昭一	(3)	
	谷口弘	(1)	
	納谷輝雄	(1)	
	藤波仁史	(3)	
	武蔵輝彦	(1)	
	南原幹生	(1)	
	金山英昭	(1)	
岩見沢東	林義明	(2)	
	松本脩三	(2)	
	札幌あけぼの	蓑輪眞智子 (1)	
	札幌はまなす	大石春雄 (1)	
	札幌北	相沢芙東	(4)
		井上勝一	(2)
		小林俊之	(1)
		城木浩一	(1)
		竹原巖	(4)
		谷口良一	(1)
福田十太郎		(4)	
若狭吉範		(1)	
札幌西		岡本繁美	(1)
		河邨文一郎	(7)

クラブ名	氏名	
札幌西北	谷口二郎	(21)
	馬杉栄一	(2)
札幌手稲	岩瀬一郎	(6)
	中村和雄	(1)
	山本雅章	(1)
	札幌東	朝倉正人 (1)
札幌東	奥村義夫	(3)
	奥貫一之	(7)
	神谷健蔵	(1)
	高橋徹	(1)
	坂東宗一	(7)
	堀田昌資	(3)
	村山富夫	(2)
	梁川修	(1)
	札幌清田	真鍋昌市 (1)
	札幌幌南	五十嵐政三
奥村建夫		(2)
近藤浩		(3)
土谷享		(1)
森正志		(1)
札幌南		今井國雄 (2)
後藤由春		(2)
小林昌志		(4)
斎藤元護		(10)
平昌夫		(2)
新札幌	富樫英樹	(3)
	トーキル・クリステンセン	(4)
	中井孝光	(2)
	福山恵太郎	(2)
	望月好明	(1)
	伊藤正敏	(2)
	河辺由清	(1)
	中嶋宏	(1)
	小樽南	谷川淑郎 (5)
	小樽市	



～2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」～

クラブ名	氏名
余市	山田昭恵(1)
千歳	福田武男(7)
千歳セントラル	土居栄治(1)
恵庭	柴田弘道(3)
	三浦孝治(1)
長沼	青木雄一(1)
	清水彰(2)
静内	嵐忠一(3)
	中島滋(3)
浦河	三枝實(1)
伊達	中井英光(3)
室蘭	内山博(3)
	佐藤寿夫(1)
	田所邦夫(1)
	前田迪夫(1)
室蘭東	石田実(3)
	芝垣美男(1)
	鈴木久雄(4)
登別	高岸満則(1)
	中村雅(2)
函館	國立金助(2)
	太刀川善一(6)
函館亀田	江端章(1)
	寺田真三(2)
函館五稜郭	阿彦治(1)
	石尾清広(1)
	石田宏二(1)
	石畑克己(1)
	伊藤弘之(1)
	大日向豊吉(1)
	上出眞也(1)
	川内淳司(1)
	川上誠(1)
	河村隆平(2)

クラブ名	氏名
函館五稜郭	菊地喜久(1)
	国兼信一(1)
	小坂三男(1)
	後平幸太郎(1)
	酒井正人(4)
	菅原徹(1)
	清藤堯士(1)
	當摩浩平(1)
	中澤秀雄(1)
	最上淳(1)
	藪下明(1)
	渡部一博(1)
函館東	五十嵐稔(1)
	小野孝良(1)
	菅原憲夫(7)
	杉本武彦(1)
	古田清一(1)
	宮崎裕之(2)
函館北	今井定一(1)
白老	戸田実津男(1)
	藤田英雄(1)
	山手康(1)
苫小牧	圓谷敏彦(1)
	藤澤正昭(2)
苫小牧東	青木孝吉(1)
	木村修(2)
	小林忠男(3)
	斉藤英明(1)
	綱木保利(2)
苫小牧北	荒井捷一(2)
	石田貢(1)
	伊藤長英(15)
	佐藤司(1)
	田中稔(3)



奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

クラブ名	氏名
苫小牧北	藤澤澄江(1)
	丸屋憲一(4)

クラブ名	氏名
苫小牧北	山本秀子(2)

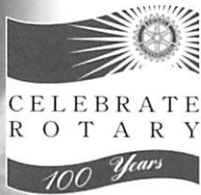
〈米山功労クラブ〉

クラブ名	回数
砂川	9回目
滝川	20回目
江別	7回目
岩見沢	22回目
岩見沢東	2回目
札幌北	20回目
札幌東	27回目
札幌幌南	13回目
札幌真駒内	18回目
札幌南	28回目

クラブ名	回数
新札幌	12回目
小樽南	7回目
余市	2回目
千歳	4回目
恵庭	4回目
由仁	1回目
函館亀田	2回目
函館五稜郭	9回目
苫小牧東	4回目
苫小牧北	11回目

〈米山功労法人〉

クラブ名	法人名
札幌手稲	丸福塗料(株) (1)
札幌真駒内	(株)札幌薬剤 (特別1)
	昭和レーベル印刷工業(株) (2)



～2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」～

永年100%出席会員

45年

クラブ名	氏名
深川	越智 丑次

40年

クラブ名	氏名
栗沢	小山 利雄
札幌	福山 卓爾
札幌東	名塩 良一郎

35年

クラブ名	氏名
札幌西	大島 昇
札幌東	吉山 八郎
札幌南	竹山 涼一
余市	柳田 貞夫

30年

クラブ名	氏名
芦別	小西 修身
	森沢 勲
	依本 蕃
砂川	大谷 春男
札幌	荒 紀男
札幌西	佐藤 裕一
札幌手稲	鈴木 義雄
札幌南	南館 全次
札幌幌南	板橋 俊昭
	山際 廣司
札幌真駒内	金井 義一
	黒田 俊夫
岩内	篠崎 健次
小樽南	鳥井 義一
静内	四ツ屋 清成
室蘭	鴨井

クラブ名	氏名
室蘭北	由川 一章
函館亀田	江端 龍彦
函館北	椎谷 松生
苫小牧	吉鶴 隆
苫小牧北	鈴木

25年

クラブ名	氏名
滝川	吉田 正治
砂川	沖田 比呂志
	西川 博久
	永森 弘夫
当別	泉亭 俊徳
	千葉 一男
札幌西北	大橋 陸男
	八木 忠雄
札幌東	青木 功喜
	関堂 勝幸
札幌南	畑中 俊介
札幌幌南	田中 堅一
	山崎 仁一
小樽	鈴木 佳一
	板倉 匡志
蘭越	堀川 強太郎
静内	藤原 真二
浦河	前田 紘陽
登別	若木 日出男
函館亀田	西川 忠弘
白老	杉村 孝
苫小牧	畠山 則繁

20年

クラブ名	氏名
深川	大西 道祥



～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

クラブ名	氏名
深川	渡辺 一義
赤平	早坂 弘幸
	宮川 徹己
	渡部 芳己
滝川	古澤 武民
砂川	小林 公清
	千葉 稔夫
美唄	阿山 一昭
江別	小坂 一彦
岩見沢	千田 一雄
札幌	大西 岡憲
札幌	西北 藤良
札幌	手稲 川喬
札幌	東南 鈴木 請孝
札幌	東南 大武 幸實
	坪田 幸哲
	西川 敏也
新札幌	内市 義彦
岩余	内市 孝裕
千静	内市 成孝
	内市 晃弥
室蘭	吉田 修迪
	斎藤 富士雄
室蘭	東北 萩本 康裕
登別	館田 宣博
函館	函館 龜田 安達 智紀

クラブ名	氏名
函館 亀田	大北 健雄
函館 五稜郭	川畑 武裕
函館 北	新博 夫
白老	戸田 実津男

15年

クラブ名	氏名
留萌	行徳 幸治
赤平	尾崎 清富
	武藤 哲雄
滝川	上田 英二
	坂田 秀昭
	佐藤 佳朗
	篠島 弘也
	鈴木 英清
砂川	柳田 俊一
江別	池田 春男
岩見沢	原野 剛之
	浅岡 春雄
	荒屋 成裕
	仲屋 行夫
岩見沢 東	西金子 賢一
当別 幌	河村 佳男
札幌	杉野 目雄
札幌 北	廣城 木浩
札幌 モーニング	堀川 孝明
札幌 手稲	酒井 孝夫
	滝本 繁而
	丹羽 祐努
札幌 東	鍛冶 口博
札幌 幌南	熊谷 泰隆



～2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」～

クラブ名	氏名
札幌幌南	中川勝之 山名善久 吉田淳一
新札幌	五十嵐勤 木須哲夫
小樽樽南	能島正朋 福島正紘
小樽越内	志比川武満 市毛和也
伊達達蘭東	守谷保夫 国田雅弘
室蘭東	前田康宏 寄木清二
函館	工藤敏夫 額賀康之
函館亀田	鹿野文男
函館五稜郭	今均孝
函館北	小笠原孝

10年

クラブ名	氏名
留萌	山本讓二
芦別	野口英明
滝川	野田富夫 中田翼宏
美唄	関田敏雄
江別	林茂樹
江別西沢	添田則行
岩見沢	荒木敏博
札幌	濱野信二 田嶋忠義 櫻井政一

クラブ名	氏名
札幌あけぼの	笠原嘉郎
札幌はまなす	寺本正司 戸部アナマリア
札幌北	片岡是充
札幌モーニング	大熊慧教
札幌西	石黒直文 村木正文 宮越陽一
札幌手稲	山谷紀巳
札幌東	石川宏 須田幸男 藤井英勝
岩内	小川進文 軍司孝久
倶知安	旭克秀 名畑秀樹
小樽市	西條文信 木村信一 佐々木忠男
千歳	高橋哲雄 浅沼廣幸 菅原文雄
恵庭	館内辰男 早瀬源一 山澤興治
静内	中山弘三
浦河	大山勝美
室蘭北	松島茂
函館	柴田繁男
函館五稜郭	黒田博史 坪内繁
函館東	小泉護太郎
苫小牧北	荒井捷一 紺野誠一



～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

ご来賓ご招待者ご芳名 (敬称略)

〈ご来賓〉

R I 会長代理 石 井 治
 (第2770地区バスト・ガバナー、春日部)

R I 会長代理令夫人 石 井 由紀子

登別市長 上 野 晃

〈ご招待者〉

第2500地区ガバナー 牧 野 了 泰 (美 幌)

第2500地区ガバナー令夫人 牧 野 紀久子

第2590地区ガバナー 藤 林 豊 明 (横浜鶴見北)

第2590地区ガバナー令夫人 藤 林 直 美

第2780地区ガバナー 松 宮 剛 (茅ヶ崎湘南)

第2830地区ガバナー 川 口 彰五郎 (百石・下田)

第2830地区ガバナー令夫人 川 口 と く

第2500地区バスト・ガバナー 清 水 幸 彦 (釧 路)

第2500地区バスト・ガバナー 清 道 俊 一 (浜 中)

第2500地区バスト・ガバナー 豊 島 弘 通 (旭 川)

第2800地区バスト・ガバナー 藤 川 享 胤 (鶴 岡)

第2750地区バスト・ガバナー 秋 山 一 (東京調布)

第2750地区バスト・ガバナー令夫人 秋 山 知 子

第2770地区バスト・ガバナー 関 口 博 正子 (杉 戸)

第2770地区バスト・ガバナー令夫人 関 口 官 子

第3700地区総裁 都 金 戴 子 旭

第3700地区総裁令夫人 都 金 玲 希 淵

第3700地区元総裁 呂 李 朝 祚 洙

第3700地区元総裁令夫人 呂 李 台 洙 永

第3700地区元総裁 金 梁 昊 洙 永 姫

第3700地区元総裁令夫人 金 梁 惠 星 七 錫

第3700地区次期総裁 南 朱 七 廣 植

第3700地区総裁補佐役 南 朱 七 廣 植

第3700地区総裁補佐役 李 金 七 廣 植

第3700地区 R C 会長 李 金 七 廣 植

第3700地区直前総裁補佐役 李 金 七 廣 植

第3350地区 (タイ) 派遣GSEチームメンバー

Mr. Somboon Bunyasiri (リーダー)



所 属：Bangkok Klongtoey RC
職 業：Yellow RibbonHills-Executive Mansion (不動産賃貸会社) 社長
誕生日：1942年4月4日 62歳 身長/体重：178cm/77kg
宗教：仏教、ビーフは食べない 言語：タイ語、英語、日本語 (多少)

メンバー 氏名 1. スポンサーRC 2. 年齢 3. 婚姻 学歴 4. 現職 5. 趣味
6. モットー 7. 関心事 8. GSEへの意見

Dr. Parichat Tirawat



1. Pramasuan Lopburi RC 2. 34歳, 未婚 3. 90-95年タイのプリンス・オブ・ソングクラ大学医学部卒業, 99-01年タイのマヒドゥル大学麻酔学部卒業 4. 麻酔学部麻酔学主任 5. 料理、エアロビックス、ジョギング 6. 正直である事 7. 病院での苦痛管理, 小児科麻酔, 日本の生活様式と文化の勉強 8. 私の仕事での経験を生かして、他人にも分け与えたい。

Ms. Sunun Trongtorsak



1. Lumpinee RC 2. 34歳, 未婚 3. 93年にスリナックハリンウイロット大学で教育学士授与、現在ラムクハムハング大学で経済学修士取得のため勉学中 4. シーミコ証券会社PCLで副支配人 5. 読書、料理、ラジオを聴くこと 6. 正直、勤勉、忍耐&親善 7. ①私の仕事：金融市場、日本での株式市場及び銀行業務 ②教育：東京大学、北海道大学、博物館、科学公園 ③地方訪問：京都の寺院、大阪、鎌倉、奈良、神戸、ディズニーランド、ディズニーシー ④日本の文化：茶道、生け花、ラッピング、食べ物、着物の着付け 8. 知識と経験をもち帰って、私の仕事と更に私の国のために改善致します。そして、ロータリーの世界的な使命を増進する研究チームの教育的な経験を分かち合います。

Ms. Nongkran Wongsr



1. Bang Rak RC 2. 40歳, 未婚 3. 84-87年図書館学士をタイのスリナクハリンウイロット大学で授与、89-92年成人教育学修士を同所大学から授与、01-04年教育心理学博士をオーストラリアのニューキャッスル大学から授与 4. 聖路加大学心理学講師 5. 読書、ジャーナル、研究レポート、インターネット及び電子ジャーナルから学問的な情報収集、同僚及び他人とでアイデア、知識及び経験を分かち合う、日々の運動のために徒歩及びフィットボールエアロビックス 6. 自分自身のため、職場のため、社会のため、そして国のために最善の努力をする事 7. 国内及び海外でのクラスを自己流の学習スタイルで講義する事。自己流の学習を異文化比較の分野で研究する事 8. GSEは現在の職業人に文化的職業的交換の機会を提供してくれる素晴らしい交換プログラムであります。

Ms. Wedarat Navicha



1. Suan Luang RC 2. 29歳, 未婚 3. 97年にチアングマイ大学で教育学士授与、現在ラムクハムハング大学で人的資源開発分野教育学修士の勉学中 4. 英語-日本語教員及び学生奉仕のリーダー及びテプリーラ高校で相互交流プログラムのコーディネーター 5. 旅行、水泳、読書及び絵を描く事 6. 正直、勤勉、奉仕の心を持った友情的な人間 7. ①相互交流プログラムのため：日本の高校で相互交流プログラムについてもっと勉強する事 ②私の学校のため：日本のクラスの授業方法を実際の目で見ると及び外国人に関した日本の授業方法を研究する事。私の学校の学生と北海道の学生との交換プログラムを作る事 8. 私の学校で日本語のクラスと相互交流プログラムをはっきりと改善して開発するために知識と経験をもち帰ります。そして私はタイと日本の人々の間の良きコーディネーターになれると信じております。



～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

地区大会特別参加者名簿

第3350地区 (タイ) GSEチーム・メンバー

Somboon Bunyasiri Nongkran Wongsri
Wedarat Navicha Parichat Tirawat
Sunun Trongtorsak

ローターアクトクラブ

留萌RAC (留萌) 村 上 糧 田 中 光
赤平RAC (赤平) 竹 村 恵 一
札幌北RAC 小 砂 晴 資 上 野 美 佳
札幌南RAC 安 藤 由香里
千歳RAC 齋 藤 心 飯 塚 雅 樹

インターアクトクラブ

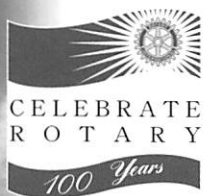
札幌龍谷学園高校IAC (札幌モーニング)
上 野 里 枝 佐々木 裕 介
谷 川 文 崇 藤 肥 茜
岡 部 文 佳 (顧問教師)
登別大谷高校IAC (登別)
中 居 千 文 (顧問教師)

交換留学生

札幌北RC アリサ・ワーリック (オーストラリア)
札幌モーニングRC セニア・ナムソフ (アメリカ)
札幌手稲RC ヒュー・クロザース (オーストラリア)
新札幌RC ジェマ・バートレット (オーストラリア)
由仁RC エバン・ウォー (オーストラリア)
江別RC 本 村 哲 弥 (05-06候補学生・アメリカ)
札幌はまなすRC 浅 井 賢 (05-06候補学生・オーストラリア)
札幌モーニングRC 田 中 佑 衣 (05-06候補学生・カナダ)
札幌西RC 佐 藤 大 樹 (05-06候補学生・オーストラリア)
札幌手稲RC 西 條 茉 里 (05-06候補学生・オーストラリア)
札幌手稲RC 高 崎 博 史 (05-06候補学生・フィンランド)
札幌東RC 堀 北 かおり (05-06候補学生・アメリカ)
札幌南RC 篠 原 涼 子 (05-06候補学生・オーストラリア)

青少年交換委員会

事務局 土 田 義 也



～2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」～

米山奨学生

当別RC	劉 艷 霞 (中国)
札幌RC	于 曉 軍 (中国)
札幌はまなすRC	陳 光 榮 (台湾)
札幌モーニングRC	鄭 子 龍 (韓国)
札幌西北PR	韓 建 宇 (中国)
札幌清田RC	千 永 柱 (韓国)
札幌幌南RC	李 英 愛 (韓国)
札幌南RC	金 良 俣 (韓国)
札幌大通公園RC	シアリレザー (イラン)
札幌セントラルRC	向 爾 華 (中国)
新札幌RC	趙 慧 卿 (韓国)
小樽RC	李 承 強 (中国)
恵庭RC	連 敏 (中国)
室蘭RC	王 朝 陽 (中国)
苫小牧RC	シーチャット・スーワン・クワンチ (タイ)

米山学友

室蘭RC	ギリ・ラム (ネパール)
室蘭東RC	黄 建 榮 (マレーシア)

R財団奨学生

札幌清田RC	アンナ・シュミローヴァ (ロシア)
新札幌RC	ペトロヴァ・マリア (ロシア)

R財団学友

札幌はまなすRC	上 田 智恵美 (カナダ)
札幌東RC	梶 川 裕 史 (メキシコ)
札幌東RC	田 邊 元 (アメリカ)
札幌清田RC	紺 野 拓 美 (GSE)
札幌幌南RC	高 橋 あゆ美 (ドイツ)
札幌幌南RC	福 地 信 昭 (GSE)
小樽RC	橋 口 とも子 (カナダ)
登別RC	北 川 真 理 (GSE)

ロータリー地域社会共同体 (RCC)

苫小牧北RC	西 村 文 子	山 岸 康 弘
	垂 石 郁 子	石 田 富美子
	三 島 公美子	池 田 亜希子



～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

2003-2004年度 国際ロータリー第2510地区

地区資金収支決算書

■一般地区資金

〈収入の部〉

(単位：円)

科 目	予 算	実績額	差 額	摘 要
1. 前期繰越金	14,000,000	18,324,878	△4,324,878	
2. 一般地区資金 上期@4,730	16,082,000	15,627,920	454,080	3,304名
同 上 下期@4,730	16,082,000	15,627,920	454,080	3,304名
3. RI助成金	3,000,000	2,659,172	340,828	
4. ガバナー月信購読料	2,520,000	3,228,550	△708,550	
5. 雑収入	100,000	270,055	△170,055	受取利息 決算後の前期繰越金分を含む
収 入 合 計	51,784,000	55,738,495	△3,954,495	

〈支出の部〉

(単位：円)

科 目	予 算	実績額	差 額	摘 要
A. 地区大会				
1. 地区表彰費	500,000	500,000	0	
2. ガバナー記念	300,000	100,000	200,000	
Aの部 小 計	800,000	600,000	200,000	
B. 助成金				
1. 地区協議会	800,000	800,000	0	
2. 都市連合会 (IM)	0	0	0	2003-04は休止
3. 会長エレクト研修セミナー	400,000	400,000	0	
4. 地区リーダーシップセミナー	0	0	0	
5. 地区チーム研修セミナー	350,000	350,000	0	
Bの部 小 計	1,550,000	1,550,000	0	
C. 負担金				
1. ガバナー会	680,000	660,800	19,200	@200*3,304名
2. 日本ロータリー文庫	1,020,000	991,200	28,800	@300*3,304名
Cの部 小 計	1,700,000	1,652,000	48,000	
D. 会議費				
1. 地区ガバナー指名委員会	300,000	50,546	249,454	
2. 地区ガバナー諮問委員会	500,000	525,334	△25,334	
3. 地区ガバナー補佐会議	800,000	757,919	42,081	
4. 地区委員長会議	400,000	371,820	28,180	
5. 地区研修リーダー会議	30,000	0	30,000	
6. 地区クラブ奉仕委員会	50,000	50,000	0	
7. 地区情報委員会	150,000	125,000	25,000	
8. 地区広報委員会	150,000	65,620	84,380	
9. 地区ロータリーの友委員会	30,000	30,000	0	
10. 地区IC委員会	30,000	30,000	0	
11. 地区拡大委員会	30,000	0	30,000	



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

科 目	予 算	実績額	差 額	摘 要
12. 地区会員増強委員会	50,000	50,000	0	
13. 地区職業奉仕委員会	50,000	50,000	0	
14. 地区社会奉仕委員会	120,000	120,000	0	
15. 地区家庭奉仕委員会	120,000	120,000	0	
16. 地区子ども奉仕委員会	300,000	300,000	0	
17. 地区新世代委員会	100,000	100,000	0	
18. 地区ライラ委員会	30,000	30,000	0	
19. 地区インターアクト委員会	150,000	150,000	0	
20. 地区ローターアクト委員会	150,000	150,000	0	
21. 地区国際奉仕委員会	100,000	97,661	2,339	
22. 地区世界社会奉仕委員会	150,000	150,000	0	
23. 地区青少年交換委員会	400,000	400,000	0	
24. 地区親睦活動委員会	20,000	5,040	14,960	
25. 地区友情交換委員会	30,000	30,000	0	
26. 地区ロータリー財団委員会	30,000	23,278	6,722	
27. 地区国際親善奨学金委員会	50,000	50,000	0	
28. 地区財団学友委員会	50,000	50,000	0	
29. 地区GSE委員会	50,000	50,000	0	
30. 地区財団増進委員会	30,000	4,875	25,125	
31. 地区補助金委員会	20,000	20,000	0	
32. 地区米山記念奨学委員会	30,000	30,000	0	
33. 地区米山学友委員会	30,000	30,000	0	
34. 地区財務委員会	20,000	0	20,000	
35. オン・ツー・大阪委員会	50,000	22,522	27,478	
36. 100周年記念委員会	50,000	27,305	22,695	
37. 意義ある業績賞選考委員会	20,000	0	20,000	
38. その他委員会	100,000	0	100,000	
39. 予備費	150,000	0	150,000	
Dの部 小 計	4,920,000	4,066,920	853,080	
E. 旅費				
1. ガバナー会	150,000	180,740	△30,740	
2. パストガバナー懇談会	500,000	515,280	△15,280	
3. ロータリー研究会	1,000,000	1,253,960	△253,960	
4. ガバナーエレクト国際協議会	700,000	700,000	0	
5. 全国ガバナーエレクト会議	150,000	217,230	△67,230	
6. 全国地区連絡会議	400,000	664,760	△264,760	
7. その他会議	300,000	309,280	△9,280	
Eの部 小 計	3,200,000	3,841,250	△641,250	
F. ガバナー事務所費	14,300,000	13,952,951	347,049	
G. ガバナーエレクト事務所費	4,800,000	4,800,000	0	
H. ガバナー月信発行費	3,500,000	3,900,000	△400,000	
I. ガバナー公式訪問費	1,000,000	662,352	337,648	
J. 地区文献資料室費	1,050,000	1,039,177	10,823	



～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～

〈支出の部〉

(単位：円)

科 目	予 算	実績額	差 額	摘 要
K. 地区 I C 活動費	730,000	720,627	9,373	
L. 総予備費	234,000	0	234,000	
M. 臨時支出金	0	0	0	
支 出 合 計	37,784,000	36,785,277	998,723	
次 期 繰 越 金	14,000,000	18,953,218	△4,953,218	
総 計	51,784,000	55,738,495	△3,954,495	

■特別地区資金

〈収入の部〉

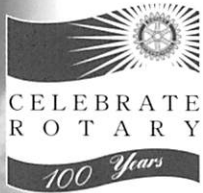
(単位：円)

科 目	予 算	実績額	差 額	摘 要
1. 前期繰越金	6,000,000	6,751,861	△751,861	前期雑収入分530,053円を含む
2. 特別地区資金 上期@3,820	12,988,000	12,621,280	366,720	3,304名
同 上 下期@3,820	12,988,000	12,621,280	366,720	3,304名
収 入 合 計	31,976,000	31,994,421	△18,421	

〈支出の部〉

(単位：円)

科 目	予 算	実績額	差 額	摘 要
A. 負担金				
1. 地区大会	6,120,000	6,120,000	0	
2. 地区協議会	3,400,000	3,400,000	0	
Aの部 小 計	9,520,000	9,520,000	0	
B. 事業費				
1. 地区インターアクト事業費	1,700,000	1,700,000	0	
2. 地区ローターアクト事業費	2,312,000	2,312,000	0	
3. 地区新世代活動事業費	1,190,000	1,190,000	0	
4. 地区青少年交換事業費	5,440,000	5,440,000	0	
5. 地区子ども奉仕委員会事業費	544,000	544,000	0	
6. 地区世界社会奉仕事業費	2,142,000	2,100,780	41,220	
	0	530,053	△530,053	前期雑収入530,053円を単椅子財団へ寄付
7. 地区財団奨学生事業費	816,000	816,000	0	
8. 地区GSE事業費	782,000	668,410	113,590	
9. 地区財団学友事業費	170,000	170,000	0	
10. その他の事業費	680,000	554,664	125,336	
11. 世界平和奨学金事業費	34,000	34,000	0	
12. 予備費	510,000	0	510,000	
Bの部 小 計	16,320,000	16,059,907	260,093	
C. 規定審議会代議員費	450,000	450,000	0	
D. 臨時支出金	0	0	0	
支 出 合 計	26,290,000	26,029,907	260,093	



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

科 目	予 算	決 算	差 額	摘 要
次期繰越金 G S E事業費 規定審議会代議員費 その他事業費	5,686,000	5,964,514	△278,514	全ての事業費の余剰金は 一括して次年度への繰越 金となる
総 計	31,976,000	31,994,421	△18,421	

■第2510地区資金次期繰越金

(単位：円)

科 目	前期繰越金	本年度収入	収入合計	本年度支出計	次期繰越金
一 般 地 区 資 金	18,324,878	37,413,617	55,738,495	36,785,277	18,953,218
特 別 地 区 資 金	6,751,861	25,242,560	31,994,421	26,029,907	5,964,514
第 2 5 1 0 地 区 資 金 合 計	25,076,739	62,656,177	87,732,916	62,815,184	24,917,732

■ガバナー事務所費の内訳細目

(単位：円)

科 目	予 算 額	2002-2003 実 績 額	2003-2004 決 算 額	総 合 計	差 額
2002-2003年度一般地区資金	4,800,000	7,107,784		7,107,784	△2,307,784
2003-2004年度一般地区資金	14,300,000		11,645,167	11,645,167	2,654,833
合 計	19,100,000	7,107,784	11,645,167	18,752,951	347,049

〈支出の部〉

(単位：円)

科 目	予 算 額	2002-2003 実 績 額	2003-2004 決 算 額	総 合 計	差 額
1. 給与手当	6,525,000	2,463,180	4,056,864	6,520,044	4,956
2. 家賃・光熱費	1,475,000	676,186	819,716	1,495,902	△20,902
3. リース料	705,000	345,929	399,708	745,637	△40,637
4. 事務用品費	700,000	236,580	234,981	471,561	228,439
5. 印刷費	1,100,000	149,100	961,000	1,110,100	△10,100
6. 登録料など負担金	50,000	0	32,500	32,500	17,500
7. 会議費	1,100,000	703,165	388,265	1,091,430	8,570
8. 通信費	1,000,000	509,419	561,047	1,070,466	△70,466
9. 旅費・交通費	520,000	338,560	251,040	589,600	△69,600
10. 渉外費	1,150,000	549,115	578,700	1,127,815	22,185
11. 資料費	800,000	40,115	509,844	549,959	250,041
12. 備品費	600,000	231,263	365,638	596,901	3,099
13. 地区要覧費	700,000	0	700,000	700,000	0
14. ガバナー補佐事務費	1,200,000	0	1,200,000	1,200,000	0
15. 雑費	1,225,000	865,172	585,864	1,451,036	△226,036
16. 予備費	250,000	0	0	0	250,000
合 計	19,100,000	7,107,784	11,645,167	18,752,951	347,049



～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

2003-2004年度 国際ロータリー第2510地区

地区年次大会収支決算書

〈収入の部〉

(単位：円)

科 目	予算額	実績額	摘 要
登 録 料	20,970,000	20,168,000	会員 1,639名×10,000円=16,390,000 家族 111名×7,000円=777,000 青少年 81名×5,000円=405,000 歓迎晩餐会 185名×10,000円=1,850,000 ゴルフ 118名×5,000円=590,000 囲碁 39名×4,000円=156,000
地 区 分 担 金	6,620,000	6,720,000	一般地区資金 600,000 特別地区資金 6,120,000
雑 収 入	0	157,027	御祝儀・預金利息
収 入 合 計	27,590,000	27,045,027	

〈支出の部〉

(単位：円)

科 目	予算額	実績額	摘 要
総 務 部 門	3,750,000	4,506,875	会議費 774,359 事務経費 1,481,326 プログラム他印刷費 1,748,308 通信費 105,285 その他雑費 397,597
会 場 部 門	3,010,000	4,014,389	会場使用料 1,638,111 会場美術費 1,336,650 会場運営費 1,039,628
行 事 部 門	13,700,000	12,478,167	記念懇親会費 8,529,394 歓迎晩餐会費 1,521,995 記念講演会費 796,370 記念フォーラム費 162,333 昼食代 448,875 会場飲物代 869,200 アトラクション 150,000
式 典 部 門	920,000	981,115	表彰授与品費 681,115 R I 会長代理記念品他 300,000
登 録 部 門	950,000	976,579	名札・リボン代 537,170 旅費・宿泊費 439,409
ゴ ル フ 部 門	1,010,000	1,216,696	賞品 657,895 運営費 148,472 懇親会費 410,329
囲 碁 部 門	384,000	354,534	賞品 116,319 運営費 74,640 懇親会費 163,575

科 目	予算額	実績額	摘 要
記 録 部 門	2,610,000	2,516,672	記録誌 1,995,000 写真・ビデオ撮影費 409,187 発送費・雑費 112,485
予 備 費	1,256,000	0	
支 出 合 計	27,590,000	27,045,027	

第1. 決算書注記

1. 地区資金クラブ負担金の収受に係る地区内会員数は、次のとおりです。
 - (1) 会員数 上期 3,304名 下期 3,304名
 - (2) 会員一人当り負担額
 上期 一般地区資金 4,730円 特別地区資金 3,820円
 下期 〃 4,730円 〃 3,820円
2. ガバナー月信購読料 年間購読料@3,500円（13回発行、有料購読者数920名）
3. 収入の部及び支出の部において予算額を上回った科目には△を付記しました。

第2. 資金区分概要

1. 一般地区資金

(1) 収入の部

①地区内会員数の減少（予算費：上期96名、下期96名）のため、会員負担金収入は予算に対して下記の通り減収となりました。

上期 454,080円

下期 454,080円 合計 908,160円

②ガバナー月信購読者の増加により708,550円増収の3,228,550円となりました。

③雑収入には、前期繰越金額が確定した後の繰越分207,233円を含んでおります。

④前期繰越金は予算額より4,324,878円多い18,324,878円となりました。

(2) 支出の部

①会議費について地区会員増強委員会、地区国際奉仕委員会、地区米山学友委員会、地区ロータリーの友委員会が実質支出超過となりましたが、特別地区資金（その他の地区事業費）より補填しております。

②ガバナー事務所費の内訳細目には、ガバナー・エレクト事務所費を含む総額について計上しました。ガバナー・エレクト事務所費は諸経費の増加のため、予算より2,307,784円超過となりましたが、最終的にガバナー事務所費は予算対比347,049円の節減となりました。なお収支決算書の金額にはガバナー・エレクト事務所費超過分を含んだ金額で計上しております。

③旅費その他の会議支出分については、規定審議会代表議員会議（国内）と第1ゾーンR I 理事指名委員会と青少年育成委員会に支出しております。

上記の結果、収入合計金額55,738,495円から支出合計金額36,785,277円を差引いた18,953,218円を次年度に繰越しました。

2. 特別地区資金

(1) 収入の部

①会員数の減少により特別地区資金も下記の通り予算に対し減収となりました。

上期 366,720円



～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

下期 366,720円 合計 733,440円

②前期繰越金は予算額より751,861円多い6,751,861円ですが、前年度より車椅子財団に寄付するよう指定されたものが530,053円含まれております。

(2) 支出の部

①事業費について地区インターアクト事業費、地区財団奨学生事業費が実質支出超過となりましたが、特別地区資金（その他の地区事業費）より補填しております。

②前年度より車椅子財団に寄付するよう指定された530,053円については、地区世界社会奉仕事業費扱いで支出されております。

③その他の地区事業費は、地区会員増強委員会115,500円、地区国際奉仕委員会140,000円、地区米山学友委員会50,000円、地区ロータリーの友委員会30,000円、地区インターアクト事業費127,919円、地区財団奨学生事業費91,245円を支出しました。

④当年度は規定審議会が開催されましたので規定審議会代議員費を支出しました。

上記の結果、収入合計金額31,994,421円から支出合計金額26,029,907円を差引いた5,964,514円を次年度に繰越しました。

地区資金収支報告

別紙の通り地区資金収支決算書を提出します。

2004年9月13日

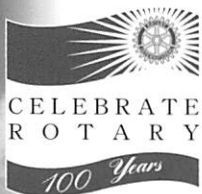
国際ロータリー第2510地区2003-2004年度
財務委員長 福田 武 男

地区資金収支決算書監査報告

別紙の地区資金収支決算書について監査の結果、適正であると認めます。

2004年9月13日

国際ロータリー第2510地区2002-2003年度
ガバナー 小林 博



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

地区大会実行委員会役員

◆役員

ガバナー	遠藤 秀雄				
ホストRC会長	中村 雅				
大会実行委員長	戸塚 守夫				
副委員長	堅田 進(伊達RC)	仲川 弘誓			
幹事	高橋 恒夫	和田 浩一			
副幹事	菊入 剛(室蘭RC)	小林 進(室蘭東RC)	西尾 静枝(室蘭北RC)		
	栗本 茂生(伊達RC)	前谷 休市(洞爺湖RC)			
会計	森川 英雄				
SAA	山田 新一				
参与	菊地 千之(室蘭RC)	宮武 忠史			

◆実行委員

総務	○伊奈 昭夫	○和田 浩一	土生 裕司	最上谷文昭	角 哲雄
	小西 勝美				
司会・進行・演出	○松山 哲男	○斉藤 正史	伊奈 昭夫	山田 新一	吉野 洋一
	有坂 了堅				
広報・記録	○山口 賢治	寺島紀子夫	早川 邦雄		
渉外・交通	○高岸 満則	○山口 登	森川 英雄	若木日出男	土生 裕司
(以下室蘭北RC)	西尾 静枝	笹谷 豊明	斉藤 泰成	廣瀬 禎	松島 茂
	菅原 悦子	加藤 栄吉	松田 博文		
会場	(祝いの宿グランドホテル/第一滝本館)				
	○木村 和夫	○山瀬 隆幸	○千葉 泰二	時田 捷司	
(以下室蘭東RC)	寄木 清二	荒井 孝亘	北村 則男	黒田 敏充	桃野 正
	松永 英樹	佐々木健治	上田 康郎	遊佐 潤	吉田 順治
	高島 宏	小林 進			
会場	(日本工学院北海道専門学校)				
	○仲川 弘誓	○上田 博子	草塩 幸子	石井 憲一	工藤 勝雄
	奥山 博之	石山 春男	村上 忠男	鈴木 実	和田正二郎
(以下室蘭RC)	中村 栄治	皆川 和廣			
	菊入 剛	村井 敦司	浜中 實	鴨井 清貴	佐藤 寿夫
	新保 紘				
(以下伊達RC)	栗本 茂生	西川 正	鈴木 啓一	福井 研吉	平田 正信
	辻木 勝夫	浅水 勝男	渡部 良一	大坪 鉄雄	新井田 孝
	伊藤 金蔵	和歌 宏悦			
ゴルフ	○皆川 和廣	高岸 満則			
地区代表幹事	伊奈 昭夫				
地区幹事	高橋 恒夫	佐藤 寿夫(室蘭RC)			
	寄木 清二(室蘭東RC)	上田 博子			
	斉藤 正史	関堂 勝幸(札幌東RC)			
事務局	○阿部 智子	増田チエ子	細川 聡子		
	真柄 優子	渡辺香奈子	幡野 裕子		



奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

編集委員 寺島 紀子夫、山口 賢治、早川 邦雄

ロータリー100周年という輝かしい年に、地区大会を開催することができたことに対し、遠藤ガバナー、そして登別クラブ全会員が、感謝するところであります。これは、一重に第9グループ全メンバーの、絶大なるご協力の賜であったことは云うまでもありません。

小都市での開催に、ロータリアンのご不満、ご不便も多々あったかと思いますが、反面、小さなクラブでも何とかなるという前例になったのでは、ないでしょうか？

本誌作成に当たり、何一つ協力しなかった罰で、編集後記を書けと云われ、冷や汗をかいております。山口、早川両君は、それこそ不眠不休で本誌を仕上げました。出来るだけ、文字だけのページを無くし、写真を沢山入れて、ユニークな報告書にしました。カラーページに3カメラマンのカットが出過ぎというご批判もあろうかと思いますが、大活躍の両君に免じてお許し下さい。

ロータリー200周年に本誌をご覧になる方へ・・・!!

100年前は、こんな感じでした。ありがとうございます。

遅い花見の庭先にて

ももとせ ことほ つと
“百歳 を 寿ぐ 集い 桜花”

寺島 記

編

集

後

記

2004～2005年度 国際ロータリー第2510地区 地区大会記念誌

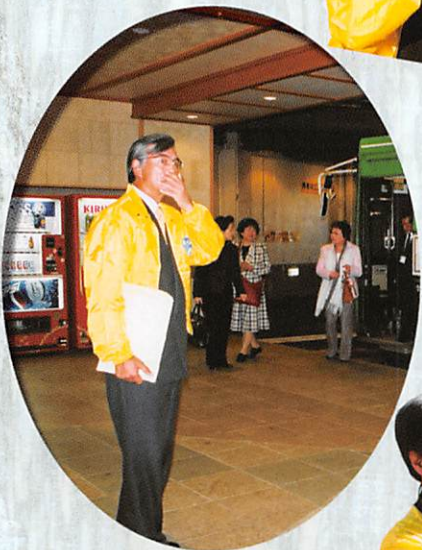
発行日 平成17年6月30日
編集 地区大会実行委員会（広報・記録）
発行所 〒059-0034 北海道登別市鷺別町2-31-1
医療法人 社団 友愛会 恵愛病院2F
2004～2005年度
国際ロータリー第2510地区
地区大会事務局
TEL (0143) 82-2510
FAX (0143) 82-2512
印刷・製本 株式会社日光印刷
住所 室蘭市寿町2-3-1
TEL (0143) 47-8308



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

～2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」～





～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～





CELEBRATE
ROTARY

100 Years

～2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」～





～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～





～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～





奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～





CELEBRATE
ROTARY

100 Years

～2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」～

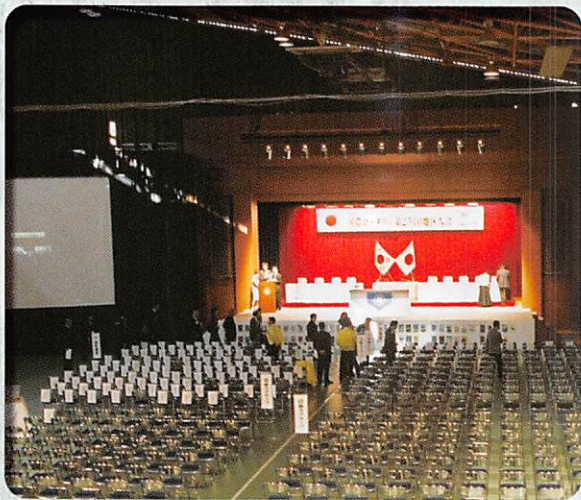




～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～



～2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」～





奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～





CELEBRATE
ROTARY

100 Years

～2004年ロータリー 100周年「ロータリーを祝おう」～



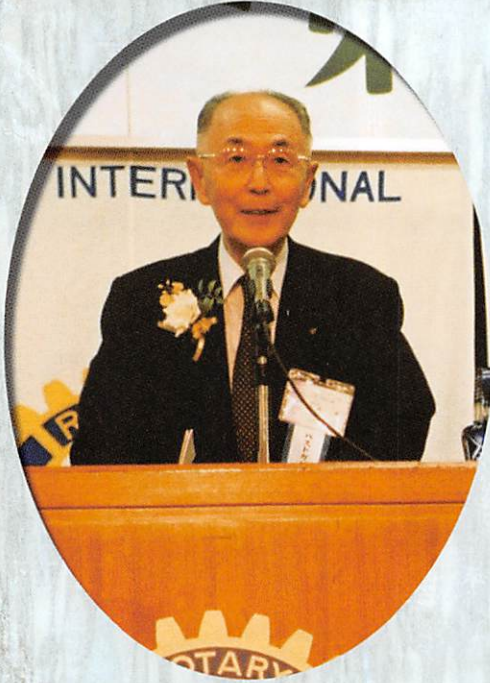


奉仕の第2世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～



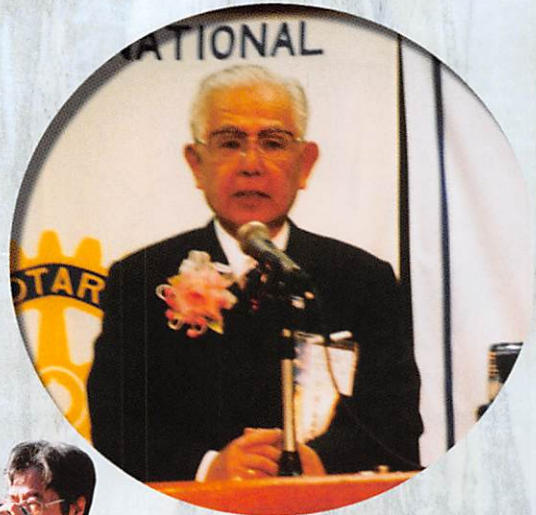
～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～





奉仕の第二世紀へ

～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～

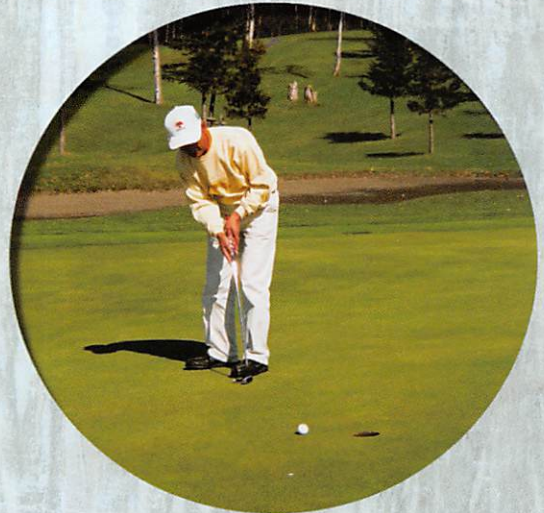




～2004年ロータリー 100周年「奉仕の第2世紀へ」～



～2004年ロータリー100周年「ロータリーを祝おう」～



地区大会記念アルバム



～2004年ロータリー100周年「奉仕の第2世紀へ」～

R I 第2510地区大会囲碁大会
札幌幌南RC40周年記念囲碁大会



R I 第2510地区大会
札幌幌南RC40周年記念囲碁大会



日本工学院の柔道整復師科 の学生によるマッサージ



本大会
開催中、
会場と
なった日
本工学院
柔道整復
師科の全
面協力に

より、そこで学ぶ学生たちに、
マッサージのサービスをして頂く
ことができた。大会会場に隣接す
る休憩所の片隅に設置された特設
マッサージルームも、休憩を利用
し、出席者の方々が疲れを癒すた
めに列を成し、大盛況であった。

登別温泉「第一滝本館」にて

大懇親会開催

登別温泉の老舗ホテルとして名高い、第一滝本館にて、海の幸、山の幸を食材とし、一流シェフによる和洋折衷料理に、参加者から感嘆の声があがる。

本大会も無事終了し、会場を登別温泉の第一滝本館に移し、総勢1千名を超える方々が一同に会し、大懇親会が開催された。

冒頭、戸塚実行委員長が「2日間お疲れ様でした。今大会の最大の味方は天候でした。温泉地ならではの食材を、第一滝本館の調理スタッフが腕を振るってご用意させて頂きました」等と挨拶をし、声高らかに乾杯をし、懇親会がスタートした。その後、ゴルフ大会や囲碁大会の成績発表などが行われ、2日間の大会が無事終了した。



NRC 3登 9室
11伊 33洞

NRC 3登 9室
11伊 33洞

- 8 ●本会議
第2日目
- 8:30 登録開始 (日本工学院北海道専門学校)
- 9:00 点鐘 ガバナー
国家斉唱・ロータリーソング
開会の言葉 大会実行委員長
物故者追悼
- 9:15 RI会長代理ご夫妻とご来賓他の紹介
- 9:45 ホストクラブ登別RC会長挨拶
ガバナー挨拶と地区現況報告
RI会長メッセージ及び代理挨拶
祝辞 登別市長 上野 晃 様
- 10:40 各種表彰
- 10:50 直前ガバナーへ記念品贈呈
2005~2006年度ガバナー・エレクト挨拶
次期地区大会開催地ホストクラブ紹介
次期ホストクラブ会長挨拶 休憩
- 11:10 記念講演 女優 松島 トモ子
講演謝辞ガバナー

- 12:15 RI会長代理所感 RI会長代理
閉会の言葉 大会実行委員会顧問
点鐘 ガバナー
姉妹地区締結調印式
諸事お知らせ大会SAA
- 12:30 終了
休憩
- 記念懇親会 会場/第一滝本館
- 13:00 ウェルカムドリンク
- 13:30 開会
開会の言葉 大会実行委員長
挨拶 ガバナー
乾杯 パスト・ガバナー
祝宴
ゴルフ成績発表 ゴルフ委員長
囲碁成績発表 囲碁委員長
- 14:50 閉会の言葉 大会実行副委員長
ロータリーソング「手に手つないで」
- 15:00 閉会



発行所
国際RC第2510地区
地区大会実行委員会
北海道登別市鷺別町
2-31-1恵愛病院2階
電話 0143-82-2510
FAX 0143-82-2512

登別市にて

国際ロータリー地区大会開催

日本工学院北海道専門学校体育館にて、第2510地区大会が開催された。札幌、函館、静内など地区内外から総勢1646名の会員登録があり、観光地として名高い登別温泉周辺を主会場とし、地方ならではの大会となった。

前日に引続き、大会2日目が開催された。場所は前日の会長・幹事会が開催された登別温泉より車で約5分程度離れた、札内大地にある日本工学院の体育館である。その学校の副校長が、登別ロータリークラブの会員であり、学校あげて、全面的にご協力を頂いた。予定の午前8時30分より若干早めに受付を開始した。前日宿泊をした方々は登別温泉から、事前に用意をしたバスでの移動となった。近隣の会員や、当日早朝に各地を出発された方々が、続々会場に到着し、会場内控え室は熱気でみなぎっていた。



され、遠藤ガバナーが点鐘してスタートした。
戸塚実行委員長が「山の中の一



「多くの人たちとの出会いの中で」という演題で、女優であり、東京の恵比寿ロータリークラブ会員でもある松島トモ子さんに、ご講演を頂いた。過去の生立

軒家のような場所での開催ではあるが、奉仕の第二世紀への第一歩を踏み出します」と挨拶をし、会場から盛大な拍手を浴びた。
その後、物故者追悼セレモニー、主催者である登別ロータリークラブの中村会長が、第9グループへの感謝の意を込め、歓迎の挨拶をした。引続き、地元の上野晃登別市長が「日頃、各分野で重要な立場におられ、奉仕と友愛の実践活動を通し、それぞれの地域社会に貢献されていることに対し、心から敬意を表する」という歓迎の挨拶をされ、大会も盛り上がりを見せた。

女優の松島トモ子さん熱井「多くの人たちとの出会いの中で」

記念講演として、ロータリアンでもある女優の松島トモ子さんが、時には笑い、時には涙を誘い、約1時間に渡り熱弁を振るった。最後にはご自慢の歌声も披露し、会場を大いに盛り上げた。

ちから芸能界活動、ライオンに囁かれた話や、車いすの方との出会いにより、1998年に車イスダンス世界選手権に出場したエピソード。又、自ら体験した辛い戦争の話など、多くの方々との出会いや触れ合いを通して、講師の人生の中から感じることができた。



各委員会報告など



午後13時前後より、大会運営委員会報告や各委員会活動報告がなされた。各委員長より、それぞれの委員会にて取組まれてくる事業内容について報告された。

**基調報告会と
パネルディスカッション**

その後「私たちの異文化体験と国際親善」というテーマにて財団学友委員会の中島勉（札幌幌南RC）氏を総合司会とし財団学友会



の小野寺桂子さんをはじめ、GSE経験者9名の方々により、基調報告やパネルディスカッションが開催された。

**RI会長代理ご夫妻
歓迎晩餐会開催**

会場を同ホテル内の宴会場「大雪」に移し、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会が開催された。地元登別出身の三味線奏者白田路明さんの演奏により幕が開き、アトラクションでは地元登別温泉の「熊舞い」も披露され大いに盛り上がった。



各位の体験に基づく、貴重なお話を聞くことができ、参加者の共感を呼んでいた。

最後に、第3350地区（タイ）GSEチーム紹介と報告を、チーマンリーダーであるMr. Somborn Bunyasiriさんにして頂き、会長・幹事会を終了した。

NRC 3登 9室
11伊 33洞

NRC 3登 9室
11伊 33洞

9	●会長・幹事会
	9:30 登録開始
10	10:30 点鐘 国歌及びロータリーソング RI会長代理ご夫妻及びご来賓の紹介 開会の挨拶・ガバナー挨拶 RI会長代理挨拶・大会運営について
	11:05 協議 大会決議上程案審議・上程承認
	11:20 諸事お知らせ 終了・昼食
	●本会議 第1日目
12	11:30 登録開始
	12:30 点鐘 RI会長代理ご夫妻とご来賓の紹介 2003~2004年度決算報告 2003~2004年度決算監査報告

13	12:50 大会運営委員会報告
	13:20 各委員会活動報告
	14:30 休憩
	14:40 記念フォーラム
16	16:20 講評・点鐘
	16:25 諸事お知らせ大会
	16:30 終了
18	●RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
	18:00 ウェルカムドリンク
	18:05 アトラクション 三味線演奏 白田路明
	18:15 開会の言葉 歓迎の挨拶・来賓紹介 RI会長代理挨拶
	来賓ご挨拶 登別市長 上野 晃 乾杯
	閉会の言葉
19	19:45 終了



発行所
国際RC第2510地区
地区大会実行委員会
北海道登別市鷺町
2-31-1 恵愛病院2階
電話 0143-82-2510
FAX 0143-82-2512

登別市にて2510地区大会開催

10月16日と17日の2日間に渡り、登別市において地区最大のイベントである地区大会が、登別ロータリークラブを中心とし、第9グループ主催にて開催された。



今大会は、人口約5万5千人の小さな市において開催され、どのような運営がなされるのかが、注目されることとなった。半年前から数回に渡り、ガバナー事務所を開設している恵愛病院の多目的ホールを会場とし、念蜜な打合せをし、準備を進めてきた。原動力となったのは、登別ロータリークラブが所属している第9グループの力強い支援体制であった。

また、ここ2、3年の間に入会した、新入会員を全面に出し、それを、中核となる会員や経験豊富な会員が手足となって動き回り、運営にあたった。更に、登別クラブ会員の夫人達の全面協力も頂くことができ、見事な連携プレーで無事終了することができた。

受付登録開始

主催者である登別ロータリークラブ会員と、第9グループの担当役員は早朝8時に、1日目のメイン会場となる登別温泉の、登別グランドホテルロビーに集合した。各位が役割分担ごとにテキパキ仕事をこなし、参加者の迎え入れに万全を期した。登録開始時刻よりも若干早めに受付手続きを始めた。

午前9時前後には続々と各クラブの会長や幹事が集い、混乱もなくスムーズな受付がなされた。

会長・幹事会開催

会場となった登別グランドホテルの担当従業員の全面的な協力頂き、午前10時30分、いよいよ会議が始まった。



遠藤ガバナーの点鐘に始まり、国歌斉唱、ロータリーソングと続き、来賓紹介が始まった。我々記録担当者3名の、短くて長い2日間がスタートした。タイムリーなショットを逃すことのないように、それぞれの立ち位置を予め決めておき、カメラを構えた。記録紙を作成するための写真なので、正面、右側面、左側面をそれぞれが責任を持ってシャッターを切ることにしていた。更に、演壇にはデジタル録音機を配置し、又ホテル会場の録音装置では録音テープを走らせ、余すこと無く記録を撮るよう

にしていた。当然ではあるが、ビデオ撮影については室蘭在住の浦口に依頼をした。これで万全である。戸塚大会長は挨拶の中で、「湯の香に煙る登別温泉にようこそ。紅葉も盛りとなり、地方の小都市ではあるが、第9グループ上げて、精一杯の準備をした。ロータリー百周年の記念すべき大会であり、実りのある、楽しい地区大会になるように」と、参加者のご協力をお願いした。

その後、遠藤ガバナーが、今年度エステスRI会長が打ち出したテーマは「ロータリーを祝おう」であり、それに因み「奉仕の第2世紀へと、銘打って開催した。本大会が中味の濃い、そして感動を呼ぶ大会になるように」と、各会長と幹事に協力を要請した。

本会議第1日目

つよいよスタート



午後12時30分より、点鐘とともに本会議の第1日目が始まった。遠藤ガバ

ナーの歓迎の挨拶の後、石井RI会長代理が演壇に立った。「会長はクラブの顔であり、幹事は、クラブの核である。二人ともに手を携えて、更に各クラブが、ガバナーをサポートしてほしい」と挨拶をし、会員の減少傾向などを直視し、ロータリーの原点を今一度見直す時期であると訴えた。



2004、2005年R・I
 テーマである100年のあゆみ「ロータリーを祝おう」のもとに、25
 10地区のロータリアンが共に手
 をつなぎ合いながら次の100年に向
 かって歩んで行くことを胸に刻む
 ことができた。

の言葉と「16、17日の2日間にお
 たる地区大会のさらなる御協力を」との挨拶で始まった。その後、
 結果発表を兼ね、友情に溢れ、和
 気藹々とした和やかな時間が流れ
 た。



「ロータリーを祝おう」

懇親会では、
 戸塚守夫実行
 委員長より記
 念大会が成功
 裏に終了させ
 て頂いた感謝

成績発表

NRC

3登 9室
 11伊 33洞

特別賞

ガバナー賞 村井 玄乙 ベスグロ賞 笹木 学

NRC

3登 9室
 11伊 33洞

順位	競技者名	OUT	IN	GR	HC	NET
優勝	深見 浩	47	49	96	24.0	72.0
準優勝	千葉 泰二	49	46	95	22.8	72.2
3位	笹木 学	37	38	75	2.4	72.6
4位	武者 賢一	42	44	86	13.2	72.8
5位	原子 秀康	38	41	79	6.0	73.0
6位	高岸 満則	37	48	85	12.0	73.0
7位	佐々木則秋	40	44	84	10.8	73.2
8位	菊地 章	43	47	90	16.8	73.2
9位	桃井 康夫	40	36	76	2.4	73.6
10位	五十嵐桂一	48	46	94	20.4	73.6
11位	金子 賢一	40	40	80	6.0	74.0
12位	我喜屋 優	45	40	85	10.8	74.2
13位	後藤 篤人	50	41	91	16.8	74.2
14位	小野寺隆之	45	44	89	14.4	74.6
15位	藤井 哲夫	49	45	94	19.2	74.8
16位	川本 康裕	49	44	93	18.0	75.0
17位	手塚 貴志	41	45	86	10.8	75.2
18位	吉田 順治	47	44	91	15.6	75.4
19位	阿部 貫次	50	47	97	21.6	75.4
20位	坂井 治	48	49	97	21.6	75.4
21位	島津 行高	45	45	90	14.4	75.6
22位	蜂谷 光雄	48	48	96	20.4	75.6
23位	木村 照男	50	45	95	19.2	75.8
24位	上野 了	46	49	95	19.2	75.8
25位	三浦 四郎	45	43	88	12.0	76.0

順位	競技者名
26位	土谷 俊彦
27位	内山 博
28位	皆川 和廣
29位	丸山 芳男
30位	田中 潤
31位	熊澤 隆樹
32位	廣瀬 禎
33位	内池 真人
34位	鴨井 清貴
35位	桜場 義春
36位	小野瀬宏勝
37位	北川 誠
38位	星野 恭亮
39位	佐藤 清夫
40位	上田 進
41位	辻田 郁哉
42位	高橋 徹
43位	前田 迪夫
44位	清水 徹
45位	竹原 巖
46位	笹谷 豊明
47位	早川 邦雄
48位	梅田 鉄夫
49位	小林 進
50位	梶澤 忠幸

順位	競技者名
51位	芝垣 美男
52位	山本 雅昭
53位	佐藤 秀雄
54位	佐藤 稔
55位	塚原 房樹
56位	宮田徹治郎
57位	柏倉 慎
58位	金本 三郎
59位	野村 滋
60位	時田 捷司
61位	長澤 昇司
62位	内藤 孝幸
63位	武石 忠俊
64位	斉藤 崇
65位	朝倉 正人
66位	西尾 静枝
67位	青木 功喜
68位	志比川 武
69位	関堂 勝幸
70位	高橋 宣充
71位	山口 史朗
72位	小林 俊之
73位	沢山 豊
74位	菅原 耕治
75位	上田 康郎
76位	村井 玄乙
77位	村松 克重
78位	井上 英幸

登別ロータリー新聞

発行所

国際R C 第2510地区
地区大会実行委員会
北海道登別市鷺別町
2-31-1 恵愛病院2階
電話 0143-82-2510
FAX 0143-82-2512

記念ゴルフ大会開催

登別カントリークラブにてゴルフ大会が開催される

大会担当委員長 皆川 秀雄



2005年R
I2510地
区大会の記念
ゴルフ大会が
10月15日に登
別C・Cで行われた。2510地
区の12グループ72クラブの中から
合計84名の参加登録があった。



決戦の場となった登別C・Cは
昭和63年9月に開場し、日本を代
表する登別温泉とカルルス温泉に
隣接する本格的なリゾートコース
となっている。北海道ならではの
雄大な自然の地形と、30種以上の
樹木に囲まれた18ホールで構成さ



午前8時30分に、アウト、イン
に分かれ21組が順次スタートした。
プレー進行も順調で特に問題にな
ることも無く、全てがタイムスケ
ジュール通り進行された。

れており、コース全体はフラット
で幅も広く、各ホールは完全にセ
パレートされている。且つ800㎡も
ある大きなベントグリーンがプ
レーヤーを待ち受けており、伸び
伸びとプレーを楽しめるコース設
計になっている。

当日は近年になく、秋日和のゴ
ルフには申し分のない温暖な天候
に恵まれた。

コースの北側は紅葉し始めた原
始林。そして、壮大な景観を見せ
てくれたオロフレ岳と登別岳。南
側にはコバルトブルーの太平洋を
眺めながらプレーを楽しめる設計
であり、参加したロータリアンの
全員が、満足して戴けたことと思
われる。





B組優勝石田2段の一言

伊達クラブの石田です。このようにりっぱな遠藤ガバナーからの盾を頂くことができまして、本当に良かったなというふうに思っております。3連勝して決勝に臨んだわけでございますけれども、決勝は同じ伊達ロータリークラブの加藤先生と対戦する事となりました。結果的には、伊達ロータリークラブの優勝、準優勝というふうになつてしまいました。私が勝てたのは、指揮官が良かったからだと思います。本当にありがとうございます。

大会成績一覧

A級		B級	
優勝	戸井 敏夫 (札幌南RC) 6段	優勝	石田 敏之 (伊達RC) 2段
準優勝	前田 恒雄 (札幌南RC) 7段	準優勝	加藤 嗣郎 (伊達RC) 2段
1位	伊藤 長英 (苫小牧北RC) 6段	1位	砺波 寿 (札幌南RC) 2段
2位	藤田 信一 (苫小牧北RC) 6段	2位	石田 実 (室蘭東RC) 初段
3位	村上 淳 (恵庭RC) 3段	3位	戸部 謙一 (札幌西RC) 初段
4位	中村 和雄 (札幌手稲RC) 3段	4位	大西 忠男 (札幌北RC) 初段
5位	五十嵐 達明 (滝川RC) 3段	5位	深田 博司 (札幌南RC) 3段
6位	高岩 擴 (恵庭RC) 3段	6位	鍛冶 努 (札幌東RC) 2段
7位	矢部 繁 (苫小牧北RC) 3段	7位	内田 豊 (札幌南RC) 2段
8位	高島 英寿 (札幌南RC) 6段	8位	寄木 清二 (室蘭東RC) 初段
ブービ賞	小林 孝夫 (札幌北RC) 4段	ブービ賞	藤井 章司 (札幌北RC) 2段

NRC 3登 9室
11伊 33洞

NRC 3登 9室
11伊 33洞

8 8:00 若木囲碁大会委員長札幌へ出発
食事も早々に登別を出発
中村登別RC会長同行

9 9:30 札幌到着
若木委員長、札幌南RC会長打合せ
戸塚地区大会実行委員長合流
有坂広報担当委員合流

10 11:00 受付開始
札幌南RC会員とともに受付

11:30 食事タイム
実行委員会にて弁当の用意

11 11:45 開会式
司会 日本棋院北海道本部事務局
稲葉 恵一郎 氏
開会挨拶 ホストクラブ会長挨拶
札幌南RC会長挨拶 土谷 享
競技方法説明 審判長 札幌南RC
熊谷 泰隆

0 12:00 大局開始

5 17:30 大局終了
懇親会並びに成績表彰式会場
(KKRホテル札幌にて・・・移動)

18:00 表彰式 司会 登別RC会員
挨拶 RI第2510地区ガバナー
次年度ホストクラブ代表挨拶
乾杯 RI第2510地区パスト・ガバナー
成績発表 登別ロータリークラブ
6 表彰 Aクラス：優勝、準優勝、
1～5位
Bクラス：優勝、準優勝、
1～5位
次期ホストクラブ挨拶 札幌東RC

7 19:30 閉会 RI第2510地区囲碁委員長
高島 英寿 (札幌南RC)

登別ロータリー新聞

発行所

国際RC第2510地区
地区大会実行委員会
北海道登別市鷺別町
2-31-1 恵愛病院2階
電話 0143-82-2510
FAX 0143-82-2512

札幌にて記念囲碁大会開催

10月10日、札幌のアステイ45にて、2510地区大会記念囲碁大会が、札幌南ロータリークラブと共同にて、大々的に開催された。



午前11時に受付を開始し、ホストクラブである札幌南クラブの土谷会長の挨拶等の後、い

よいよ競技が開始された。その大会の地区担当責任者であった、登別クラブの若木囲碁委員長に、その時の感想などを聞いてみた。

大会を終えての感想は？



参加者は皆さん真剣な眼差しで戦局に望んでいた。今回の大会には40歳代の会員の参加もあり、今後の大

会運営に、期待感と明るさを与えたが、残念ながら会員の高齢化とともに、参加者が減少し、危惧するところである。

参加者減少の原因は？

ここ数年、高齢化にともなう競技人口の減少とともに、地区大会の記念イベントとして大会が行われているため、地区大会に参加登録しなければ、大会にエントリーできないのも、ひとつの原因かもしれません。

囲碁というのは、韓国や台湾というアジア圏はもとより、今やアメリカやヨーロッパ圏でも、一般的な競技として盛んになってきている。日本のロータリアンも、もっと認識をもって、積極的に競技に参加して頂きたい。



懇親会場にて 受賞者を発表

若木（登別クラブ）囲碁委員長の軽妙な司会により、各クラス別に成績の発表がなされ、受賞者は地区大会の懇親会会場の壇上に上がり、記念の盾などを受取った。

A組優勝戸井6段の一言

札幌南クラブの戸井です。私どものクラブの40周年記念囲碁大会も一緒にやらせて頂きました。幸運にも私が優勝することができました。決勝であたった準優勝の前田さんは、同じクラブに所属しており、いつも分が悪いのです。今回も押されまくっていたのですが、どういうう訳か、最後に逆転させて頂きました。

今回参加人数が三十数名でしたが、来年は札幌東クラブの主催で行われます。是非たくさんご参加を頂きたいと思っています。このような表彰の場を設けて頂いたことに対して、大変感謝申し上げます。



第一部

登別ロータリー新聞

平成16年10月10日夕刊速報	1
札幌にて記念囲碁大会開催	2
平成16年10月15日夕刊速報	3
登別にて記念ゴルフ大会開催	4
平成16年10月16日夕刊速報	5
登別にて2510地区大会開催	6
平成16年10月17日夕刊速報	7
地区大会最終日無事終了	8

第二部

地区大会記念アルバム

すべてを見せます貴方のショット	9
(カラーページです)	26



記念ゴルフ大会会場
登別カントリークラブ



記念囲碁大会会場
札幌アスティ45

2004
2005



奉仕の第二世紀へ

国際ロータリー第2510地区

地区大会 記念誌

ホストクラブ

登別ロータリークラブ

コ・ホストクラブ

- 室蘭ロータリークラブ
- 室蘭北ロータリークラブ
- 洞爺湖ロータリークラブ
- 室蘭東ロータリークラブ
- 伊達ロータリークラブ